

県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）

設計図

【建築工事】				【電気設備工事】				【機械設備工事】			
A-01	改修工事特記仕様書1	A-30	特別支援教室① 平面詳細図・展開図（改修前）	E-01	特記仕様書 建築電気設備 1	M-01	特記仕様書 建築機械設備 1				
A-02	改修工事特記仕様書2	A-31	特別支援教室① 平面詳細図・展開図（改修後）	E-02	特記仕様書 建築電気設備 2	M-02	特記仕様書 建築機械設備 2				
A-03	改修工事特記仕様書3	A-32	特別支援教室② 平面詳細図・展開図（改修前）	E-03	付近見取図・配置図・工事概要	M-03	付近見取図・配置図・工事概要				
A-04	改修工事特記仕様書4	A-33	特別支援教室② 平面詳細図・展開図（改修後）	E-04	分電盤結線図（改修前・改修後）	M-04	衛生機器表、器具表				
A-05A	改修工事特記仕様書5	A-34	普通教室①～⑥共通 平面詳細図・展開図（改修前）	E-05	1階電灯設備平面図（改修前・改修後）	M-05	給排水設備 系統図（改修前）				
A-05B	改修工事特記仕様書6	A-35	普通教室①～⑥共通 平面詳細図・展開図（改修後）	E-06	2階電灯平面図（改修前・改修後）	M-06	給排水設備 系統図（改修後）				
A-06	付近見取図・配置図・工事概要	A-36	1階児童用便所 平面詳細図・展開図（改修前）	E-07	3階電灯平面図（改修前・改修後）	M-07	給排水設備 1階平面図（改修前）				
A-07	仕上表	A-37	1階児童用便所 平面詳細図・展開図（改修後）	E-08	1階コンセント設備平面図（改修前・改修後）	M-08	給排水設備 1階平面図（改修後）				
A-08	1階平面図（改修前）	A-38	2・3階児童用便所 平面詳細図・展開図（改修前）	E-09	2階コンセント平面図（改修前・改修後）	M-09	給排水設備 2階平面図（改修前）				
A-09	1階平面図（改修後）	A-39	2・3階児童用便所 平面詳細図・展開図（改修後）	E-10	3階コンセント平面図（改修前・改修後）	M-10	給排水設備 2階平面図（改修後）				
A-10	2階平面図（改修前）	A-40	普通教室棟 1階廊下 平面詳細図（改修前・後）	E-11	弱電機器姿図・端子盤（改修前・改修後）	M-11	給排水設備 3階平面図（改修前）				
A-11	2階平面図（改修後）	A-41	普通教室棟 2階廊下 平面詳細図（改修前・後）	E-12	1階拡声・時計・テレビ共聴設備平面図（改修前・改修後）	M-12	給排水設備 3階平面図（改修後）				
A-12	3階平面図（改修前）	A-42	普通教室棟 3階廊下 平面詳細図（改修前・後）	E-13	2階拡声・時計・テレビ共聴設備平面図（改修前・改修後）	M-13	給排水設備 R階平面図（改修前）				
A-13	3階平面図（改修後）	A-43	普通教室棟 廊下 展開図（改修前）	E-14	3階拡声・時計・テレビ共聴設備平面図（改修前・改修後）	M-14	給排水設備 R階平面図（改修後）				
A-14	R階平面図（改修前）	A-44	普通教室棟 廊下 展開図（改修後）	E-15	1階インターホン設備平面図（改修前・改修後）	M-15	給排水設備 1階学生便所 平面詳細図（改修前・後）				
A-15	R階平面図（改修後）	A-45	西階段 平面詳細図・展開図（改修前）	E-16	2階インターホン設備平面図（改修前・改修後）	M-16	給排水設備 2階学生便所 平面詳細図（改修前・後）				
A-16	南校舎 立面図（改修前）	A-46	西階段 平面詳細図・展開図（改修後）	E-17	3階インターホン設備平面図（改修前・改修後）	M-17	給排水設備 3階学生便所 平面詳細図（改修前・後）				
A-17	南校舎 立面図（改修後）	A-47	屋上部分詳細図（改修前）	E-18	1階生徒便所電灯コンセント設備平面図（改修前・改修後）	M-18	給排水設備 廊下流し 平面詳細図（改修前・後）				
A-18	南校舎・昇降口 立面図・断面図（改修前）	A-48	屋上部分詳細図（改修後）	E-19	2階3階生徒便所電灯コンセント設備平面図（改修前・改修後）	M-19	換気機器表、換気風量計算書				
A-19	南校舎・昇降口 立面図・断面図（改修後）	A-49A	雑詳細図①	E-20	自動火災報知設備系統図	M-20	換気設備 1階平面図（改修前）				
A-20	普通教室棟 断面詳細図（改修前・後）	A-49B	雑詳細図②	E-21	1階自動火災報知設備平面図（改修前・改修後）	M-21	換気設備 1階平面図（改修後）				
A-21	1階キーブラン	A-50A	雑詳細図③	E-22	2階自動火災報知設備平面図（改修前・改修後）	M-22	換気設備 2階平面図（改修前）				
A-22	2階キーブラン	A-50B	雑詳細図④	E-23	3階自動火災報知設備平面図（改修前・改修後）	M-23	換気設備 2階平面図（改修後）				
A-23	3階キーブラン	A-51	給食棟 仕上表・平面図・屋根伏図（改修前・後）	E-24	1階LAN配線設備平面図（改修前・改修後）	M-24	換気設備 3階平面図（改修前）				
A-24	建具表①	A-52	給食棟 立面図（改修前・後）	E-25	2階LAN配線設備平面図（改修前・改修後）	M-25	換気設備 3階平面図（改修後）				
A-25	建具表②	A-53	給食棟 断面図・建具表（改修前・後）	E-26	3階LAN配線設備平面図（改修前・改修後）						
A-26	防火折り戸詳細図	A-54	給食棟 詳細図	E-27	南校舎 立面図（改修前・改修後）						
A-27	1階天井図（改修前・後）										
A-28	2階天井図（改修前・後）										
A-29	3階天井図（改修前・後）										

2章 仮設工事		①足場その他 内部足場 種別 ⑩きやたつ、足場板等 [2.2.1] 外部足場 種別 ⑩くさび緊結式(手すり先行工法) [2.2.1] 防護シートによる養生 行わない ⑩行う ※1類 (・帆布製 ※網地製) 騒音・粉じん等の対策 ⑩行わない 行う (・防音パネル・防音シート) [2.1.3] 材料、撤去材等の運搬 A種 ※B種 C種 D種 E種 [2.2.1] [表2.2.1]		⑤塗膜防水 [表3.1.1] [3.6.2~3] [表3.6.1~表3.6.2] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上げ塗料等 L4X パラベット(周囲柱型含む) X-2 トップコート		⑤浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.11~16] [表4.3.5~6] 改修工法の種類 アンカーピンの本数(本/m ²) 注入口の箇所数(箇所/m ²) 充てん量 (モルタルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ⑩アンカーピンニング部分 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 エポキシ樹脂注入工法 ・注入付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml エポキシ樹脂注入工法 ・注入付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml エポキシ樹脂注入工法 ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm	
②養生その他 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] 固定家具等の移動 ※行わない 行う(図示)		⑥保証期間 既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去(L4X工法) 除去する [3.2.6]		⑦シーリング シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] [表3.7.1] ※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 面台廻り、ボード周囲、サッシ水切り SR-1(w10) サッシ廻り、ボード周囲、屋上防水 MS-2(w10) 外壁、伸縮目地 PU-2(w25)		⑧とい シーリングの試験 ※行わない 行う(※簡易接着性試験・引張接着性試験) 材質 ・配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ⑩硬質ポリ塩化カーピニル管(VP) [3.8.2(1)] とい受け金物 ※SUS製・亜鉛メッキ製 ルーフドレン ※JCW301(日本鉄錆ふた・排水器具工業会規格) ⑩図示による [3.8.2(1)] 表面処理 AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2] [表5.2.2]	
④監督職員事務所 ⑤工事用水 ⑥工事用電力		・設ける 規模等は以下による 既存施設の一部を使用する ※設けない [2.4.1] (・規模 ⑩程度 仕上げ:床、壁、天井 程度) 構内既存の施設 ※利用できる (・有償 ※無償) 利用できない 構内既存の施設 ※利用できる (・有償 ※無償) 利用できない		⑨アルミニウム製笠木		⑩既存塗膜等の除去及び下地処理の工法 [4.5.4] [表4.5.4~7] 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体	
①既存下地の補修及び処置 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 する しない [3.2.6]		④章 外壁改修工事 ①施工数量調査 調査範囲 ⑩既存モルタル面・躯体コンクリート面 図示の範囲 [1.6.2] 調査内容 ひび割れ(0.2mm以上)の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び鋪汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 調査報告書の部数 ※1部		②改修工法の種類 [4.1.4~5] 外壁の種類 種類 改修工法 ⑩コンクリート ⑩ひび割れ部 ⑩樹脂注入工法 ⑩Uカットシール材充填工法・シール工法 打放し仕上げ ⑩欠損部 ⑩充填工法 ⑩モルタル塗り ⑩ひび割れ部 ⑩樹脂注入工法 ⑩Uカットシール材充填工法・シール工法 仕上げ ⑩欠損部 ⑩充填工法・モルタル塗替え工法 ⑩浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・タイル張り仕上げ ⑩ひび割れ部 樹脂注入工法 ・欠損部 ⑩タイル部分張替え工法・タイル張替え工法 ・浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・目地 ⑩目地ひび割れ部改修工法・伸縮調整目地改修工法 ⑩塗り仕上げ ⑩薄付け仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り マスチック塗材塗り ・複層仕上塗材塗り 外壁用塗膜防水材塗り		⑥既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体	
2 アスファルト防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 [3.3.2~3] [表3.1.1] [表3.3.3~10]		②改修工法の種類 外壁の種類 種類 改修工法 ⑩コンクリート ⑩ひび割れ部 ⑩樹脂注入工法 ⑩Uカットシール材充填工法・シール工法 打放し仕上げ ⑩欠損部 ⑩充填工法 ⑩モルタル塗り ⑩ひび割れ部 ⑩樹脂注入工法 ⑩Uカットシール材充填工法・シール工法 仕上げ ⑩欠損部 ⑩充填工法・モルタル塗替え工法 ⑩浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・タイル張り仕上げ ⑩ひび割れ部 樹脂注入工法 ・欠損部 ⑩タイル部分張替え工法・タイル張替え工法 ・浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・目地 ⑩目地ひび割れ部改修工法・伸縮調整目地改修工法 ⑩塗り仕上げ ⑩薄付け仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り マスチック塗材塗り ・複層仕上塗材塗り 外壁用塗膜防水材塗り		⑦仕上塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 [4.5.1] [4.5.2] [表4.5.1~2] 種類 呼び名 仕上の形状 ⑩薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状・ゆず肌状 ⑩防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状・凹凸状 ・複層仕上塗材 C E ・可とう形複層塗材C E ・上塗材・水系アクリル ・複層塗材R E ・複層塗材R E ・水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり・つやなし ・防水形複層塗材C E ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材E ・可とう形改修用仕上塗材 可とう形改修塗材E ・平たん状・ざざ波状・ゆず肌状 上塗材 ・アクリル・ウレタン ・上塗材・アクリル・ウレタン ・シリコン ・シリコン・ふつ素 外観 ・吹付 ・吹付・※ローラー仕上 仕上 ・薄付け・厚付け			
③改質アスファルトシート防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別(厚さmm) 仕上げ塗料等 [表3.1.1] [3.4.2~3] [表3.4.1~3]		③ひび割れ部改修工法 ⑩樹脂注入工法 ⑩モルタル面 ⑩躯体コンクリート面 [4.1.4] [4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(cc/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※ 樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂 注入工法 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) 行わない ※行う(抜取り部の補修方法:) ⑩Uカットシール材充填工法 [4.1.4] [4.2.4] [4.2.6] 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない ・シール工法 [4.1.4] [4.2.4] [4.2.7] シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 [4.1.4] [4.2.4] [4.2.8] 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル(モルタル面・コンクリート面・CB面) ⑩エポキシ樹脂モルタル(モルタル塗替え工法(改修標仕4.3.5(5)による))		⑧設計数量 外壁部位 種類 工法 数量 備考 ・コンクリート打放し面 ⑩ひび割れ ⑩Uカットシール材充填工法 m ・欠損部 ⑩エポキシ樹脂モルタル充填工法箇所 ⑩モルタル塗り仕上げ面 ⑩ひび割れ ⑩Uカットシール材充填工法 m ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 m ⑩欠損部 ⑩充填工法 178箇所 30×30程度 ⑩浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 17.3m ²			
4 合成高分子系ルーフィングシート防水 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別(厚さmm) 仕上げ塗料等 [表3.1.1] [3.5.2~3] [表3.5.1~2]		④欠損部改修工法 注入材料 ※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。 ①改修工法 2 見本の製作等 ・建具見本の製作 特殊な建具の仮組		⑤章 建具改修工事 ①かぶせ工法 撤去工法(引き抜き工法・はつり工法) [5.1.3] ・建具見本の製作 特殊な建具の仮組 [5.1.5]			
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2]		②見本の製作等		②見本の製作等			
可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2]		③ひび割れ部改修工法 ④欠損部改修工法		③ひび割れ部改修工法 ④欠損部改修工法			
脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量()箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 接着工法に用いる断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・ポリエチレンフォーム断熱材 改修用ドレン ※設ける()箇所 設けない ※製造所の指定する製品 銅製・鉛製 施工標識 ※設ける 設けない		⑤浮き部改修工法 改修工法の種類 アンカーピンの本数(本/m ²) 注入口の箇所数(箇所/m ²) 充てん量 (モルタルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ⑩アンカーピンニング部分 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 エポキシ樹脂注入工法 ・注入付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml エポキシ樹脂注入工法 ・注入付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml エポキシ樹脂注入工法 ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm		⑥既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体			
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2]		⑦仕上塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 [4.5.1] [4.5.2] [表4.5.1~2] 種類 呼び名 仕上の形状 ⑩薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状・ゆず肌状 ⑩防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状・凹凸状 ・複層仕上塗材 C E ・可とう形複層塗材C E ・上塗材・水系アクリル ・複層塗材R E ・複層塗材R E ・水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり・つやなし ・防水形複層塗材C E ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材E ・可とう形改修用仕上塗材 可とう形改修塗材E ・平たん状・ざざ波状・ゆず肌状 上塗材 ・アクリル・ウレタン ・上塗材・アクリル・ウレタン ・シリコン ・シリコン・ふつ素 外観 ・吹付 ・吹付・※ローラー仕上 仕上 ・薄付け・厚付け		⑧設計数量 外壁部位 種類 工法 数量 備考 ・コンクリート打放し面 ⑩ひび割れ ⑩Uカットシール材充填工法 m ・欠損部 ⑩エポキシ樹脂モルタル充填工法箇所 ⑩モルタル塗り仕上げ面 ⑩ひび割れ ⑩Uカットシール材充填工法 m ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 m ⑩欠損部 ⑩充填工法 178箇所 30×30程度 ⑩浮き部 ⑩アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 17.3m ²			
可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2]		⑨アルミニウム製笠木		⑩既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体		⑩既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体	
脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量()箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 接着工法に用いる断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・ポリエチレンフォーム断熱材 改修用ドレン ※設ける()箇所 設けない ※製造所の指定する製品 銅製・鉛製 施工標識 ※設ける 設けない		⑪既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 处理範囲 下地面の補修 ・サンダーワーク法 ※既存上面全体 ・高圧水洗工法 ※既存上面全体 ・塗膜はく離剤工法 ※既存上面全体 ⑩水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存上面全体		⑪既存塗膜等の除去及び下地処			

5 章 建 具 改 修 工 事	3 アルミニウム製建具 4 網戸 5 樹脂製建具 6 銅製建具 7 銅製軽量建具 8 ステンレス製建具 9 木製建具 10 建具用金物 11 自動ドア開閉装置 12 自閉式上吊り 引戸装置 13 重量シャッター 14 軽量シャッター 15 その他のシャッター 16 ガラス 17 ガラスの留め材 18 ガラス用フィルム	外部に面する建具(フロントサッシは除く) [5.2.2] [表5.2.1]					ビニール床シート等の撤去 [6.2.2]					※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(※図示の範囲 ・除去範囲全て) 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 合成樹脂塗り床の除去 ・機械的除去工法 ・目荒工法					視覚障害者用床タイル [6.8.2]				
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所														
		・A種	S-4	A-3	W-4	※ 70 ・100	※図示														
		・B種	S-5																		
		・C種	S-6	A-4	W-5	・70 ・100	・														
		表面処理	※BB-1種	・BB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		内部建具																			
		表面処理	※AC-1又はBB-1種	・AC-2又はBB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		防虫網																			
		網の種別	※ステンレス(SUS316)製	・合成樹脂製	・ガラス繊維入り合成樹脂製																
		形 式	※可動式	・固定式																	
		外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2] [表5.3.1]																			
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所														
		・A種	S-4		W-4	・70	※図示														
		・B種	S-5	A-4	W-5	・100	・														
		・C種	S-6																		
		表面処理	※BB-1種	・BB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		内部建具																			
		表面処理	※AC-1又はBB-1種	・AC-2又はBB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		防虫網																			
		網の種別	※ステンレス(SUS316)製	・合成樹脂製	・ガラス繊維入り合成樹脂製																
		形 式	※可動式	・固定式																	
		外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2] [表5.3.1]																			
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所														
		・A種	S-4		W-4	・70	※図示														
		・B種	S-5	A-4	W-5	・100	・														
		・C種	S-6																		
		表面処理	※BB-1種	・BB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		内部建具																			
		表面処理	※AC-1又はBB-1種	・AC-2又はBB-2種(※ブロッズ系 ・ブラック ・スチカラ)																	
		防虫網																			
		網の種別	※ステンレス(SUS316)製	・合成樹脂製	・ガラス繊維入り合成樹脂製																
		形 式	※可動式	・固定式																	
		外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2] [表5.3.1]																			
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所														
		・A種	S-4		W-4	・70	※図示														
		・B種	S-5	A-4	W-5	・100	・														
		・C種	S-6																		
		表面処理	※BB-1種	・BB-2種(※ブロッズ系 																	

9 章 環 境 配 慮 改 修 工 事	①一般事項 ②アスベスト含有建材の処理工事 ③アスベストの含有調査 4 アスベスト含有吹付け材の除去 ⑤アスベスト含有仕上塗材の除去	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。 ①アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。 石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。 ①石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。 ①事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。 ①アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。 ①アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。 アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 行う ①行わない [9. 1. 1] アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 行う ①行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ①行う 行わない 施工箇所及び工法 ※図示 分析による確認 行う（下表による） ①行わない 材 料 名 調査方法 1材料あたりの試料数 ※定性分析(3 .) ※定量分析(※3 .) ※定性分析(3 .) ※定量分析(※3 .) ※定性分析(3 .) ※定量分析(※3 .) アスベスト含有吹付け材の有無 有 無 [9. 1. 3] 除去吹付け材（ ）含有場所（ ） 吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定 測定時期 測定名称 測定場所 測定点（各施工箇所ごと） 備考 処理作業前 測定1 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定2 施行区画周辺 又は、敷地境界 計2点 大気 処理作業中 測定3 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定4 セキュリティーゾーン入口 1点 空気の流れを確認 測定5 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 1点 (注)2 測定6 施行区画周辺 又は、敷地境界 4方向各1点 — 処理作業後 (隔離シート撤去前) 測定7 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定8 施行区画周辺 又は、敷地境界 4方向各1点 大気 (注)1. 各施工箇所ごとの面積が50m ² 以下までは2点、300m ² 以下までは3点とする。 300m ² を超えるものは、監督職員と協議する。 (注)2. 集じん・排気装置の性能確認 表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法 測定3 測定1, 2, 4, 6, 7, 8 測定5 計数機器 位相差顕微鏡 メンブレンフィルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流量 1l/min 5l/min 10l/min 試料の吸引時間 5 min 120 min 210 min 試料の透明化 アセトントリアセチル法又は、シウウ酸ジエチル法 計数条件 総アスベスト纖維数 200本又は視野数50視野 計数アスベスト 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上 定量限界 50 f/l 0.5 f/l 0.3 f/l 作業場の負圧隔離養生 ※行う 除去工法 ※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。 処分方法 ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。 アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体等における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。 アスベスト含有仕上塗材の有無 有 無 除去仕上塗材(バーライト吹付(下地調整材)) 含有場所(特別支援教室①染型) 撤去の範囲 全面撤去 図示による ①外壁の補修箇所等作業箇所のみ撤去	除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする） ・水洗い工法 ・手工具ケレン工法 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高压水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高压水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ①集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 除去工法の試験施工 行う ※行わない 作業場の隔離及び養生 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。 ・隔離養生不要 ・隔離養生必要(負圧不要) ・その他 () 処分方法 ①埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ②中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う アスベスト含有保温材の有無 有 無 [9. 1. 4] 除去保温材（ ）含有場所（ ） 作業場の隔離 ※行う ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う アスベスト含有成形板の有無 有 無 [9. 1. 5] 除去成形板(ビニル床タイル、アスファルト防水、フレキシブルボード) 含有場所(階段室床、屋上、児童用便所天井・一部床) 作業場の養生 行う ①行わない ※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生(負圧不要)を行う ※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生(負圧不要)を行う 処分方法 石綿含有石膏ボード ※管理型最終処分場で埋立処分する。 石綿含有石膏ボード以外 ①埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ②中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。 ※本工事に配置管理させる者(有資格者) ※特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者) ①鉄筋の種類 (5. 2. 1)(表5. 2. 1) 種類の記号 呼び名 (mm) ①S D295 ※ D16以下 · S D345 ※ D19以上 ②溶接金網 網目の形状(※正方形) (5. 2. 2) 鉄線の径(6φ) mm 寸法(150×150) ③材料試験 ※JIS規格品については径の異なるごとに2t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 (5. 2. 3) ④継手及び定着 鉄筋の継手方法 (5. 3. 4) ※径D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手 ①重ね継手 · 柱、はり主筋のかさね継手長さ () 定着 ※表5.3.4による。ただし、設計図書にて別記のあるものは設計図書による。 5 耐久性上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚 (5. 3. 5) 施工箇所等 最小かぶり厚さ (mm) 6 各部配筋 各部配筋参考図1節[基礎及び基礎梁の配筋]から7節[梁貫通孔及びその他の配筋]に準じる (5. 3. 7) 7 杭頭の補強方法 · A形 · B形 ※図示 (別図1.1) 8 帯筋 帯筋の形状 · H形 · W-I形 ※S P形(スパイラル筋) · 丸形 · ハンチの傾斜 (※1:4) () (別図3.1) 9 ハンチの傾斜 10 壁開口部補強の種別 一般型 (· A形 ※B形 · 図示) 耐震壁 (※図示) (別図4.2) 11 はり貫通孔の補強 補強形式 · H形 · M形 · MH形 · 図示 (別図7.1)(表7.1~3) · 既製型 (建設技術評価規定において評価を取得したもの又は、) (財)日本建築センターの評価を取得した製品 12 機械吊上げ用フック 13 壓接完了後の検査 検査方法 · 引張試験 ※超音波探傷試験 (5. 4. 3)(5. 4. 10) 6 章 コンクリート工事 ①コンクリートの種類 種別 ※I類 · II類 (6. 2. 1)(6. 4. 1)(6. 4. 3)(表6. 2. 1) 普通コンクリートの気乾単位容積質量 2.1t/m ³ を超える2.5t/m ³ 以下 (6. 2. 3
--	--	--	--

6 章 コン クリ ート 工 事	⑧フレッシュコンクリート 試験・強度試験 9 軽量コンクリートの 種別 10 マスコンクリート 11 無筋コンクリート	<p>(6. 9. 2) (6. 9. 3) (表6. 9. 1) (表6. 9. 2)</p> <p>※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。</p> <p>20m³ 以下の場合は監督職員の指示による。</p> <p>20~50m³ の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。</p> <p>50m³ 以上は 標仕6. 9. 3(1) による。</p> <p>設計基準強度 F_c (N/mm²) 18 21 (6. 10. 2) (表6. 10. 1)</p> <p>種別 ※1種 2種 施工場所()</p> <p>気乾単位容積重量 (t/m³) (※1.8~2.1t/m³程度) ()</p> <p>・適用箇所 () (6. 13. 1)</p> <p>セメントの種類 ※高炉セメントB種 (6. 13. 2)</p> <p>スランプ ※15cm (6. 13. 2)</p> <p>材料・品質 (6. 14. 2) (6. 14. 3)</p> <p>粗骨材の最大寸法 (mm) (捨コンクリート及び防水押えコンクリートの場合 ※25) ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>スランプ</th><th>設計基準強度 F_c (N/mm²)</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通コンクリート</td><td>※15又は18</td><td>※18</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	スランプ	設計基準強度 F_c (N/mm ²)	施工箇所	普通コンクリート	※15又は18	※18			・	・		<p>個人情報の取り扱いに関する事項</p> <p>(基本事項)</p> <p>第1 この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。（施工者の義務）</p> <p>第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律大57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。</p> <p>2 乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。（秘密の保持）</p> <p>第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせではない。</p> <p>2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。</p> <p>3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。（適正な管理）</p> <p>第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。</p> <p>3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。</p> <p>4 四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に關し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。（収集の制限）</p> <p>第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するため必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。（再提供の禁止）</p> <p>第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。</p> <p>2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。（複写、複製の禁止）</p> <p>第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。（持ち出しの禁止）</p> <p>第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したもの）を含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してもよい。</p> <p>2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。</p> <p>3 前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及び損の防止その他適切な管理を行わなければならない。（資料等の返還）</p> <p>第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。</p> <p>2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。</p> <p>(1) 紙媒体 シュレッダーによる裁断</p> <p>(2) 電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕</p> <p>3 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。</p> <p>4 前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。（研修・教育の実施）</p> <p>第10 乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。（苦情の処理）</p> <p>第11 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。（定期報告及び事故発生時における報告）</p> <p>第12 乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。</p> <p>2 乙は、この個人情報取扱い注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。（監査及び検査）</p> <p>第13 甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。</p>	<p>2 甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。（契約解除及び損害賠償）</p> <p>第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱い注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。</p> <p>1. 契約の解除 四日市市締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。</p> <p>2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否とともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力をを行うこと。 (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。 (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。</p> <p>1. 対応要領に沿った対応 (1) この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成29年2月28日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。 (2) (1)に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。</p> <p>2. 対応指針に沿った対応 上記1に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第11条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。</p>
種類	スランプ	設計基準強度 F_c (N/mm ²)	施工箇所													
普通コンクリート	※15又は18	※18														
	・	・														
6 章 コン クリ ート 工 事	⑧フレッシュコンクリート 試験・強度試験 9 軽量コンクリートの 種別 10 マスコンクリート 11 無筋コンクリート	<p>(6. 9. 2) (6. 9. 3) (表6. 9. 1) (表6. 9. 2)</p> <p>※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。</p> <p>20m³ 以下の場合は監督職員の指示による。</p> <p>20~50m³ の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。</p> <p>50m³ 以上は 標仕6. 9. 3(1) による。</p> <p>設計基準強度 F_c (N/mm²) 18 21 (6. 10. 2) (表6. 10. 1)</p> <p>種別 ※1種 2種 施工場所()</p> <p>気乾単位容積重量 (t/m³) (※1.8~2.1t/m³程度) ()</p> <p>・適用箇所 () (6. 13. 1)</p> <p>セメントの種類 ※高炉セメントB種 (6. 13. 2)</p> <p>スランプ ※15cm (6. 13. 2)</p> <p>材料・品質 (6. 14. 2) (6. 14. 3)</p> <p>粗骨材の最大寸法 (mm) (捨コンクリート及び防水押えコンクリートの場合 ※25) ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>スランプ</th><th>設計基準強度 F_c (N/mm²)</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通コンクリート</td><td>※15又は18</td><td>※18</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	スランプ	設計基準強度 F_c (N/mm ²)	施工箇所	普通コンクリート	※15又は18	※18			・	・		<p>個人情報の取り扱いに関する事項</p> <p>(基本事項)</p> <p>第1 この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。（施工者の義務）</p> <p>第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年</p>	
種類	スランプ	設計基準強度 F_c (N/mm ²)	施工箇所													
普通コンクリート	※15又は18	※18														
	・	・														



付近見取図 S:1/5000

仮囲いガードフェンス (巾木付) H:1,800
A : 工事着手~10/16 B : 7/17~8/28 C : 工事着手~9/18
シャバゲート W:6,000 (H:1,800)

工事車両出入口 (夏休み)

工事車両出入口

工事車両・搬入経路

学校関係者・歩行者通路 (建物出入口部の足場は、落下物養生を十分に行う)

学校関係者・歩行者通路 (夏休み期間) (建物出入口部の足場は、落下物養生を十分に行う)

外部足場【~10/16】くさび緊結式 (手すり先行工法) (参考)

外部足場【~8/28】くさび緊結式 (手すり先行工法) (参考)

改修内容	防水改修	外壁改修	内部改修	建具改修
普通教室棟	○ 契約日~10/16 ○ 北・西 : 契約日~10/16 ○ 吹抜け部: 7/18~8/28	○ 特支①、教室①②④⑤ 7/18~8/28 ○ 特支②、教室③⑥ 7/18~9/18 ○ 西階段・便所 7/18~9/18	○ 同左	

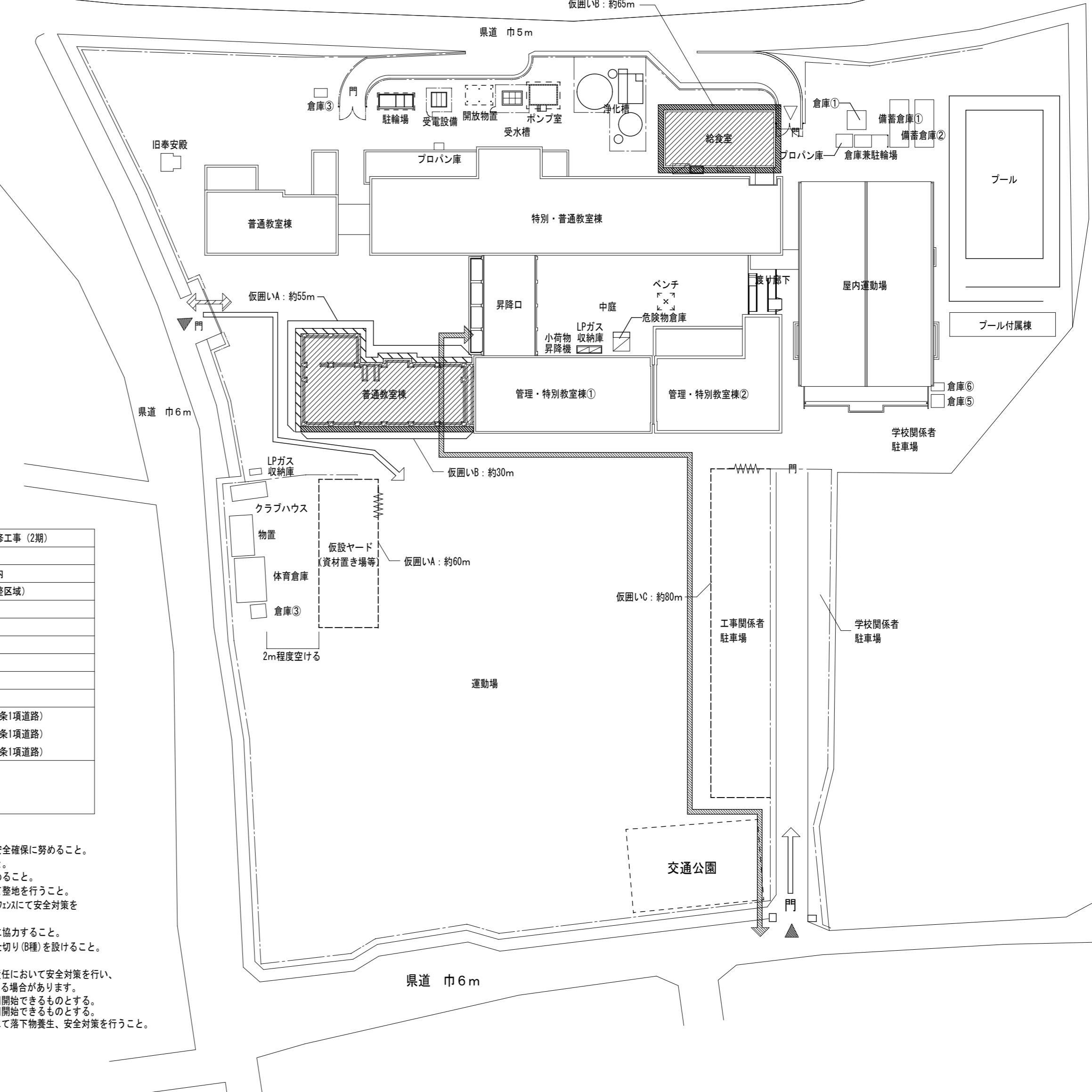
改修内容	屋根改修	塗装改修	内部改修	建具改修
給食室	○ 7/18~8/28	○ 7/18~8/28		

特記事項

※現場の作業については、施設利用者等の安全に留意すること。
※大型車両の出入り時は、必要に応じて誘導員等を配置し、歩行者等の安全確保に努めること。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※工事用作業ヤード及び搬入経路については、工事完了後に必要に応じて整地を行なうこと。
※工事期間中足場周囲は、第三者が足場を利用できないよう、全てガードフェンスにて安全対策を行うこと。
※工事期間に選挙が行われる場合、選挙当日は工事を行わず、選挙運営に協力すること。
※廻下との間仕切り等が8/28までに完了しない場合は必要に応じ仮設間仕切り(B種)を設けること。
※夏休み期間は仮設間仕切りを設けること。(A-08~A-13による)
※南側外壁改修については夏休み中の施工ですが、協議の上、受注者の責任において安全対策を行い、
学校運営に支障のない作業内容に限定すれば、1学期から施工可能となる場合があります。
※8/28に完了する工事範囲については課内確認のうえ、9/29から事前使用開始できるものとする。
※9/18に完了する工事範囲については課内確認のうえ、9/24から事前使用開始できるものとする。
※建物出入口部、学校関係者通路と干渉する足場についてはコンバネ等にて落下物養生、安全対策を行うこと。

I 工事概要

工事名称	県小学校南校舎長寿命化改修工事 (2期)
用 途	学校
地名地番	三重県四日市市赤水町 地内
都市計画区域	都市計画区域内 (市街化調整区域)
用途地域	指定なし
防火地域	22条地域
敷地面積	20,146.00 m ²
指定建ぺい率 / 指定容積率	60 % / 200 %
建ぺい率 / 容積率	18.09 % / 35.76 %
高さ制限	指定無し
道路	北側道路 幅員5.0m (法42条1項道路) 東側道路 幅員6.0m (法42条1項道路) 南側道路 幅員6.0m (法42条1項道路)
工事内容	建築改修工事 機械設備改修工事 電気設備改修工事



配 置 図 S:1/600



：改修範囲を示す

外部仕上表		
場所	南校舎	
屋根	改修前	平場:下地モルタル 改質アスファルトシート防水【※】(AS-I工法) 立上り:改質アスファルトシート防水【※】(AS-I工法)【撤去】
	改修後	平場:水洗いの上、改質アスファルトシート防水(AS-I工法) 断熱材t=35【新設】 立上り:ケレン清掃+ポリマーセメントベースト(防水) +改質アスファルトシート防水(AS-I工法)【新設】
笠木	改修前	塗膜防水(X-2工法)
	改修後	水洗い+ウレタン塗膜防水(X-2工法)
外壁・柱型	改修前	合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け、換気パイプ:φ50 防虫網付き OP
	改修後	水洗いの上、防水形外装薄塗材E(2色色分け程度)
巾木	改修前	モルタル金ゴテ押え
	改修後	水洗い

内部仕上表													
階	室名	床			巾木	壁			梁型	天井		廻り縁	備考
		下地	仕上	巾木		下地	仕上	下地		下地	仕上		
1階	特別支援教室①②	改修前	モルタルコテ押え	フローリングブロック貼t15 OSW【一部撤去】	木製 SOP h100	モルタル金ゴテ 木下地	AEP シナベニヤt5.5 SOP	桁行・梁間:モルタル金ゴテ AEP ①一部、梁間:バーライト吹付【※下地調整材】	LGS【既設のまま】	化粧石膏ボードt9.5 910×910 一部撤去(天井下地共)	木製 SOP	間仕切り【撤去(衿残し)】、教師用戸棚【撤去】、背面ロッカー【既設のまま(特支①)・撤去(特支②)】 掃除用具入【撤去】、セーフティハンガー【撤去】、回掛けフック【撤去】、スクリーン【撤去】 黒板【撤去】、白蝶黒板【撤去】、背面黒板【撤去】、スクリーン【撤去】 柱型掲示板【撤去(掲示クロス)】、テレビ台【撤去(特支①)】 観察合戸ゾー【既設のまま】、鍵掛け×2(φ25)【撤去】、プラケット横×2(PL-4.5)【撤去】	
		改修後	-	研磨の上、PU塗装 一部、フローリングブロックt15 ナラ 300角 (無塗装品)の上、PU塗装【新設】	SOP塗替え	-	既設モルタル部:EP-G塗替え 既設合板部:SOP塗替え	桁行・梁間:EP塗替え ①一部、梁間:LGS下地+石膏ボードt9.5+EP塗	-	EP塗替え 一部LGS下地+化粧石膏ボードt9.5+EP塗	SOP塗替え		
2階 3階	教室①~⑥	改修前	モルタル	フローリングブロック貼t15 OSW【一部撤去】	木製 t18×h100	モルタル金ゴテ 木下地	AEP シナ合板 t6 SOP	桁行・梁間:モルタル金ゴテ AEP	LGS【既設のまま】	化粧石膏ボードt9.5 910×910	木製 SOP	間仕切り【カバー工法】、教師用戸棚【新設】、背面ロッカー【新設(特支②)】 掃除用具入【撤去】、セーフティハンガー【新設】、黒板【撤去】、白蝶黒板【撤去】、背面黒板【撤去】 柱型掲示板 600×1200【新設(掲示入)】、日課ホワイトボード 1500×1200【新設】 柱型掲示板 600×1200【新設(掲示クロス)】 回掛けワイヤー【新設】、観察合戸棚【新設】	
		改修後	-	研磨の上、PU塗装 一部、フローリングブロックt15 ナラ 300角 (無塗装品)の上、PU塗装【新設】	SOP塗替え	-	既設モルタル部:EP-G塗替え 既設合板部:SOP塗替え	桁行・梁間:EP塗替え	-	EP塗替え	SOP塗替え		
児童用便所 (男女共)		改修前	モルタル	磁器質モザイクタイル25角【1階のみ撤去】 一部ビニル床タイル【※タイル・下地調整剤】【撤去】	-	モルタル	100角タイル	-	LGS【撤去(1・2階のみ)】	フレキシブルボード【※】t4.0 ラフトン吹付【撤去】	木製 SOP	間仕切り:耐水シナベニヤラッシュ OP【撤去】、面台:テラゾー【撤去】 トイレブース【撤去】	
		改修後	-	防汚防滑ビニル床シートt2.0【新設】	塩ビ製 h100	-	既設の上、化粧ケイカル板t6【新設】	-	LGS【新設(1・2階のみ)】	化粧石膏ボードt9.5 910×910【新設】	SOP塗替え 一部塗ビ廻縁【新設】		
廊下		改修前	モルタル	1階、2階:ビニル床タイル【撤去】 3階:ビニル床シート【撤去】	木製 OP h100	モルタル金ゴテ 木下地	AEP シナベニヤt6 OP	-	LGS【既設のまま】	化粧石膏ボードt9.5 910×455	木製 SOP	SUS製流し【撤去】、掲示板、救助袋(3階)【撤去】	
		改修後	-	ケレン清掃(ポリッシャー程度) ビニル床シートt2.0(2色色分け)【新設】	SOP塗替え	-	既設モルタル部:EP-G塗替え 既設合板部:SOP塗替え	-	EP塗替え	SOP塗替え			
共通	階段室(西)	改修前	モルタル	ビニル床タイル【※タイル・下地調整剤】【撤去】	モルタル金ゴテ AEP 一部、テラゾーブロックh100	モルタル金ゴテ	AEP	モルタル金ゴテ AEP	-	1F・2F(西):バーライト吹付 3F:有孔石膏ボードt9 1820×910 EP	木製 SOP	手摺子:SOP塗替え、手摺笠木、シオジ集成材120×60 CL、繋ぎ:SOP塗替え アルミ製二段手摺【既設のまま】 SUS製ノスリック合成ゴム入【撤去】、ボーダー一人研 w130【既設のまま】 掲示板【撤去(掲示クロス)】	
		改修後	-	ポリマーセメントベースト+ ビニル床シートt2.0(2色色分け)【新設】	EP-G塗替え	-	EP-G塗替え	EP塗替え	-	EP塗替え	SOP塗替え		
階段下物置 【既設のまま】		改修前	-	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ h100	-	コンクリート打放し	コンクリート打放し	-	コンクリート打放し	-	鋼製戸	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鋼製戸:SOP塗替え	
1階備品庫 【既設のまま】		改修前	-	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ h100	-	合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	-	合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	-	ネットフェン【改修】	
		-	-	-	-	-	水洗いの上、防水形外装薄塗材E(2色色分け程度)	水洗いの上、防水形外装薄塗材E(2色色分け程度)	-	水洗いの上、NAD塗替え	-	ネットフェン:ネット張替、鉄部DP塗替え	

カーテン・プラインドリスト

階	室名	種別		建具・サイズ				下端家具	カーテン	暗幕	備考
		日除けカーテン	プラインド	暗幕	符号	数量	W	H	形式	形式	
1階	特別支援教室①②	○		○※	AWD-A-1	1	3,780	1,900	有	引分け	片引き
		○		○※	AWD-A-2	1	3,780	1,900	有	引分け	片引き
2階	教室①~③	○		○※	AW-A-4	6	3,780	1,900	有	引分け	片引き
3階	教室④~⑥	○		○※	AW-A-4	6	3,780	1,900	有	引分け	片引き
特記事項											
・日除けカーテンは下記同等品とする。											
・カーテンレール、カーテン、プラインドは特記なき限り、更新とする。											
・カーテンボックス、プラインドボックスは特記なき限り、既設下地調整の上、SOP塗替えとする。											
・カーテンレールは特記なき限り、シングルとする。											
・カーテン、カーテンレールは引分けの場合、重ねなし(中央マグネット式)とする。											
・暗幕、暗幕レールは引分けの場合、重ね長さ300mm確保すること。											
・仕立て時は現地にて寸法実測のこと。											
・ひだは日除けカーテン、暗幕各1.5倍片ひだとする。											
・下端家具「無」の場合は、額縁下より200mm程度下げるこ											
・タッセルバンドを本体縫い付けする場合は、ひだ掛けは不要とする。											
※暗幕は、教室前半分とする。											

※ フローリング塗替え仕様については下記に示す仕様とする。

1. 塗料:湿気硬化型樹脂樹脂塗料 下記同等品以上

- ・和信化学(株) ウシコムフロア(WT)
- ・三精塗料工業(株) セーフティーガード フロア-
- ・玄々化学工業(株) ユートンピュタライフ

2. 素地調整

※研磨機はドムサンダ-機(室内中央部)、テイスクサンダ-機(壁際)を用いる。
機械の当たらない隅等は手作業とする。

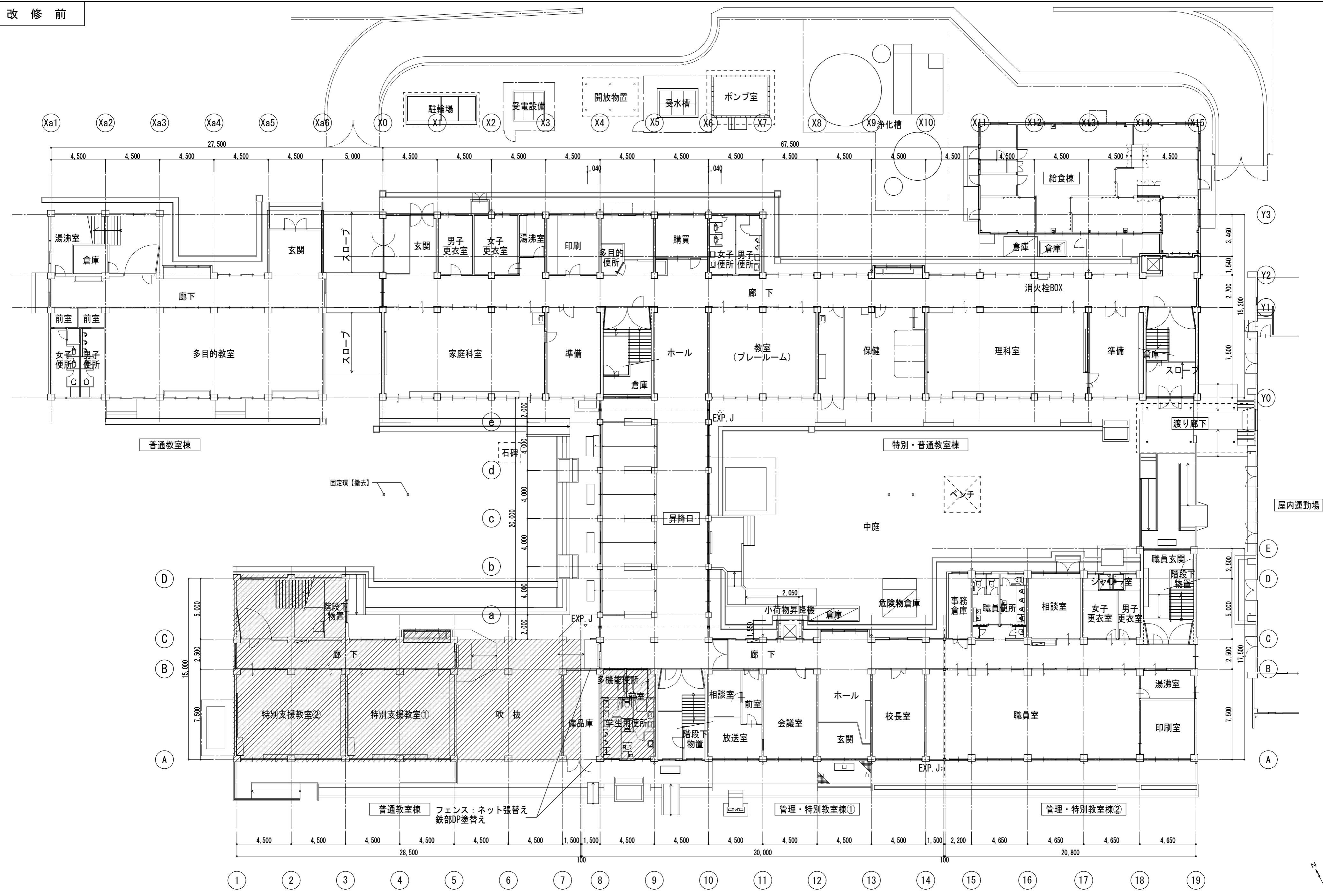
1) 荒掛け サンデイングペーパー-は#30~40を標準とし、木栓の突起、目違い及び汚れを取り除く。

2) 中掛け サンデイングペーパー-は#60~80を標準とし、荒掛けサンダ-目払いを行う。

3) 仕上げ サンデイングペーパー-は#100~120を標準とし、サンダ-目を完全に払い、塗装仕上げの素地を作る。

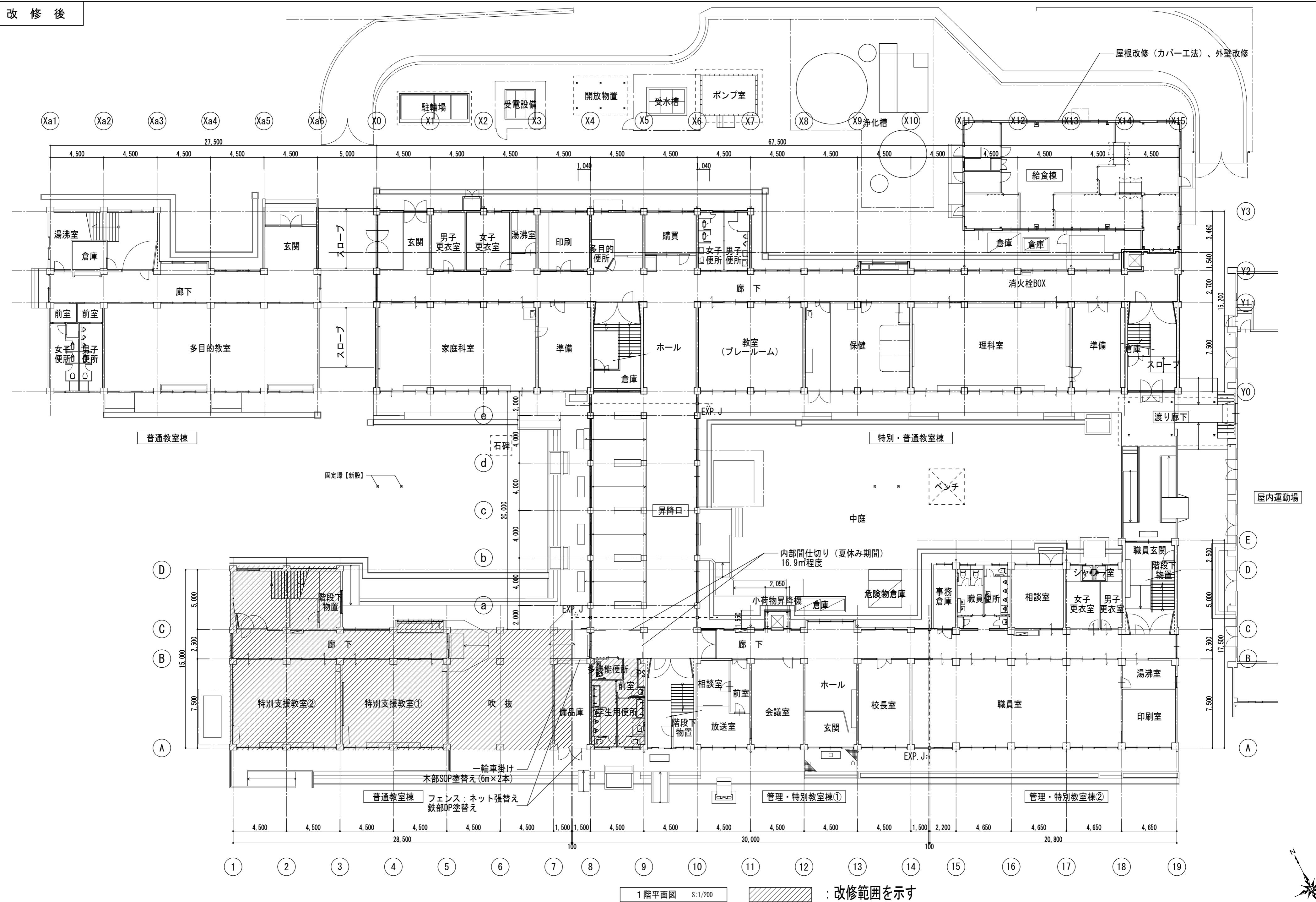
</div

改修前

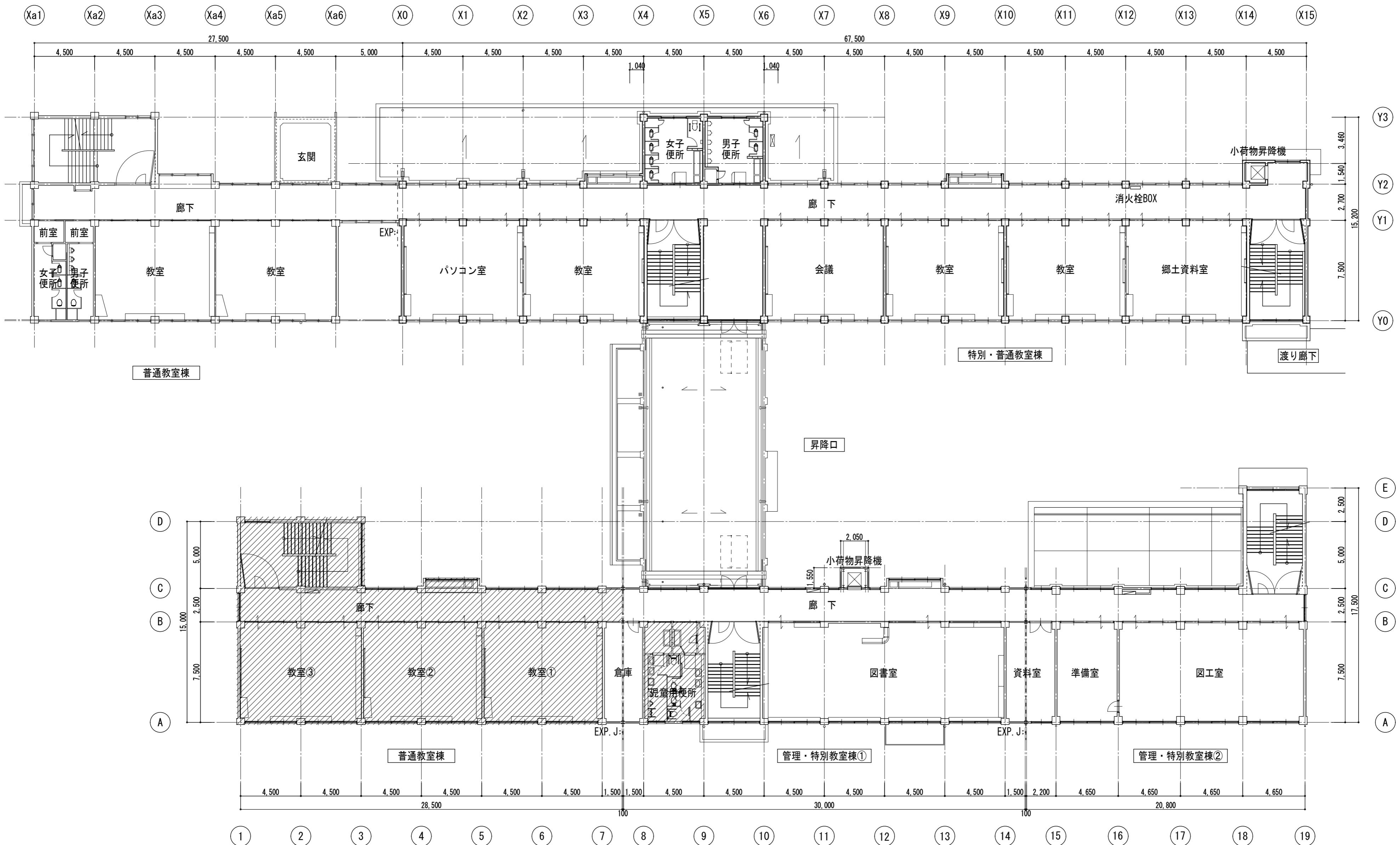


備考	（株）田端隆建築設計	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称	図面名称	A-08
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也	一級建築士 No.352551 田端道也	一級建築士 No.323203 田端道也	A2:1/200 1/280	県小学校南校舎長寿命化改修工事 (2期工事)	1階平面図 (改修前)	原図: A2

改修後



改修前



(株)田端隆建築設計

備考

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計代表者
一級建築士
No.352551
田端道也

設計担当者
一級建築士
No.322023
構造工事
No.8984
片山義智

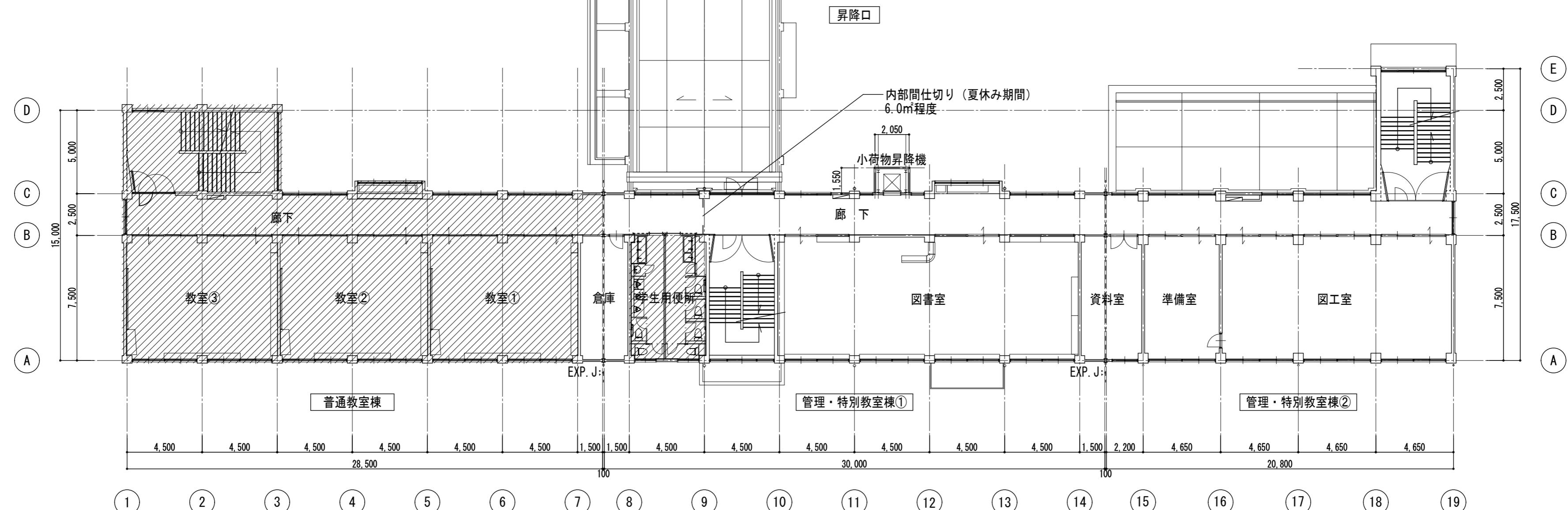
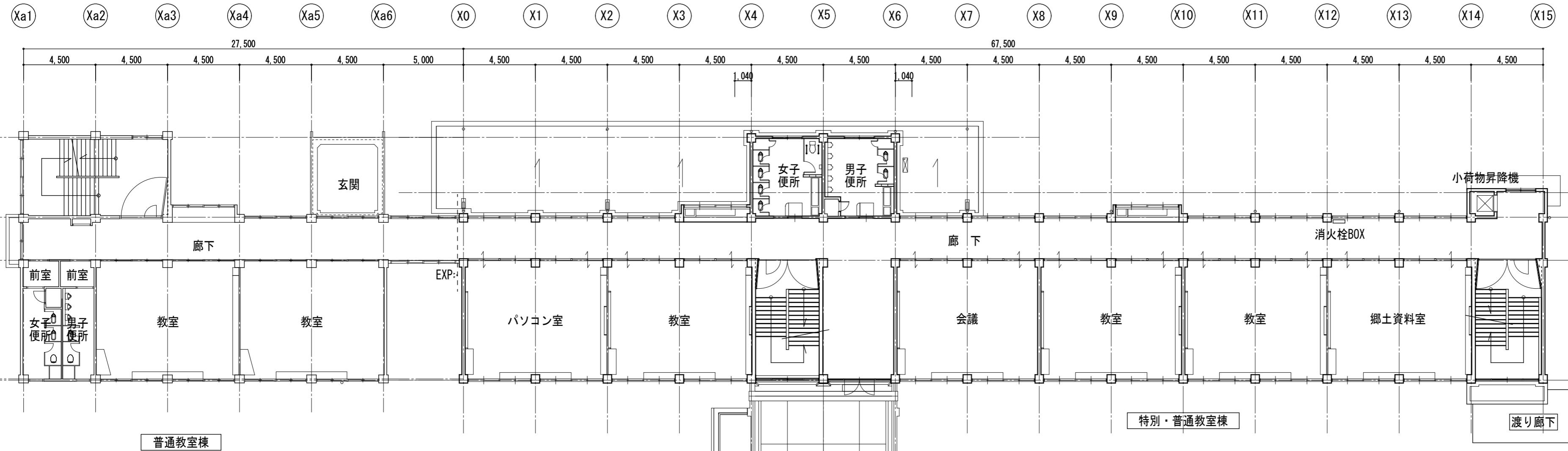
SCALE
A2 : 1/200
A2 : 1/280
DATE
R 6 7

工事名称 県小学校南校舎長寿命化改修工事 (2期工事)

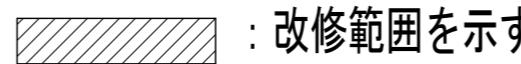
図面名称 2階平面図 (改修前)

A-10
原図: A2

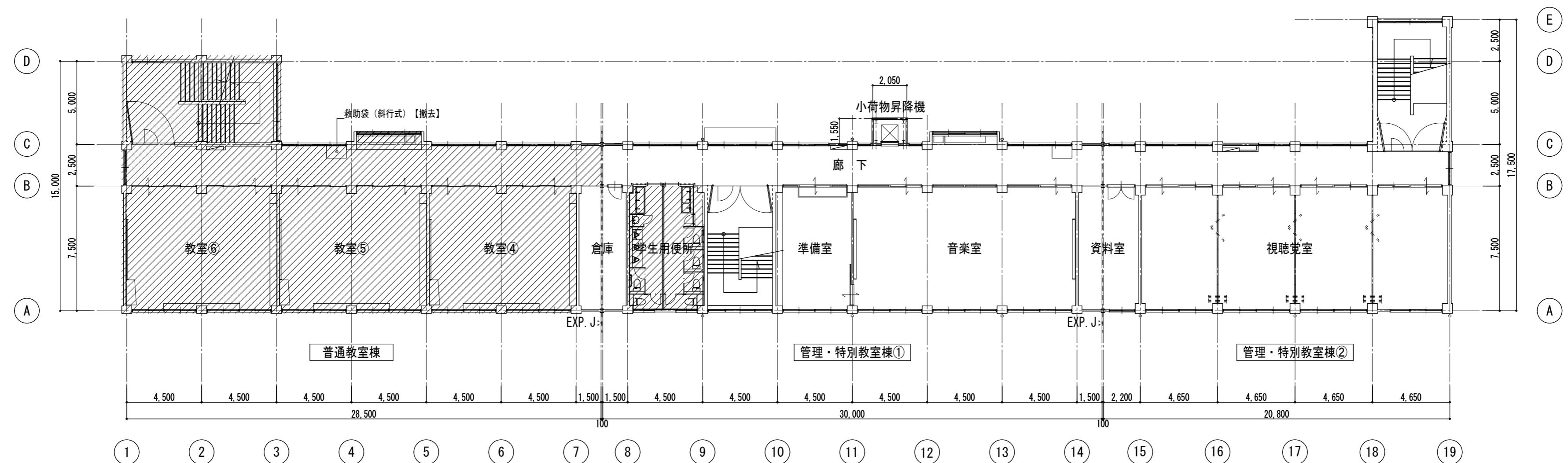
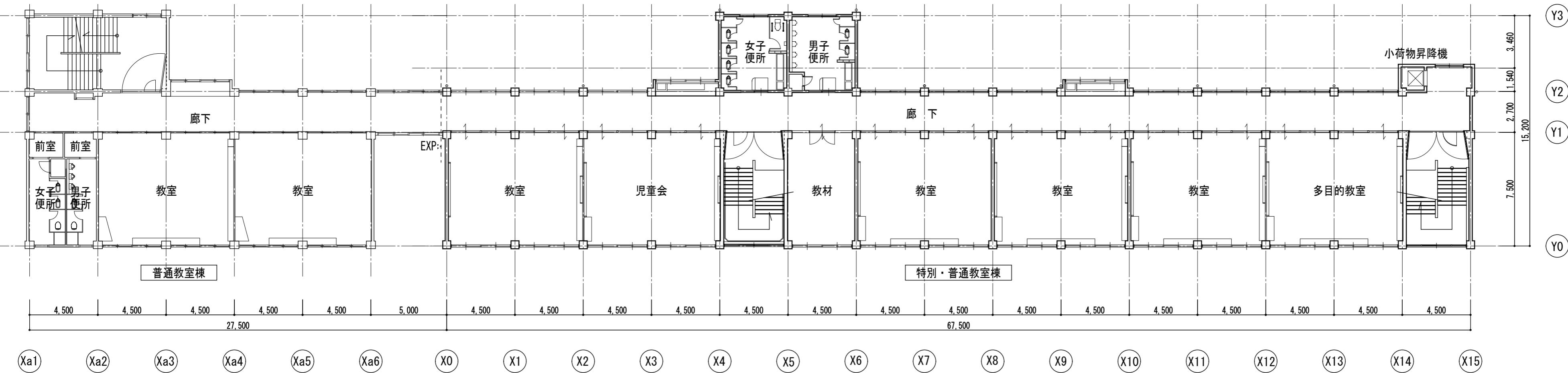
改修後



2階平面図 S:1/200

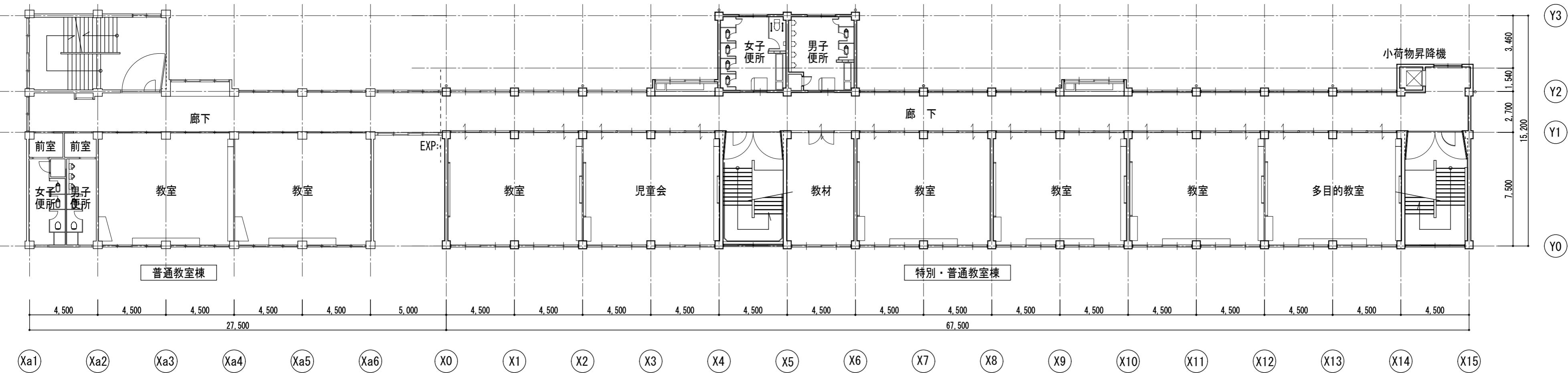


改修前

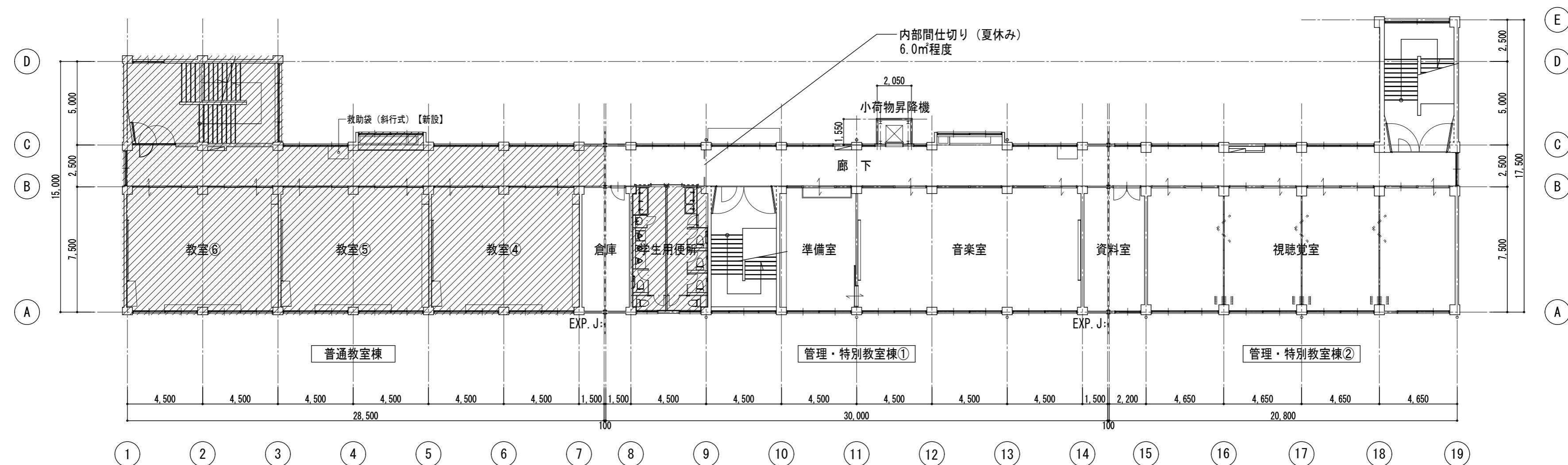


3階平面図 S:1/2

：改修範囲を示す

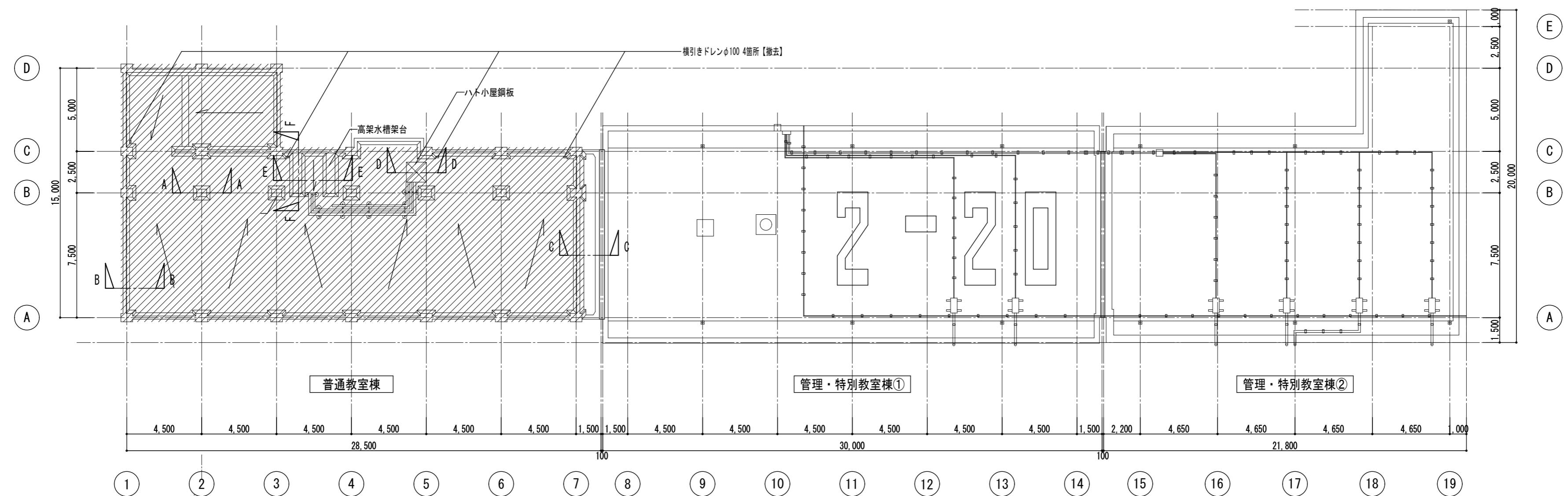


(Xa1) (Xa2) (Xa3) (Xa4) (Xa5) (Xa6) (X0) (X1) (X2) (X3) (X4) (X5) (X6) (X7) (X8) (X9) (X10) (X11) (X12) (X13) (X14) (X15)



3階平面図 S:1/200

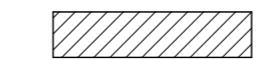
:改修範囲を示す

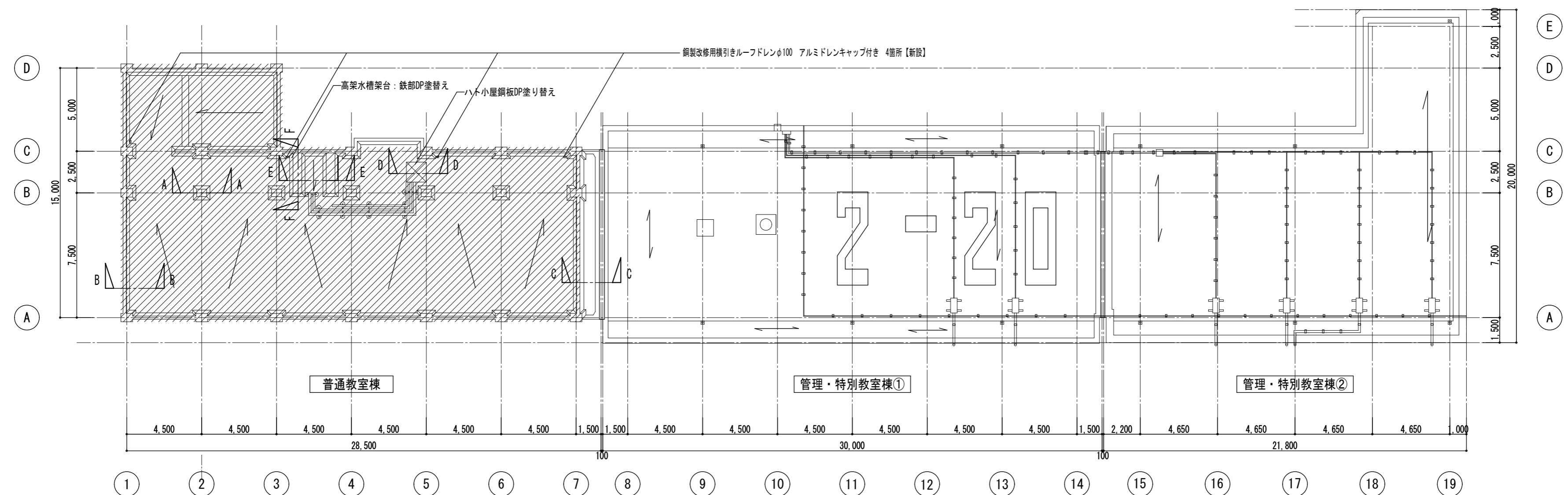


改修前	
平場 立上り	改質アスファルトシート防水【※】(AS-1工法) (立上り及びドレン周り)【撤去】 端末押え金物・シーリング【撤去】 横引きドレンφ100 4箇所【撤去】
笠木	塗膜防水 (X-2工法)

【※】アスベスト含有

R階平面図 S:1/200

 : 改修範囲を示す



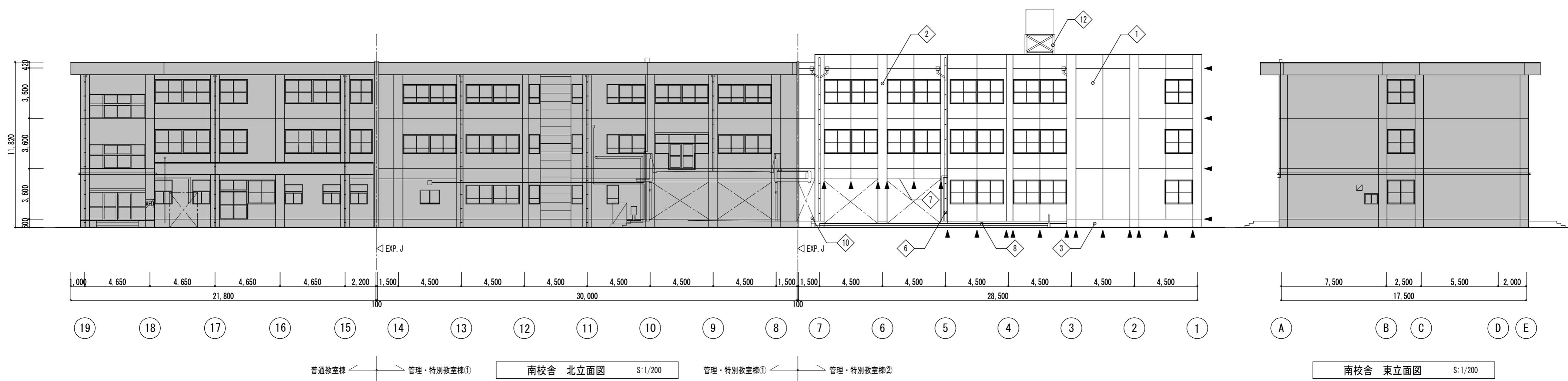
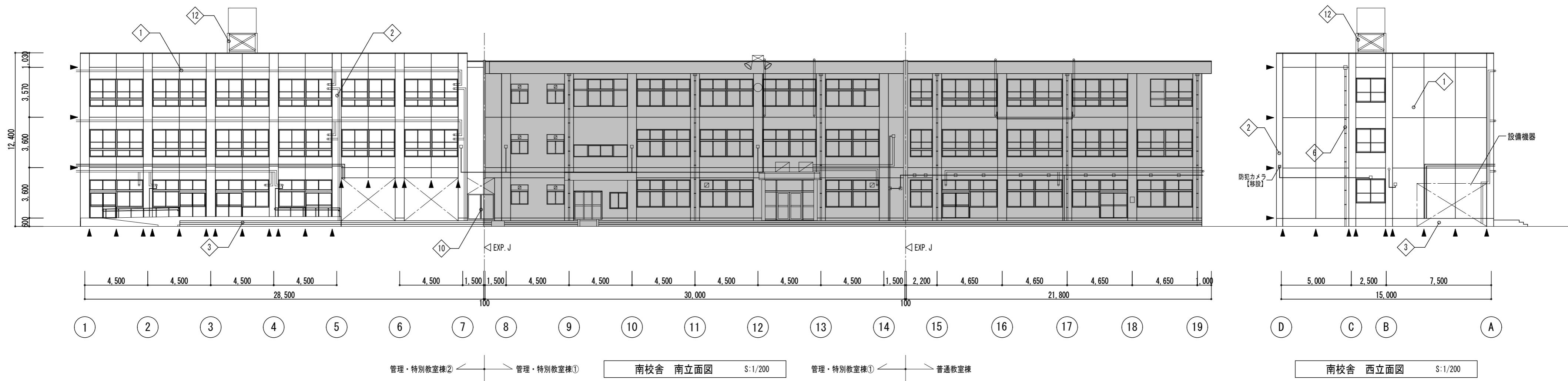
	改修後
平場	水洗い改修アスファルトシート防水 (AS-T1工法) 断熱材t35【新設】 鋼製改修用横引きルーフドレンφ100 アルミドレンキャップ付き 4箇所【新設】 脱気筒5箇所【新設】位置は現場指示とする
立上り	ケレン清掃+ポリマーセメントベースト(防藻水)+改修アスファルトシート防水 (AS-T1工法) 【新設】 端部押え金物(アルミ製)+ゴムアス系シーリング W10
笠木	水洗い+ウレタン塗膜防水 (X-2工法)

R階平面図 S:1/200

: 改修範囲を示す

- 特記事項
- 防水改修該当範囲は施工前に水洗いを行うこと(ケレン清掃部は除く)
 - 設備機器等の外壁貫通部は周囲シーリング処理を行うこと(MS-2 W10)
 - 防水改修範囲内にある配管・配線が防水施工に支障をきたす場合はジャッキアップ等養生を行うこと。
 - 立上り側面取付配管、配管支持金物、ハーネス等については取外し・復旧すること。
 - 新設するドレンキャップについてはSUSワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、落下防止策を講じること。
 - 防水撤去部のリーメンバー・ト平滑処理については仮防水を含むものとし各ノホの仕様による。

改修前



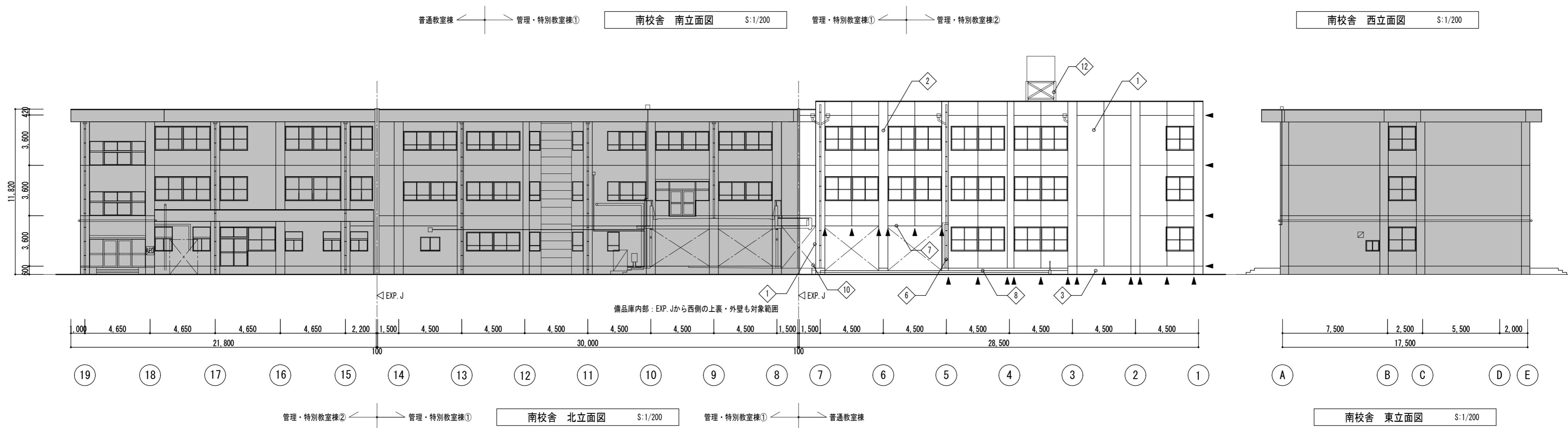
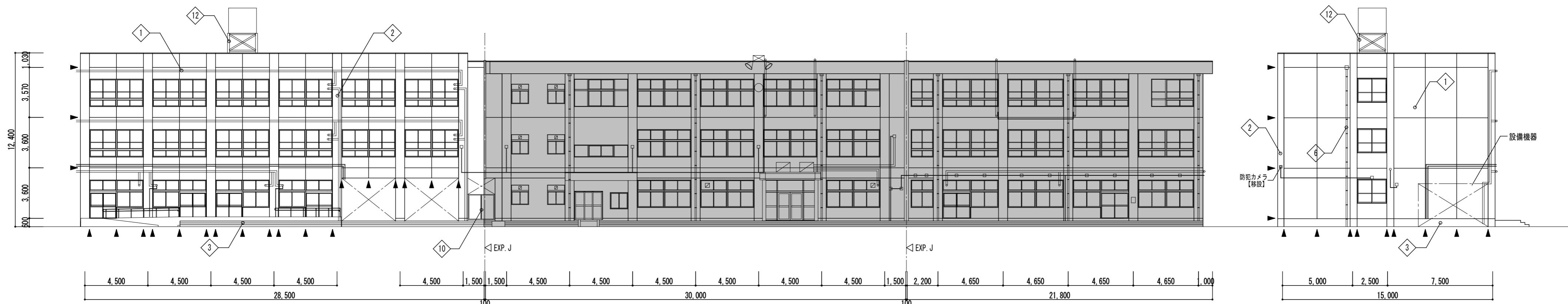
①	南校舎 外壁：合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑧	南校舎 犬走り：モルタル金ゴテ
②	南校舎 柱型：合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑨	鉄骨庇：カラー鋼板
③	南校舎 巾木：モルタル金ゴテ押え	⑩	ネットフェンス 門扉 南北面共【ネット撤去】
④	南校舎 底見付け：合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑪	小荷物昇降機 外壁：外壁リシン吹き付け
⑤	南校舎 軒裏：合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑫	高架水槽・鉄骨架台
⑥	南校舎 壁襻：硬質ビニル管φ100 OP【撤去】、樋み金物：亜鉛メッキ OP【撤去】、飾板：φ240 OP【撤去】	⑬	SUS製手摺100×50 手摺子：40角@1000【既設のまま】
⑦	南校舎 外吹抜け天井：合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑭	化粧目地、打継目地、建具周囲シーリング【撤去】

外壁劣化部改修内容	劣化内容	改修内容
	クラック (幅0.2~1.0mm)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
	モルタル浮き (幅1.0mm以上)	Uカットシール材充填工法
	モルタル浮き	アンカービンディング部分エポキシ樹脂注入工法
	モルタル欠損	エポキシ樹脂モルタル充填工法
その他	・外壁面に付属する配管及び、設備BOX φ20以下→外壁同様塗装 φ20以上→樹脂製：清掃の上、DP塗（下地調整なし） 鉄製：DP塗（亜鉛メッキ程度） 設備BOX・換気フード→SUS製、アルミ製：水洗い 樹脂製：清掃の上、DP塗（下地調整なし）	
	・外壁を貫通する設備配管・設備機器周囲は全てシーリング打替え アルミ配管養生、防犯カメラ移設（設備工事）	

▼ : シーリング
w25

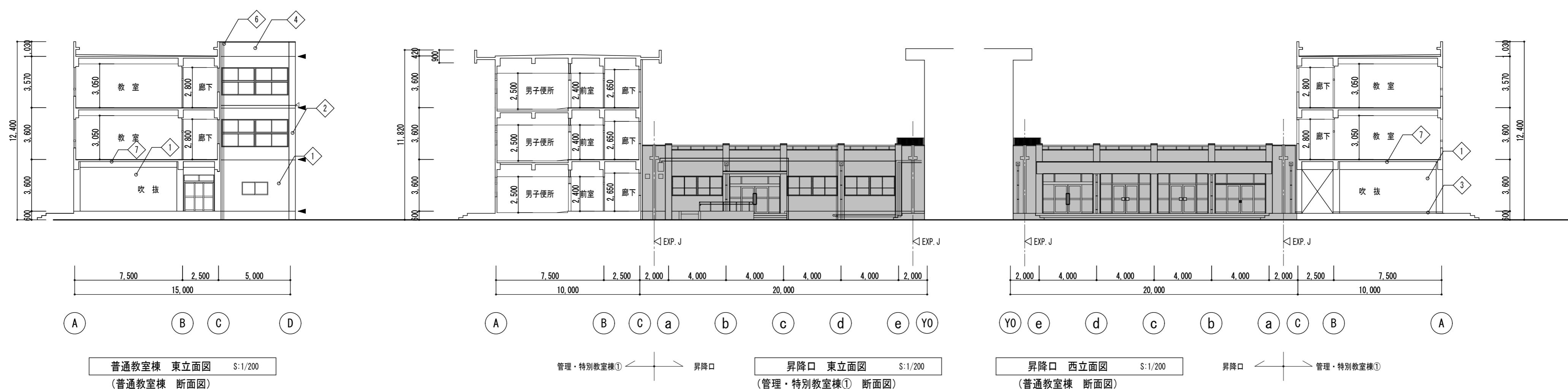
: 改修対象外を示す

改修後



①	南校舎 外壁: 合板型枠コンクリート打放し水洗いの上、防水形外装薄塗材E (2色色分け程度)	⑧	南校舎 犬走り: モルタル金ゴテ 【既設のまま】
②	南校舎 柱型: 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、防水形外装薄塗材E (2色色分け程度)	⑨	鉄骨底: カラー鋼板【DP塗替え】
③	南校舎 巾木: モルタル金ゴテ押え 【水洗い】	⑩	ネットフェンス 門扉 南北面共【鉄部DP塗替え ネット交換】
④	南校舎 底見付け: 合板型枠コンクリート打放し-水洗いの上、防水形外装薄塗材E	⑪	小荷物昇降機 外壁: 外壁材 水洗いの上、防水形外装薄塗材E
⑤	南校舎 軒裏: 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、NAD塗替え	⑫	高架水槽・鉄骨架台: DP塗替え
⑥	南校舎 堅縫: カラー硬質ビニルVP管φ100【新設】、樋み金物: SUS製【新設】、飾材: 塩ビ製【新設】	⑬	SUS製手摺φ100×50 手摺子: 40角@1000【既設のまま】
⑦	南校舎 吹抜け天井: 合板型枠コンクリート打放し水洗いの上、NAD塗替え	⑭	化粧目地、打継目地、建具周囲シーリング【新設】

▼ シーリング
w25(PU-2)【新設】
: 改修対象外を示す



①	南校舎 外壁:合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑧	南校舎 犬走り:モルタル金ゴテ 目地切 ノンスリップタイル貼
②	南校舎 柱型:合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑨	鉄骨庇:カラーリング
③	南校舎 巾木:モルタル金ゴテ押え	⑩	ネットフェンス 門扉
④	南校舎 床見付け:合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑪	小荷物昇降機 外壁:外壁リシン吹き付け
⑤	南校舎 軒裏:合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑫	高架水槽・鉄骨架台
⑥	南校舎 竪棊:硬質ビニル管φ100 OP【撤去】、掘み金物:亜鉛メッキ OP【撤去】、飾樹:φ240 OP【撤去】	⑬	SUS製手摺100×50 手摺子:40角@1000【既設のまま】
⑦	南校舎 外吹抜け天井:合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け	⑭	化粧目地、打継目地、建具周囲シーリング【撤去】

外壁劣化部改修内容	劣化内容	改修内容
	クラック (幅0.2~1.0mm)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
	モルタル浮き (幅1.0mm以上)	Uカットシール材充填工法
	モルタル浮き	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
	モルタル欠損	エポキシ樹脂モルタル充填工法

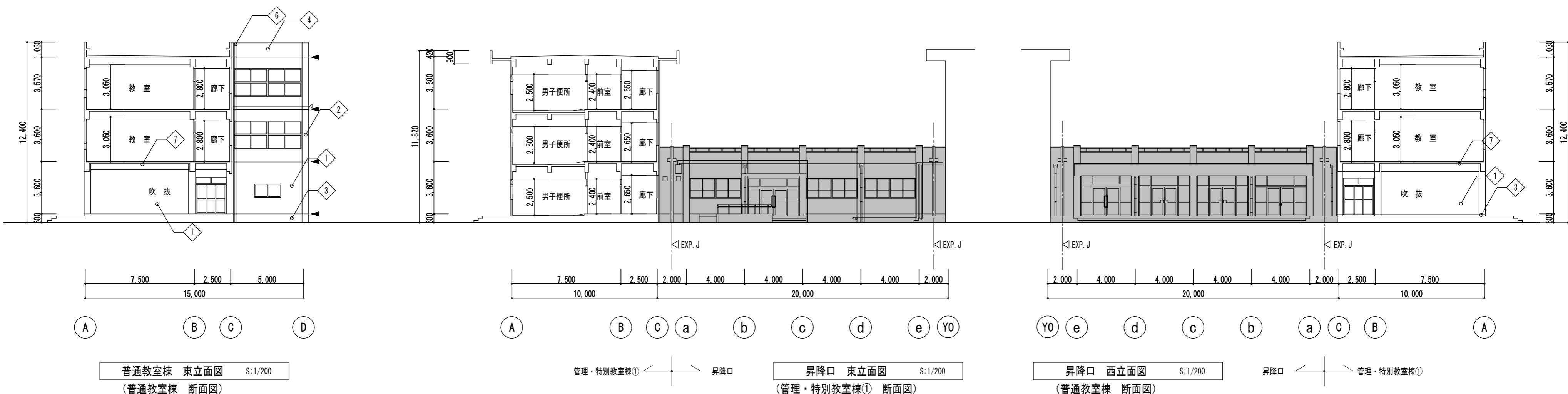
その他

- 外壁面に付属する配管及び、設備BOX φ20以下→外壁同様塗装
φ20以上→樹脂製:清掃の上、DP塗(下地調整なし)
鉄製:DP塗(亜鉛メッキ程度)
設備BOX・換気フード→SUS製、アルミ製:水洗い
樹脂製:清掃の上、DP塗(下地調整なし)
- 外壁を貫通する設備配管・設備機器周囲は全てシーリング打替え
アルミ配管、監視カメラ→足場の外に一時移設・復旧(設備工事)

▼:シーリング

w25【撤去】

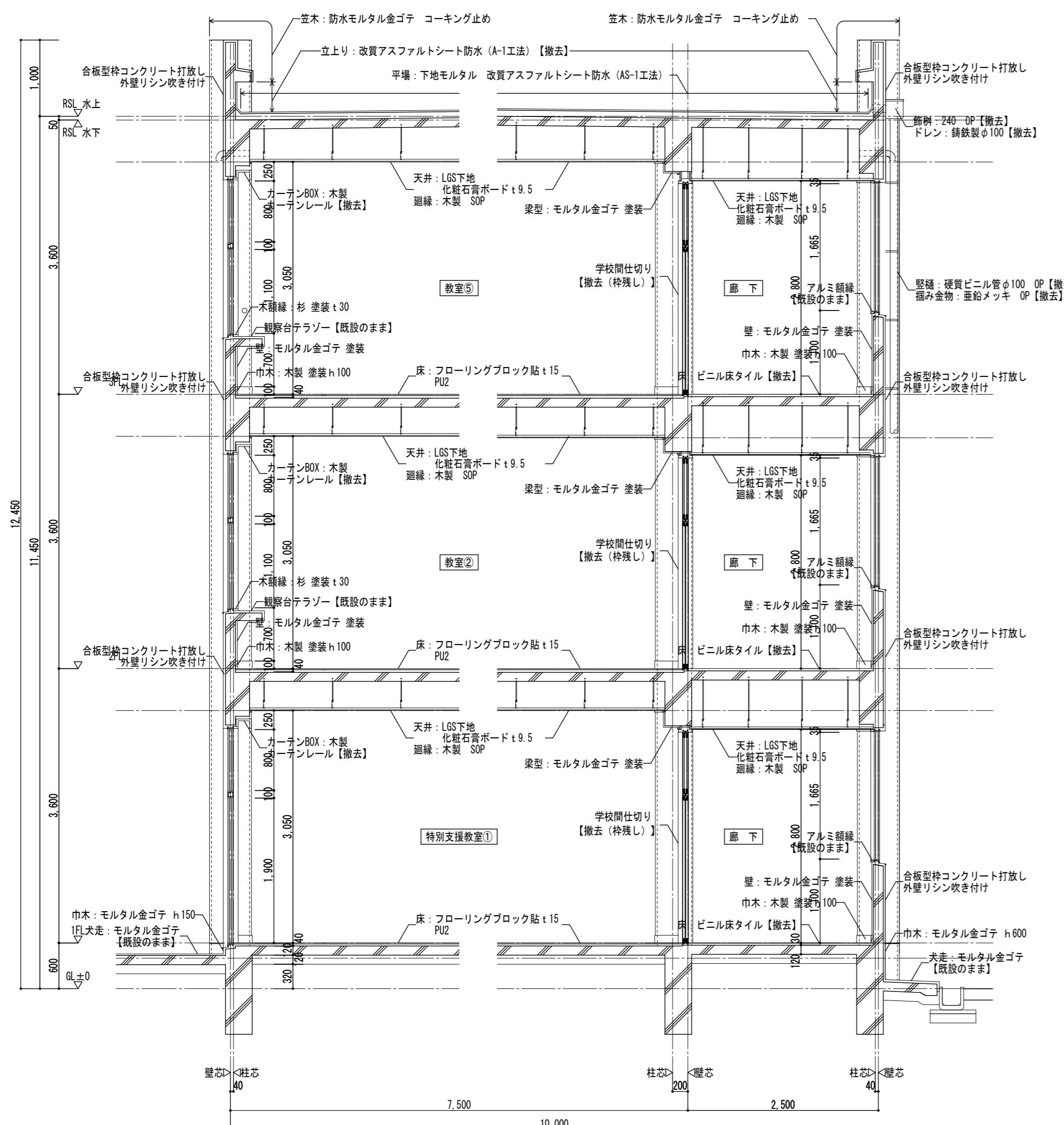
:改修対象外を示す



①	南校舎 外壁:合板型枠コンクリート打放し水洗いの上、防水型外装薄塗材E (2色色分け程度)	⑧	南校舎 犬走り:モルタル金ゴテ 目地切ノンスリップタイル貼【水洗い】
②	南校舎 柱型:合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、防水型外装薄塗材E (2色色分け程度)	⑨	鉄骨庇:カラー鋼板【DP塗替え】
③	南校舎 巾木:モルタル金ゴテ押え【水洗い】	⑩	ネットフェンス 門扉【既設のまま】
④	南校舎 底見付け:合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、防水型外装薄塗材E	⑪	小荷物昇降機 外壁:外壁材 水洗いの上、防水型複層塗材E
⑤	南校舎 軒裏:合板型枠コンクリート打放し 水洗いの土、NAD塗替え	⑫	高架水槽・鉄骨架台:DP塗替え
⑥	南校舎 壁襻:カラーVPφ100【新設】、掘み金物:SUS製【新設】、飾板:塩ビ製【新設】	⑬	SUS製手摺100×50 手摺子:40角@1000【既設のまま】
⑦	南校舎 吹抜け天井:合板型枠コンクリート打放し水洗いの上、NAD塗替え	⑭	化粧目地、打継目地、建具周囲シーリング【新設】

▼ シーリング
w25(PU-2)【新設】
:改修対象外を示す

普通教室棟（改修前）



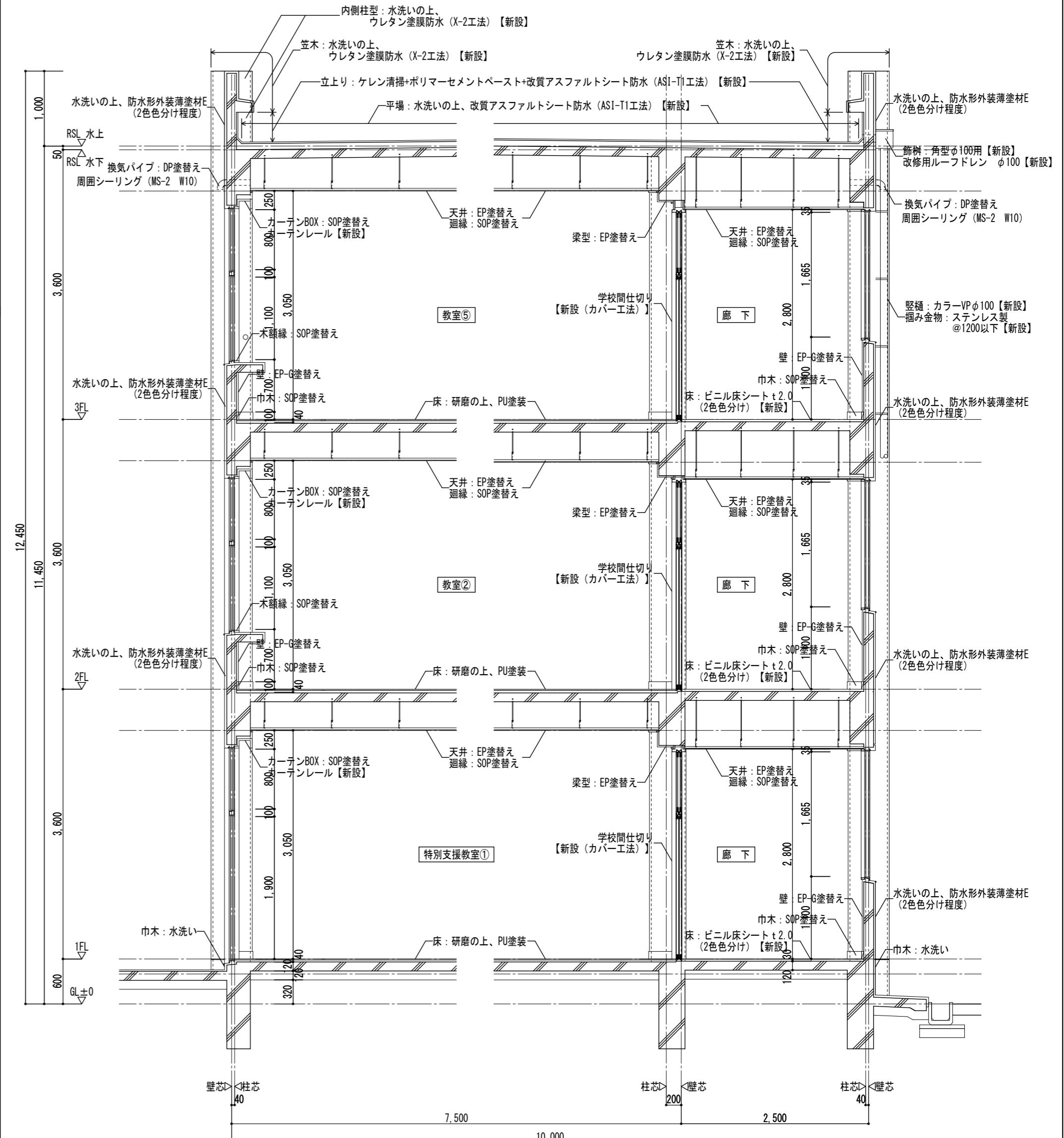
断面詳細図 S:1/50

A

B

C

普通教室棟（改修後）



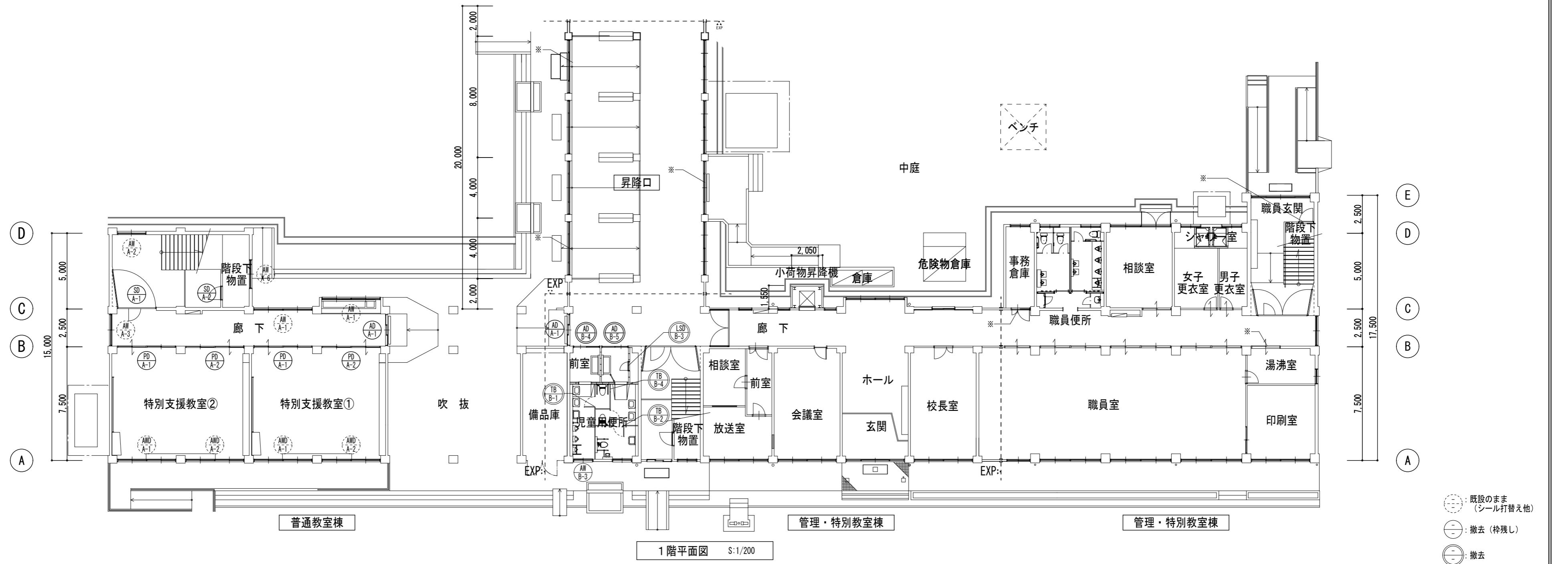
断面詳細図 S:1/50

(

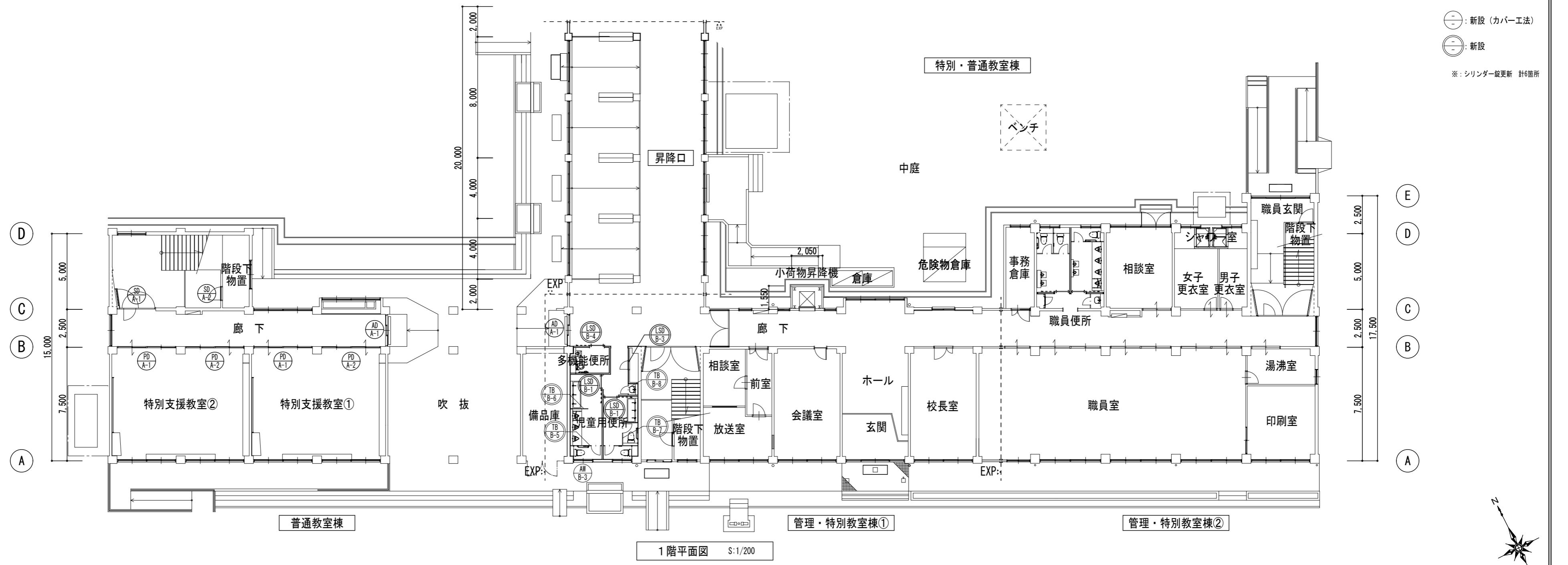
1

C

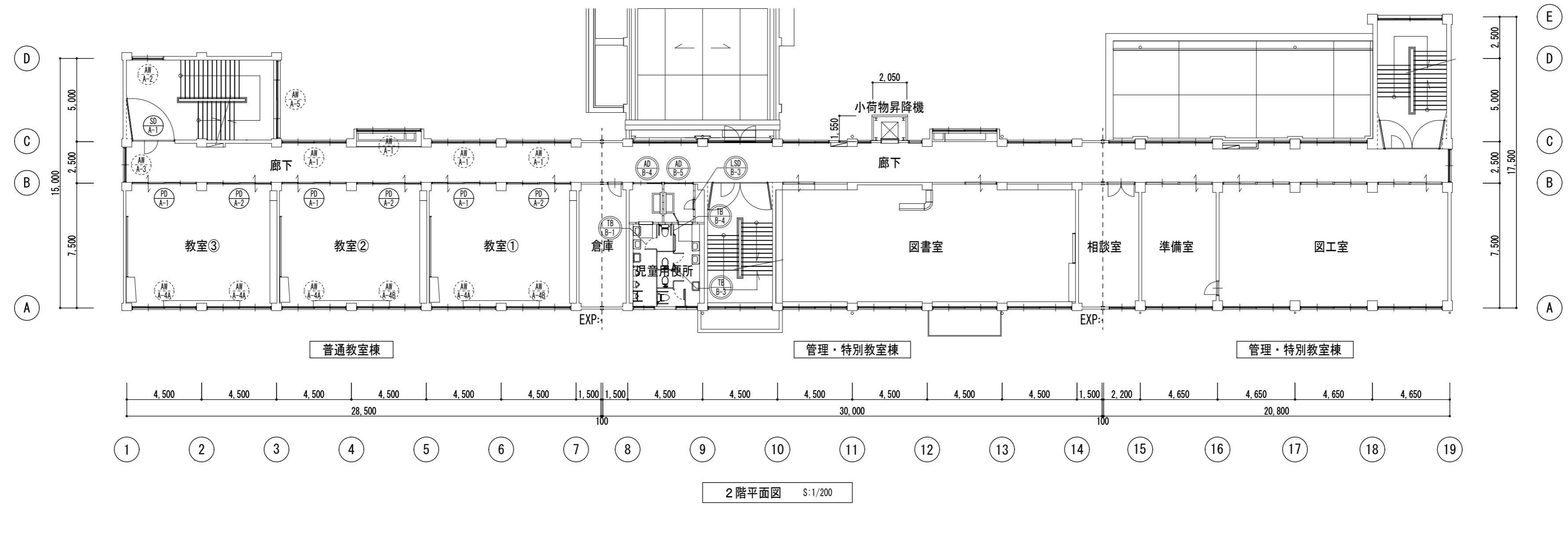
改修前



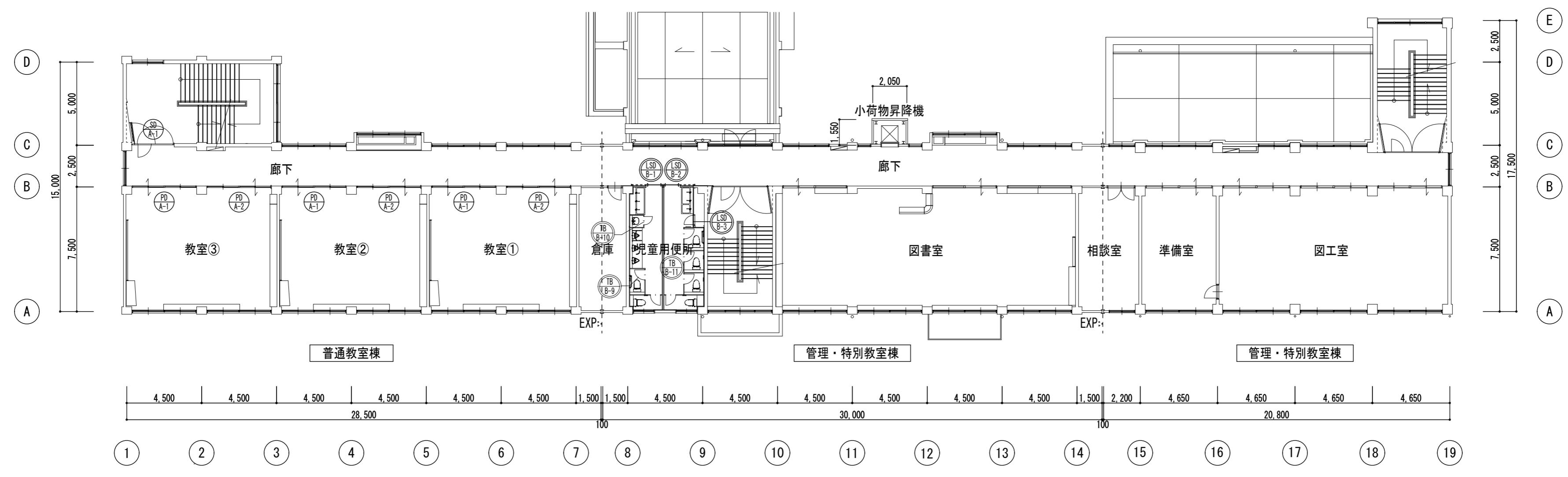
改修後



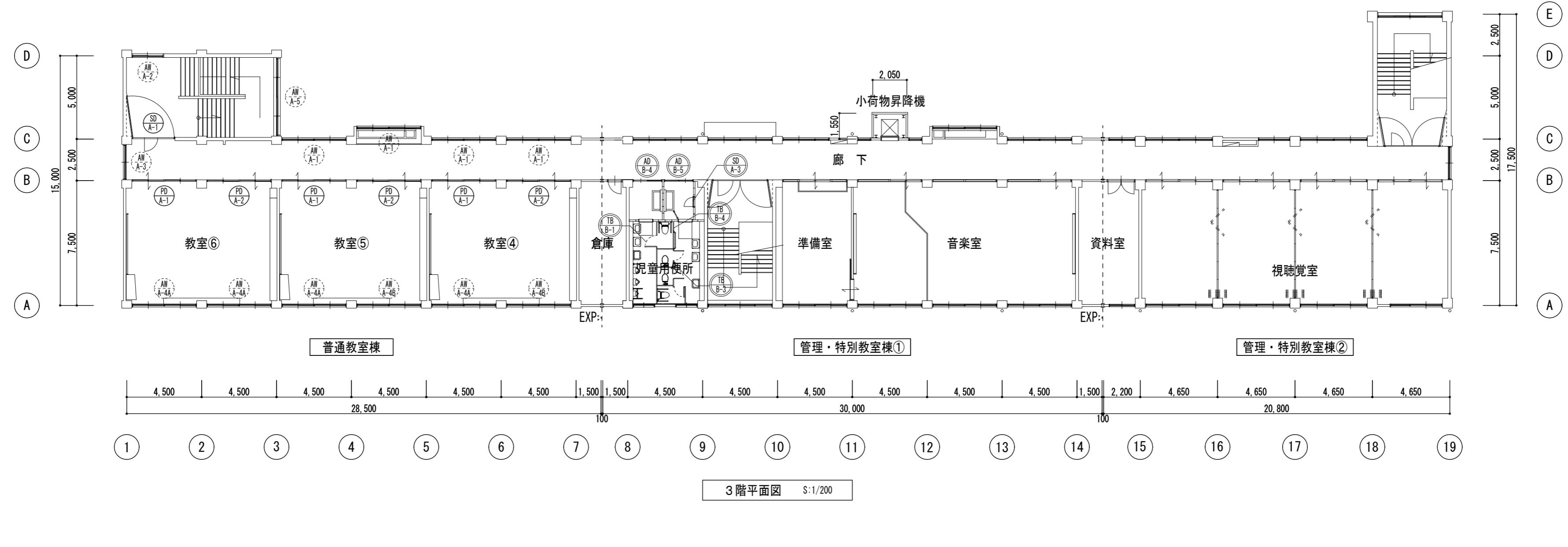
改修前



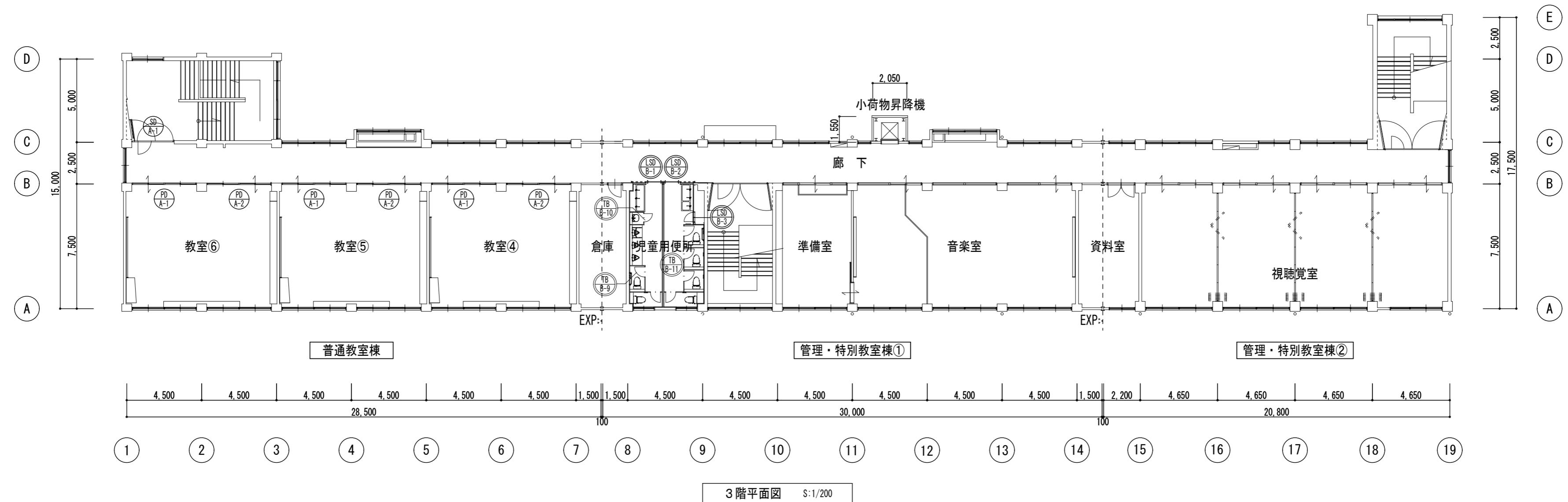
改修後



改修前



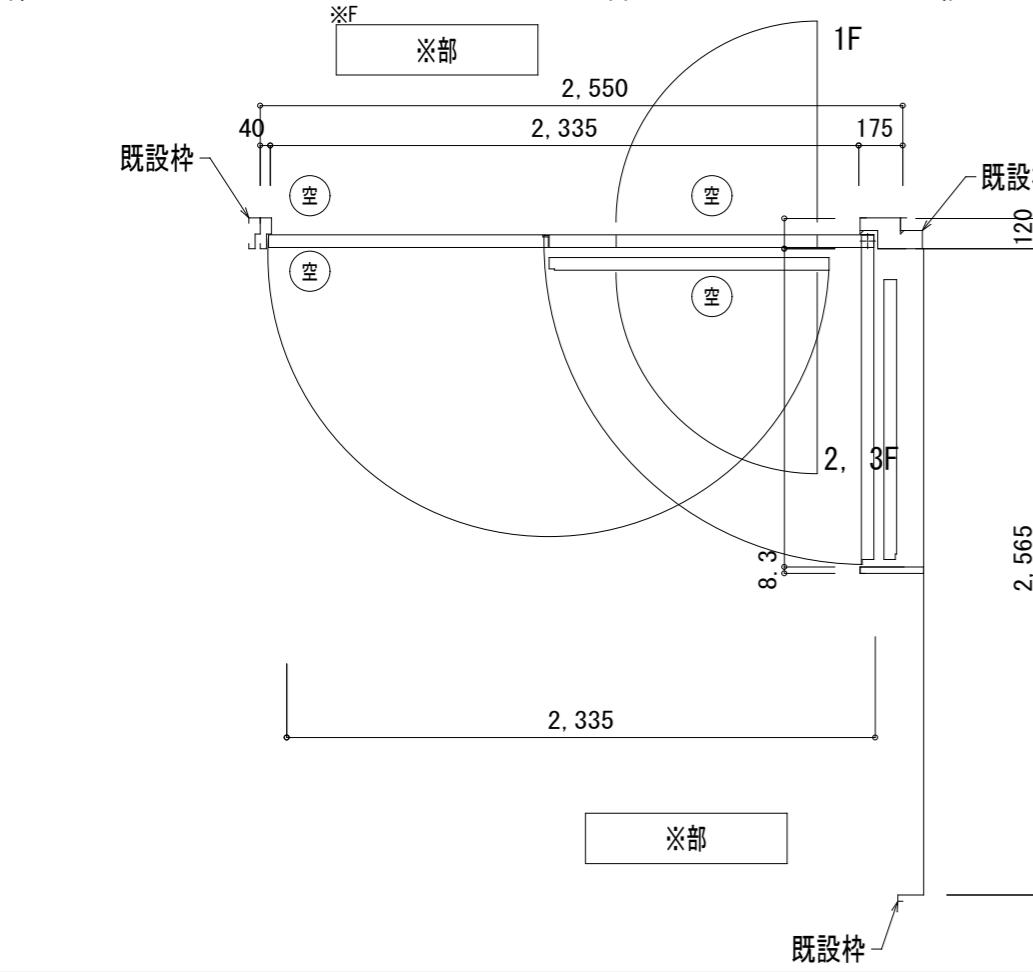
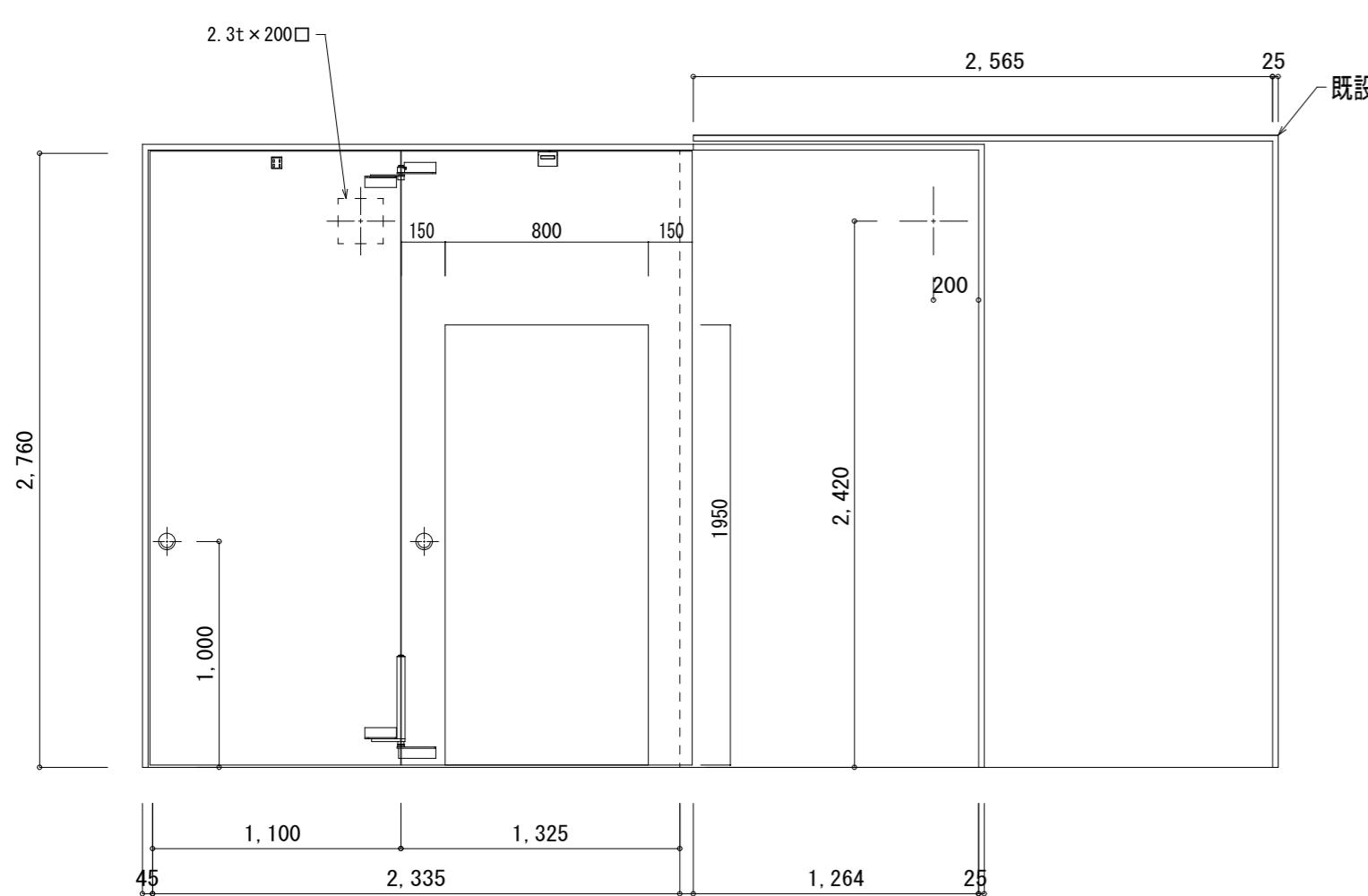
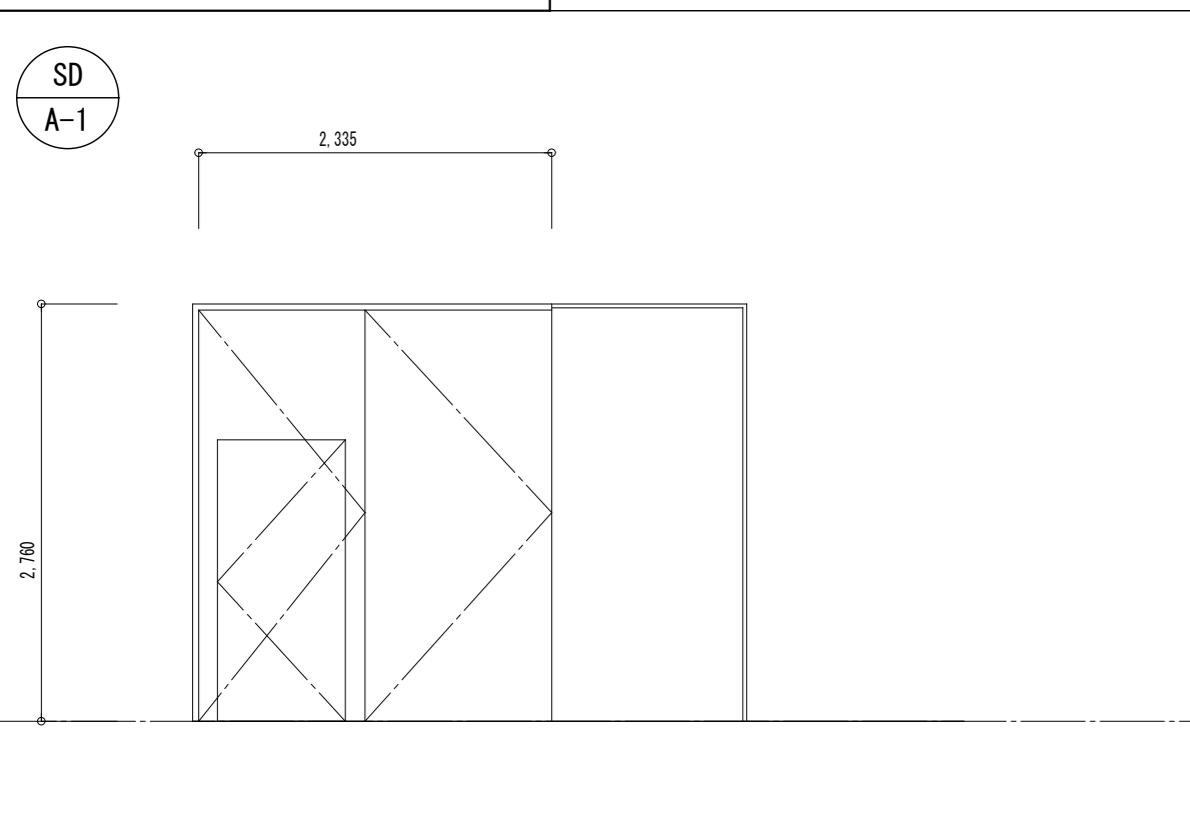
改修後



This figure is a detailed architectural drawing of a building's interior and exterior sections. It includes:

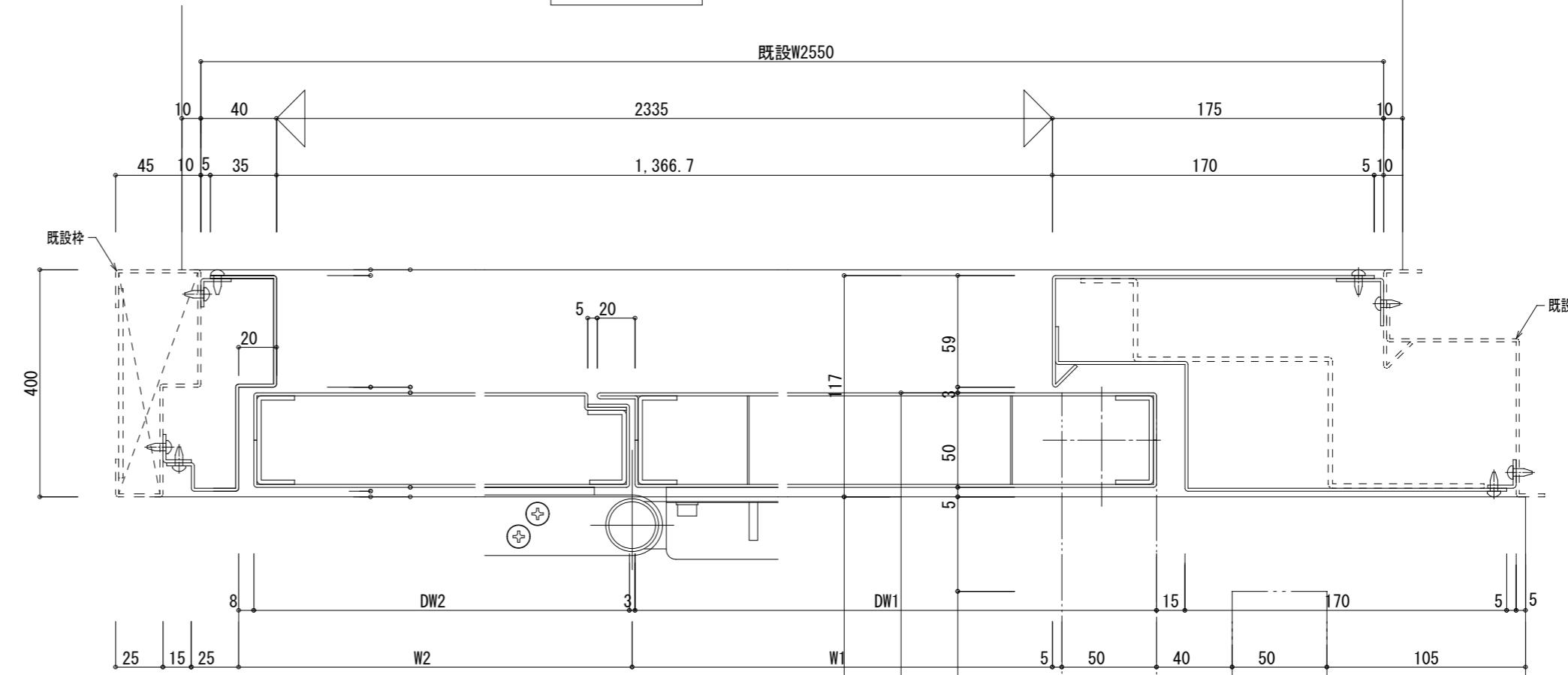
- Sections A-B-1 through A-B-11:** Detailed floor plans and elevation drawings for various rooms, including dimensions for walls, doors, and windows.
- Tables for Material and Fixture Specifications:**
 - Form A:** Shows fixture types (Toilet Seats, Washbasins, etc.) and their locations.
 - Form B:** Shows material types (Laminated Panel, Wood, etc.) and their locations.
 - Form C:** Shows fixture types and their locations.
- Notes:** Includes instructions for door opening methods and specific fixture installation details.
- Legend:** A legend at the bottom left identifies symbols for door opening methods (e.g., '内開き' for inward opening).
- Project Information:** A legend at the bottom right provides project details: '工事名稱 県小学校南校舎長寿化改修工事 (2期工事)', '図面名稱 建具表②', and '原図: A2'.

防火戸折り戸参考図

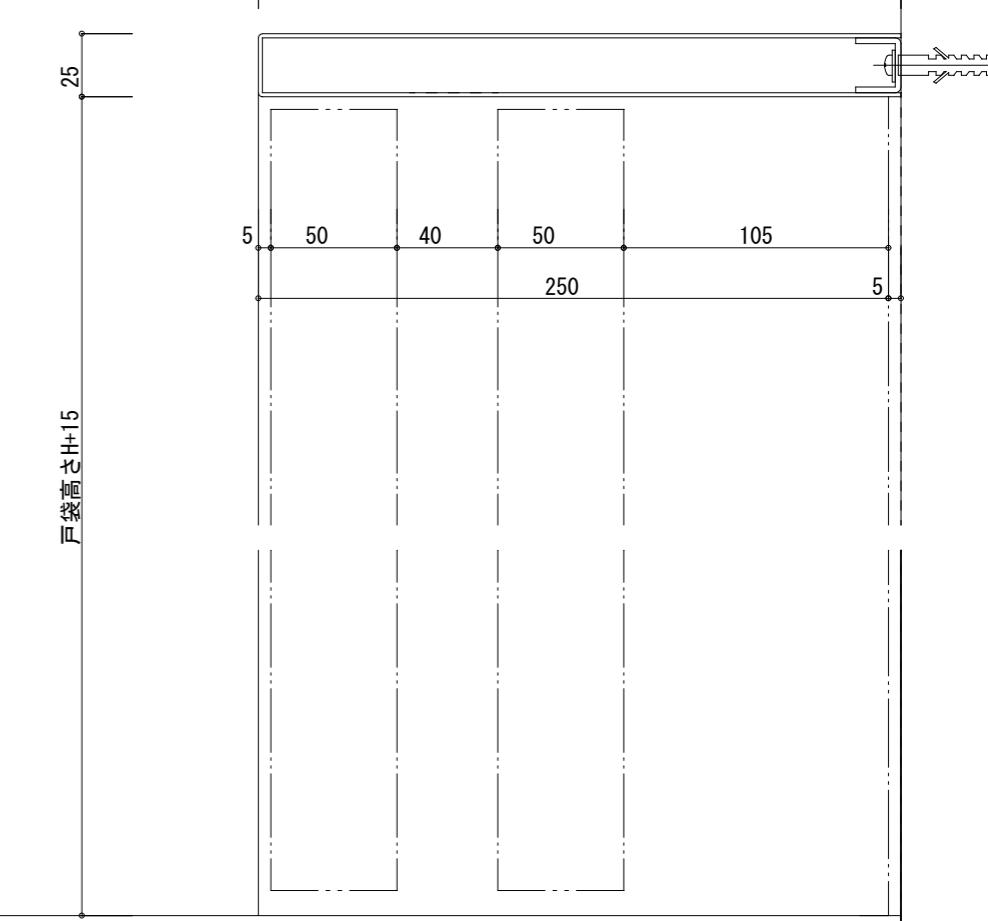
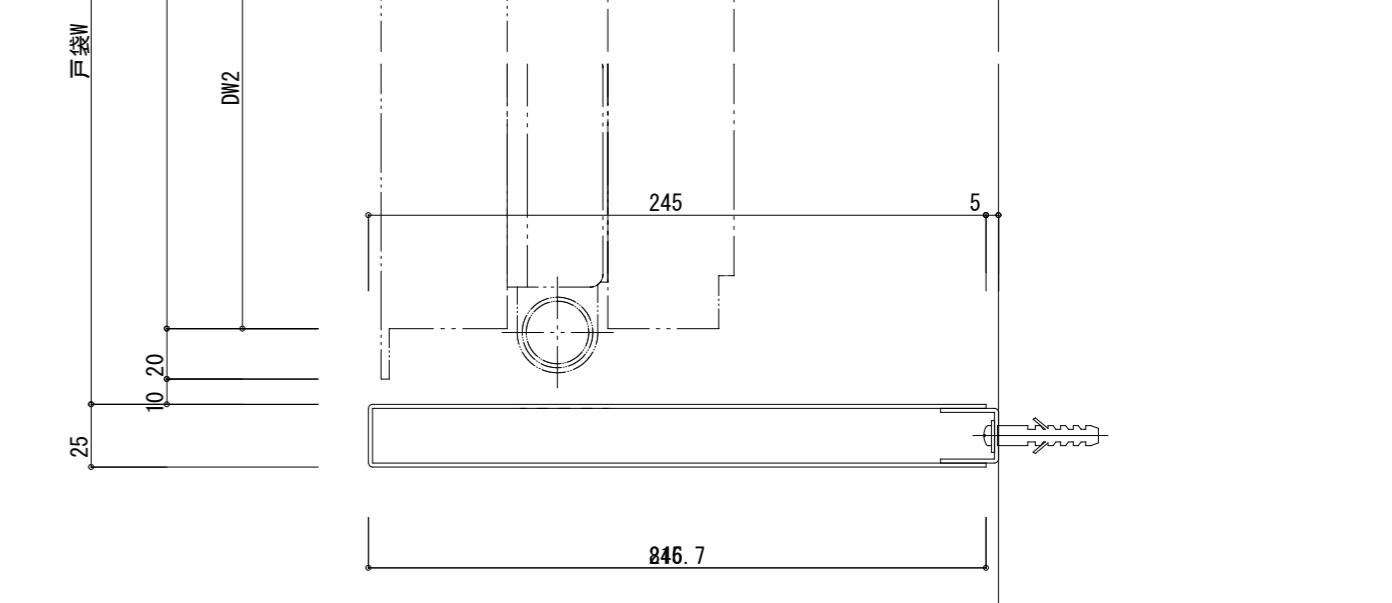
SD
A-1

平面図 1/30

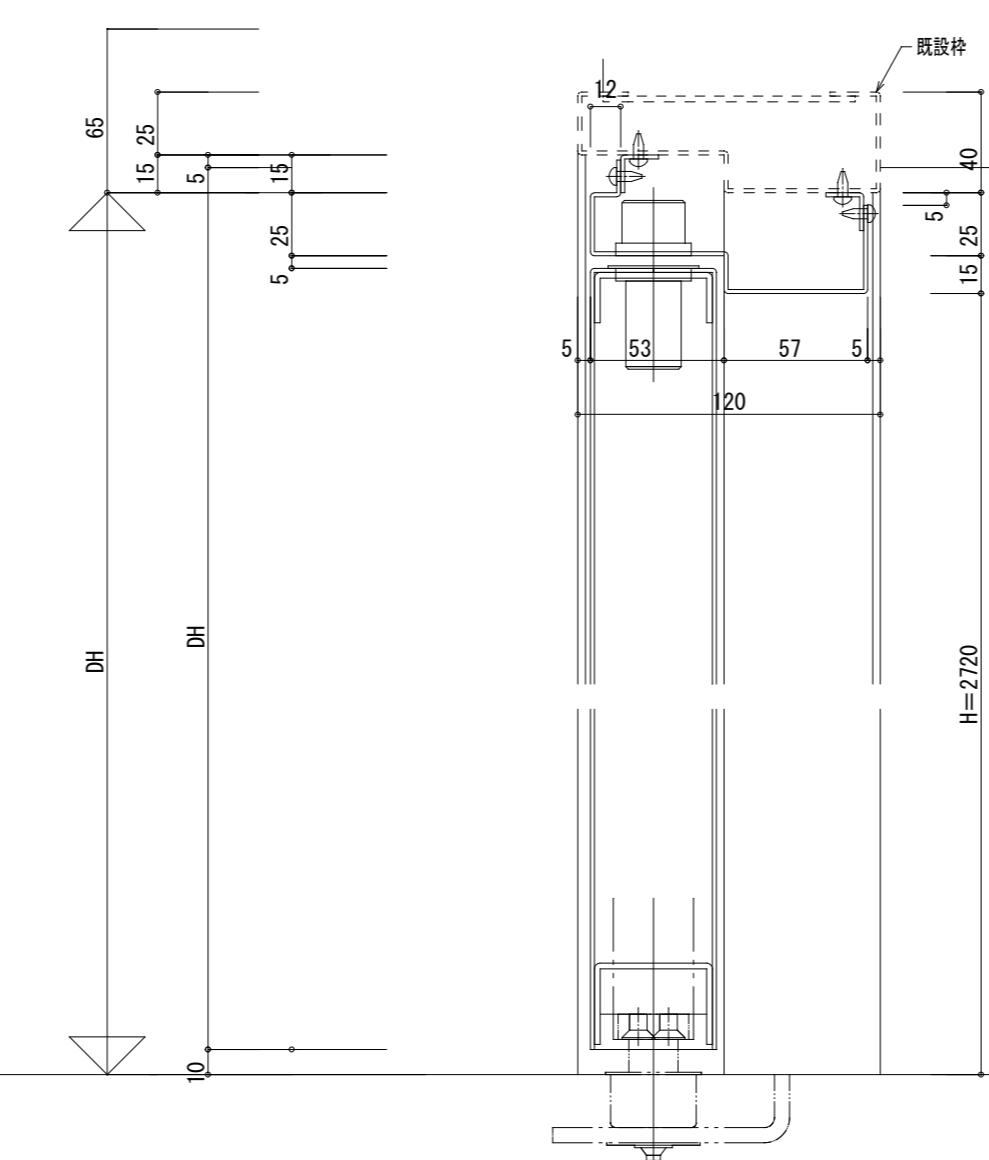
内部



平面詳細図 1/3



外部



断面詳細図 1/3

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計

者

設計

担当者

スケ

ル

A2

1/10

A2

1/14

DATE

R 6 7

工事名

県小学校南校舎長寿命化改修工事(2期工事)

図面名

防火折り戸詳細図

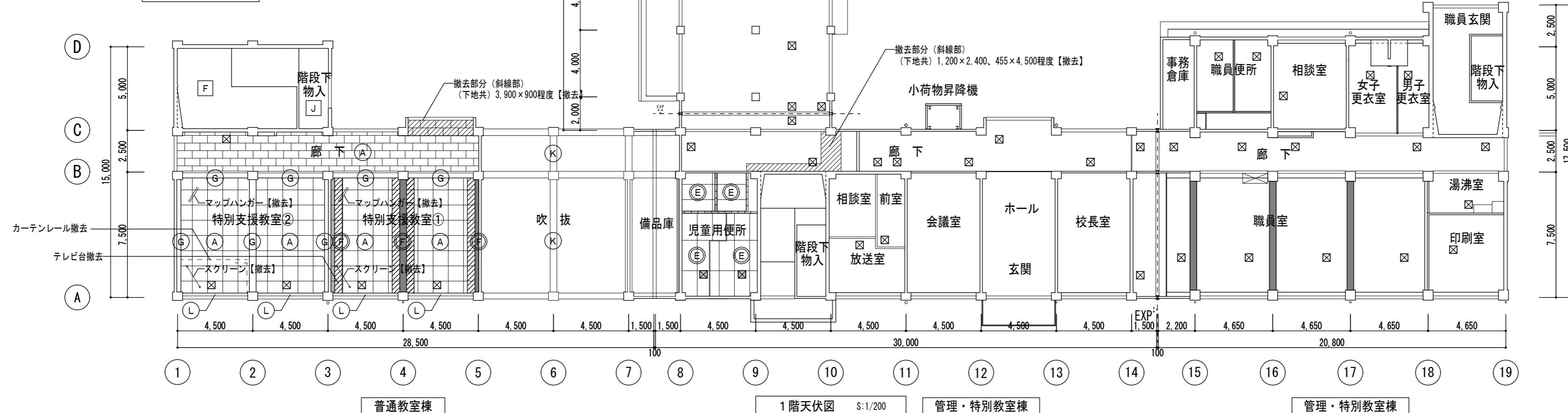
A-26

原図:A2

改修前

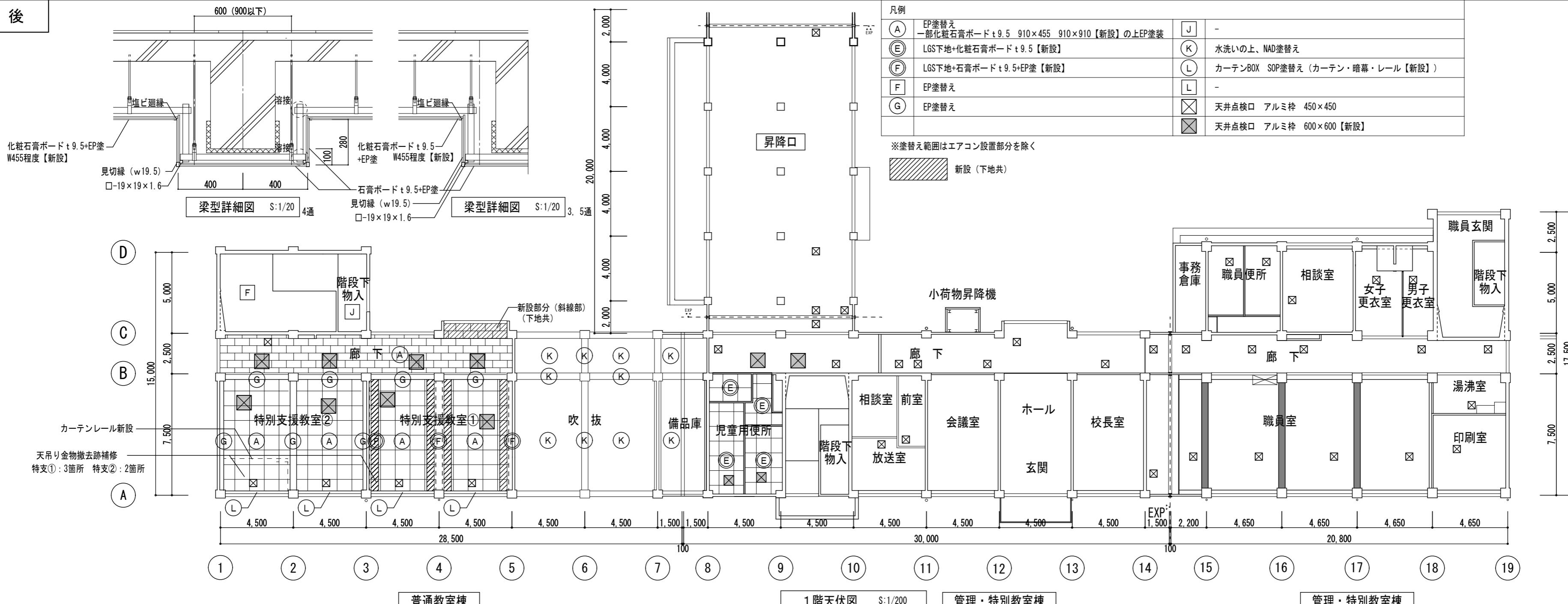
	凡例 【※】アスベスト含有建材を示す			
	(A) 化粧石膏ボード t 9.5 910×455 910×910 手洗い部分一部【撤去】	J	合板型枠コンクリート打放し【既設のまま】	
	(E) フレキシブルボード t 4 【※】ラフトン吹付 下地共【撤去】	K	合板型枠コンクリート打放し アクリルリシン吹付	
	(F) 合板型枠コンクリート打放し パーライト吹付【※】	L	カーテンBOX OP (カーテン・暗幕・レール【撤去】)	
	(F) 合板型枠コンクリート打放し パーライト吹付	☒	天井点検口 アルミ枠 450×450	
	(G) モルタル金ゴテ AEP	☒	天井点検口 アルミ枠 450×450【撤去】	

梁型詳細図 S:1/20



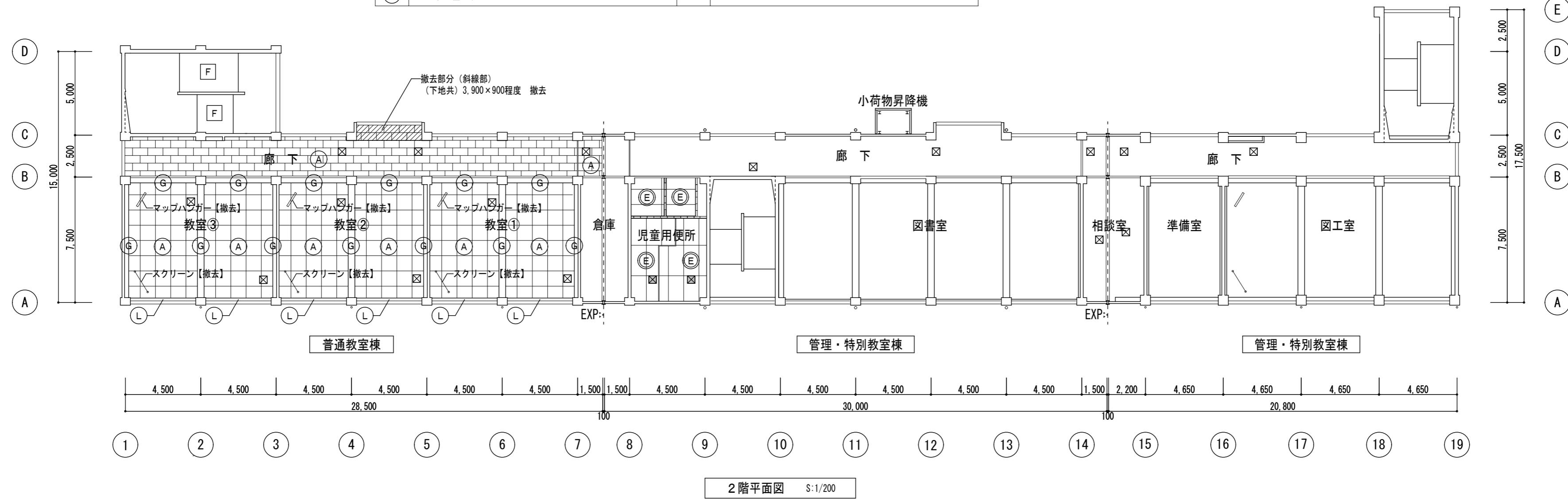
改修後

凡例	
(A)	EP塗替え 一部化粧石膏ボード t 9.5 910×455 910×910【新設】の上EP塗装
(E)	LGS下地+化粧石膏ボード t 9.5【新設】
(F)	LGS下地+石膏ボード t 9.5+EP塗【新設】
(F)	EP塗替え
(G)	EP塗替え



改修前

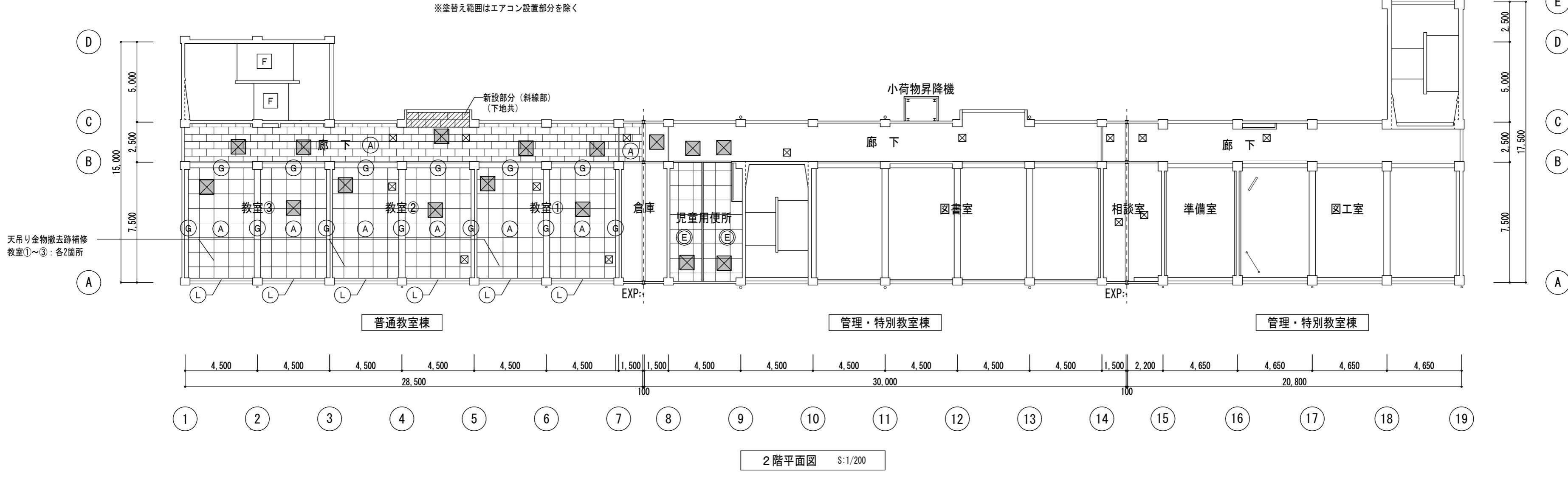
凡例		【※】アスベスト含有建材を示す
(A)	化粧石膏ボード t 9.5 910×455 910×910	(L) カーテンBOX OP (カーテン・暗幕・レール【撤去】)
(E)	フレキシブルボード t 4 【※】ラフト吹付 下地共【撤去】	天井点検口 アルミ枠 450×450
(F)	合板型枠コンクリート打放し パーライト吹付【※】	天井点検口 アルミ枠 450×450【撤去】
(G)	モルタル金ゴテ AEP	



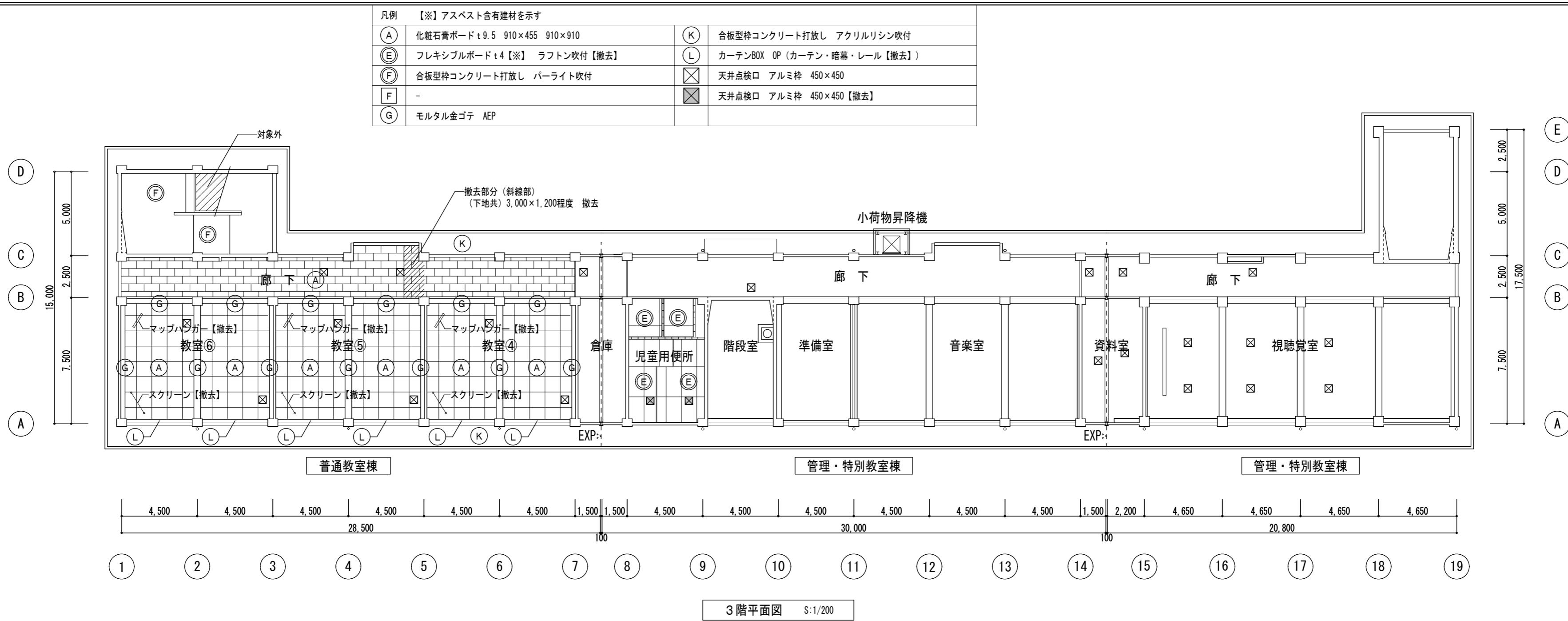
改修後

凡例		
(A)	EP塗替え -部化粧石膏ボード t 9.5 910×455 910×910【新設】の上EP塗替え	(L) カーテンBOX SOP塗替え (カーテン・暗幕・レール【新設】)
(E)	LGS下地・化粧石膏ボード t 9.5【新設】	天井点検口 アルミ枠 450×450
(F)	モルタル金ゴテ EP塗【新設】	天井点検口 アルミ枠 600×600【新設】
(G)	EP塗替え	
	EP塗替え	

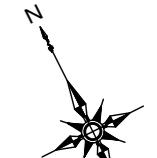
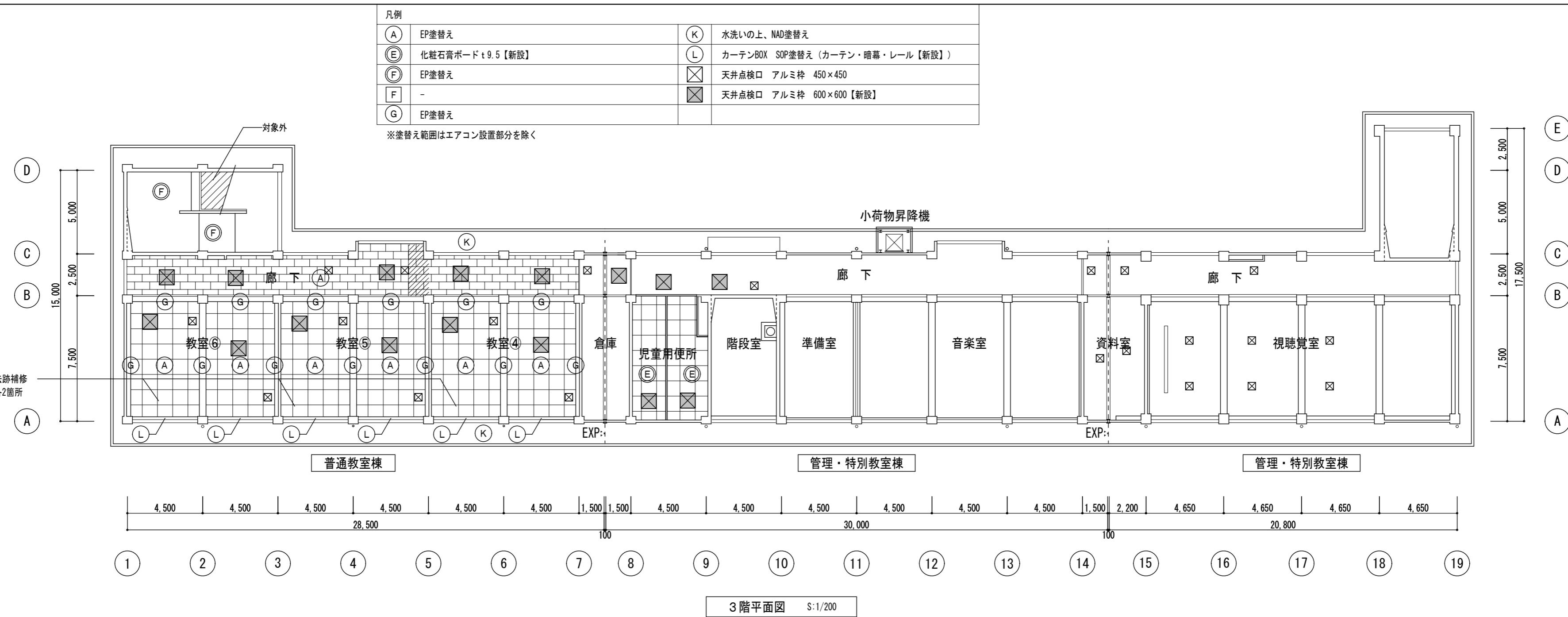
※塗替え範囲はエアコン設置部分を除く



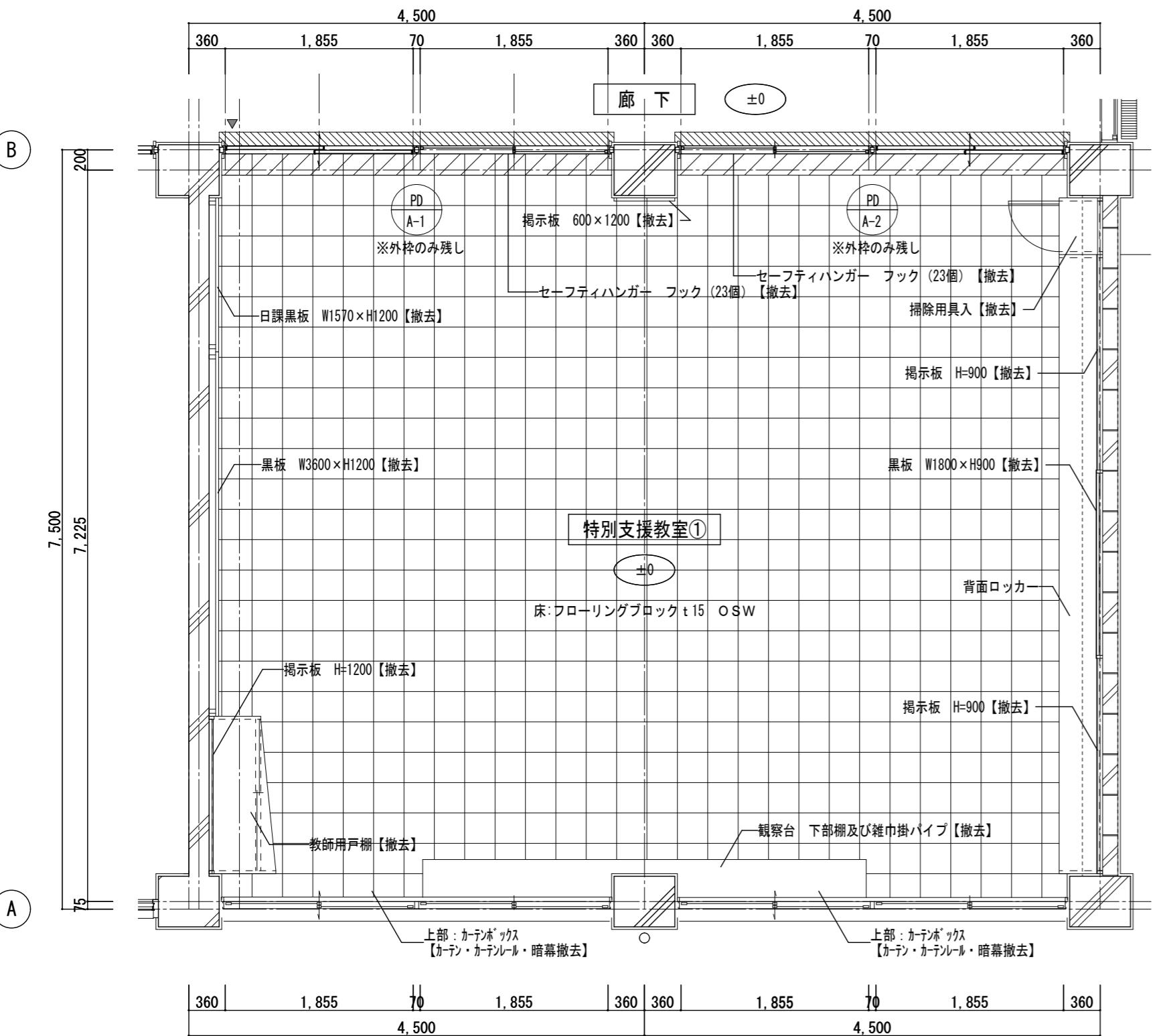
改修前



改修後



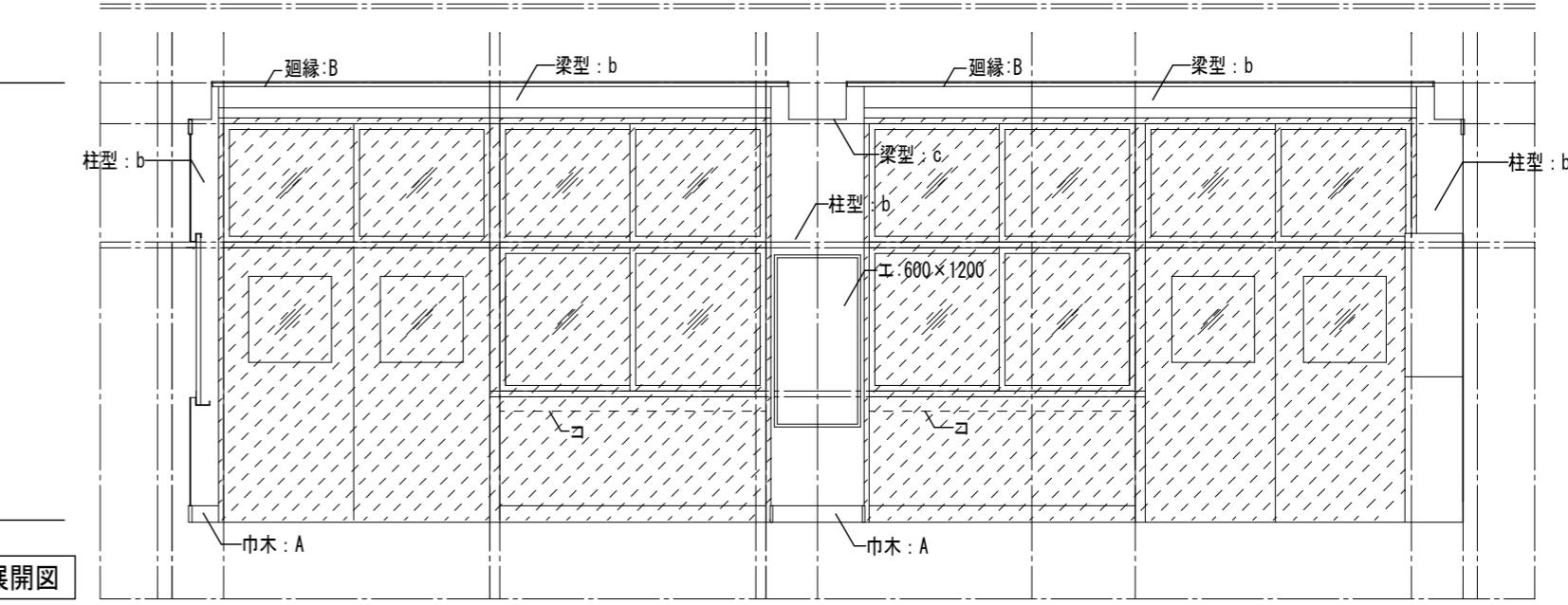
改修前



3

4

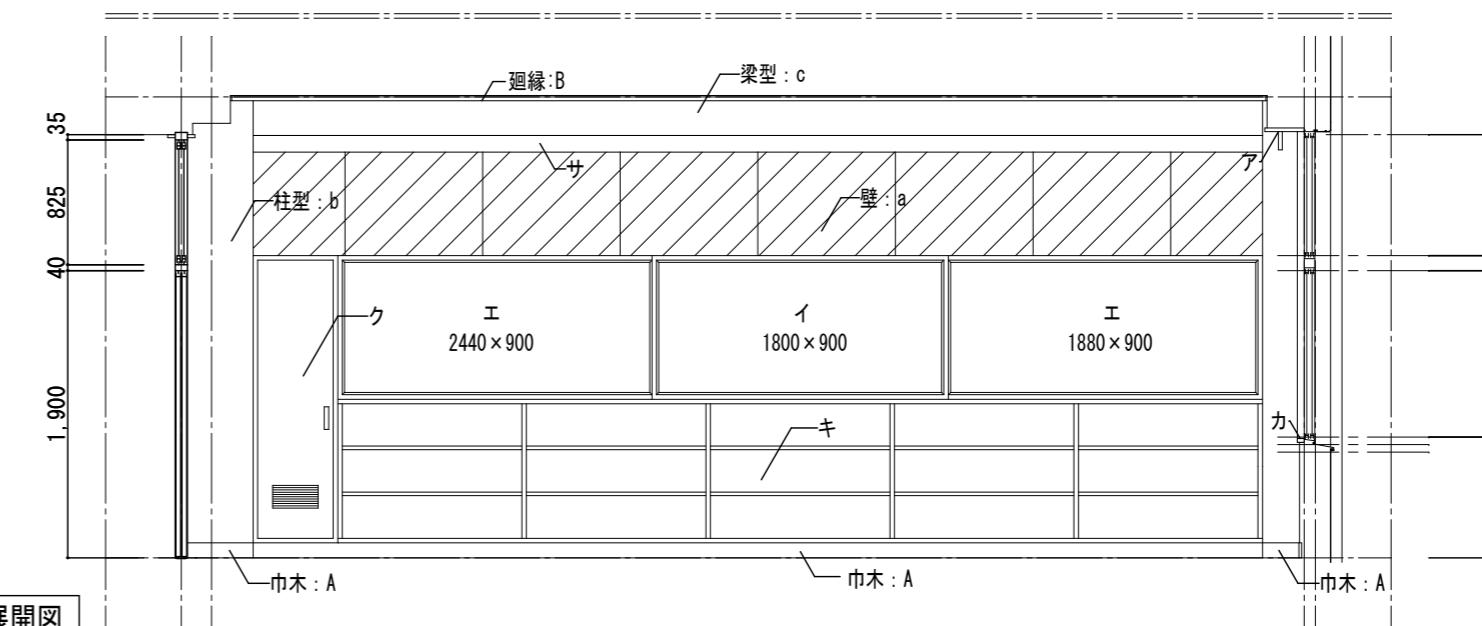
5



A 展開図

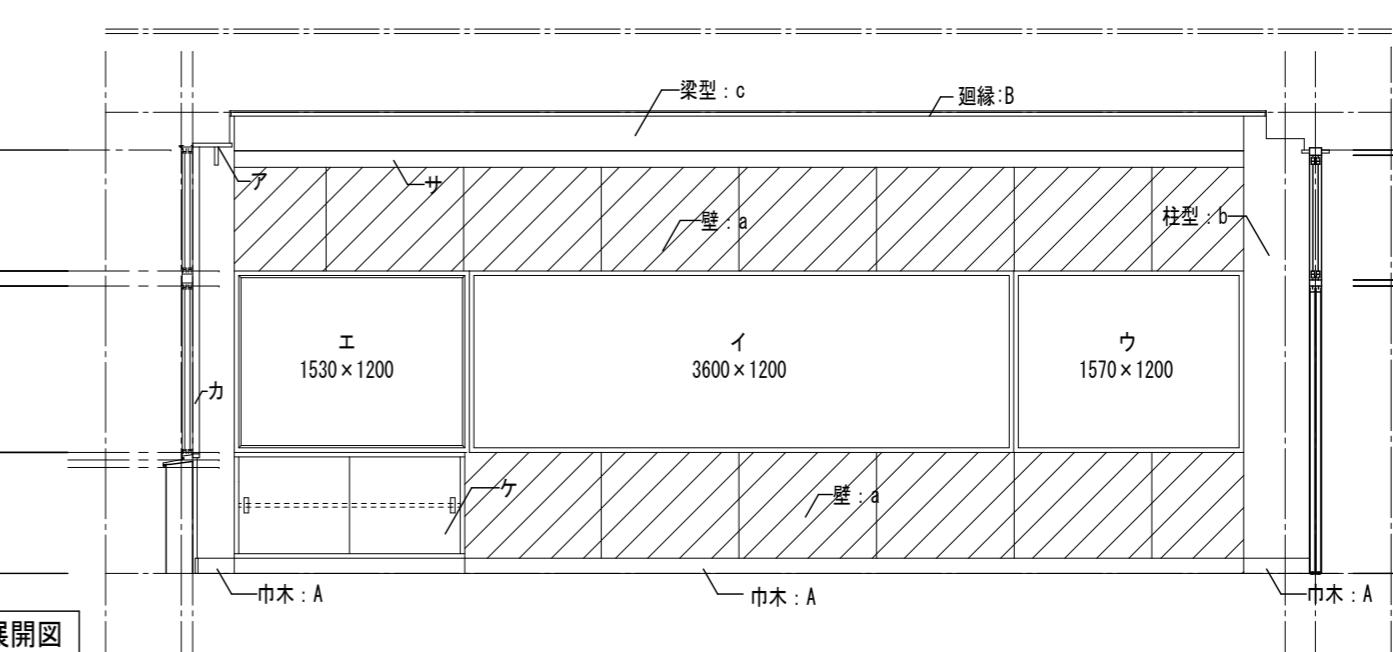
4

5



B 展開図

A



D 展開図

B

凡 例 (平面詳細図)

PD
A-1

凡 例 (展開圖)

<巾木・廻縁>		<壁>	
A	巾木:木製H=100 SOP	a	ラワン ^{ペニヤ} t=5.5 SOP
B	廻縁:木製 SOP	b	モルタル金 ^コ テ AEP
		c	パ ^ー ライト吹付

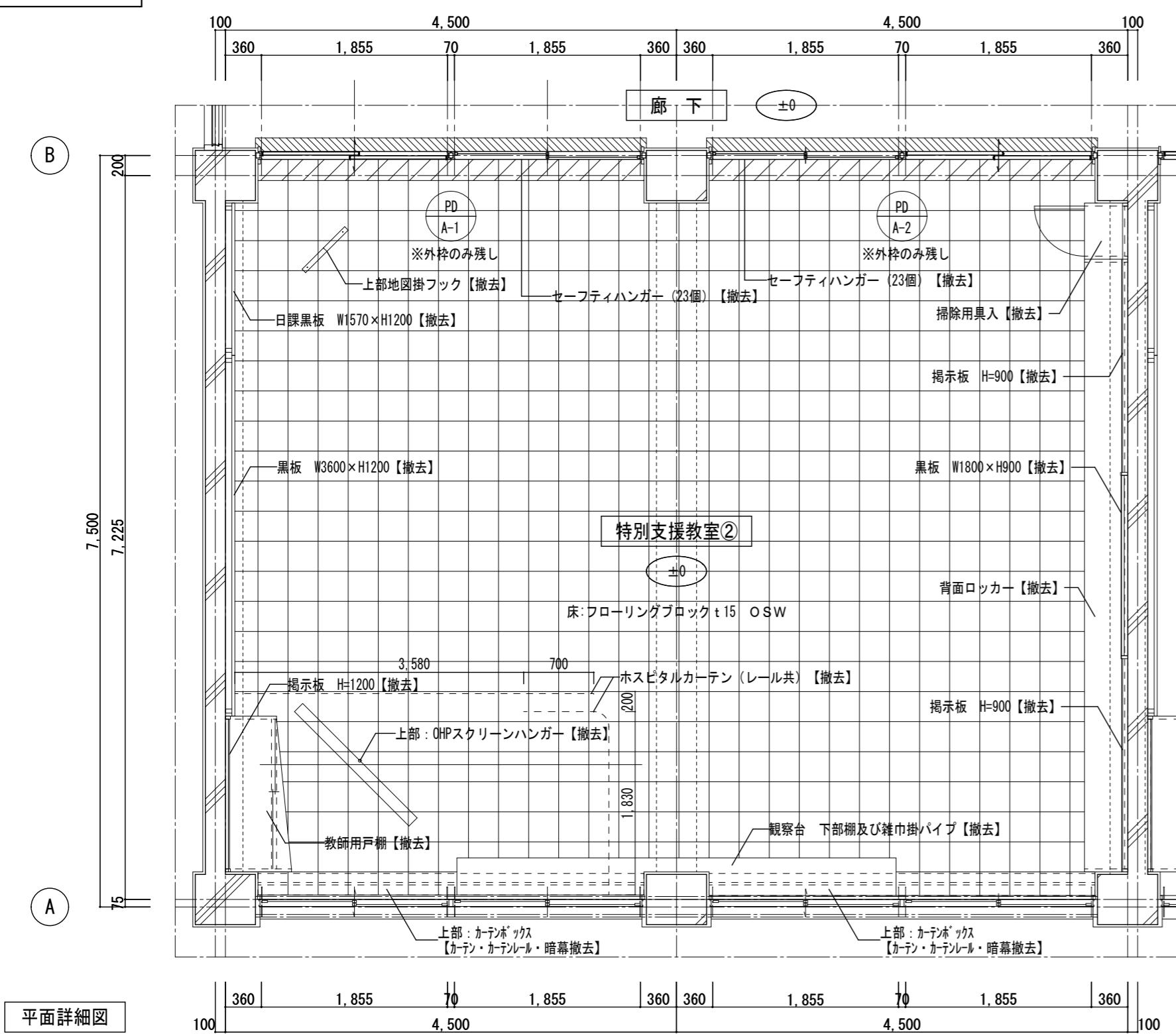
	ア	ア
	イ	イ
	ウ	ウ
	エ	エ
	オ	オ

の他>		
カーテンボックス:SOP 【カーテン・カーテンレール・暗幕撤去】	力	アルミサッシ枠
黒板【撤去】	キ	背面ロッカー
日課黒板【撤去】	ク	掃除道具入【撤
掲示板【撤去】	ケ	教師用戸棚【撤
観察棚 【下部:棚及び雑巾掛け】 ^{イフ} 【撤去】	コ	セーフティハンガー【撤

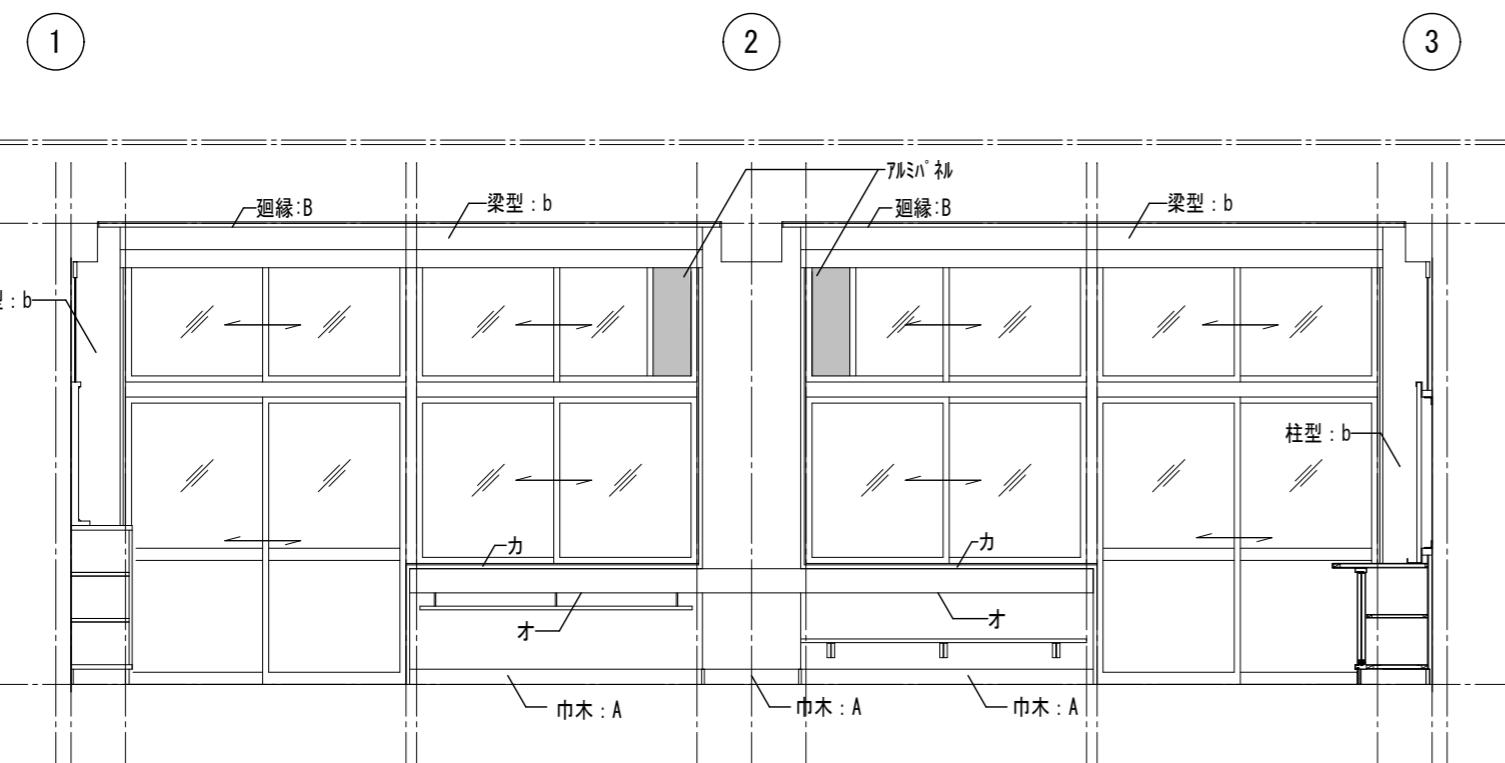
	サ	図掛 105×45SOP
放去】		
放去】		
放去】		

-  撤去建具を示す(外枠のみ残し)
-  壁: a の範囲を示す

改修前



平面詳細図



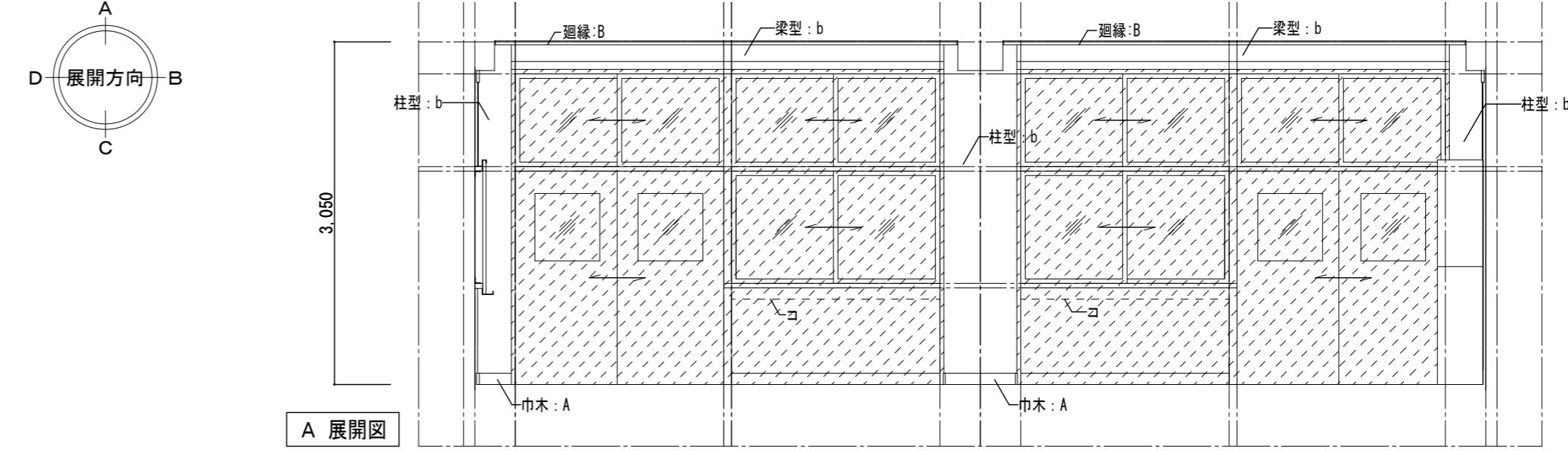
3

凡例(展開図)

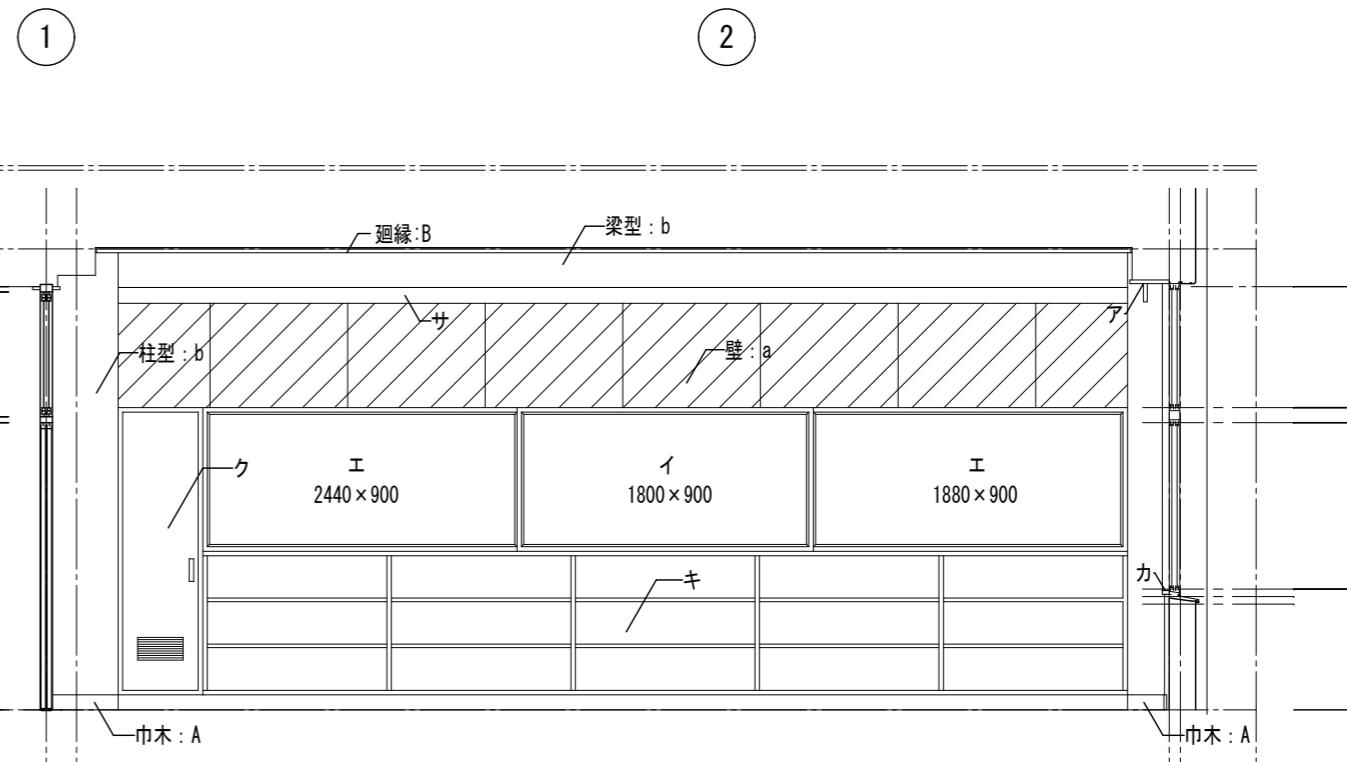
<巾木・回縁>		<壁>		<その他>	
A	巾木:木製H=100 SOP	a	ラウンヘニヤt=5.5 SOP塗り替え	ア	カーテンボックス:SOP 【カーテン・カーテンレール・暗幕撤去】
B	回縁:木製 SOP	b	モルタル金ゴテ AEP	イ	黒板【撤去】

凡例(平面詳細図)

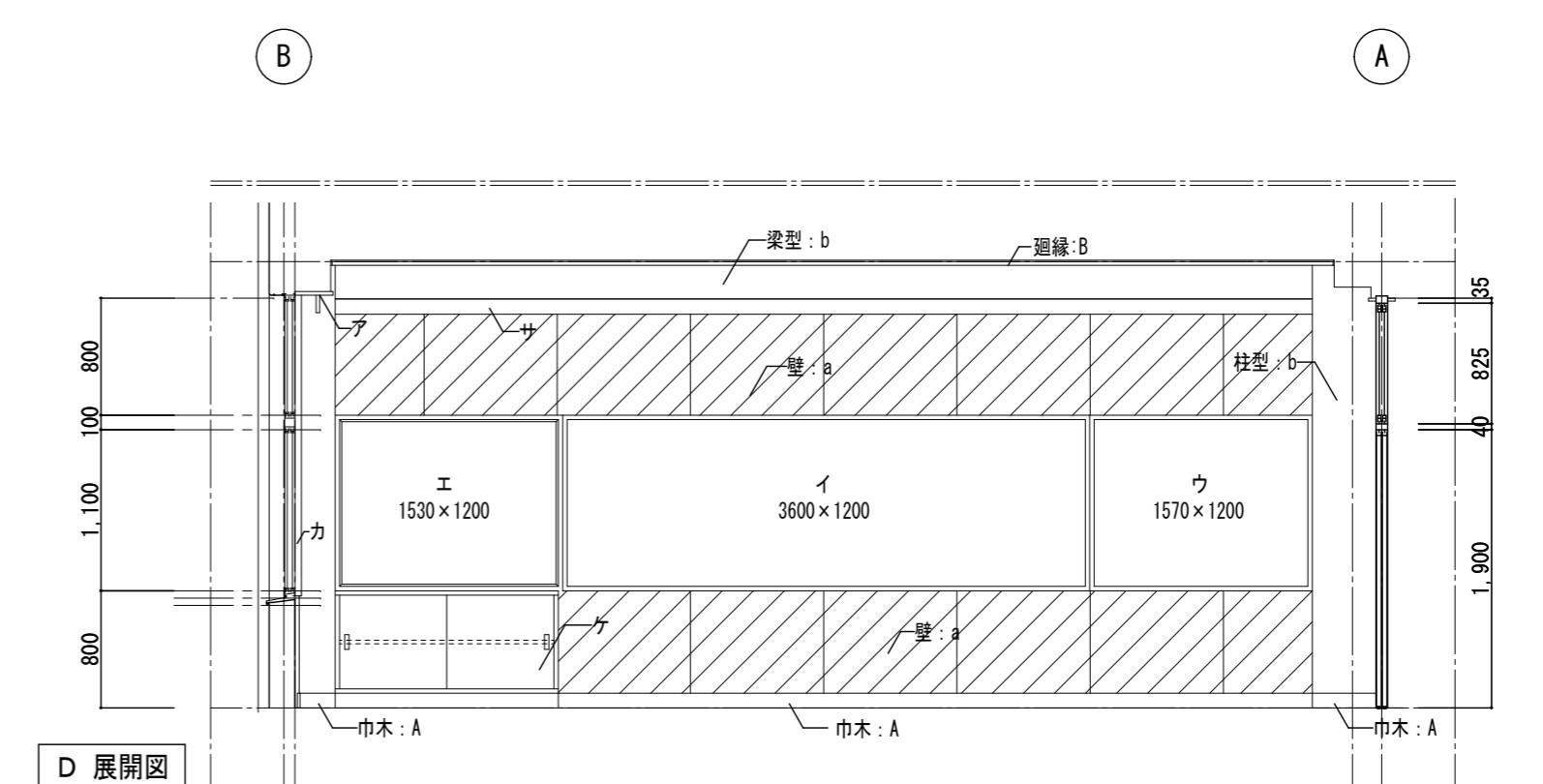
	床:フローリング ロック 撤去(モルタル下地共)		撤去建具を示す(外枠のみ残し)
	床:ビニール床タイル+モルタル下地 撤去(カッタ-入れ)		



A 展開図



B 展開図



C 展開図



D 展開図

1

2

3

A

B

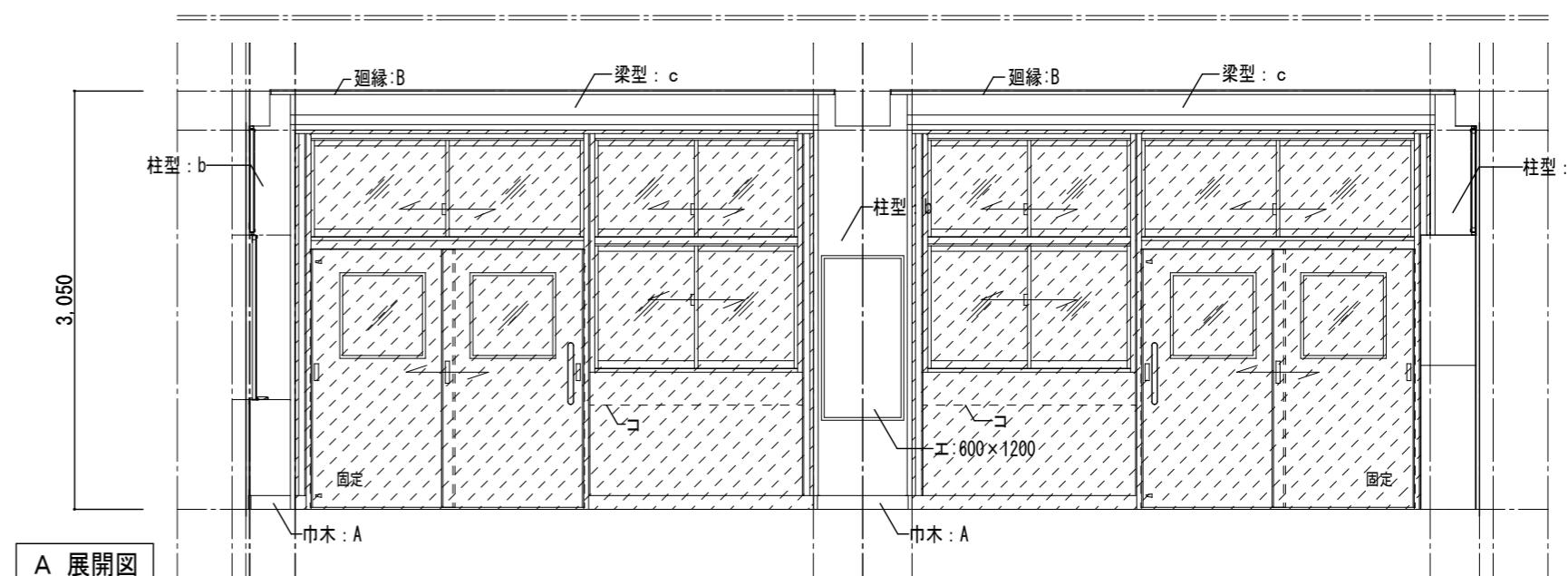
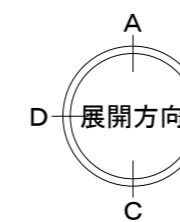
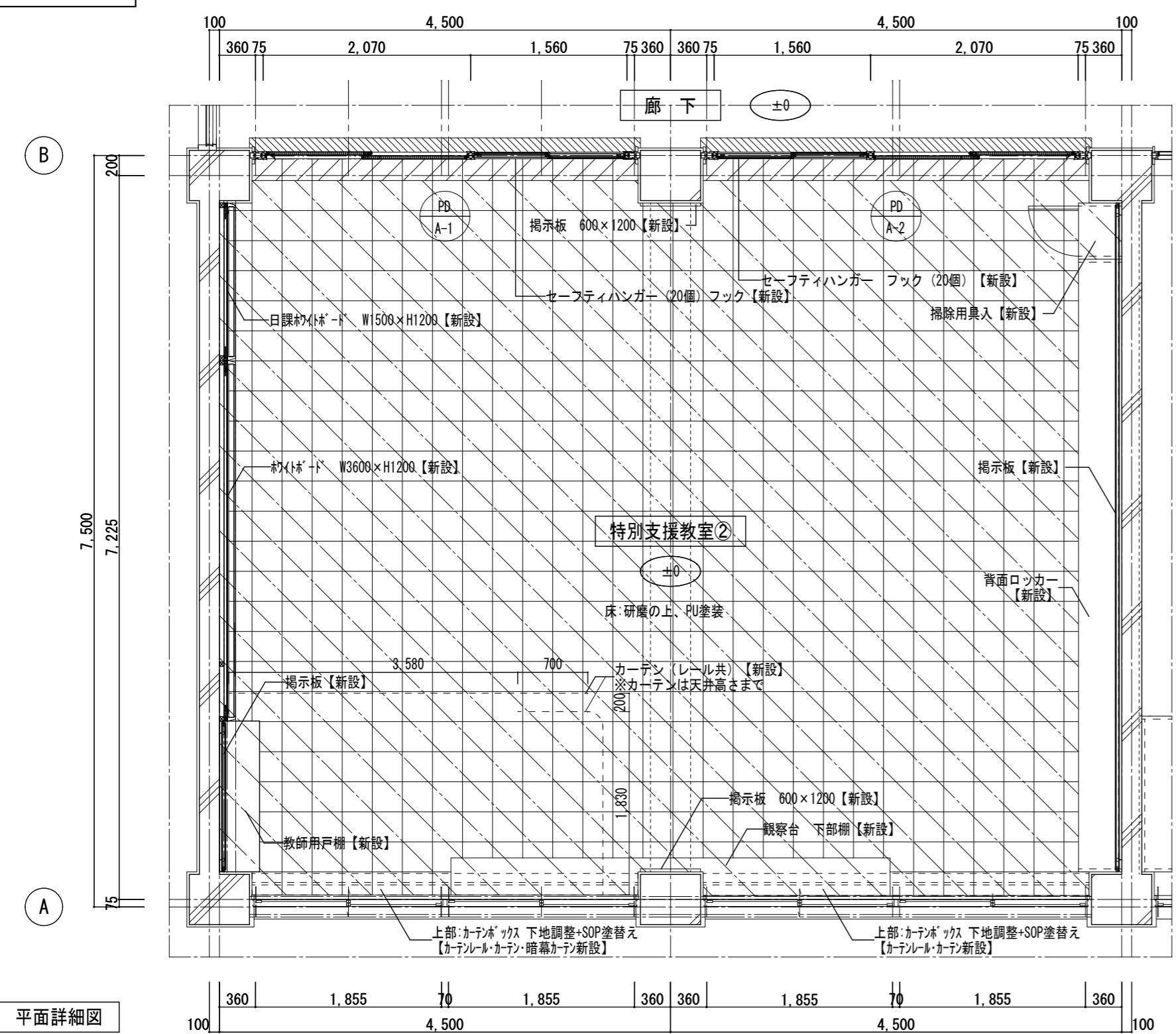
A

B

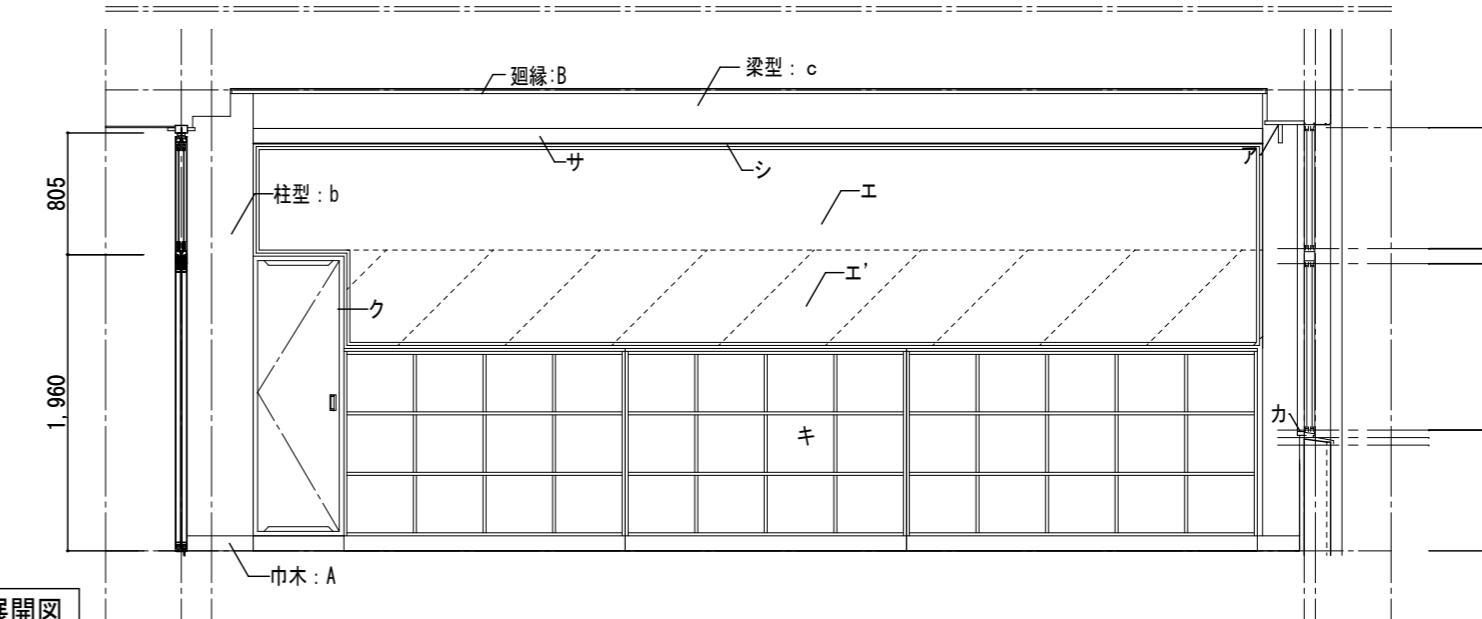
撤去建具を示す(外枠のみ残し)

壁: a の範囲を示す

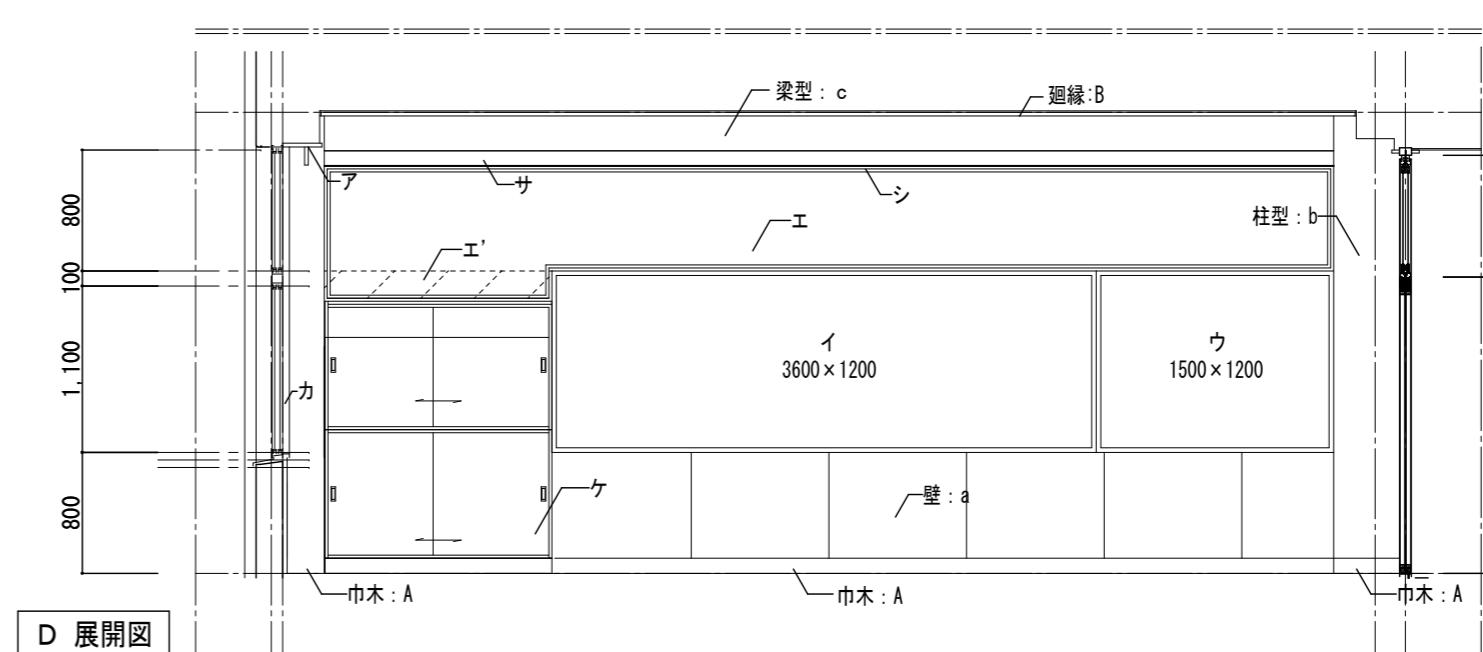
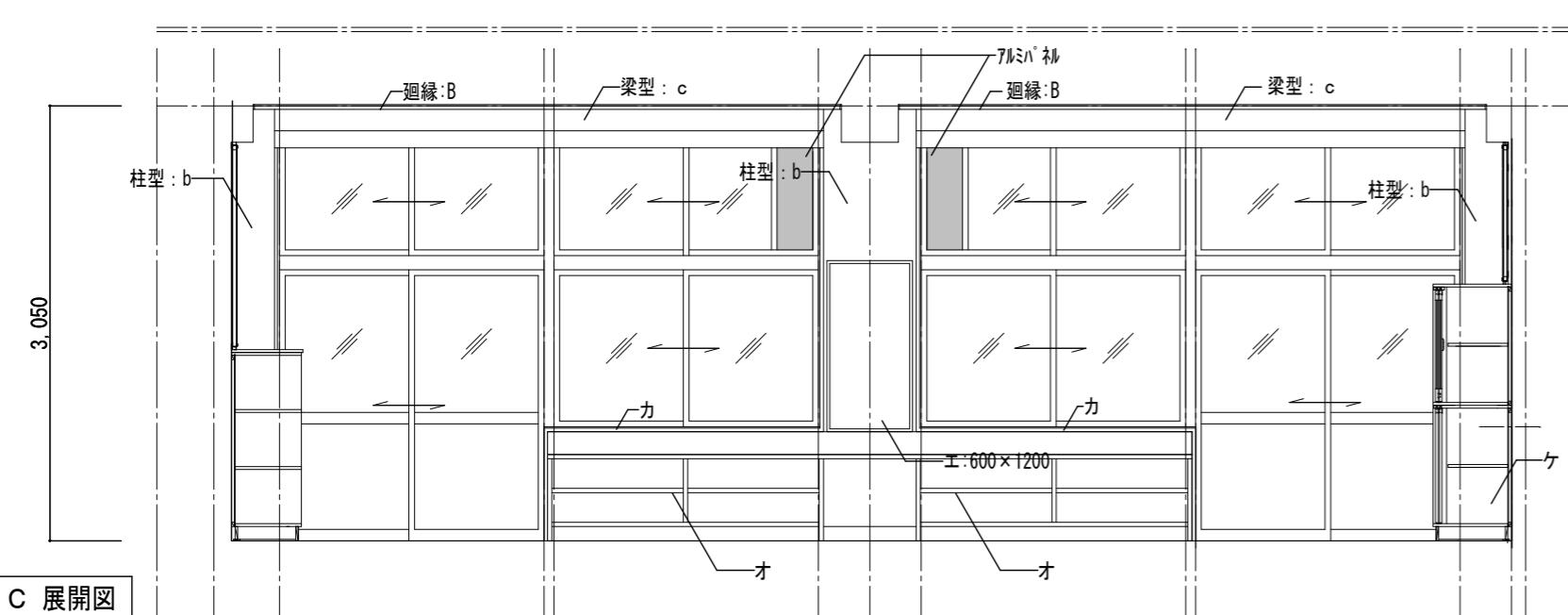
改修後



1 2 3



1 2 3



3 2 1

1 2 3

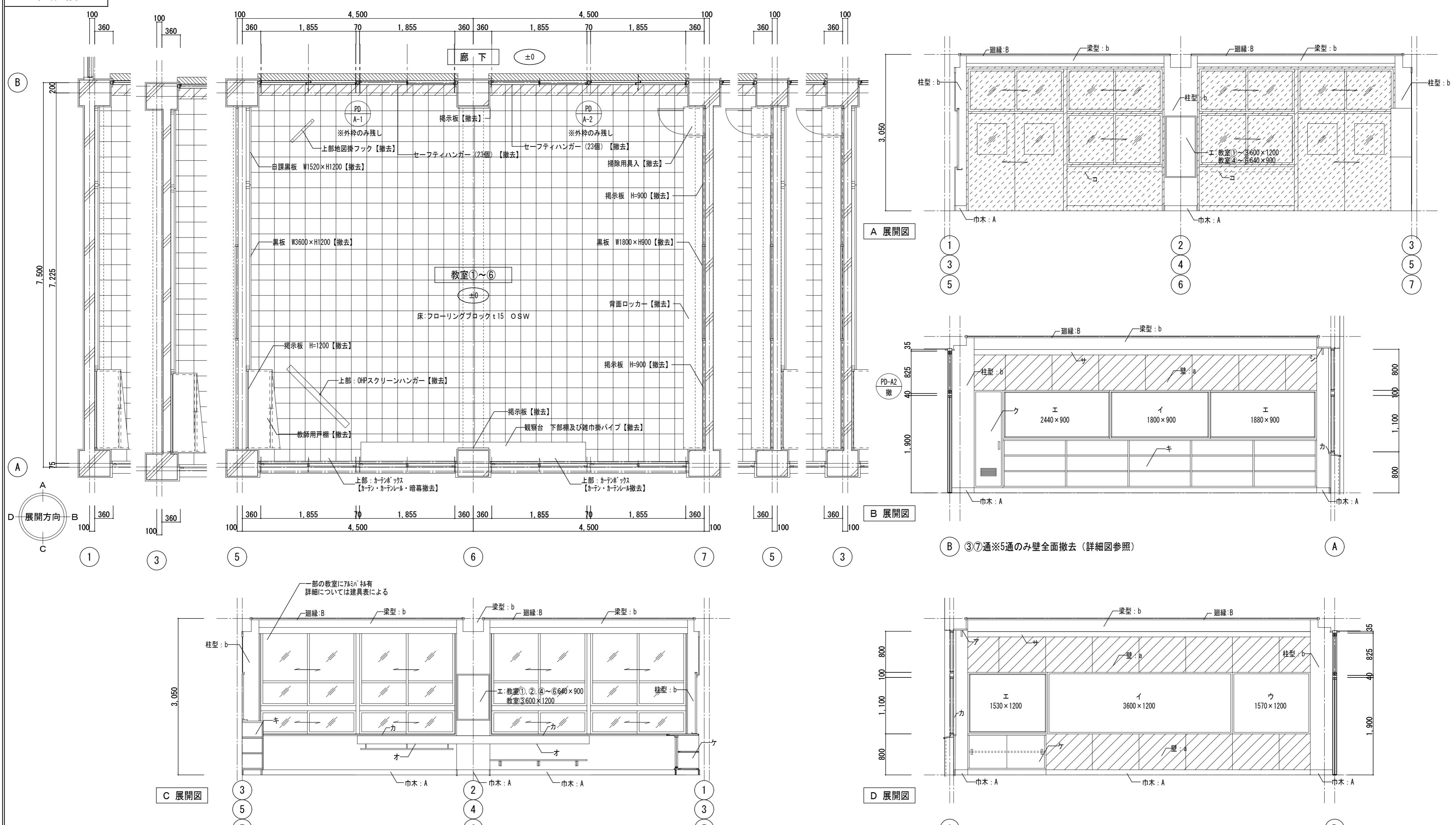
凡例 (平面詳細図)

床: モルタル下地補修+フローリング ブロックt=15 研磨+湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料2回塗り	PD A-1 新設建具を示す(カバー工法)
床: フローリング ブロックt=15 研磨+湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料2回塗り	
床: ピール床シート+モルタル30 【新設】	

凡例 (展開図)

<巾木・回縁>		<壁>		<その他>		新設建具を示す(カバー工法)	
A	巾木: 木製H=100 SOP塗替え	a	ワッフルニヤt=5.5 SOP塗替え	ア	カーテンボックス:SOP塗替え 【カーテン・カーテンレール・暗幕新設】	オ	観察棚 【下部木製棚新設】
B	回縁: 木製 SOP塗替え	b	EP-G塗替え	イ	わくぼード 3600×1200 【新設】	カ	アルミサッシ
		c	EP塗替え	ウ	日課わくぼード 1500×1200 【新設】	サ	図掛 105×45SOP塗替え
				エ	シナ合板 t=5.5増張り+揭示クロス 四周アルミ押え共【新設】	キ	掲示板新設部 四周木見切り【新設】 SOP塗装共
				エ	シナ合板 t=5.5増張り+揭示クロス 四周アルミ押え共【新設】	ク	掃除道具入【新設】
				エ	増張り+揭示クロス四周アルミ押え共【新設】	ケ	教師用戸棚【新設】

改修前



凡例 (平面詳細図)

床: フローリング ロック 撤去 (モルタル下地共)
床: ピン床タイル+モルタル下地 撤去 (カッターアレ)

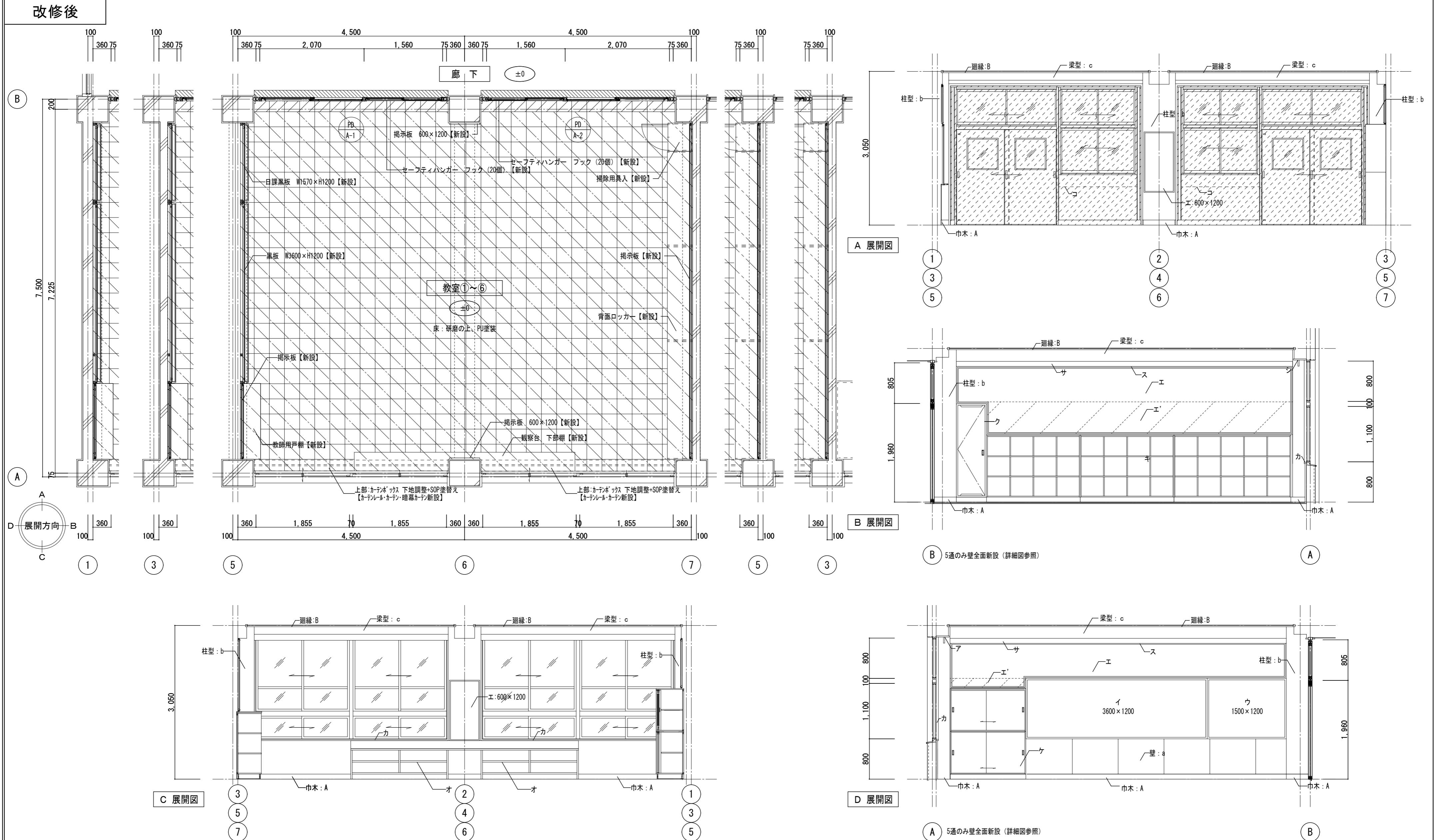
PD A-1 撤去建具を示す(外枠のみ残し)

凡例 (展開図)

<巾木・廻縁>		<壁>		<その他>	
A	巾木: 木製 H=100 SOP	a	ラウンヘニヤ t=5.5 SOP	ア	カーテンボックス: SOP 【カーテン・カーテンレール・暗幕撤去】
B	廻縁: 木製 SOP	b	モルタル金ゴテ AEP	イ	黒板【撤去】
				ウ	日課黒板【撤去】
				エ	掲示板【撤去】
				オ	観察棚【下部: 棚及び雑巾掛ハヤ】【撤去】
				コ	セーフティハンガー【撤去】

撤去建具を示す(外枠のみ残し)
壁: a の範囲を示す

改修後



凡 例 (平面詳細図)

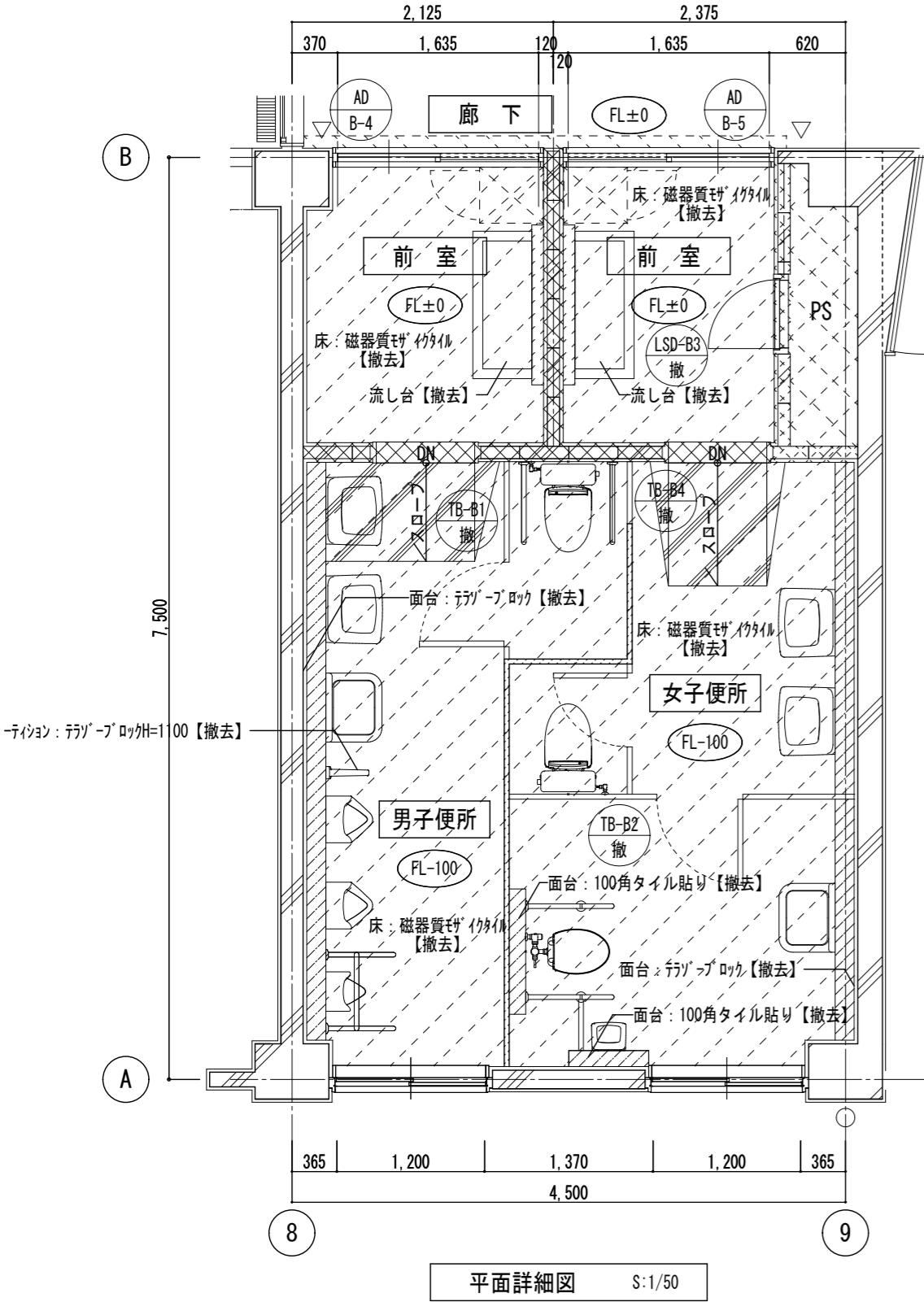
床:モルタル下地補修+フローリングブロックt=15
研磨+湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料塗り

PD
A-1 新設建具を示す(カバー工法)

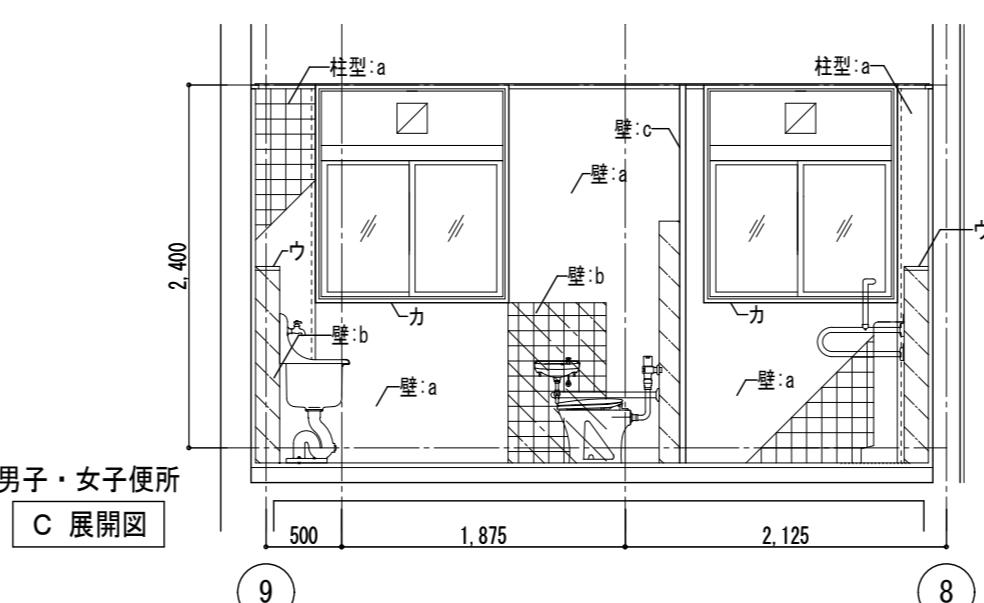
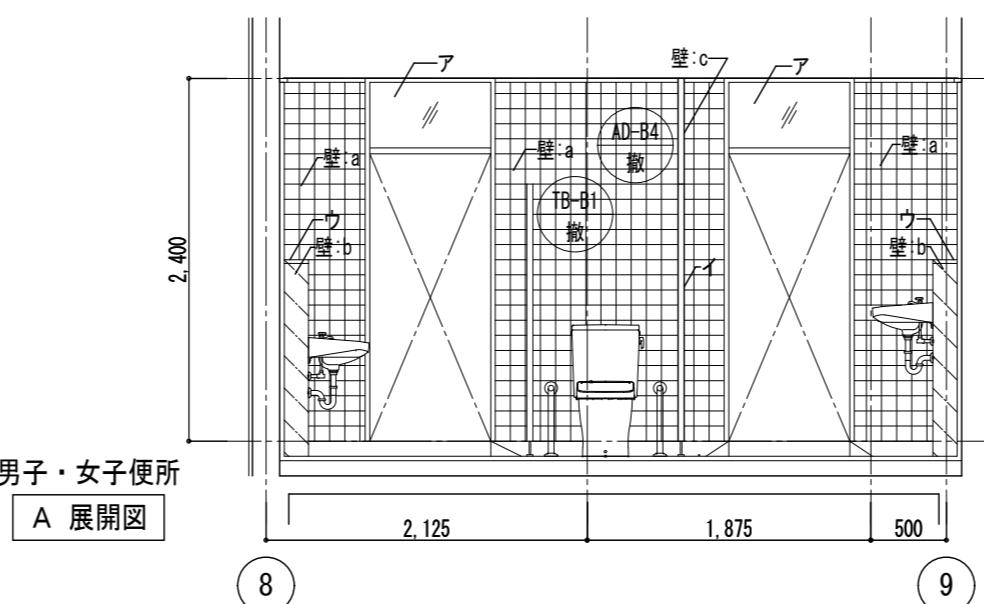
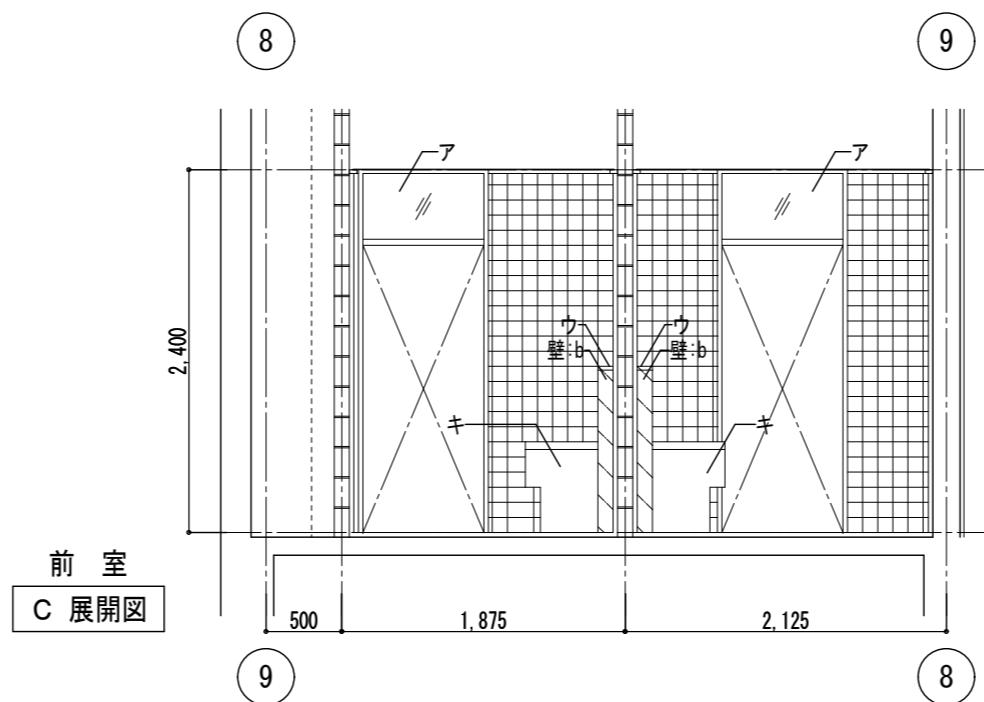
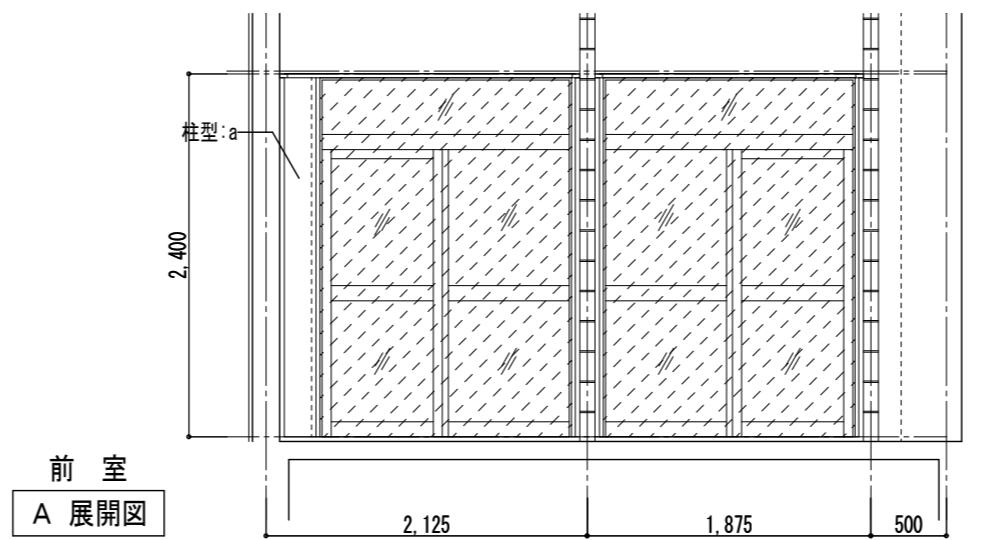
凡例(展開図)						
<巾木・廻縁>		<壁>		<その他>		
A 巾木:木製H=100 SOP塗替え	a ランペニヤt=5.5 SOP塗替え		ア カーテンボックス:SOP塗替え 【カーテン・カーテンレール・暗幕新設】	オ 観察棚 【下部木製棚新設】	コ セーフティハンガ-【新設】	
B 廻縁:木製 SOP塗替え	b EP-G塗替え		イ 黒板 3600×1200【新設】	カ アルミサッシ枠	サ 図掛 105×45SOP塗替え	
	c EP塗替え		ウ 日課黒板 1500×1200【新設】	キ 背面ロッカー【新設】	シ カーテンボックス:SOP塗替え 【カーテン・カーテンレール新設】	
			エ シナ合板 t 5.5増張り+掲示クロス 四周アルミ押え共【新設】	ク 掃除道具入【新設】	ス 掲示板新設部 四周木見切り【新設】 SOP塗装共	
			エ' 脊縁組24×45@450t5ヨコ+シナ合板 t 5.5 増張り+掲示クロス四周アルミ押え共【新設】	ケ 教師用戸棚【新設】		

新設建具を示す(カバー工法)

1階児童用便所（改修前）



A
B
C
D
展開記号図



凡例（平面詳細図）

床:磁器質モザイクタイル25角+モルタル下地t=30+土間コンクリートt=120【撤去】
床:土間コンクリートt=120【撤去】
床:ビニル床タイル+モルタル下地（カッター入れ）【撤去】
間仕切壁:フラッシュ隔壁シナベニヤt5.5塗装（両面）【撤去】
間仕切り壁:CBt=100（磁器質タイル・モルタル下地共）【撤去】
PS壁:CBt=100【撤去】
スロープ:コンクリート刷毛引き（ステンレス見切共）【撤去】
ライニング壁:CBt=100+100角タイル+モルタル下地t=30【撤去】
床:カッターライン（モルタル）
撤去建具を示す（枠共）
ピクトサイン【撤去】

凡例（展開図）

<巾木・廻縁>	<壁>	<その他>
A' 木製廻縁【撤去】	a 100角タイル貼	ア 木製三方枠 SOP【撤去（ガラス共）】
	b ライニング壁:CB100+モルタルt30下地+100角タイル貼り【撤去】	イ ポレーブ【撤去】
	c フラッシュ隔壁シナベニヤt5.5塗装（両面）【撤去（ガラス共）】	ウ 面台:セラミックロック【撤去】
		エ 鏡【撤去】（設備工事）
		オ ハーティジョン（セラミックロック）H=1100【撤去】

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計代表者

一級建築士
No.352551
田端道也

設計担当者

一級建築士
No.320203
構造工事監理士
No.8984
片山義智

SCALE

A2:1/50
A2:1/70

DATE

R 6. 7

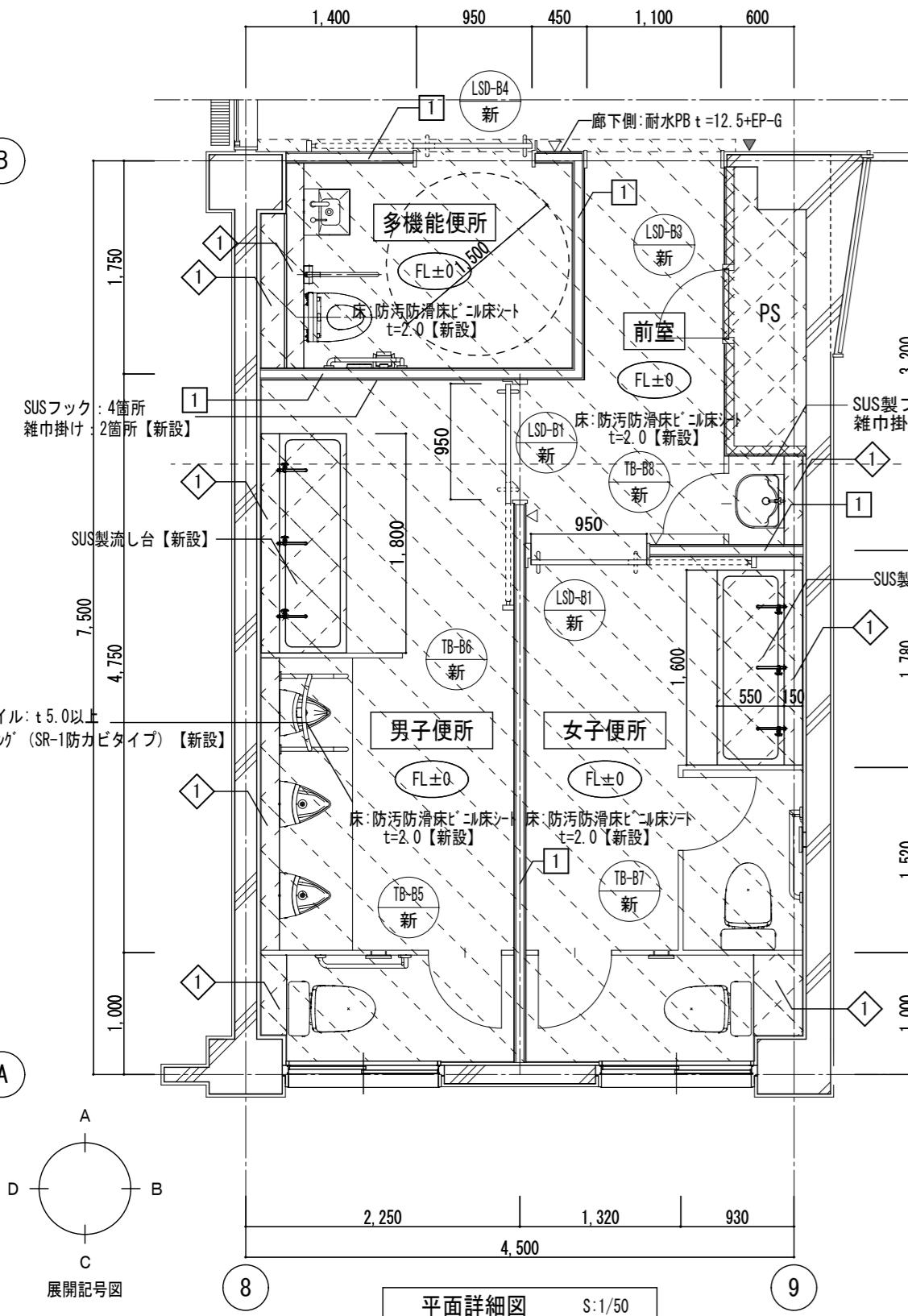
工事名称 県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）

図面名称 1階児童用便所 平面詳細図・展開図（改修前）

A-36

原図: A2

1階児童用便所（改修後）



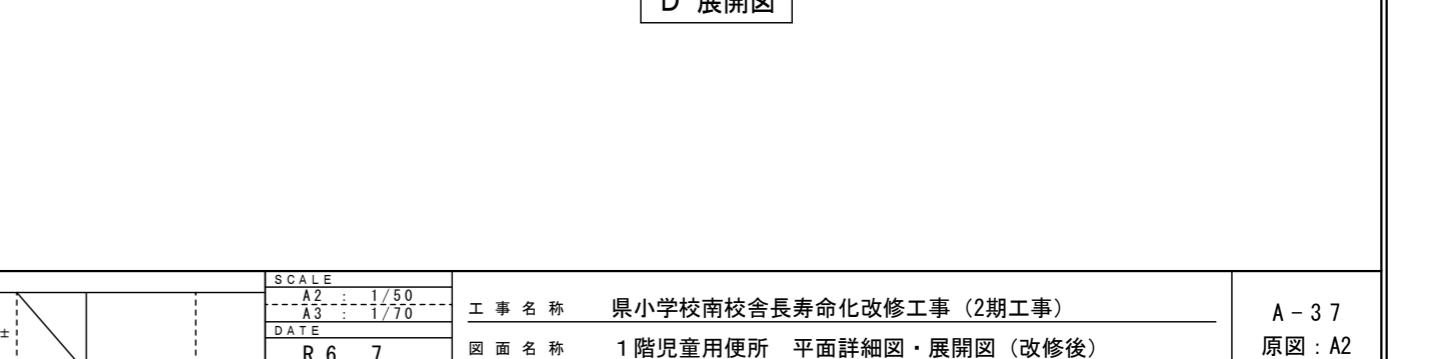
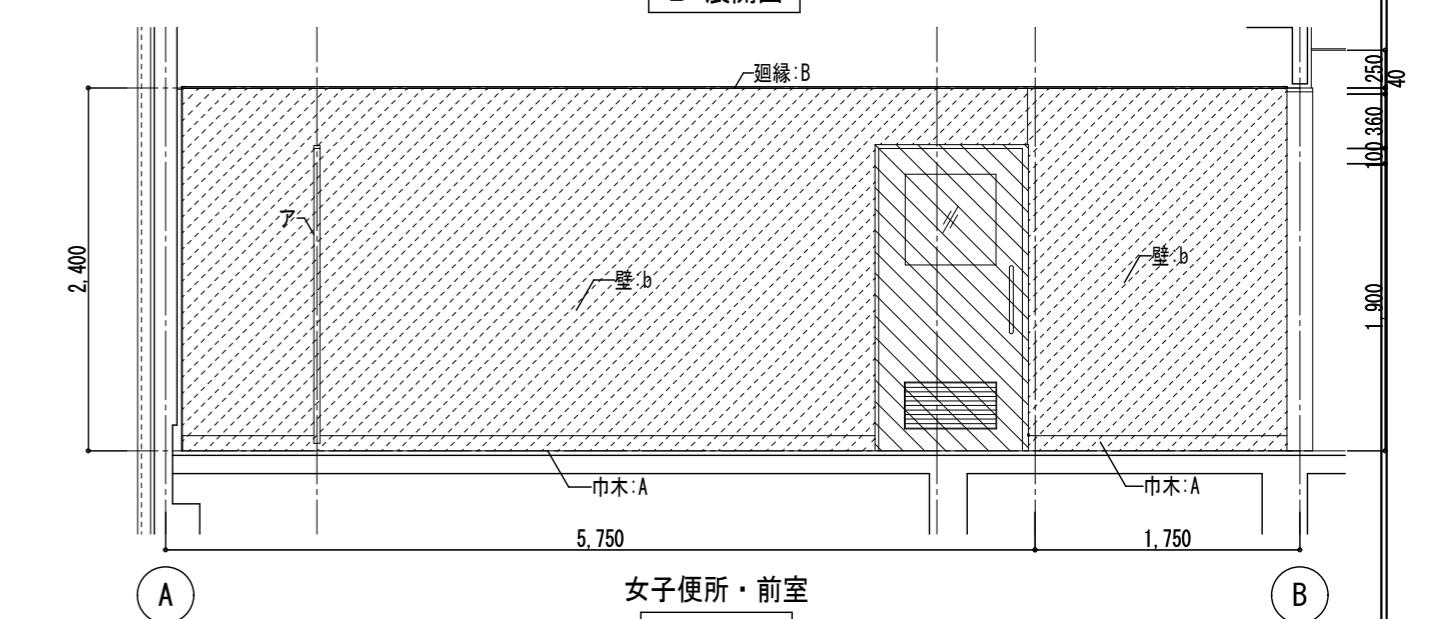
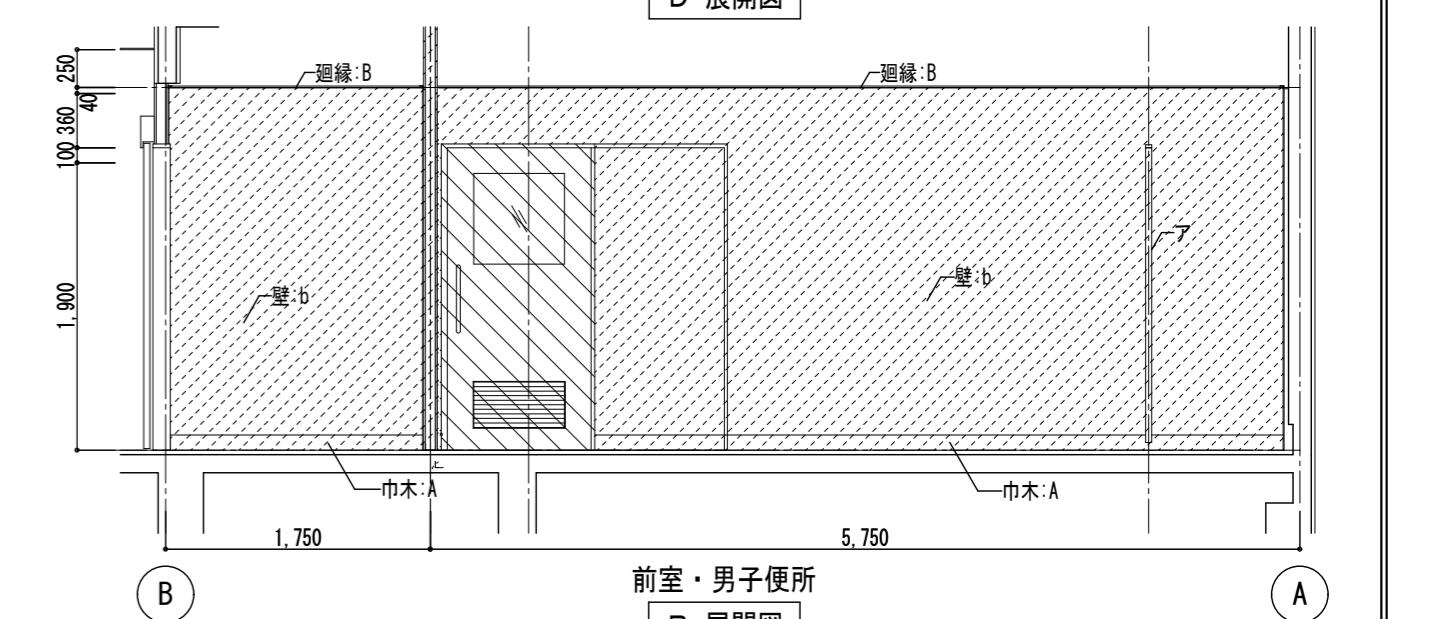
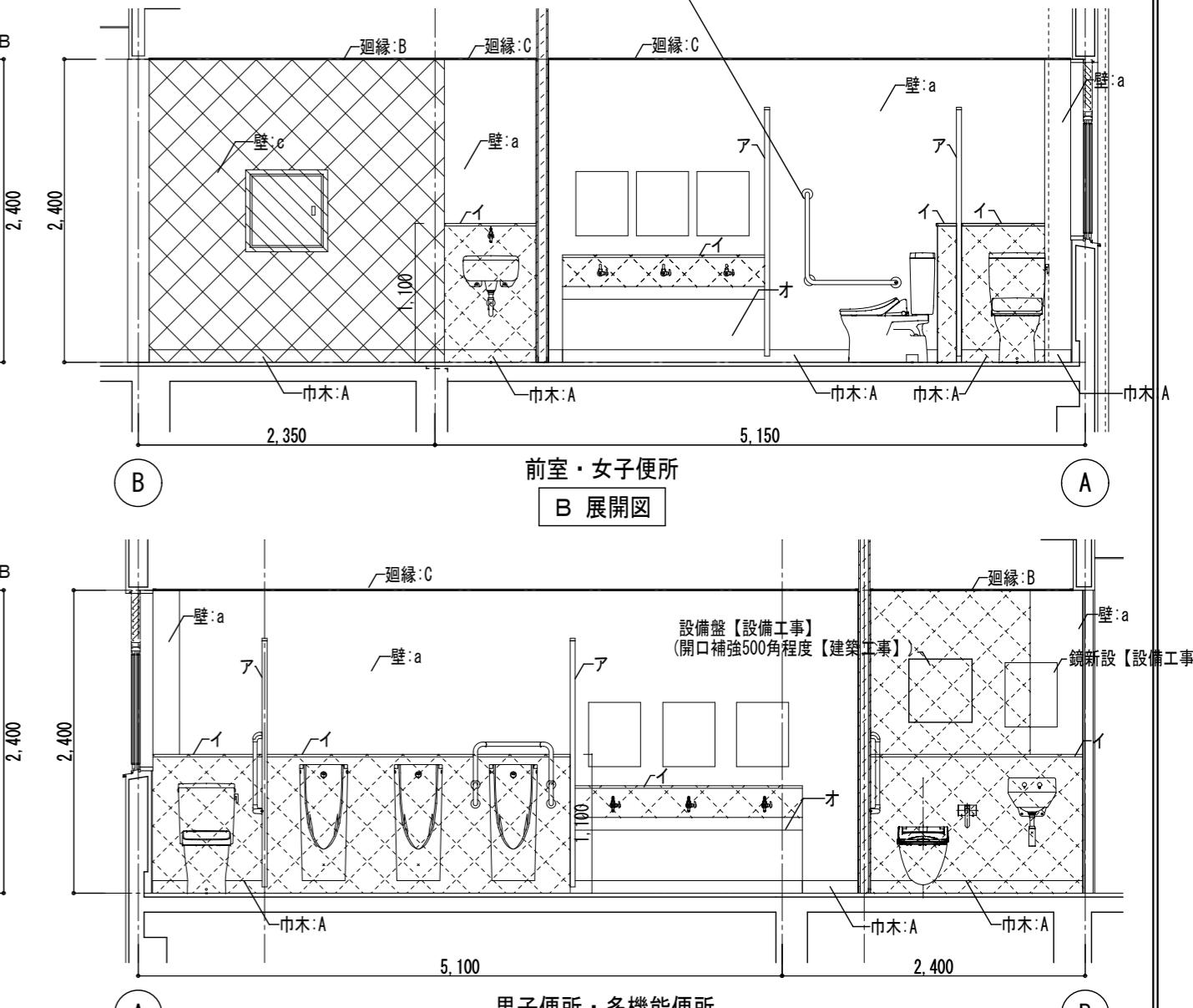
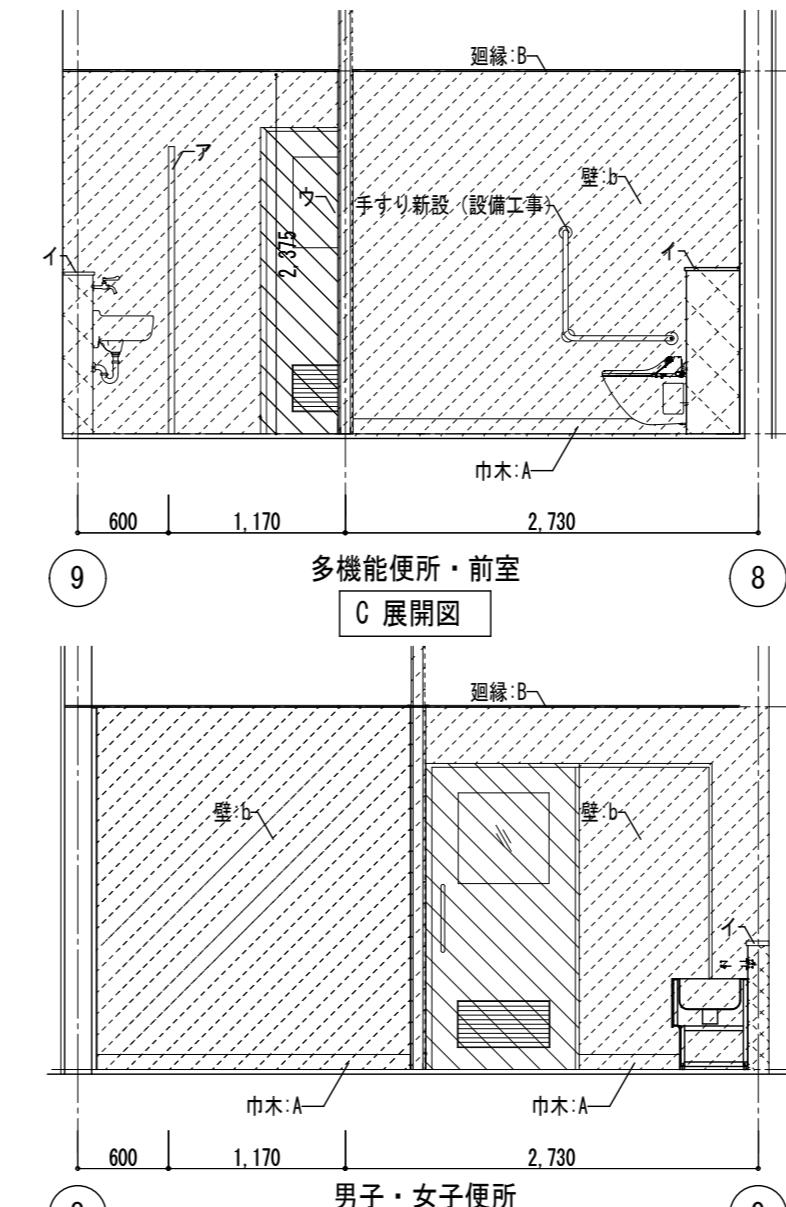
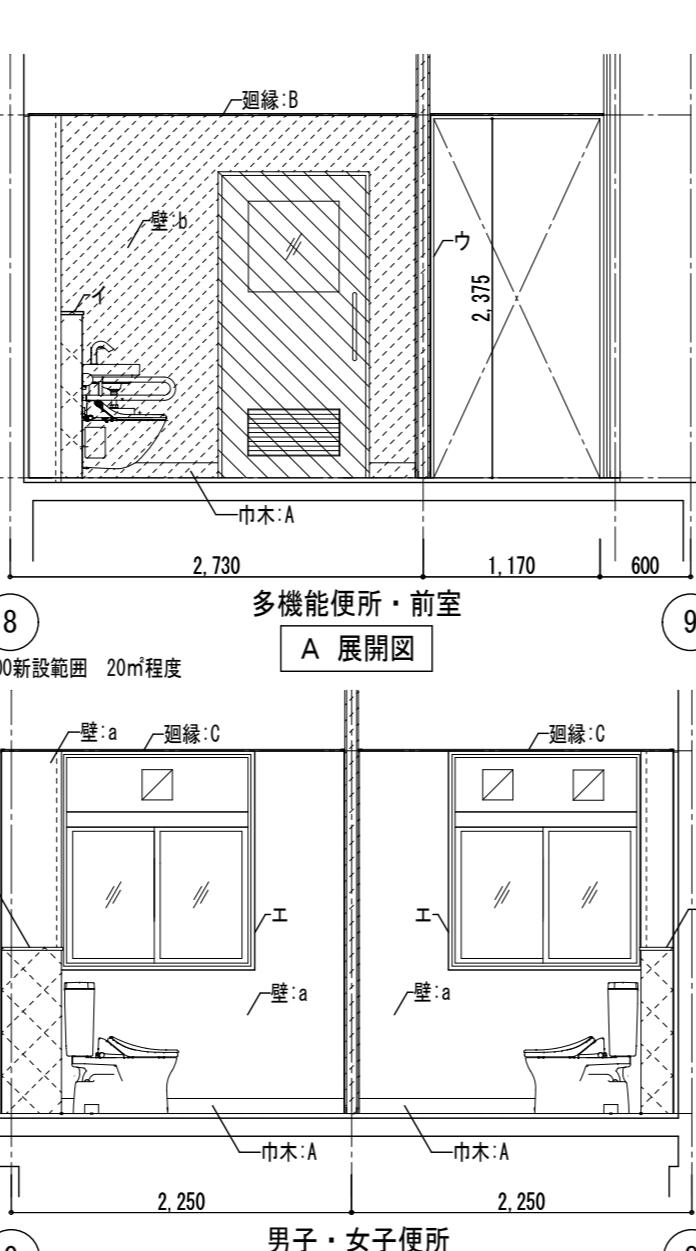
凡例(平面詳細図)

床:防汚防滑性ビニル床シートt=2.0+モルタル金ゴテt=30 +土間コンクリートt=150 (ワイヤーメッシュφ6 150×150) 直均し仕上げ+ (端部差し筋アンカ-D10@400 L400) +ポリエチレンフィルムt=0.15 (※壁際250mm埋込不要) +一部碎石t=200【新設】
床:土間コンクリートt=150 (ワイヤーメッシュφ6 150×150) 直均し仕上げ+ (端部差し筋アンカ-D10@400 L400) +ポリエチレンフィルムt=0.15 (※壁際250mm埋込不要) +一部碎石t=200【新設】
床:ビニル床シートt=2.0+モルタル金ゴテt=30【新設】
PS壁:LGS65、耐水PBt=12.5+化粧ケイ酸カルシウム板t=6【新設】
**新 新設建具を示す(枠共)
①遮音壁:LGS65@303+GW24K t=50 +耐水PBt=12.5(両面) (下地スラブ又は梁下まで) +仕上材【新設】
①ライニング壁:LGS65+構造用合板1類t=12.0+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (アルミジョイナ工法)【新設】 ※大便器・手洗い:構造用合板t=12、小便器:構造用合板t=24、SK・多機能:構造用合板t=24+12 ▼ピクトサイン:突出型 ▼ピクトサイン:平付型

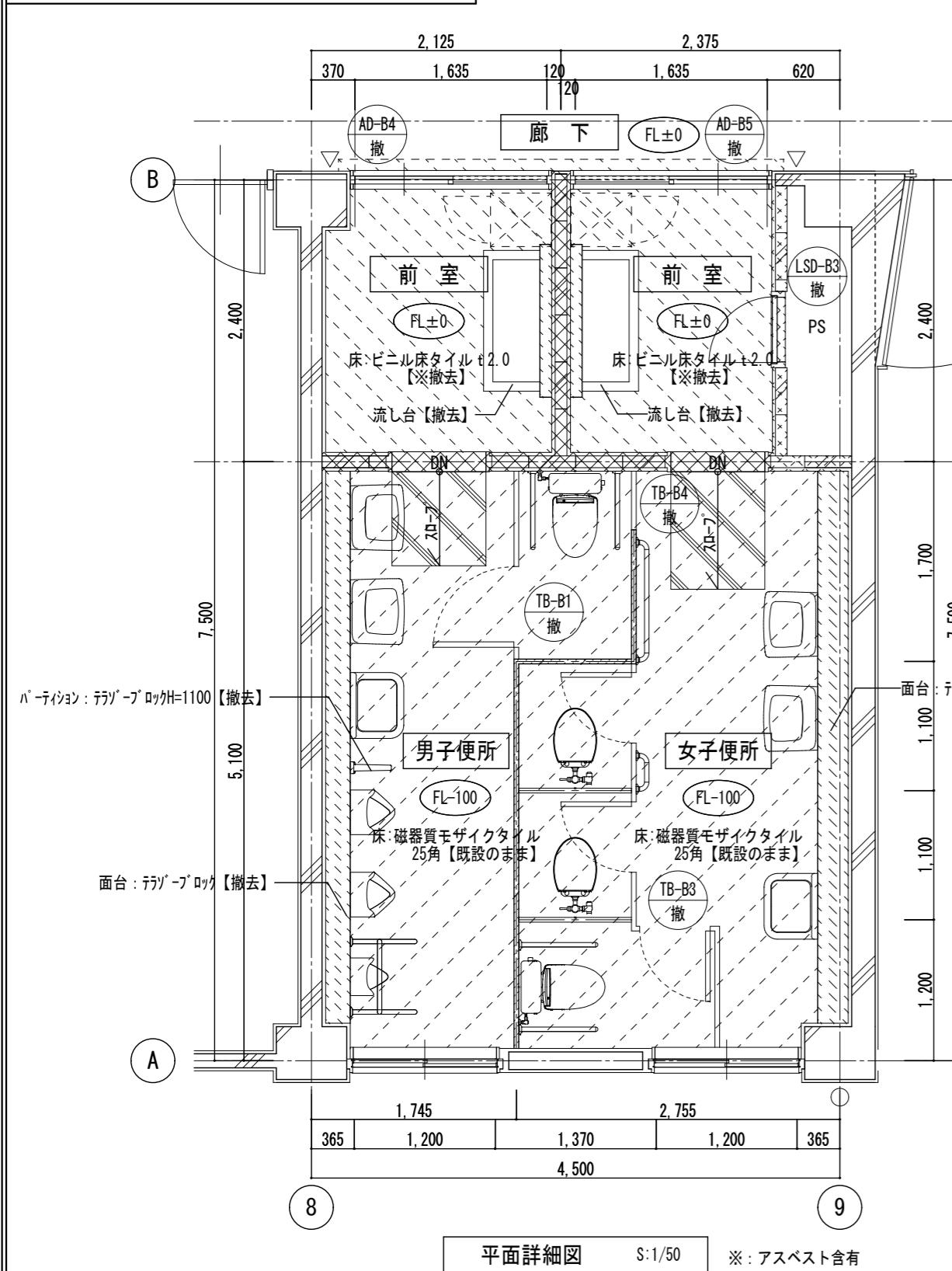
凡例(展開図)

〈巾木・廻縁〉	〈壁〉	〈その他〉
A 巾木:ビニル巾木t=100【新設】	a 既設仕上+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (接着貼)(アルミジョイナ工法)	ア トイレ-ス【新設】
B 塗ビ廻縁【新設】	b 既設仕上+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (接着貼)(アルミジョイナ工法)	イ 面台:SUS製t=1.5 曲げ加工【新設】
C 廻縁 SOP塗替え	c PS壁 EP-G【塗装】	オ SUS製流し台【新設】

新設建具を示す(枠共)
遮音壁:LGS下地間に仕切壁【新設】手すり取付け部補強合板共
間仕切り壁、ライニング壁:LGS下地壁【新設】
PS壁:LGS65、耐水PBt=12.5+化粧ケイ酸カルシウム板t=6【新設】

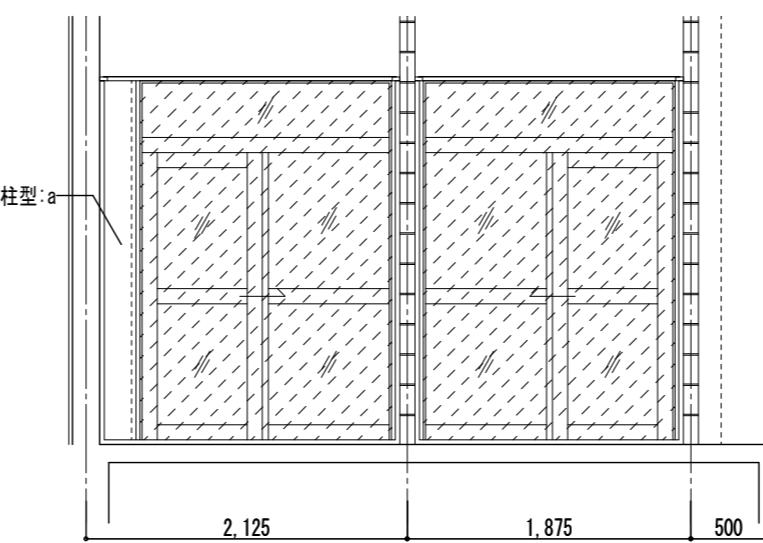


2・3階児童用便所(改修前)



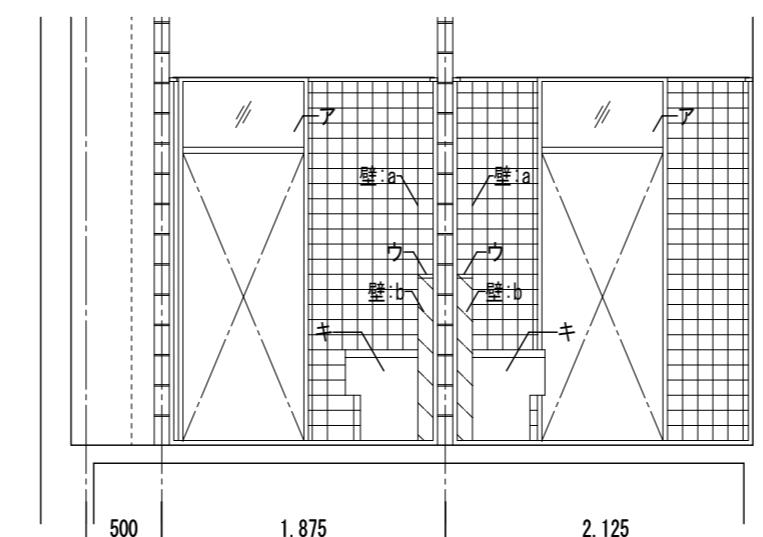
A
B
C
D
展開記号図

前室
A 展開図



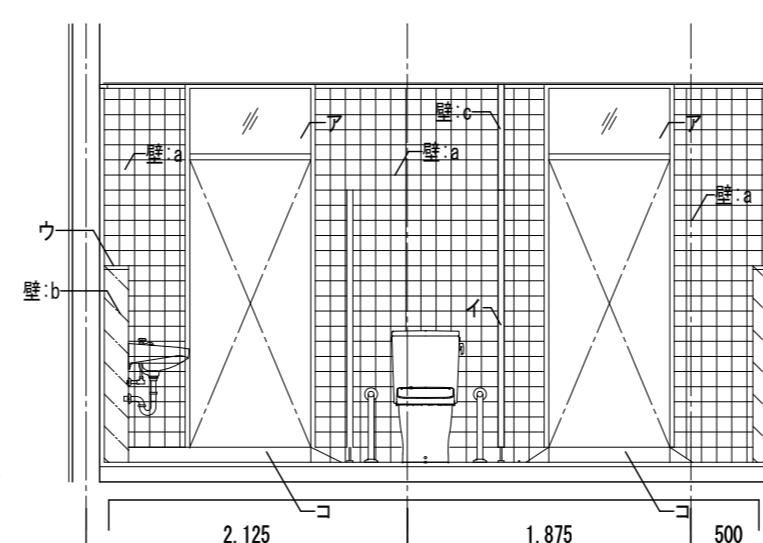
8 9

前室
C 展開図



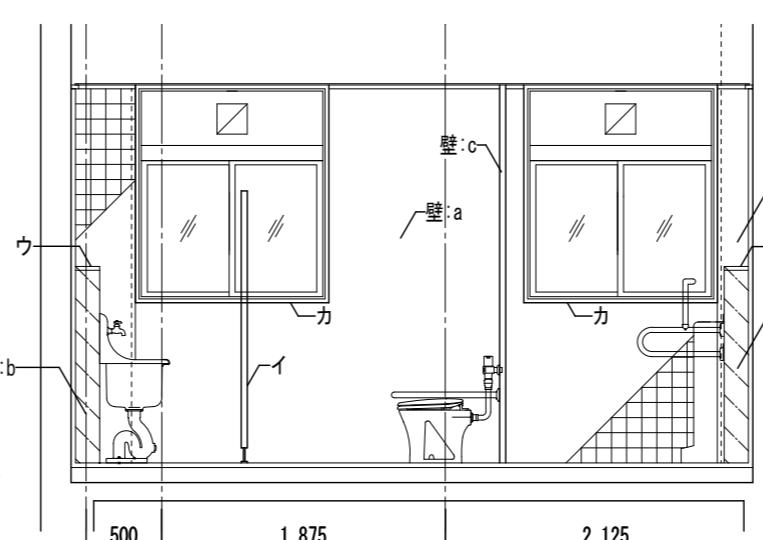
9 8

男子・女子便所
A 展開図



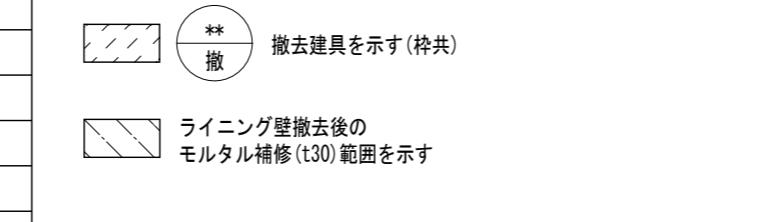
8 9

男子・女子便所
C 展開図

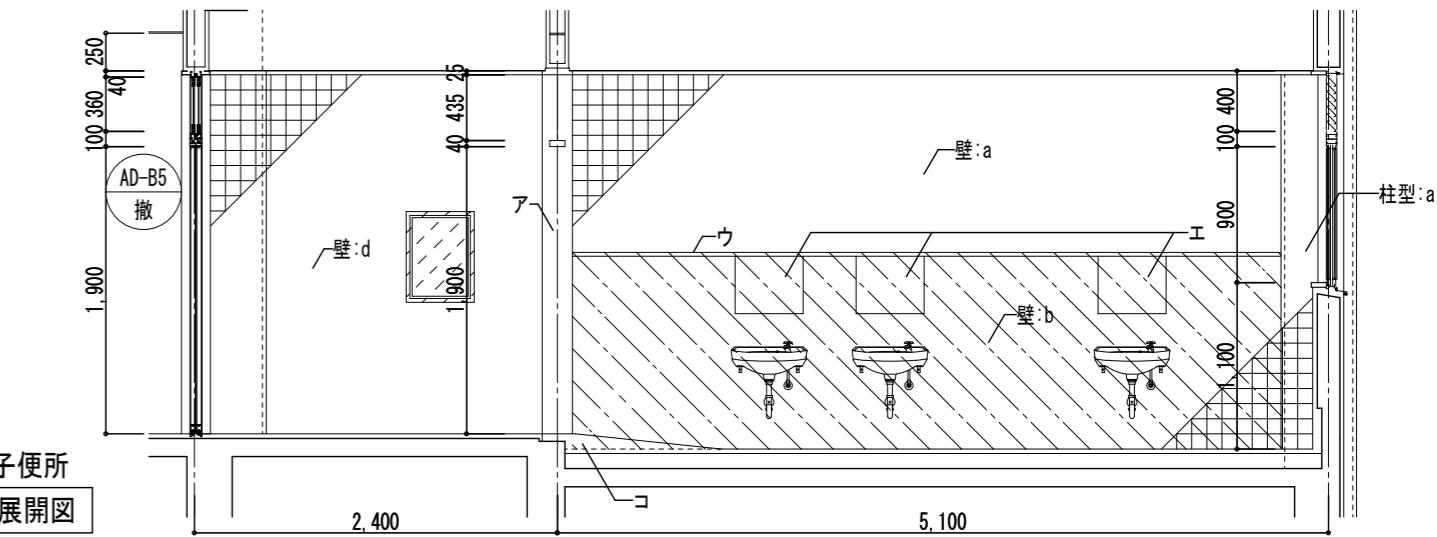


9 8

男子・女子便所
D 展開図

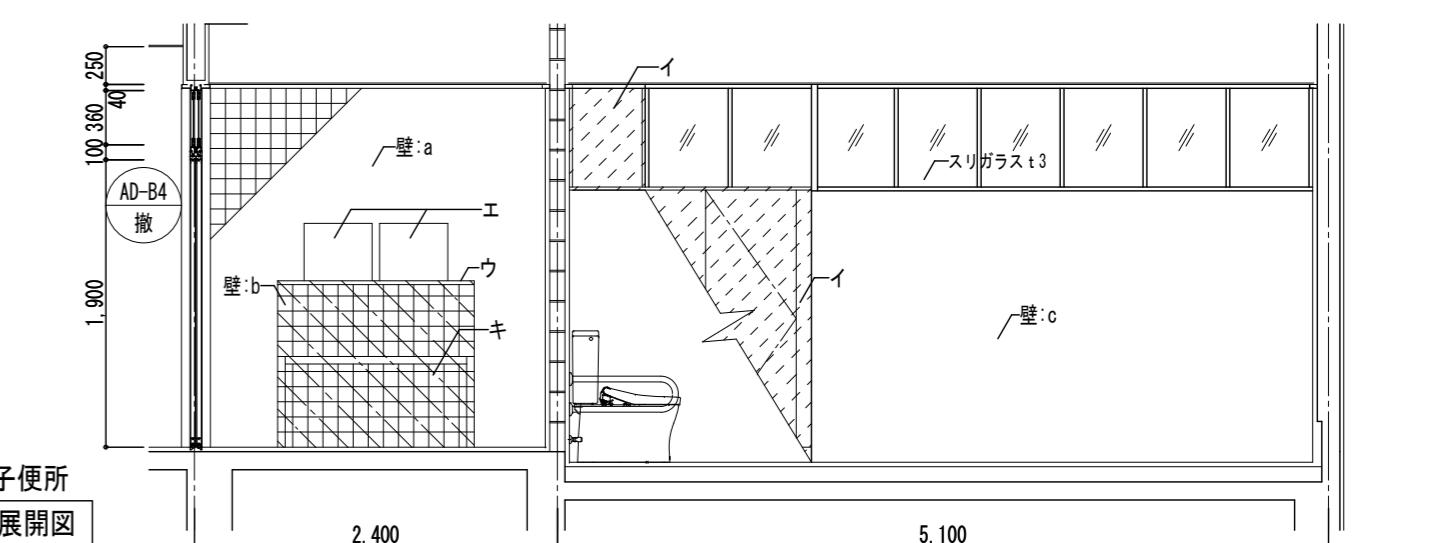


8 9

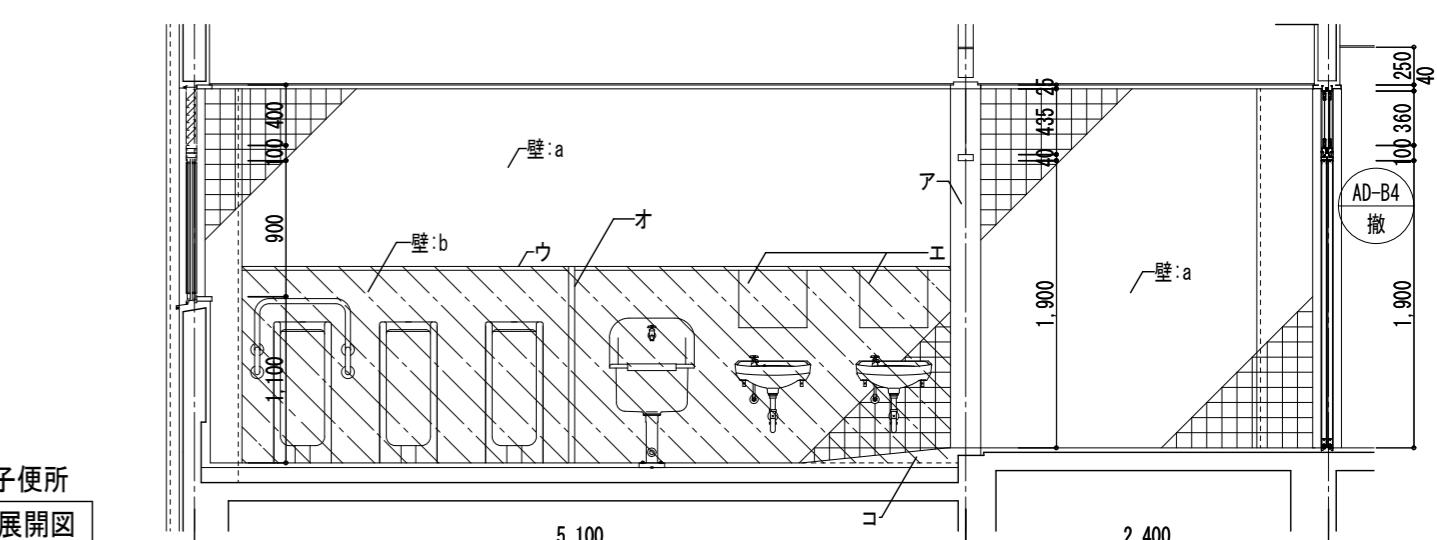


8 9

女子便所
D 展開図



8 9



8 9

凡例(展開図)

- 床:磁器質モザイクタイル25角+モルタル下地t=30
- 床:ビニル床タイル【撤去】
- 間仕切壁:フラッシュ隔壁シナベニヤt=5.5塗装(両面)【撤去】
- 間仕切り壁:CBt=100(磁器質タイル+モルタル下地共)【撤去】
- PS壁:CBt=100【撤去】
- スロープ:コンクリート刷毛引き(ステンレス見切共)【撤去】
- ライニング壁:CBt=100+100角タイル+モルタル下地t=30【撤去】
- 床:カッターライン(モルタル)
- 撤去建具を示す(枠共)
- ピクトサイン【撤去】

凡例(平面図)

<巾木・廻縁>		<壁>		<その他>	
A	木製廻縁 SOP【撤去】	a	100角タイル貼	ア	木製三方枠 SOP【撤去(ガラス共)】
		b	ライニング壁:CB100+モルタルt=30下地+100角タイル貼り【撤去】	イ	トイレ・ス【撤去】
		c	フラッシュ隔壁シナベニヤt=5.5塗装(両面)【撤去(ガラス共)】	ウ	面台:テラゾーブロック【撤去】
		d	PS壁:CB100+モルタルt=30下地+100角タイル貼り【撤去】	エ	鏡【撤去】
				オ	ハーテイション(テラゾーブロック)H=1100【撤去】

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計代表者

一級建築士

No.352551

構造設計者

No.320203

設備設計者

No.9894

計画監修者

井上義智

設計担当者

一級建築士

No.352551

構造設計者

No.320203

設備設計者

No.9894

計画監修者

井上義智

SCALE

A2:1/50

1/70

DATE

R 6.7

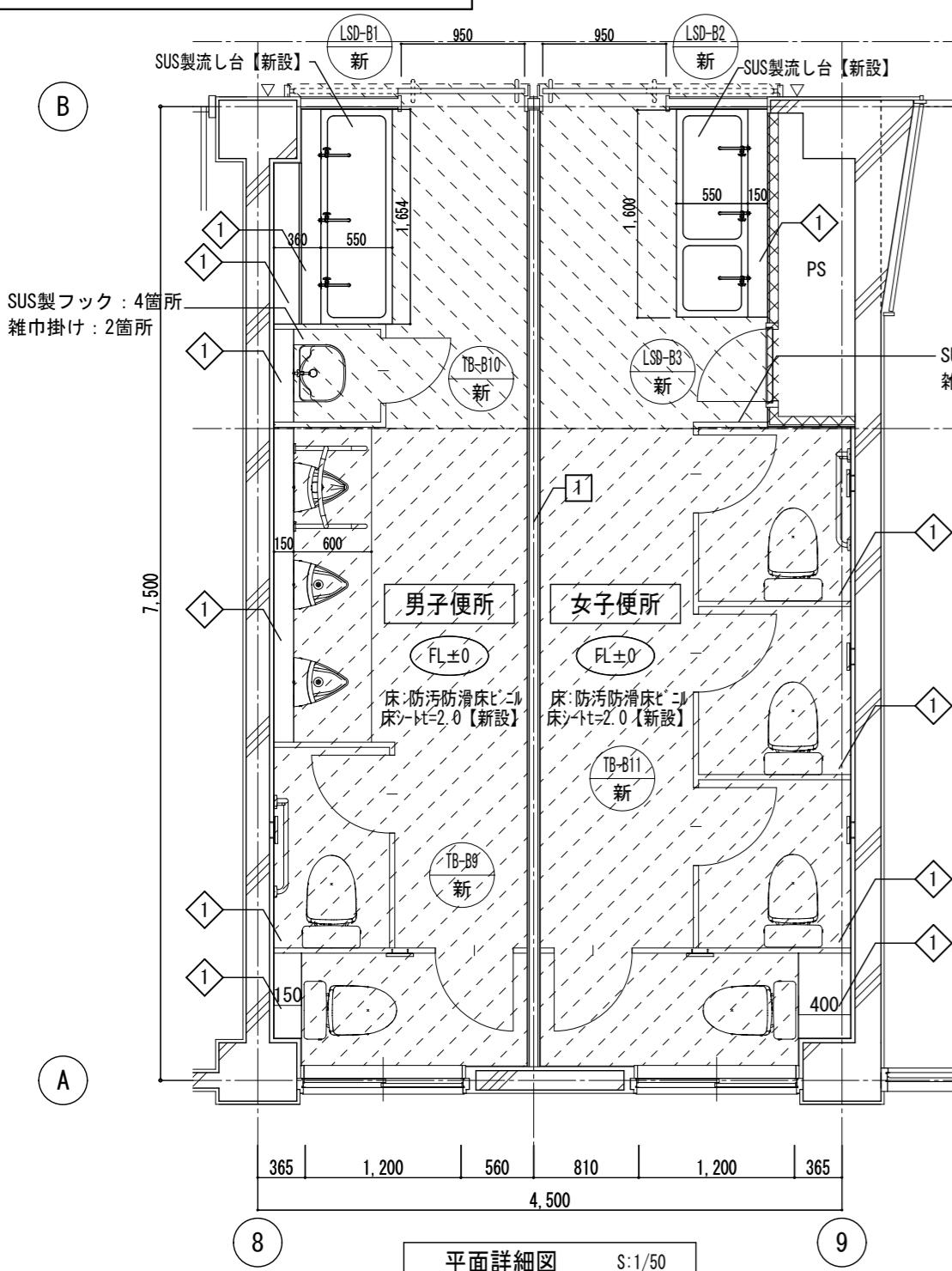
工事名称 県小学校南校舎長寿命化改修工事(2期工事)

図面名称 2・3階児童用便所 平面詳細図・展開図(改修前)

A-38

原図:A2

2・3階児童用便所(改修後)



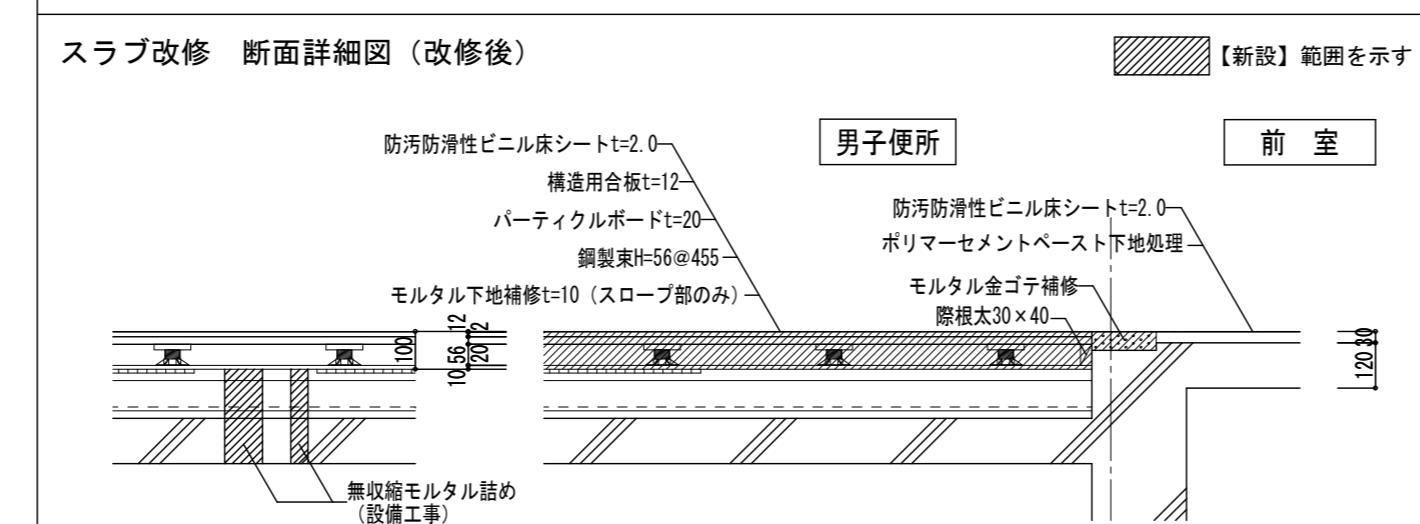
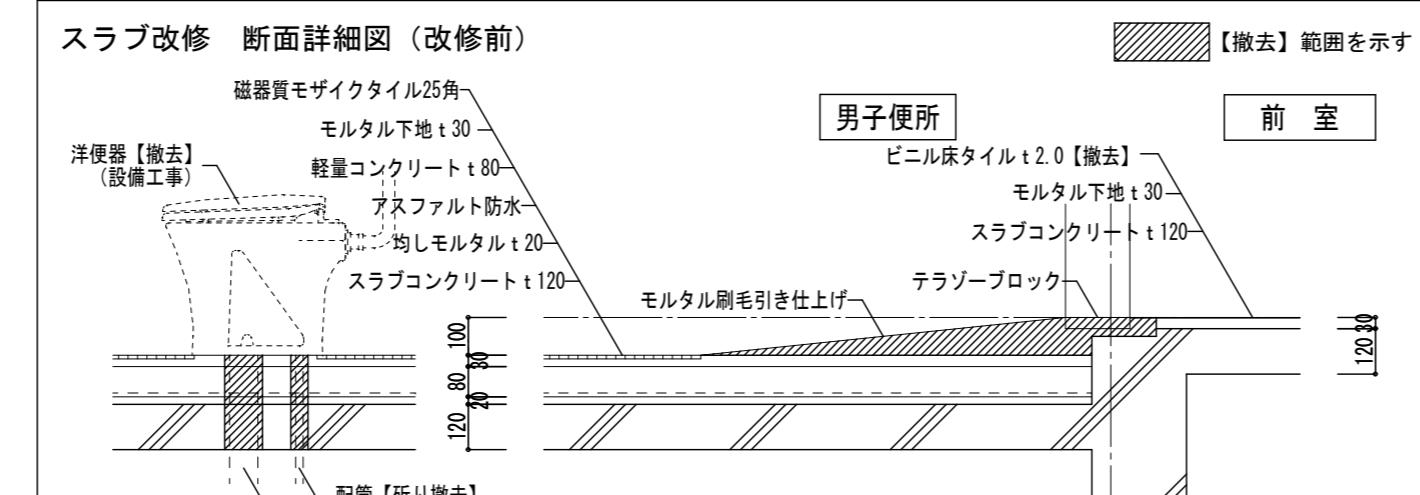
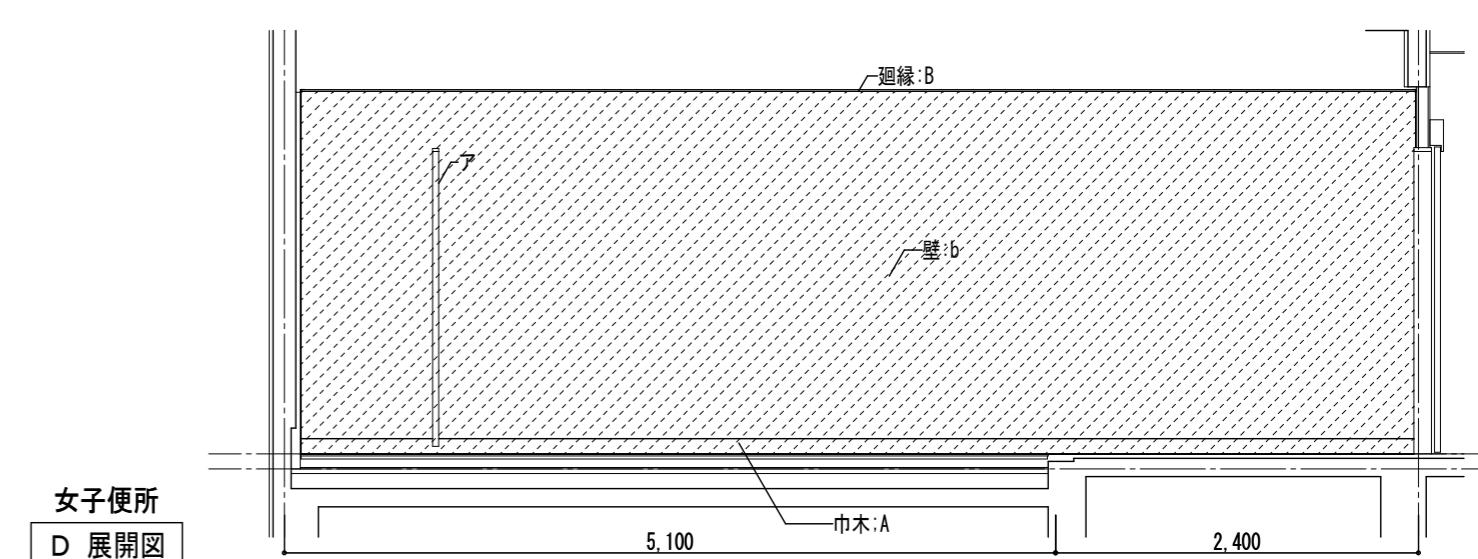
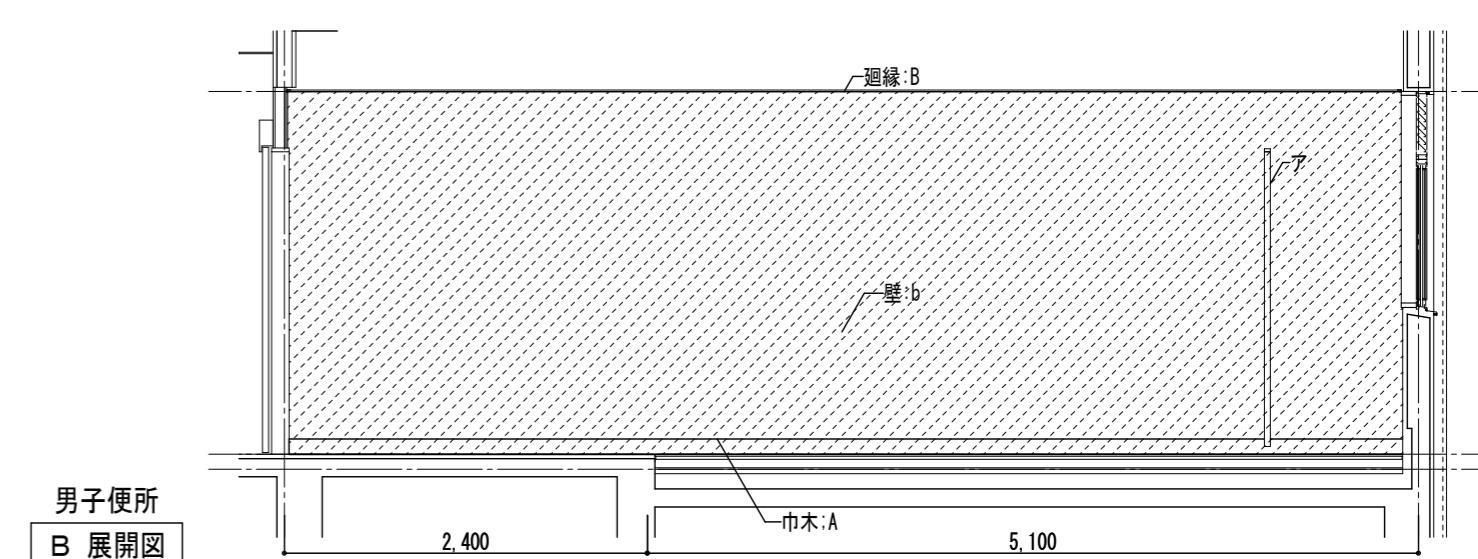
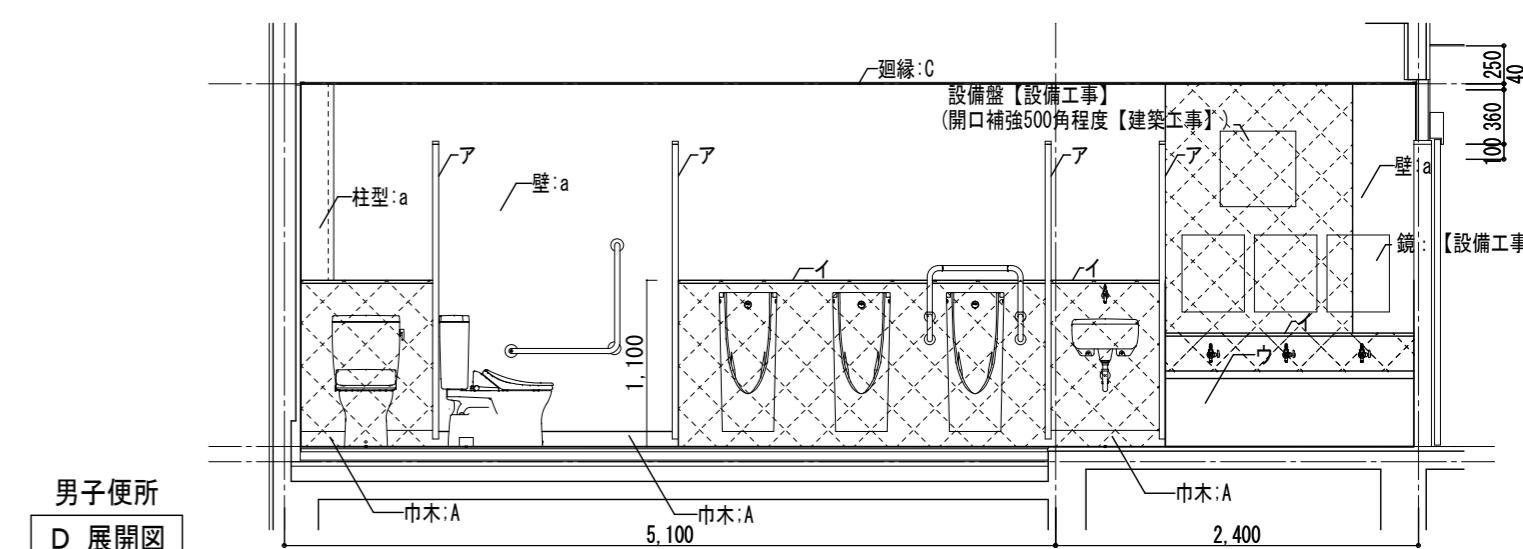
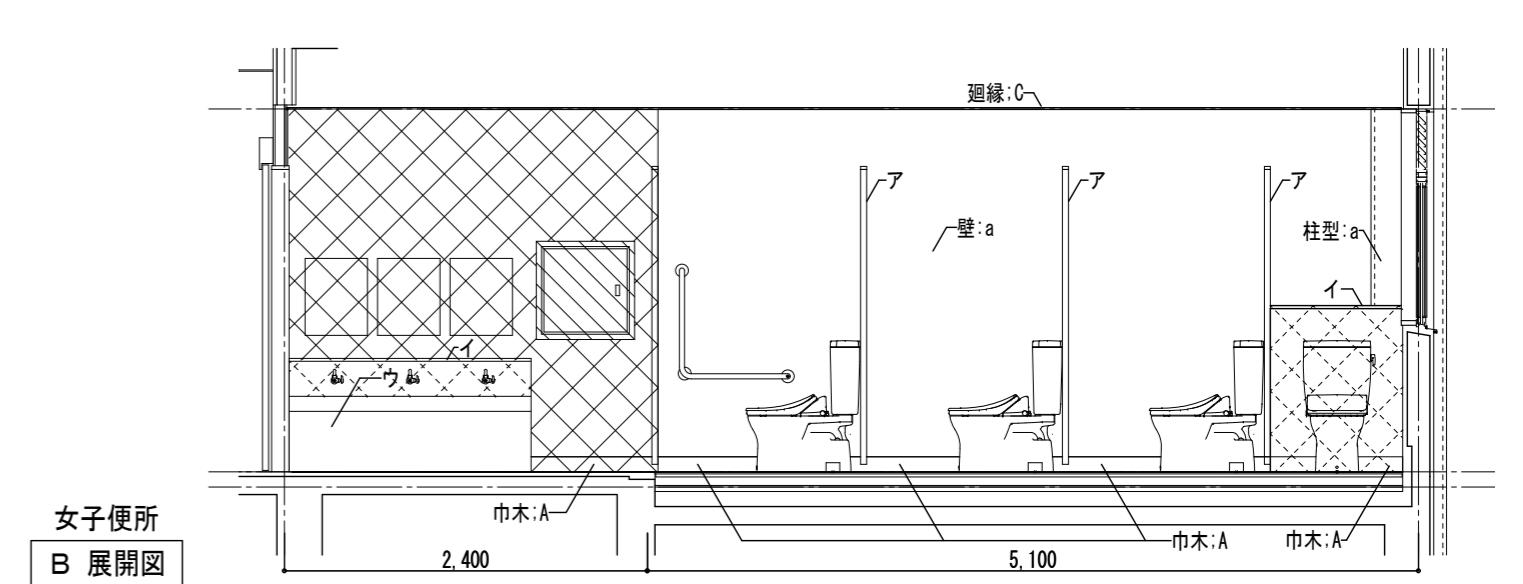
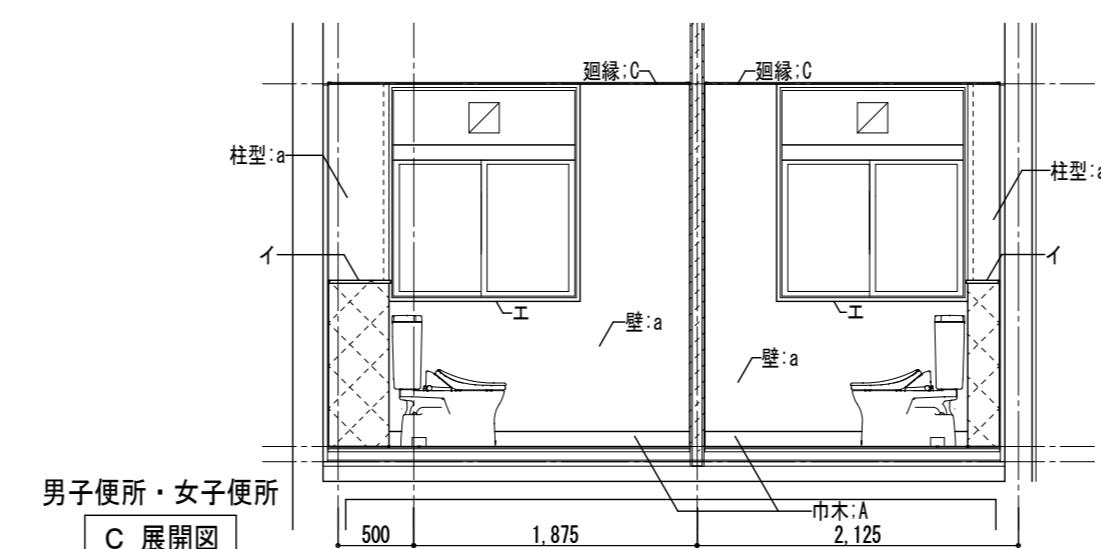
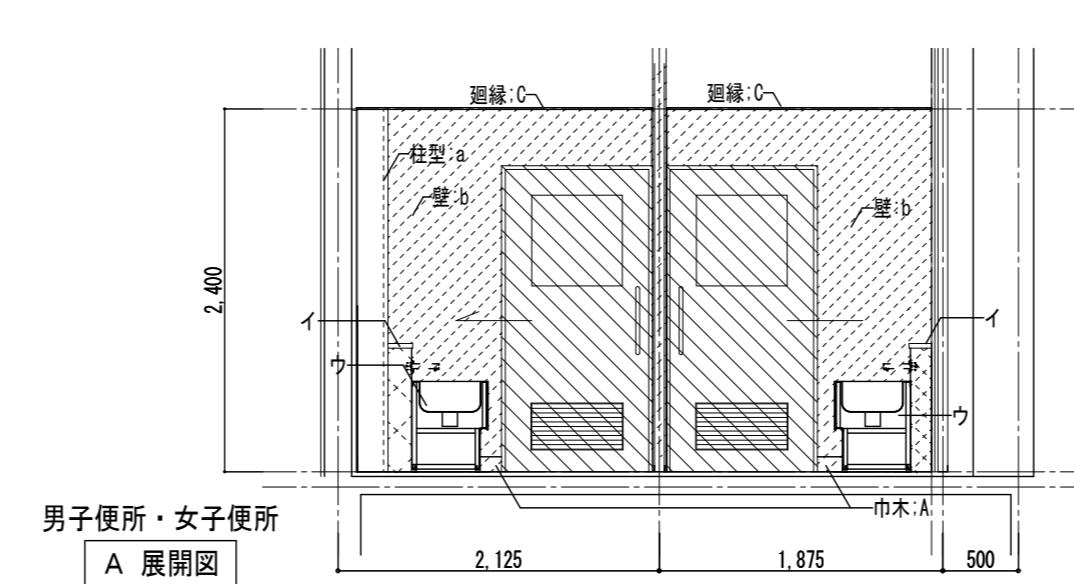
凡例(平面詳細図)

床:ポリマーセメントベースト下地処理+防汚防滑性ビニル床シートt=2.0【新設】
床:防汚防滑性ビニル床シートt=2.0+構造用合板t=12+パテイク床+ドットt=20 +鋼製束H=56@455(際根太共)+モルタル下地補修t=10【新設】
PS壁:LGS65、耐水PBT=12.5+化粧ケイ酸カルシウム板t=6【新設】
新設建具を示す(枠共)
遮音壁:LGS65@303+GW24Kt=50 +耐水PBT=12.5(両面)(下地スラブ又は梁下まで)+化粧ケイ酸カルシウム板t=6【新設】
ライニング壁:LGS65+構造用合板1類t=12.0+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (アルミジョイナ工法)【新設】
※大便器・手洗い:構造用合板t=12、小便器:構造用合板t=24、SK・多機能:構造用合板t=24+12
ピクトサイン:平付型

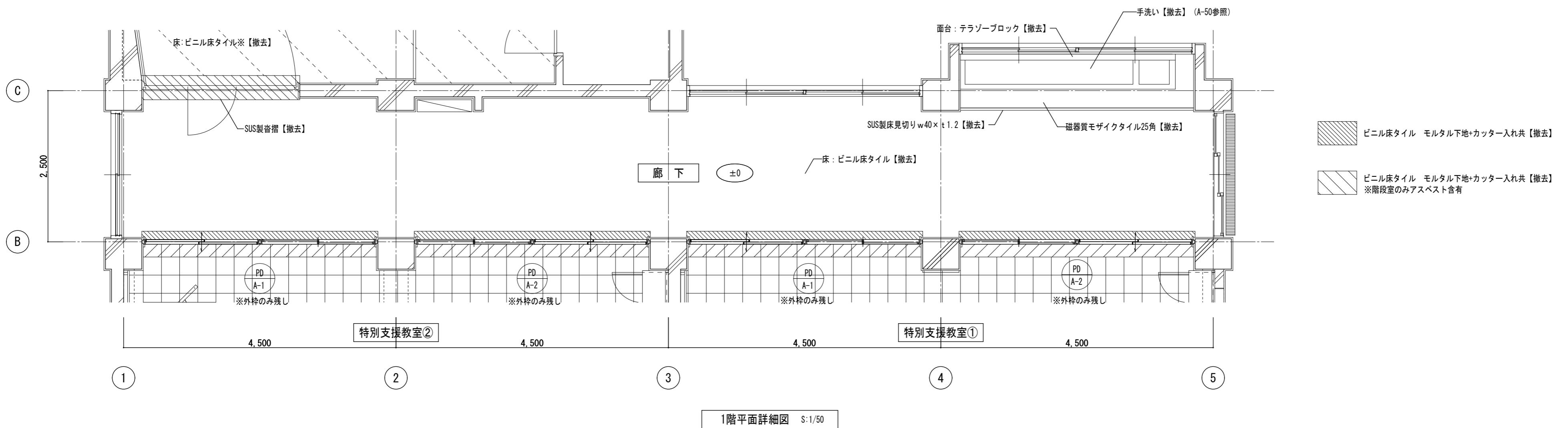
凡例(展開図)

〈巾木・廻縁〉	〈壁〉	〈その他〉
A 巾木:ビニル巾木H=100【新設】	a 既設仕上+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (接着貼)(アルミジョイナ工法)	ア マイペース【新設】 オ SUS製流し台【新設】
B 塩ビ廻縁【新設】	b 遮音壁+化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (接着貼)(アルミジョイナ工法)	イ 面台:SUS製t=30 HL【新設】 カ SUS製流し台【新設】
C 廻縁SOP塗替え		ウ SUS製流し台【新設】 キ 木製カッサ: SOP塗替え

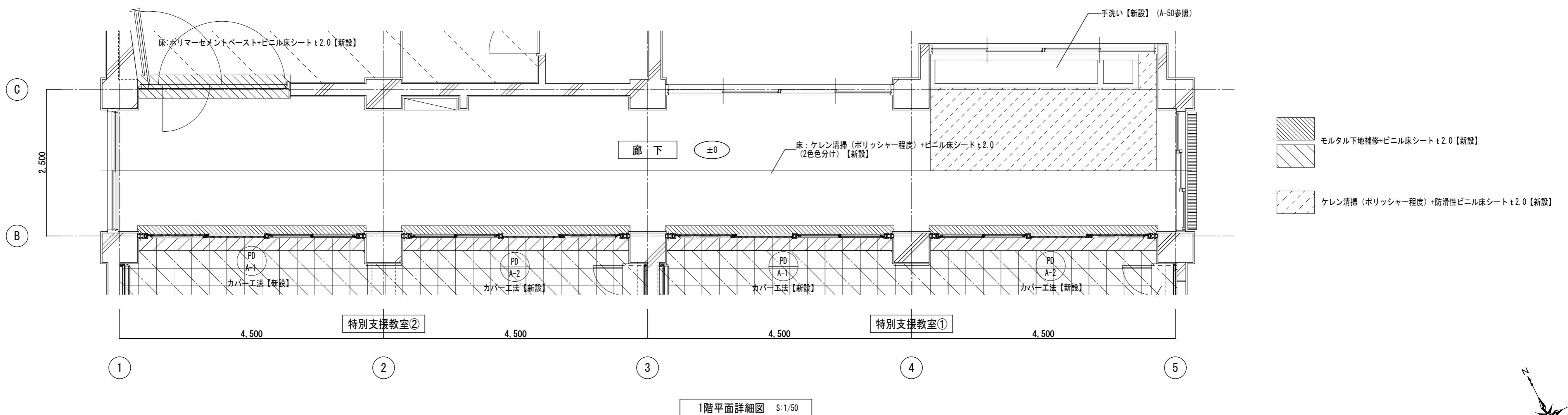
A
B
C
D
展開記号図



改修前

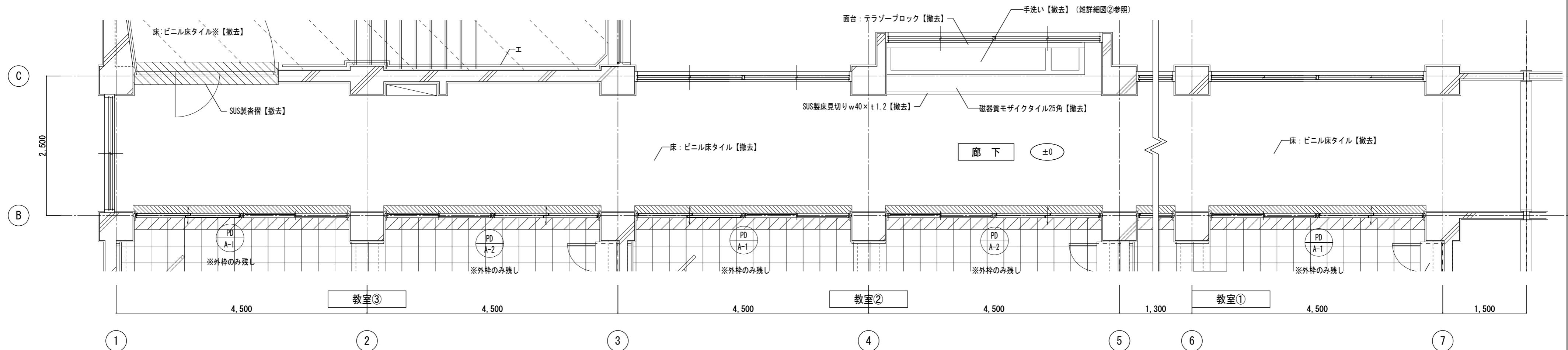


改修後



改修前

ビニル床タイル モルタル下地+カッター入れ共【撤去】

ビニル床タイル モルタル下地+カッター入れ共【撤去】
※廊下室のみアスベスト含有

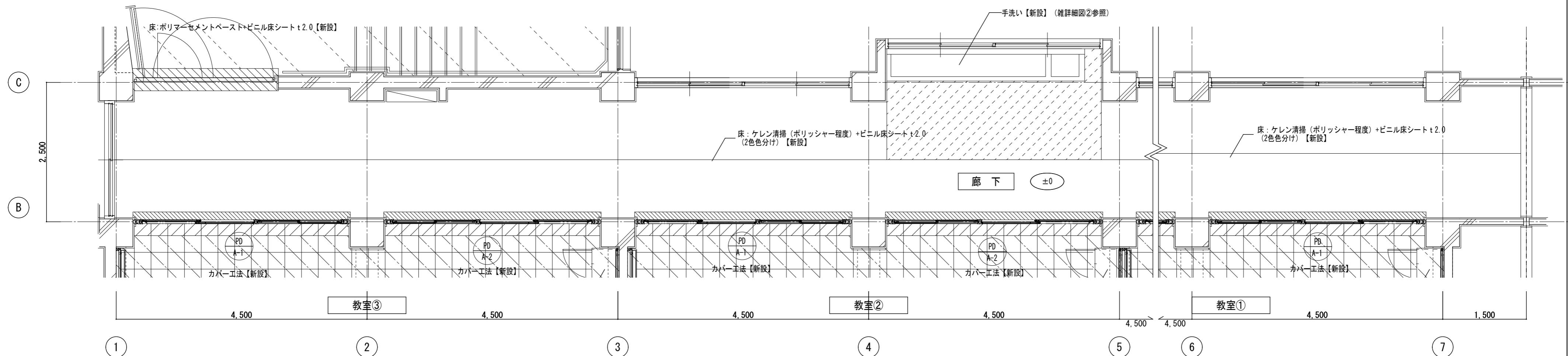
2階平面詳細図 S:1/50

※教室内は各室詳細による

改修後

モルタル下地補修+ビニル床シート t 2.0【新設】

ケレン清掃 (ポリッシャー程度) +防滑性ビニル床シート t 2.0【新設】

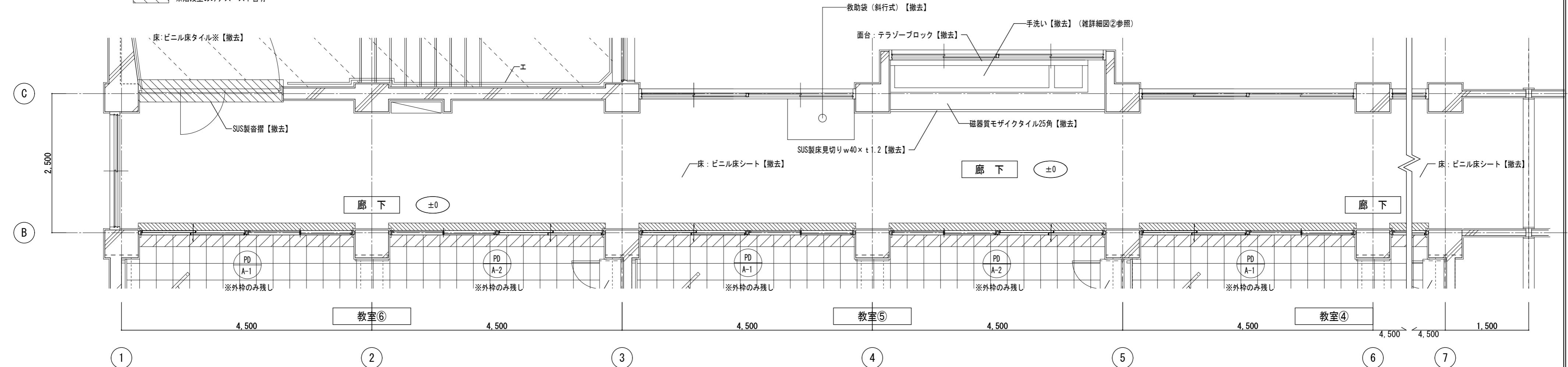


2階平面詳細図 S:1/50

※教室内は各室詳細による

改修前

ビニル床タイル モルタル下地+カッター入れ共【撤去】

ビニル床タイル モルタル下地+カッター入れ共【撤去】
※階段室のみアスベスト含有

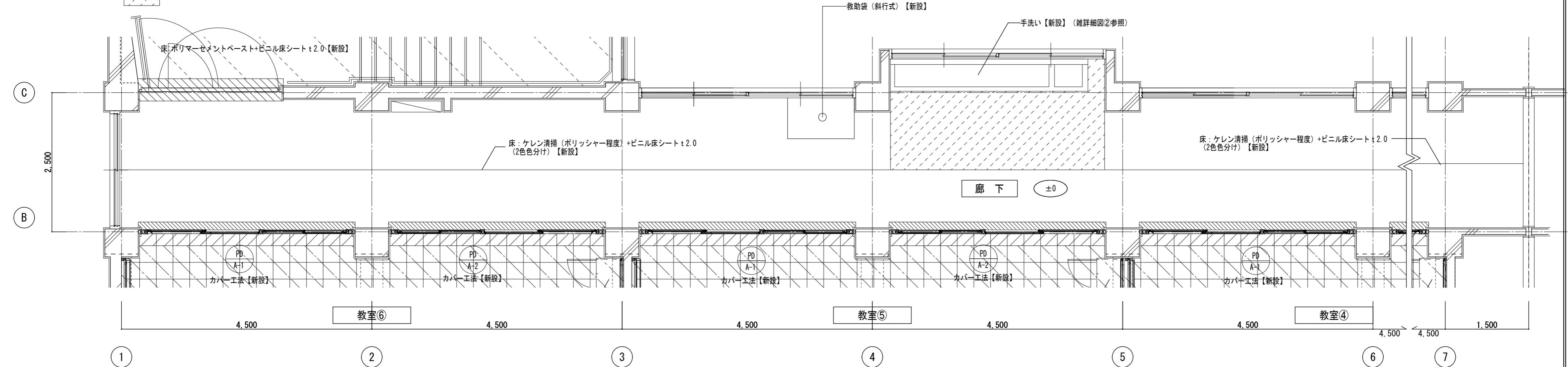
3階平面詳細図 S:1/50

※教室内は各室詳細による

改修後

モルタル下地補修+ビニル床シート t 2.0【新設】

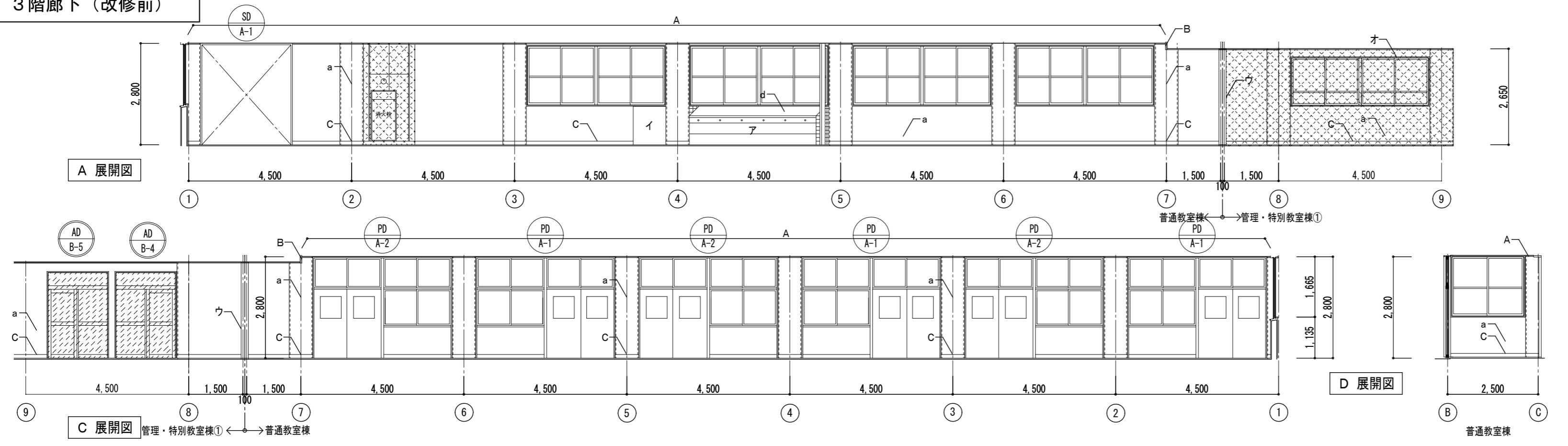
ケレン清掃（ポリッシャー程度）+防滑性ビニル床シート t 2.0【新設】



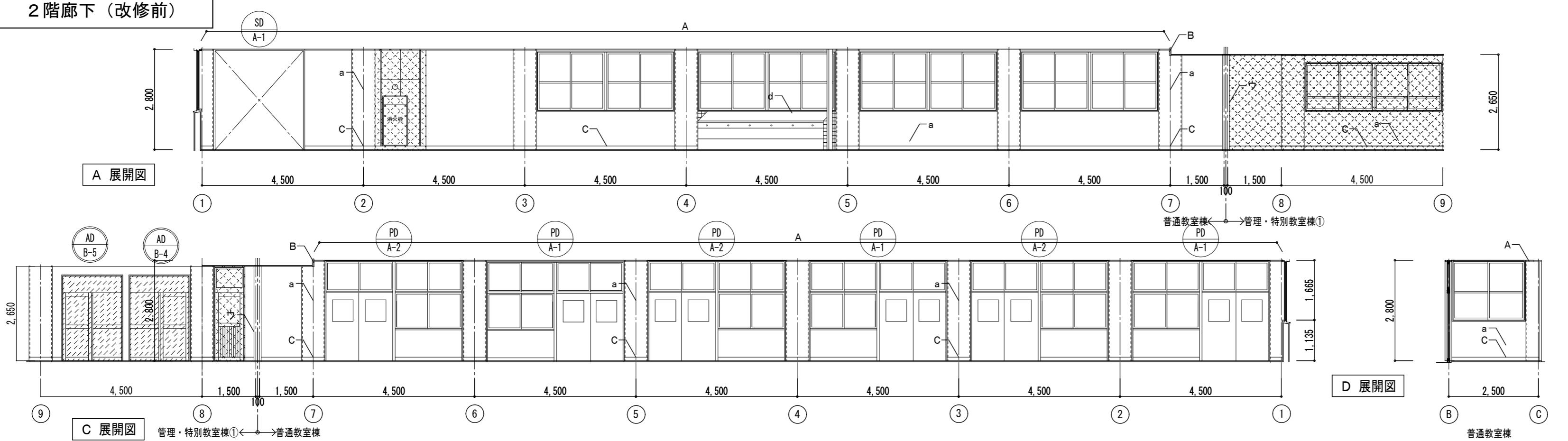
3階平面詳細図 S:1/50

※教室内は各室詳細による

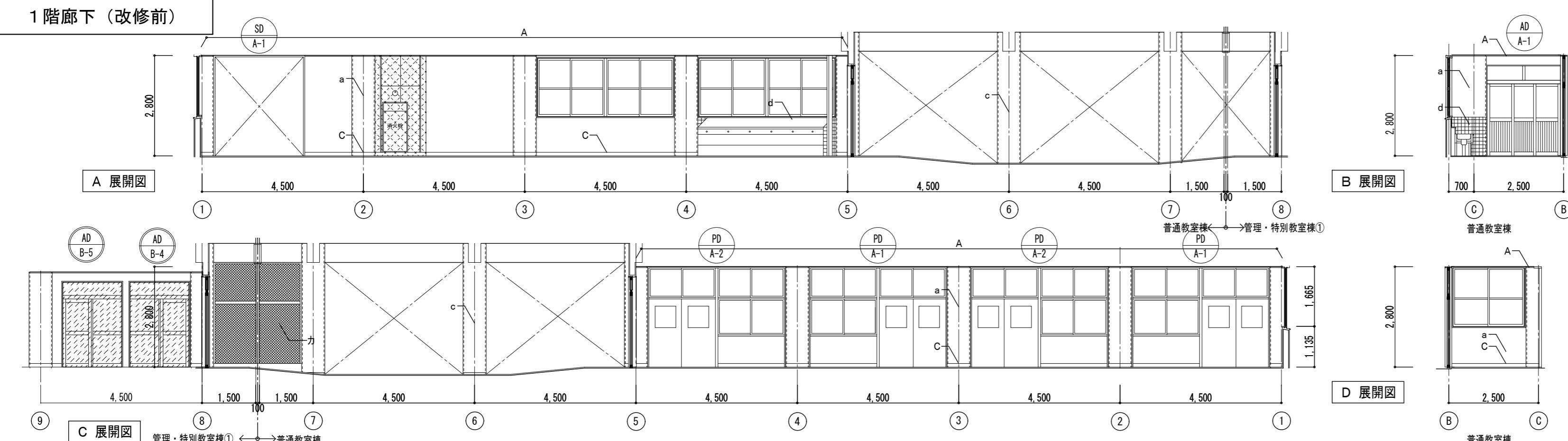
3階廊下（改修前）



2階廊下（改修前）



1階廊下（改修前）



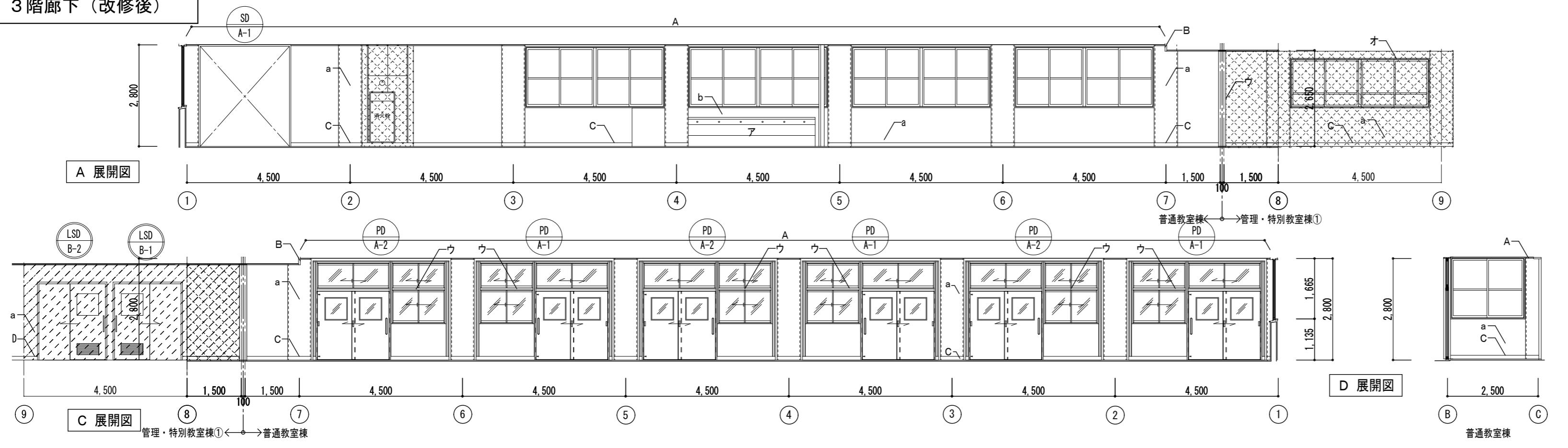
凡例（展開図）

<巾木・廻縁>		<壁>	
A	廻縁: 木製 SOP	a	モルタル金ゴテ AEP
B	天井見切り: 木製 SOP	b	LGS下地 PB t 12.5の上 シナ合板 AEP【撤去（仕上のみ）】
C	巾木: 木製 SOP h 100	c	合板型枠コンクリート打放し 外壁リシン吹き付け
D	磁器質タイル 100角【撤去】	d	

<その他>	
ア	SUS製手洗い【撤去】(SUS面台共)
イ	斜行式救助袋【撤去】
ウ	EXP.J【既設のまま】

凡例	
	改修対象外を示す
	撤去建具を示す（枠共）
	撤去建具を示す（枠残し）

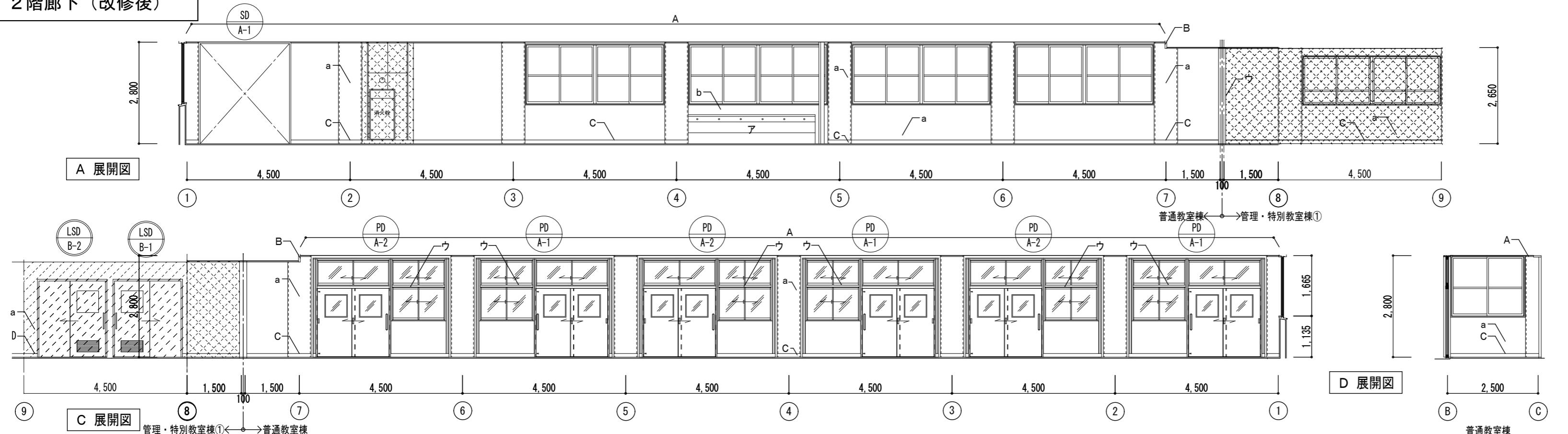
3階廊下（改修後）



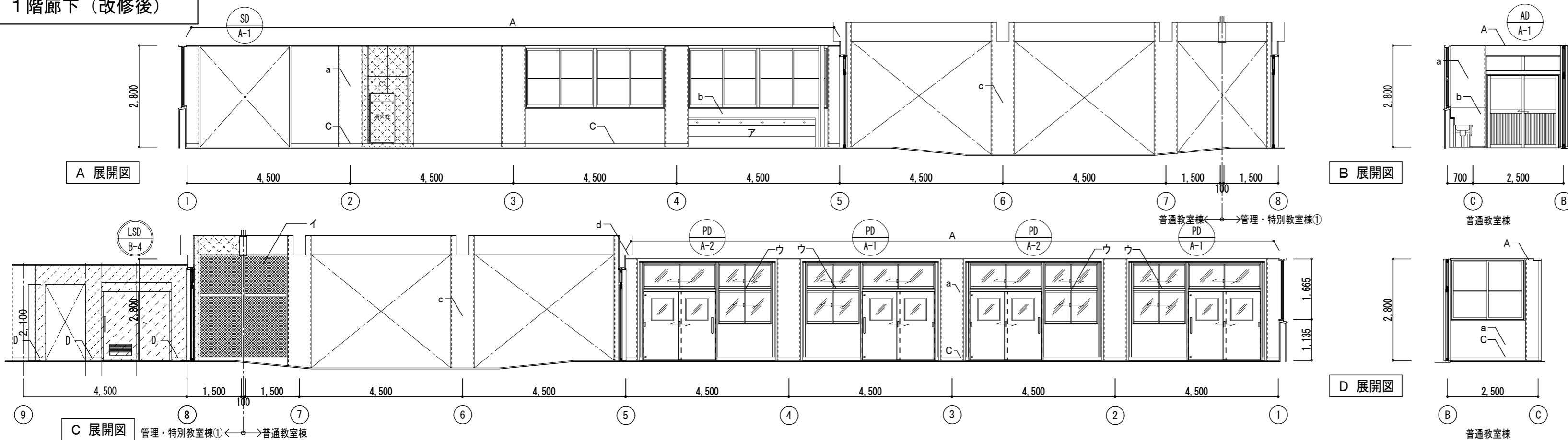
凡例（展開図）

<巾木・廻縁>		<壁>	
A	廻縁:SOP塗替え	a	EP-G塗替え
B	天井見切り:SOP塗替え	b	SUS t1.0貼り【新設】
C	巾木:SOP塗替え	c	水洗いの上、防水形外装薄塗材E(2色色分け程度)
D	巾木:ビニル巾木H=100【新設】	d	EP塗替え
<その他>			
ア	SUS製手洗い【新設】		
イ	ネットフェンス:ネット交換、鉄部DP塗替え		
ウ	ピクチャーレール補強共【新設】		
凡例			
改修範囲外を示す		LGS下地+耐水PBt12.5+EP-G塗装【新設】	
新設建具を示す（建具周囲モルタル補修+EP-G塗装）		新設建具を示す（カバー工法）	

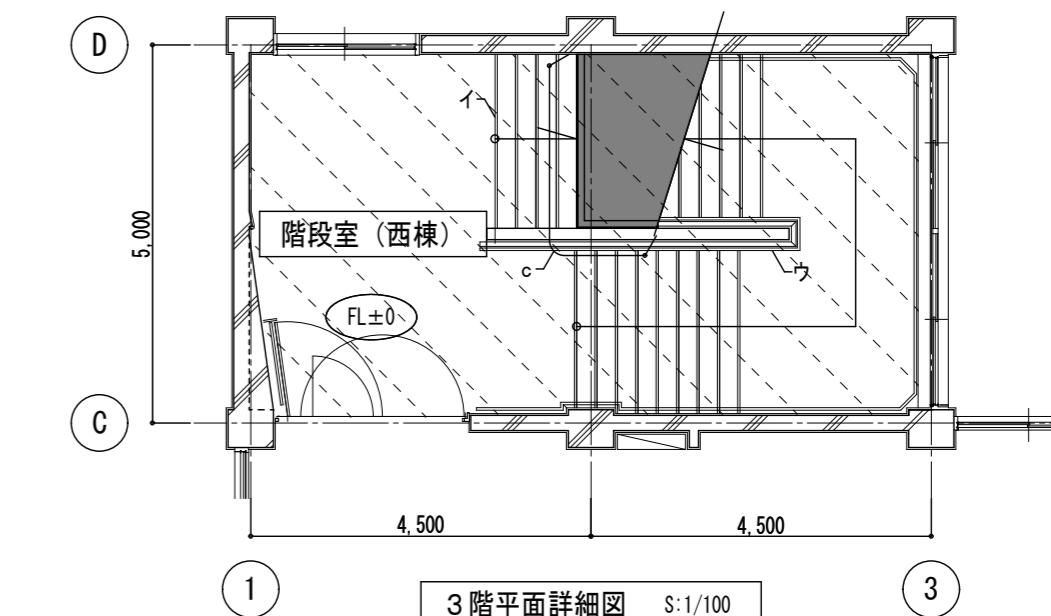
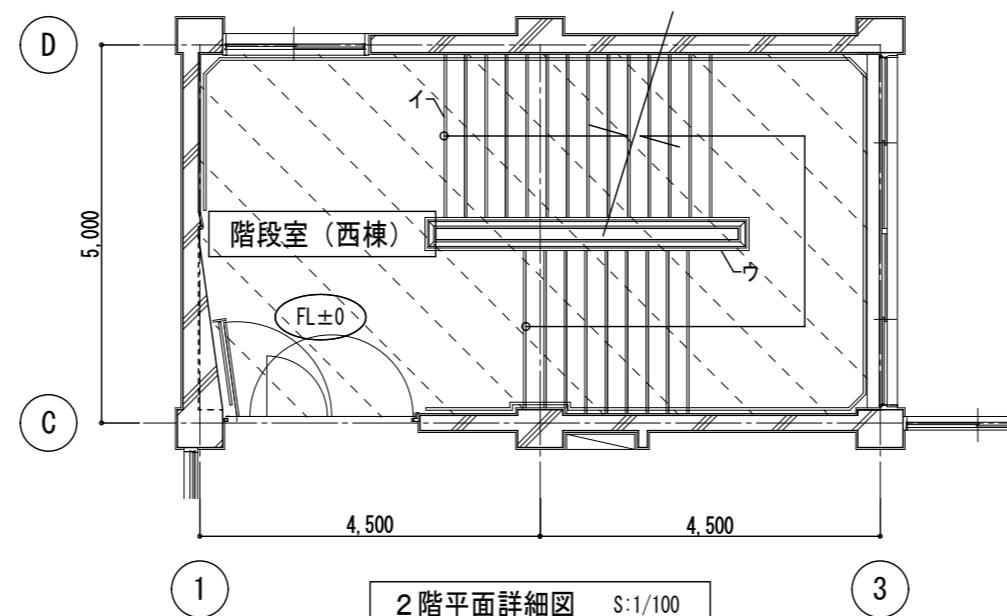
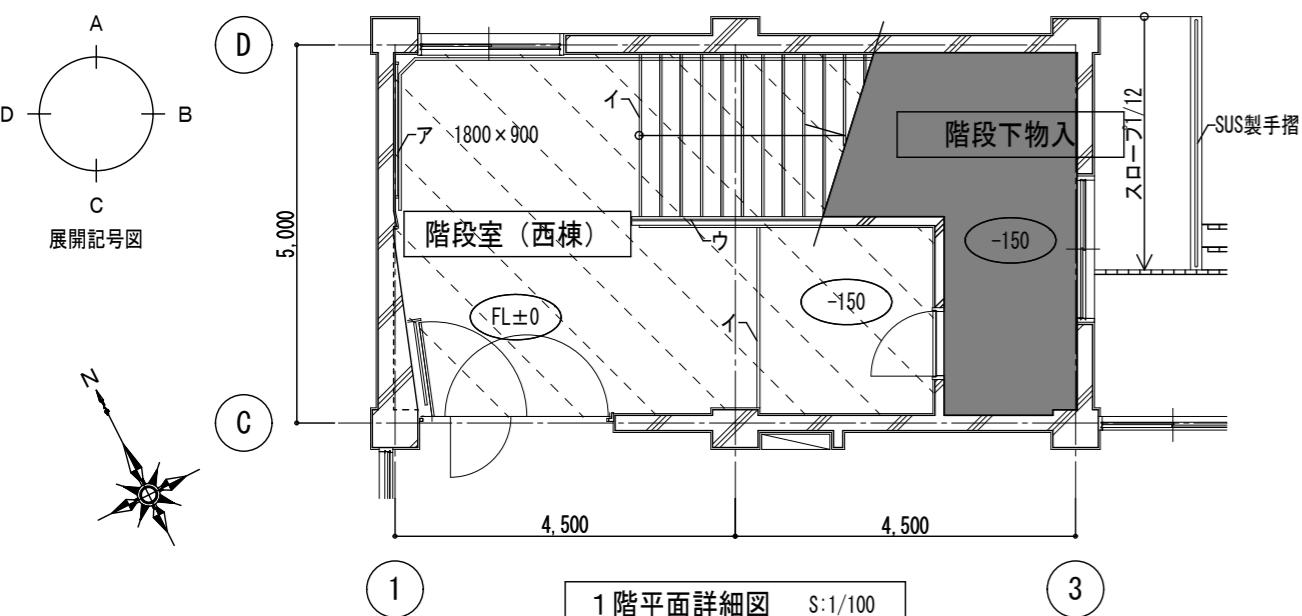
2階廊下（改修後）



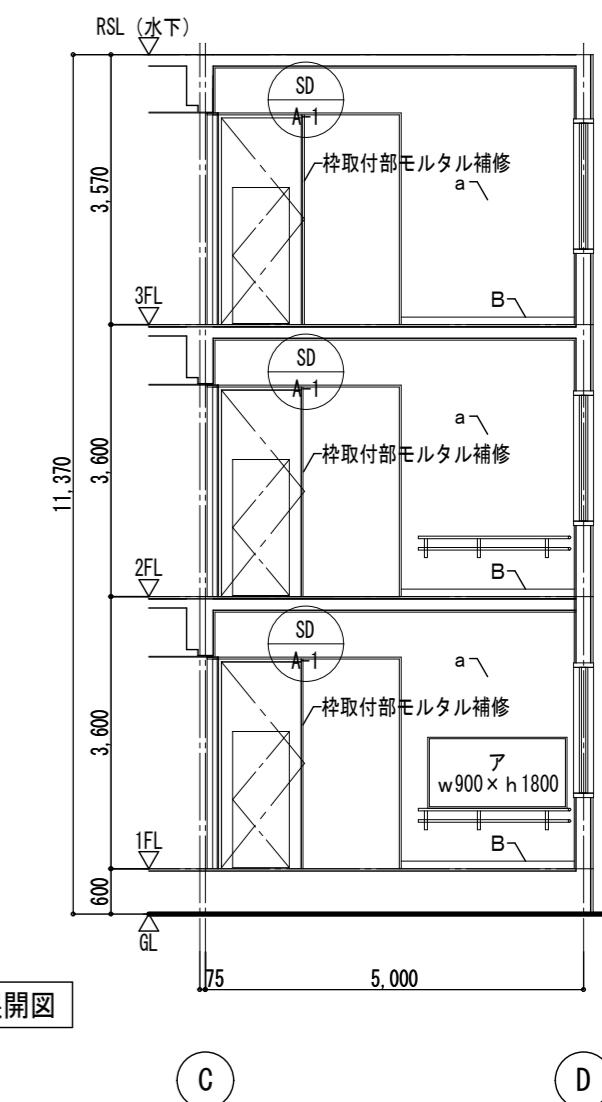
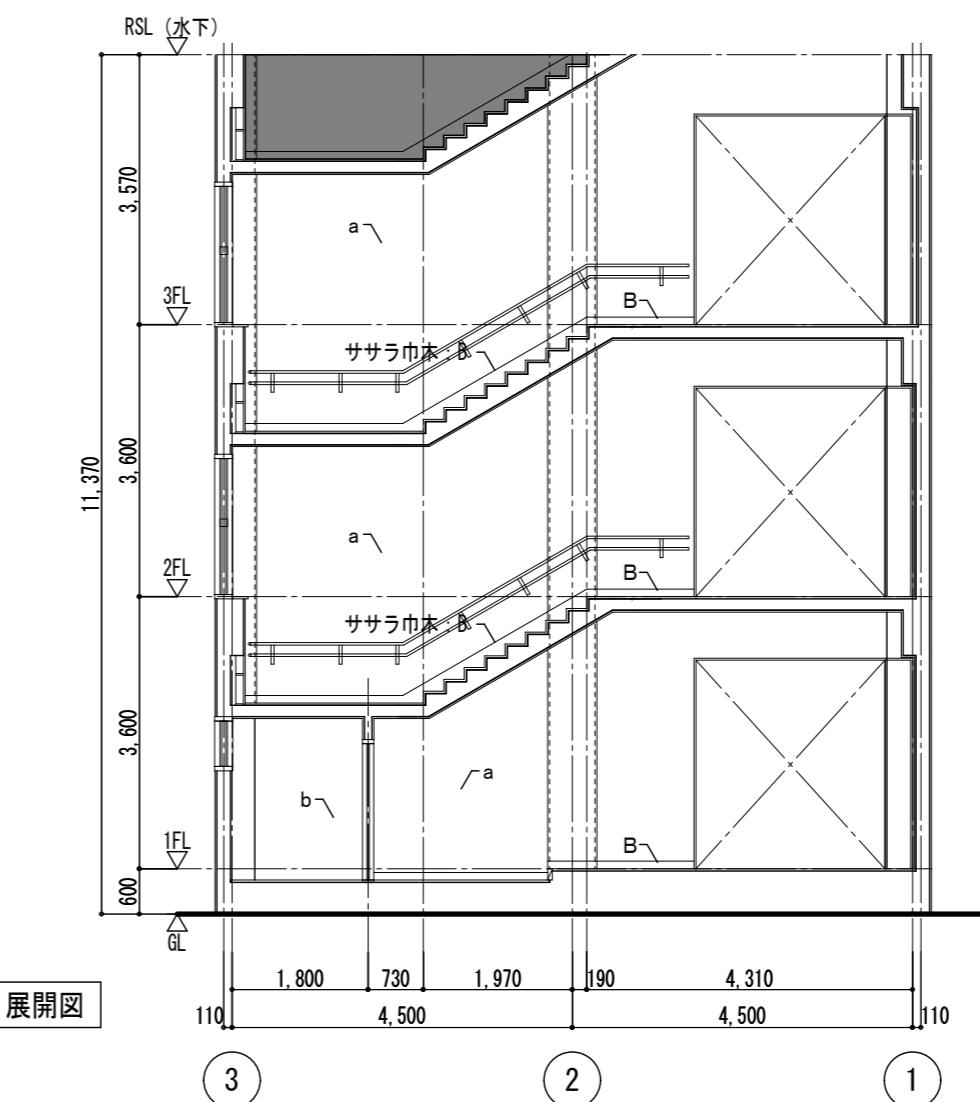
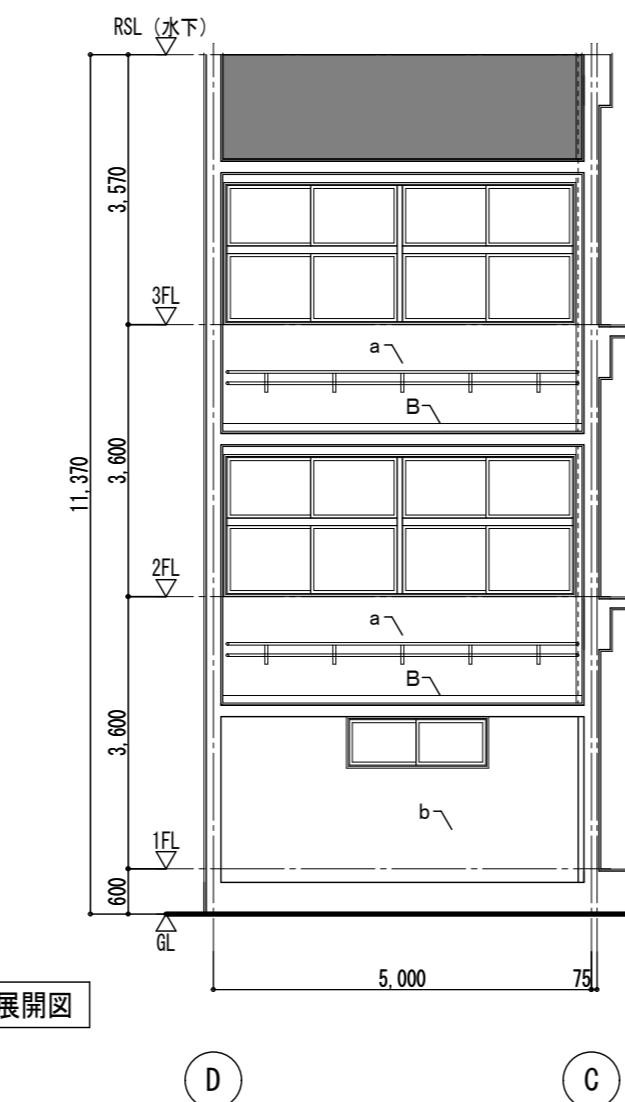
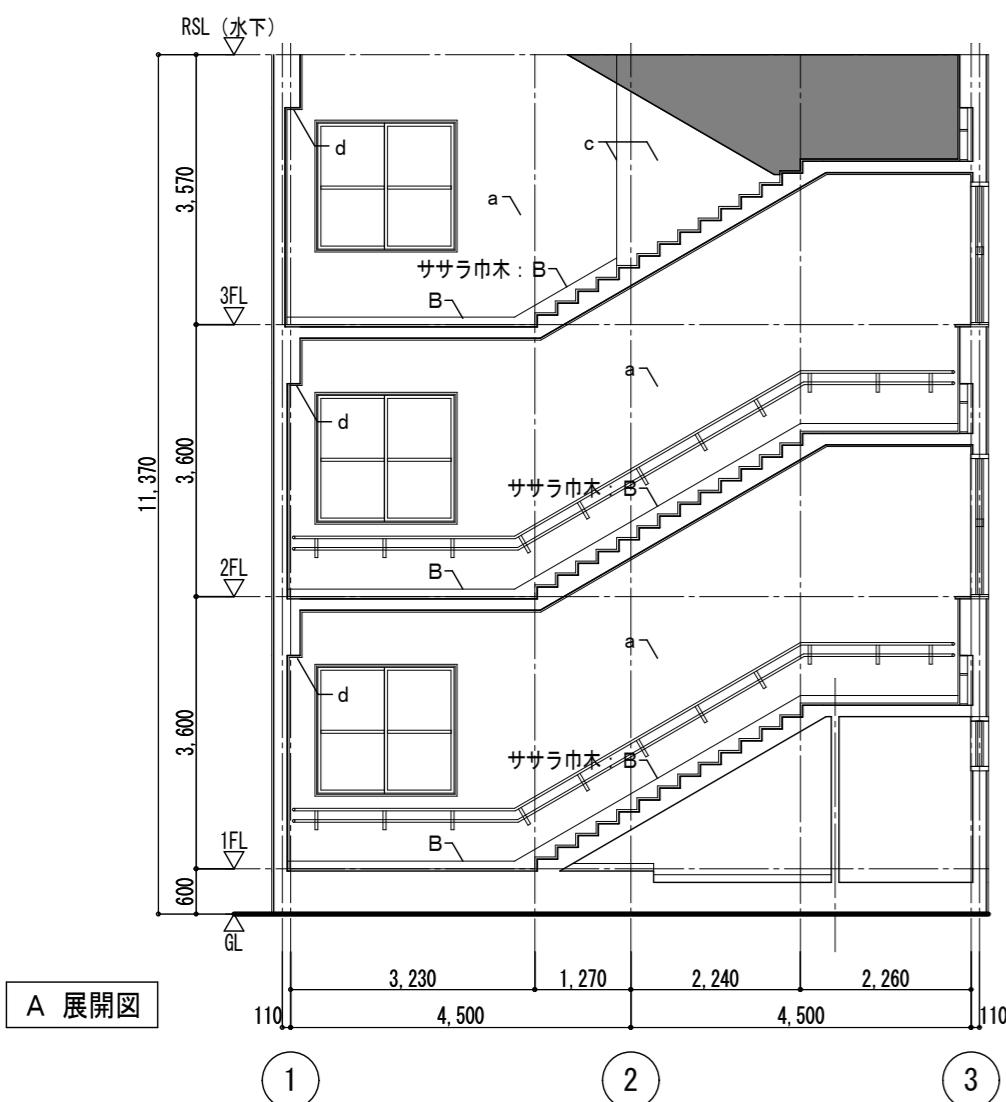
1階廊下（改修後）



西階段 (改修後)



:改修対象外を示す



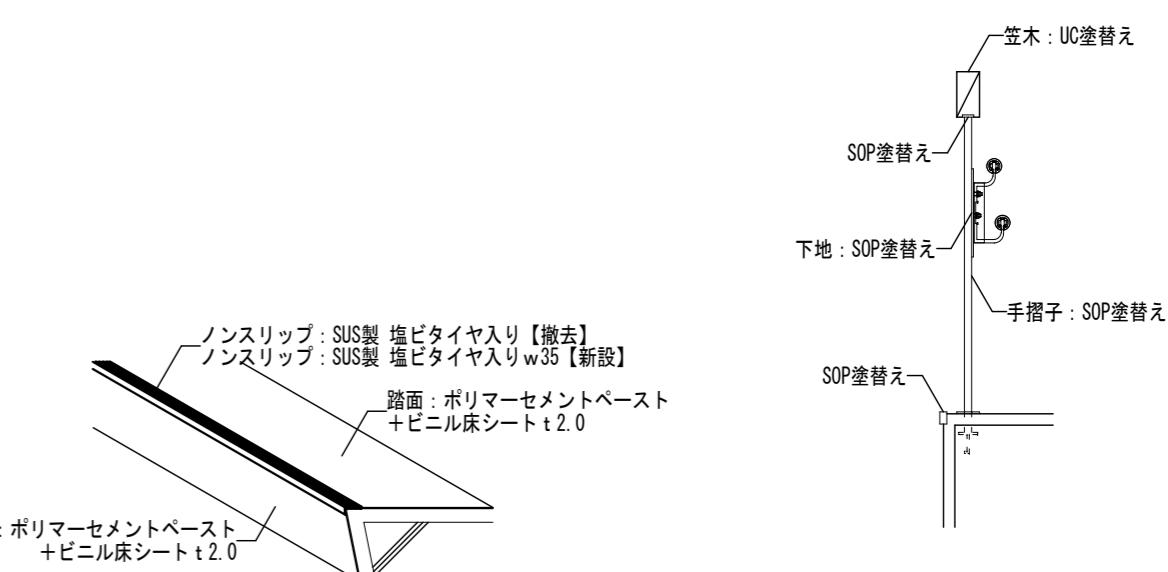
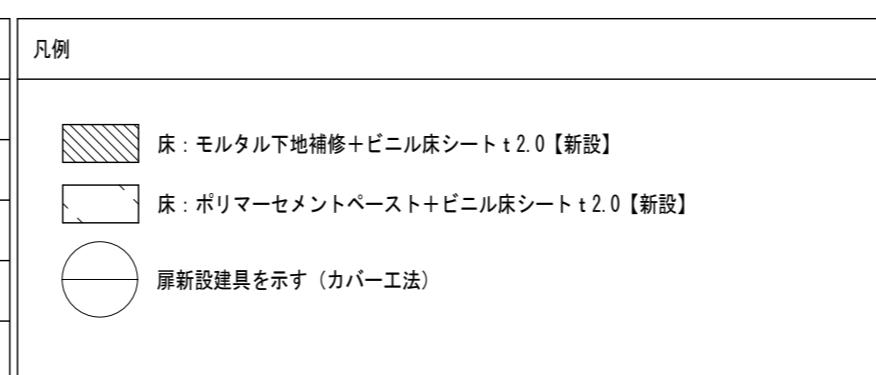
:改修対象外を示す

:改修対象外を示す

:改修対象外を示す

凡例 (展開図)

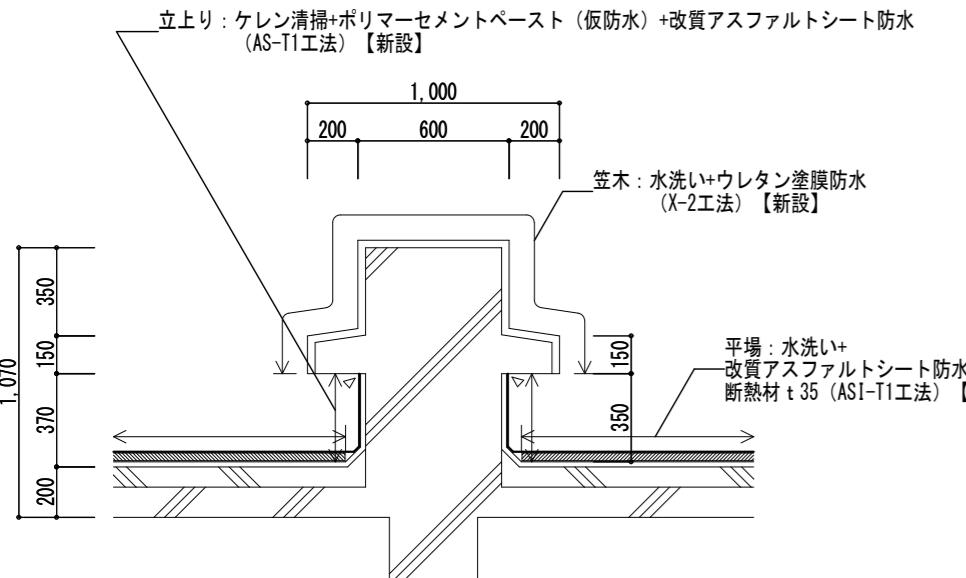
<巾木・廻縁>	<壁>	<その他>	凡例
A 廻縁:塩ビ【既設のまま】	a EP-G塗替え (モルタル下地)	ア 揭示板: 揭示クロス四周7mm押え共【新設】	床: モルタル下地補修+ビニル床シートt 2.0【新設】
B EP-G塗替え	b コンクリート打放し【既設のまま】	イ ノンスリップw35 SUS製【新設】	床: ポリマーセメントベースト+ビニル床シートt 2.0【新設】
	c EP-G塗替え (ボード下地)	ウ 手摺笠木: UC塗替え 格子: SOP塗替え アルミニウム手摺【既設のまま】(下地: SOP塗替え)	床: ポリマーセメントベースト+ビニル床シートt 2.0
	d EP塗替え (モルタル下地)		ノンスリップ: SUS製 塗ビタイヤ入りw35【撤去】
			路面: ポリマーセメントベースト+ビニル床シートt 2.0
			蹴込: ポリマーセメントベースト+ビニル床シートt 2.0



手摺詳細図 S:1/20

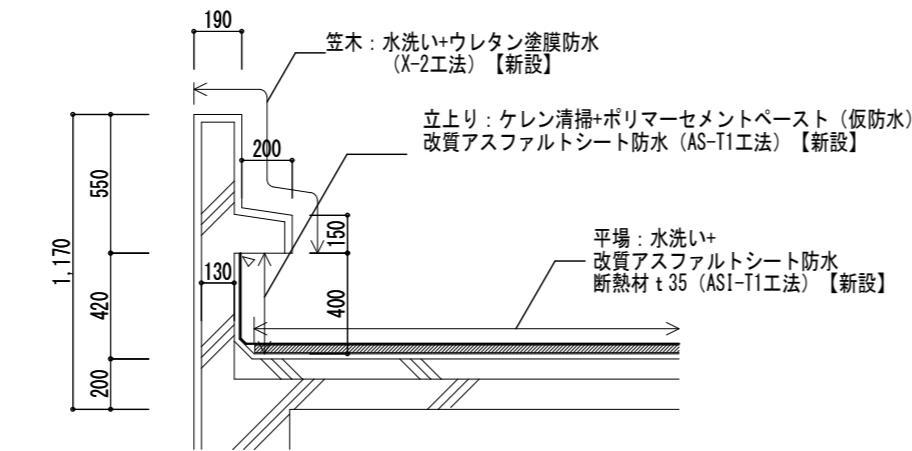
備考	

普通教室棟屋上 A-A断面 1/30



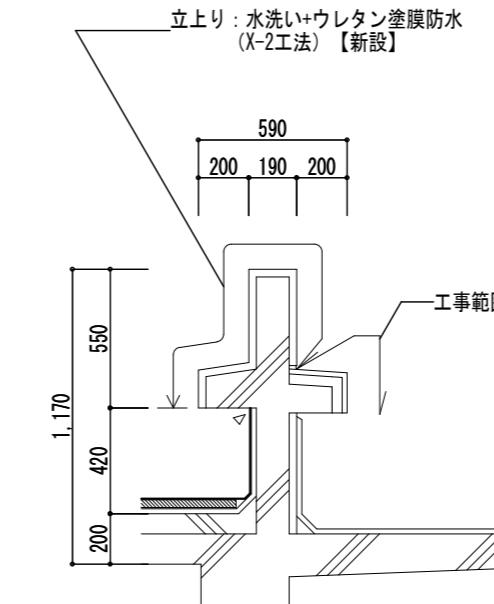
A-A断面 1/30

普通教室棟屋上 B-B断面 1/3



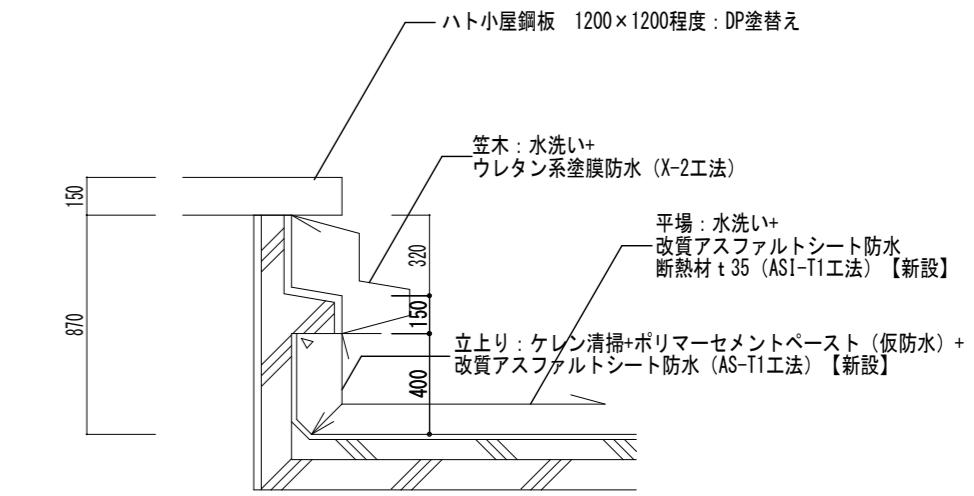
B-B断面 1/30

普通教室棟屋上 C-C断面 1/30



H-H断面 1/30

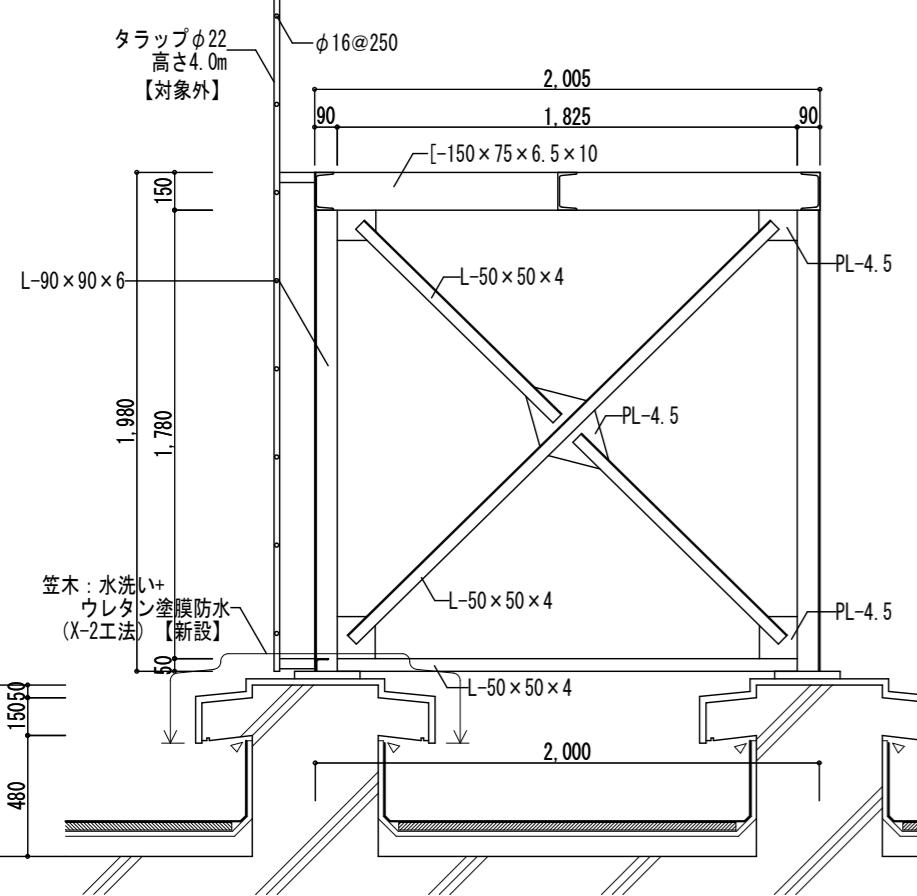
普通教室棟屋上 D-D断面 1/30



D-D断面 1/30

△ 端末押え金物（アルミ製）+ゴムアス系シーリング W10【新記

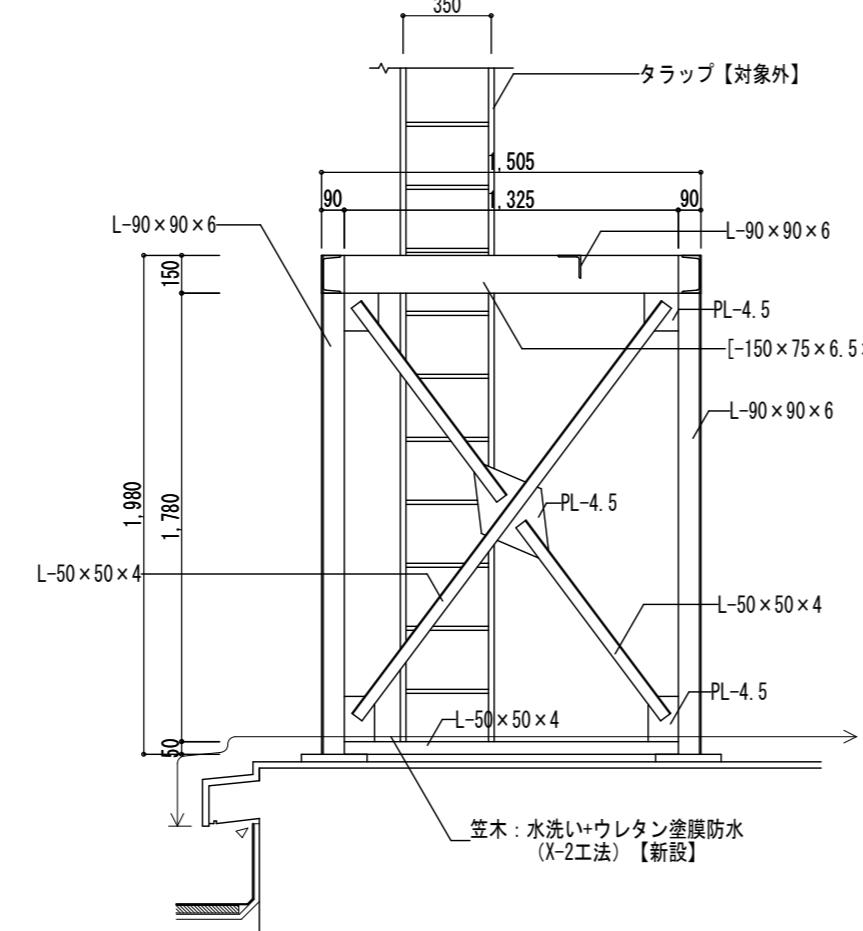
普通教室棟屋上 E-E断面 1/30



※高架水槽架台鉄骨DP塗り替え（タラップ含む）

E-E断面 1/30

普通教室棟屋上 F-F断面 1/3



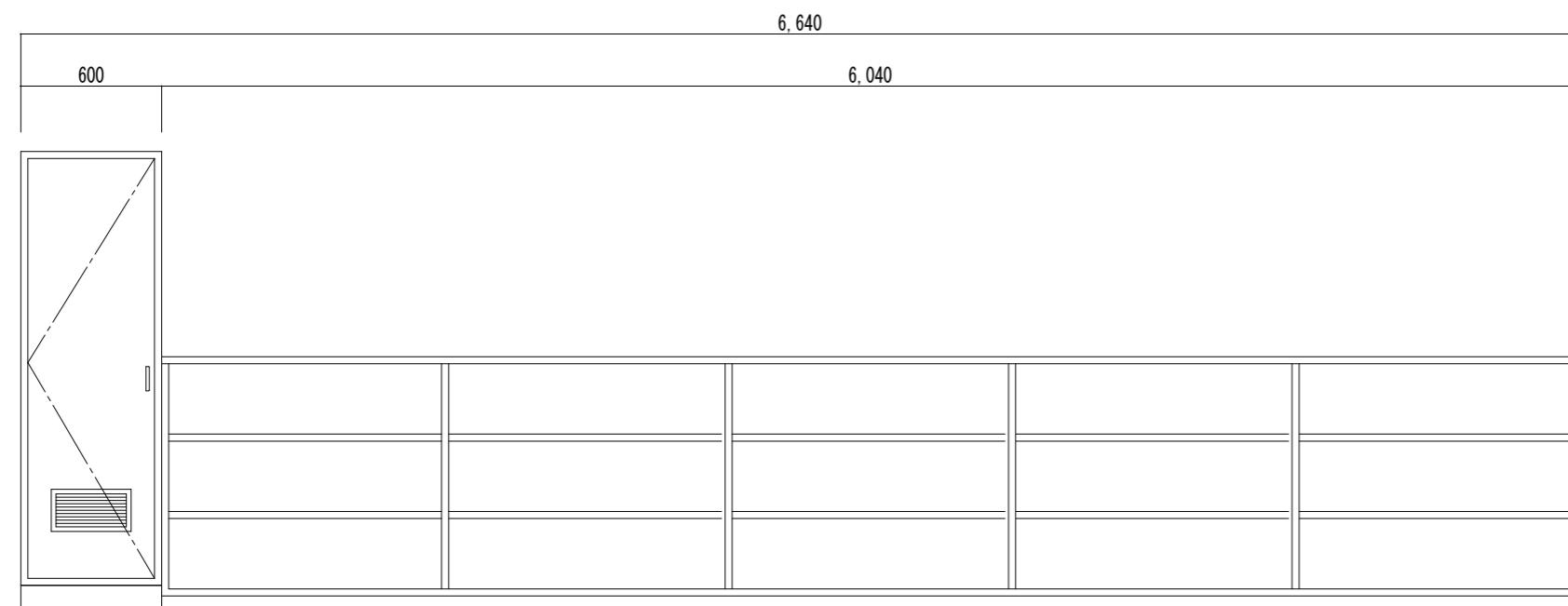
※高架水槽架台鉄骨DP塗り替え（タラップ含）

F-F断面 1/30

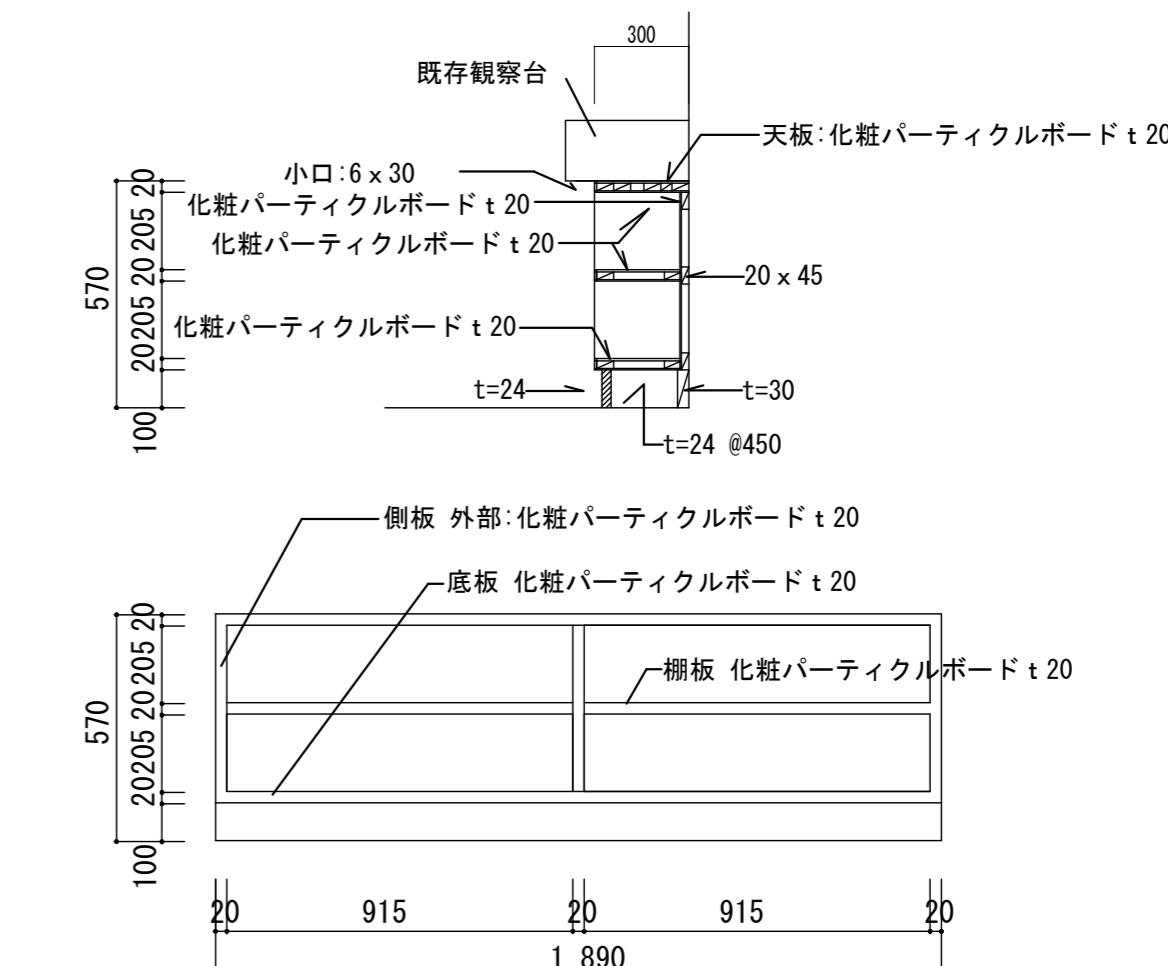
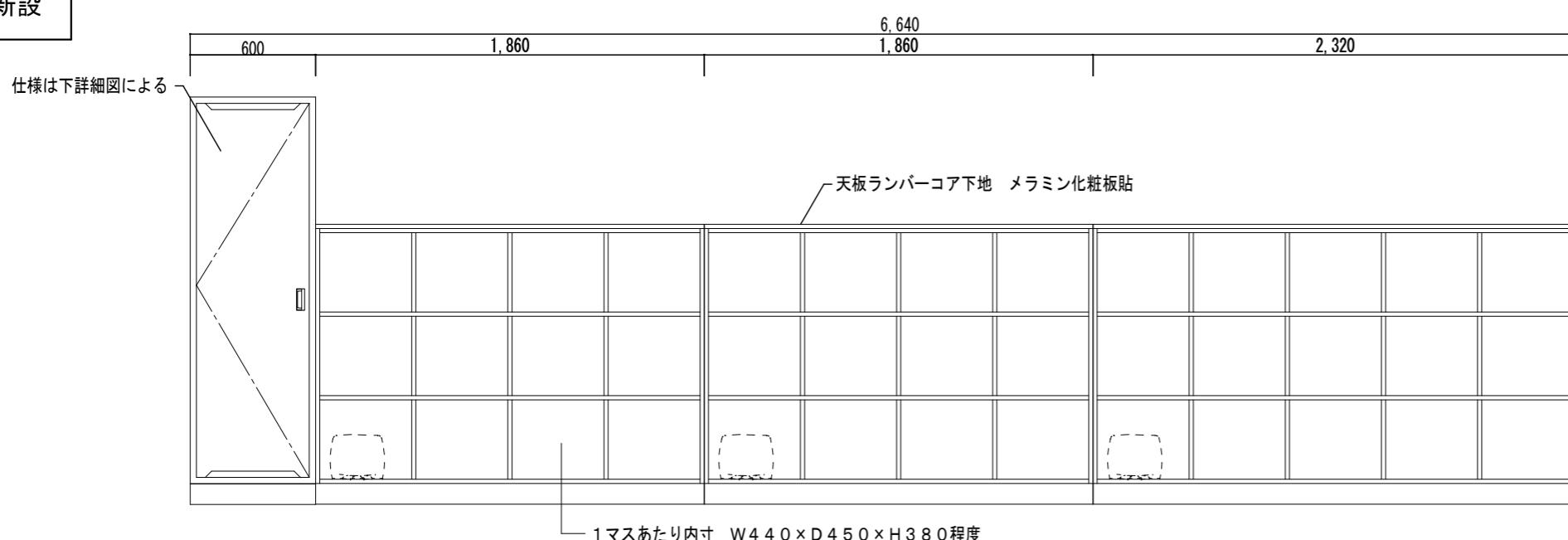
1. **What is the primary purpose of the proposed legislation?**

△ 端末押え金物 (アルミ製) +ゴムアス系シーリング W10【新】

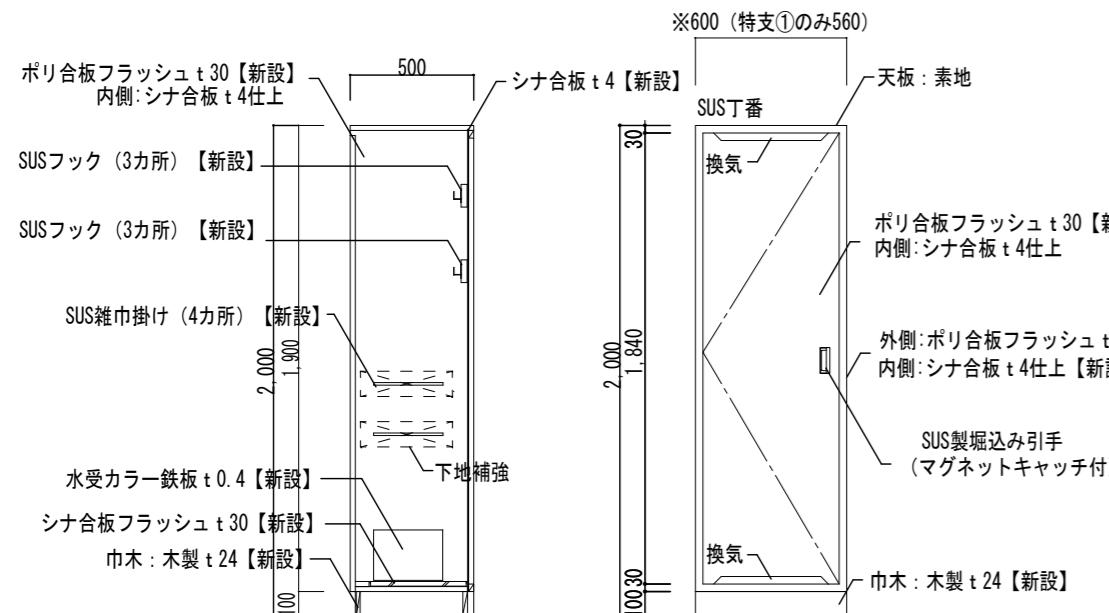
撤去



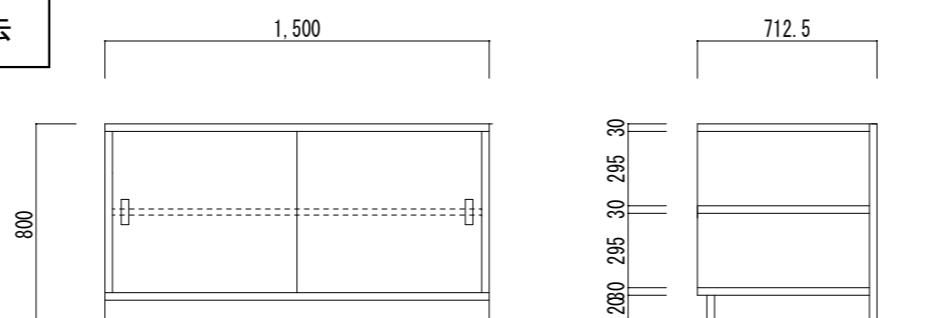
新設



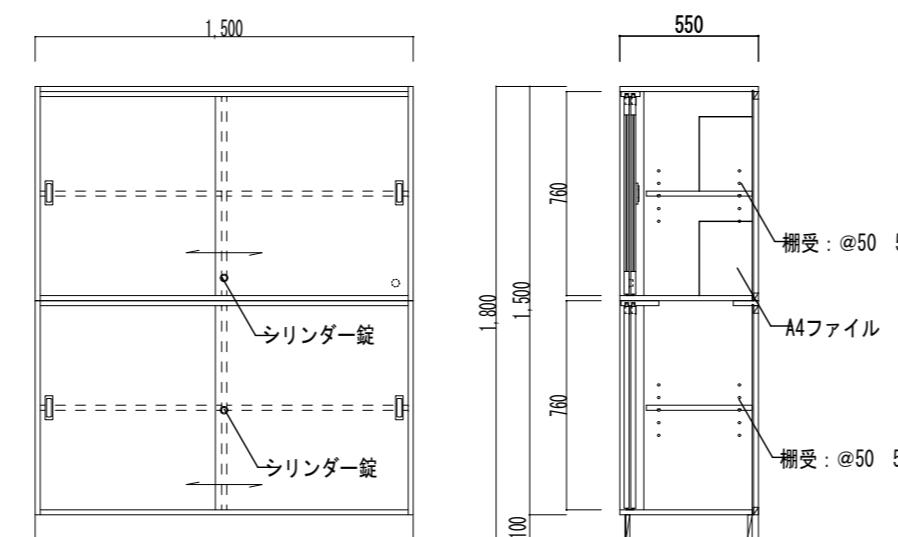
※フランジの芯材ピッチは150以下とする。
※寸法は現場合わせとする。
※施工図にて承認する。
※家具の小口については、無垢材(ひのき)とし、U0塗装を行うこと



撤去

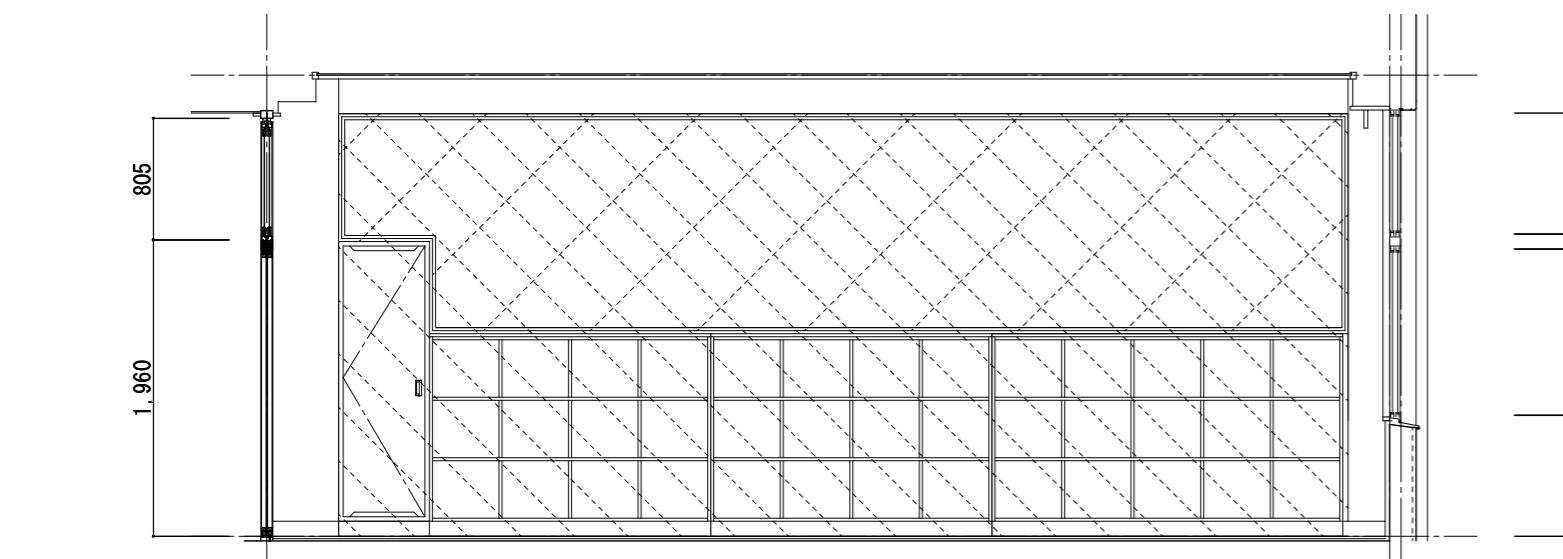


新設

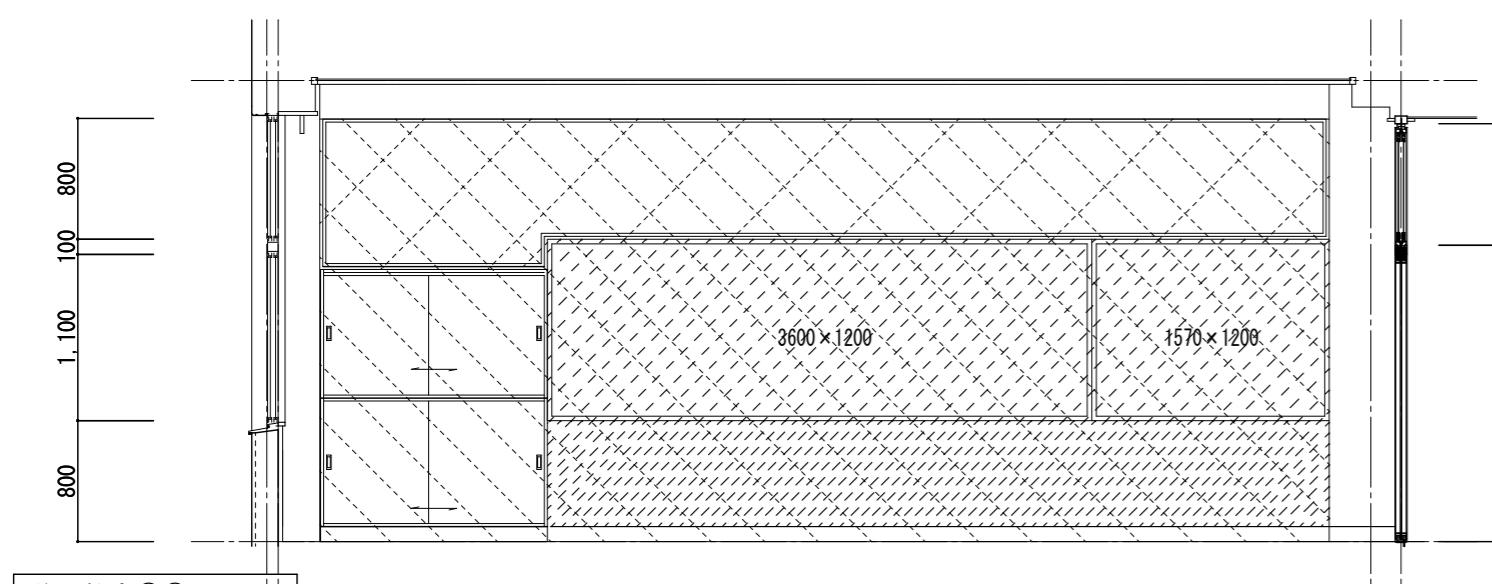


共通仕様 「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

- 1 本体・棚板 両面メラミン化粧パーティクルボード厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。
- 2 木口処理 車体から水分浸入を防ぐ為に、本体は背面も含めてフラットエッジ（ABS製樹脂をホットメルト線付）加工とする。
- 3 裏板 ポリ化粧板 F☆☆☆☆ 厚さ4mmを使用し片面フランジ（450mmピッチ以内に格子状構造）とする。
- 4 巾木・台輪 ポリ化粧板仕上げ F☆☆☆☆（塗装不要）とする。
- 5 建具 板戸・戸枠はくるいやホゾ抜け防止の為、かまち組み等は不可とし1枚物とする。
引違戸の鶴居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。
- 6 把手・蝶番 抗菌機能のある樹脂成型品（ABS製）把手・引手を使用する。
蝶番はメンテナンス性が容易なキャッチ機構付110°開きインターマートヒンジを使用する。
- 7 鶴居・敷居 メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ABS製）を埋め込んだ鶴居と面付けの敷居（ABS製）とする。
- 8 棚板受け 安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボφ8-M16を使用する。
棚板は、外れ止めの為ダボ受けシカリ加工をする。
- 9 特記事項 特段の理由で仕様を変更したい場合は、施工図を提出の上、監督職員の承認を受けること。



普通教室②⑤ B展開



普通教室①④ D展開

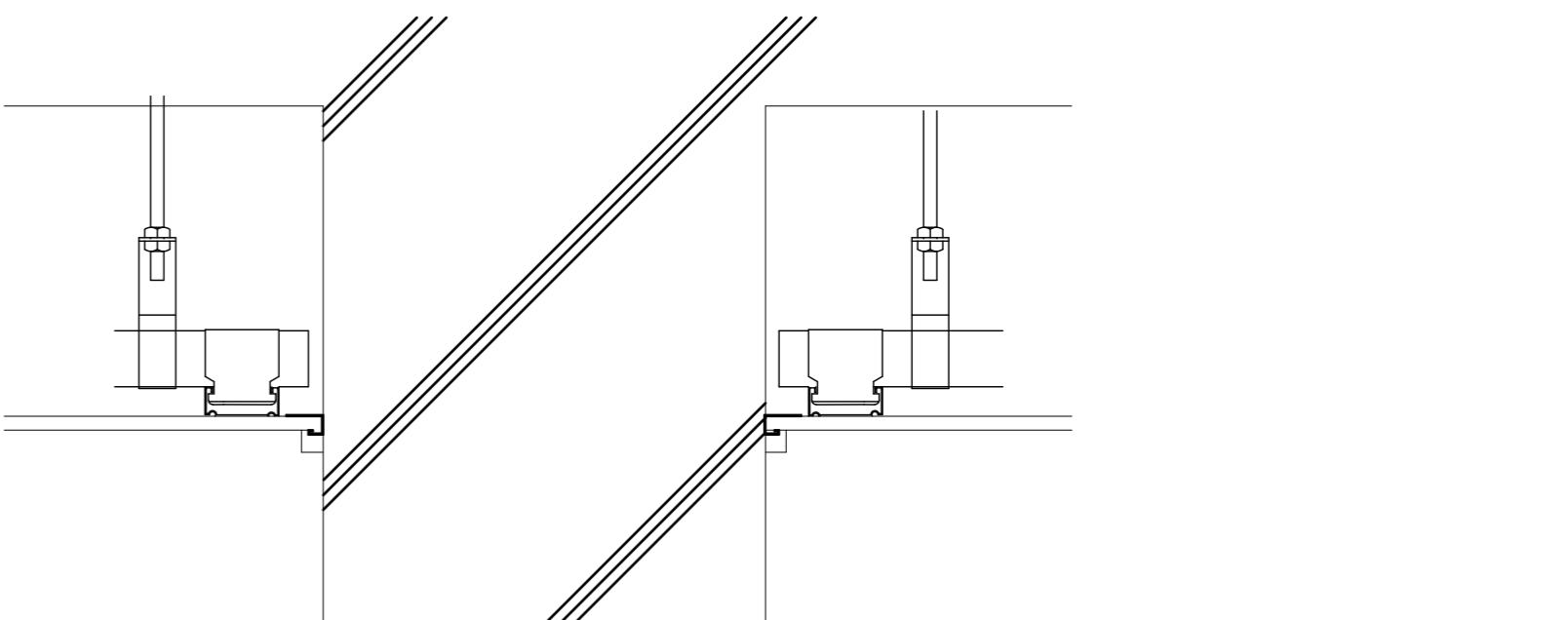
3600×1200
1570×1200

胴縁組24×45@450行ヨコ+シ合板 t 5.5+揭示クロス四周アビ押え、木見切り共【新設】

LGS65型+ケラスケール24K t 50+強化PB12.5+12.5(不燃) (両面) 【新設】
四周耐火シール共

胴縁組24×45@450行ヨコ【新設】

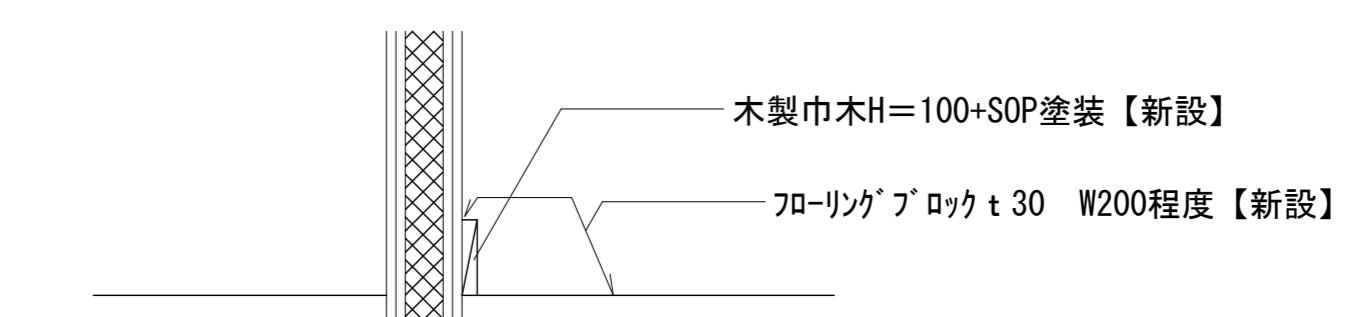
胴縁組24×45@450行ヨコ+シ合板 t 5.5+SOP塗装【新設】



LGS65型+ケラスケール24K t 50+強化PB12.5+12.5【新設】



木製巾木H=100+SOP塗装【新設】



フローリング' ブロック t 30 W200程度【新設】

廊下・便所 手洗い詳細図

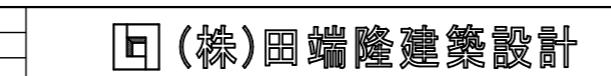
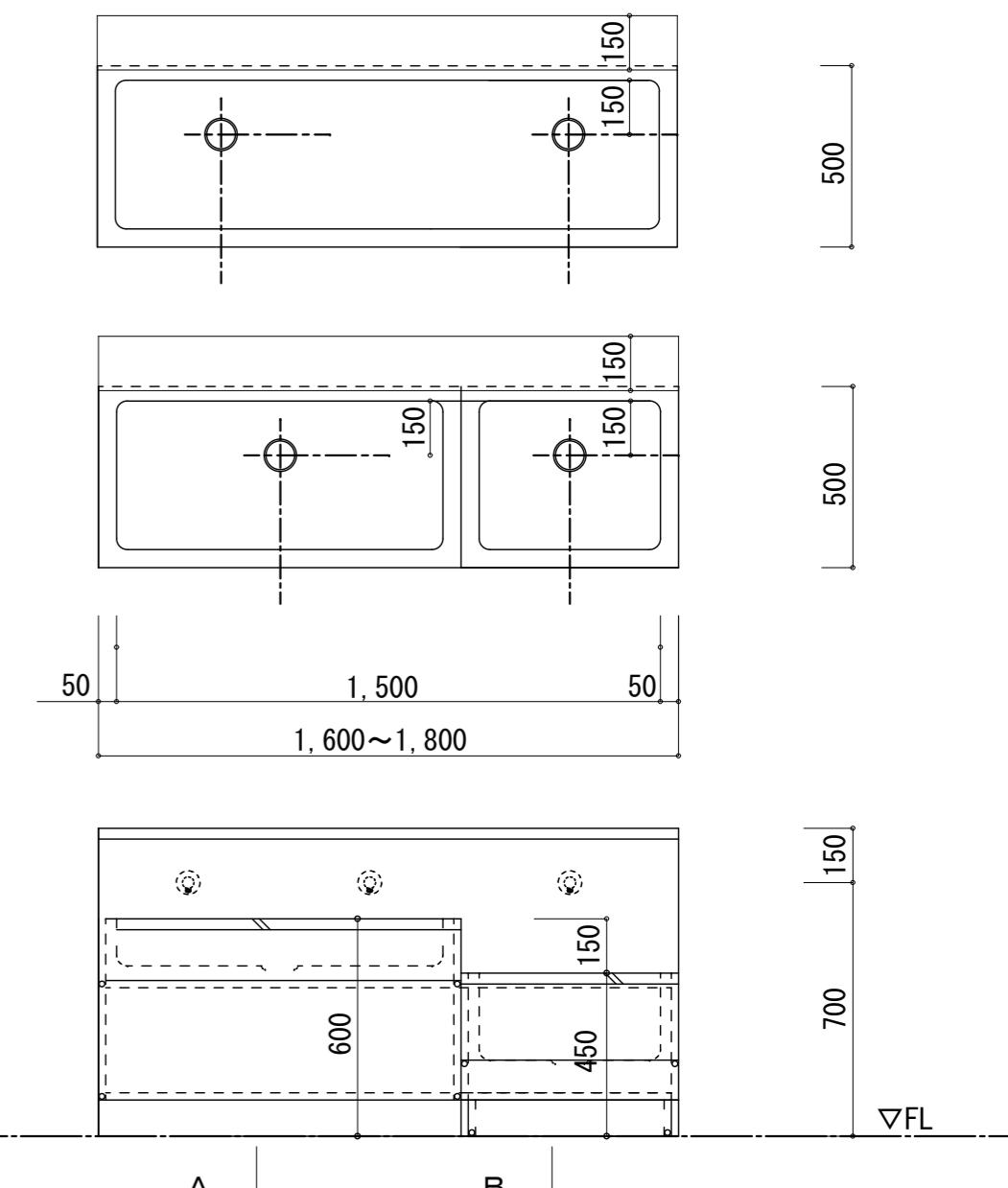
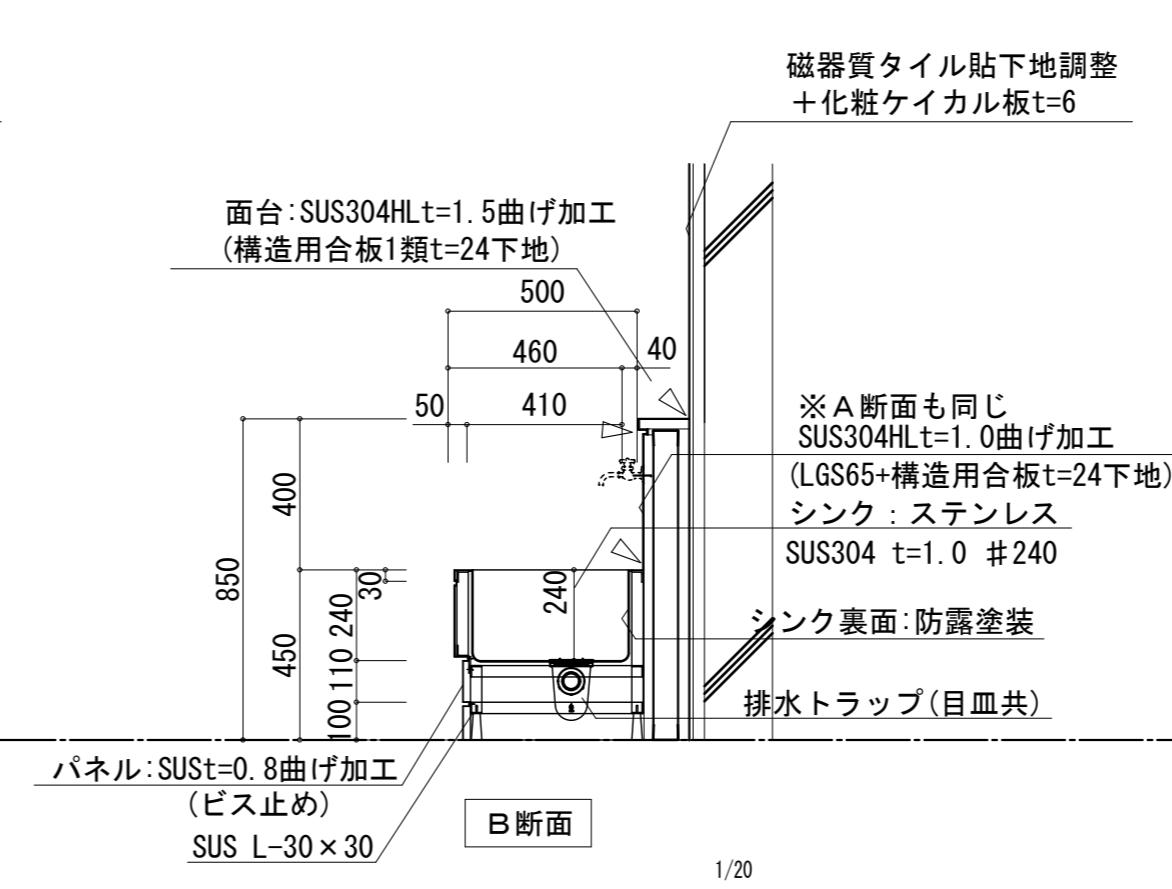
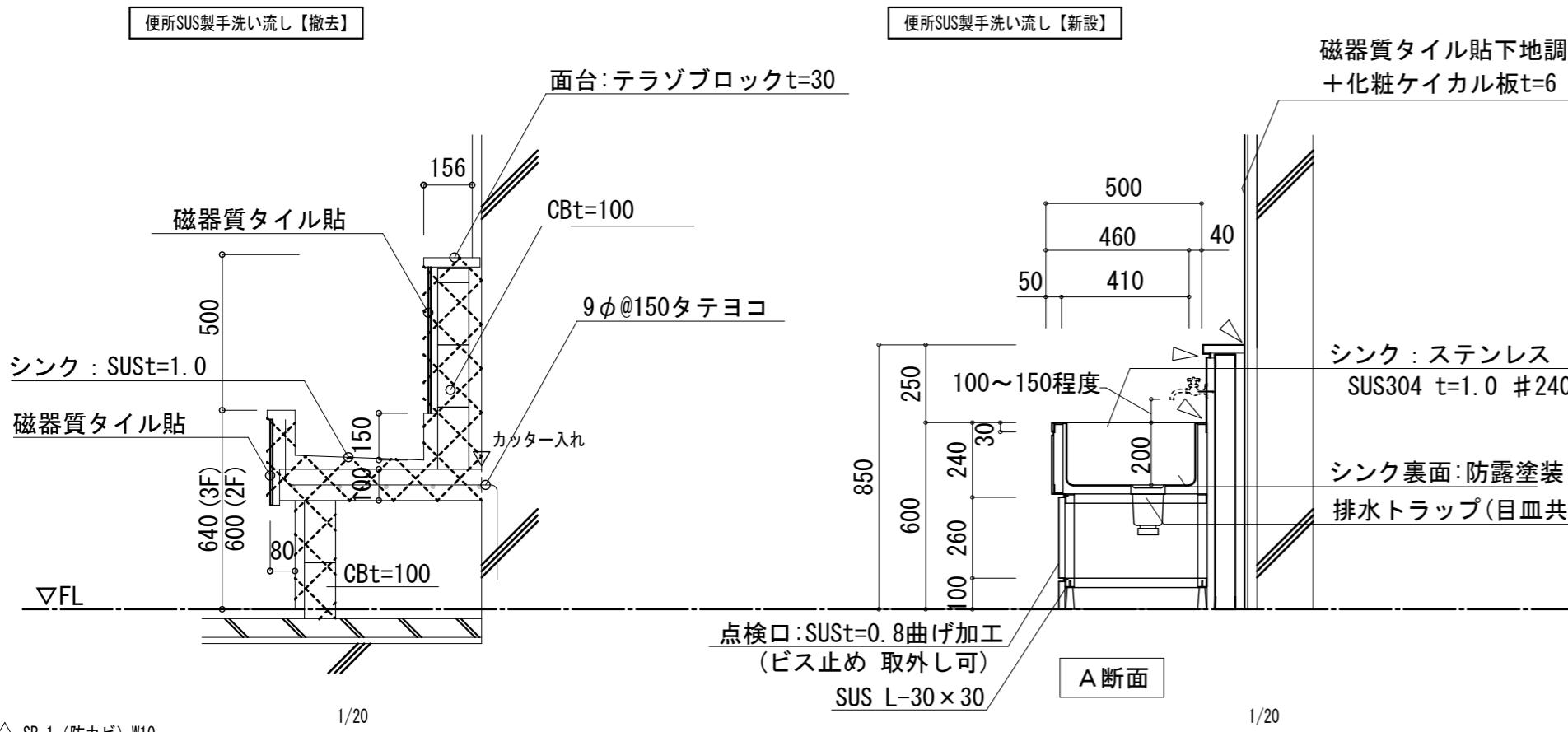
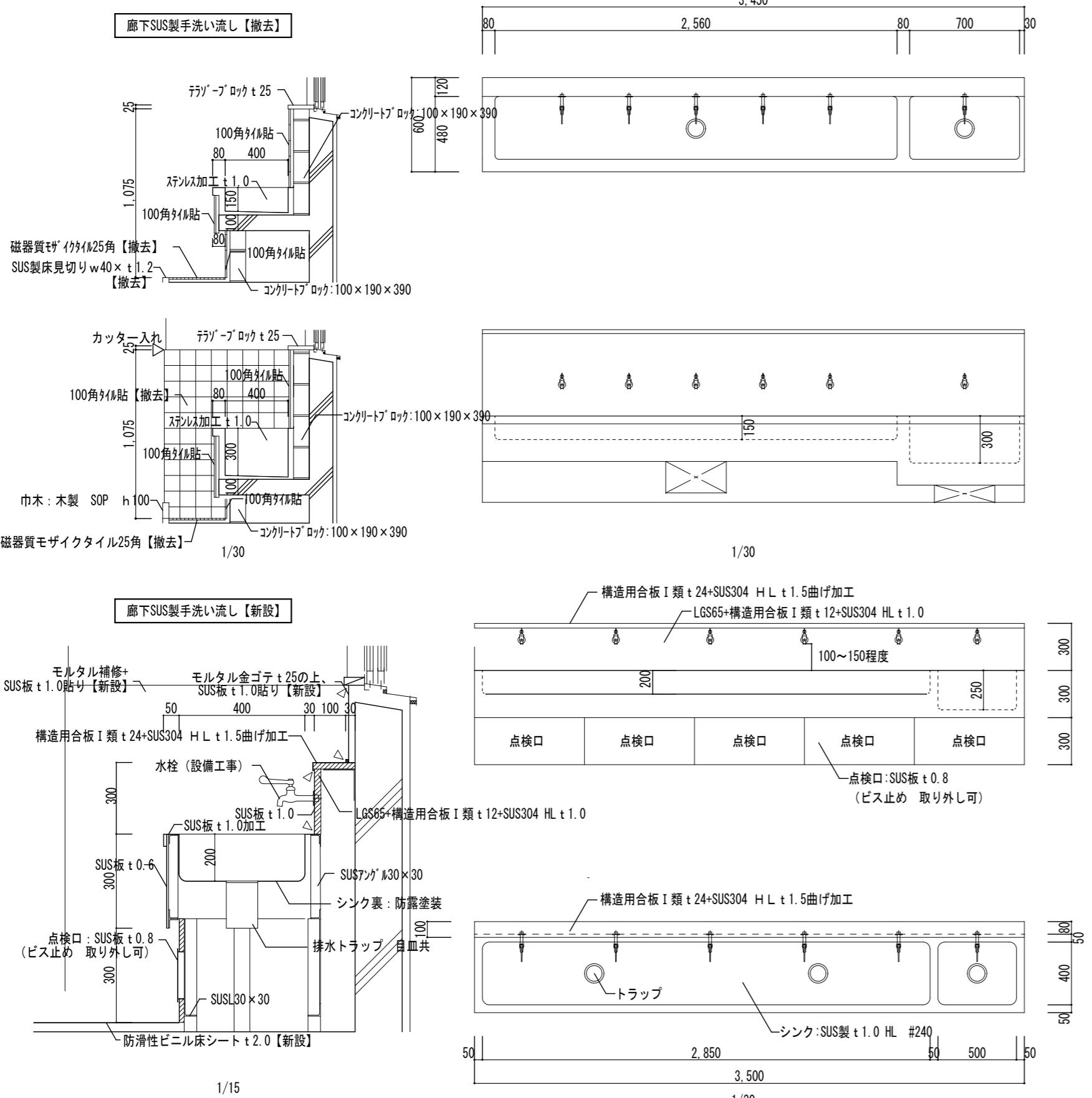
1/15 • 20 • 30

ツトフェンス門扉

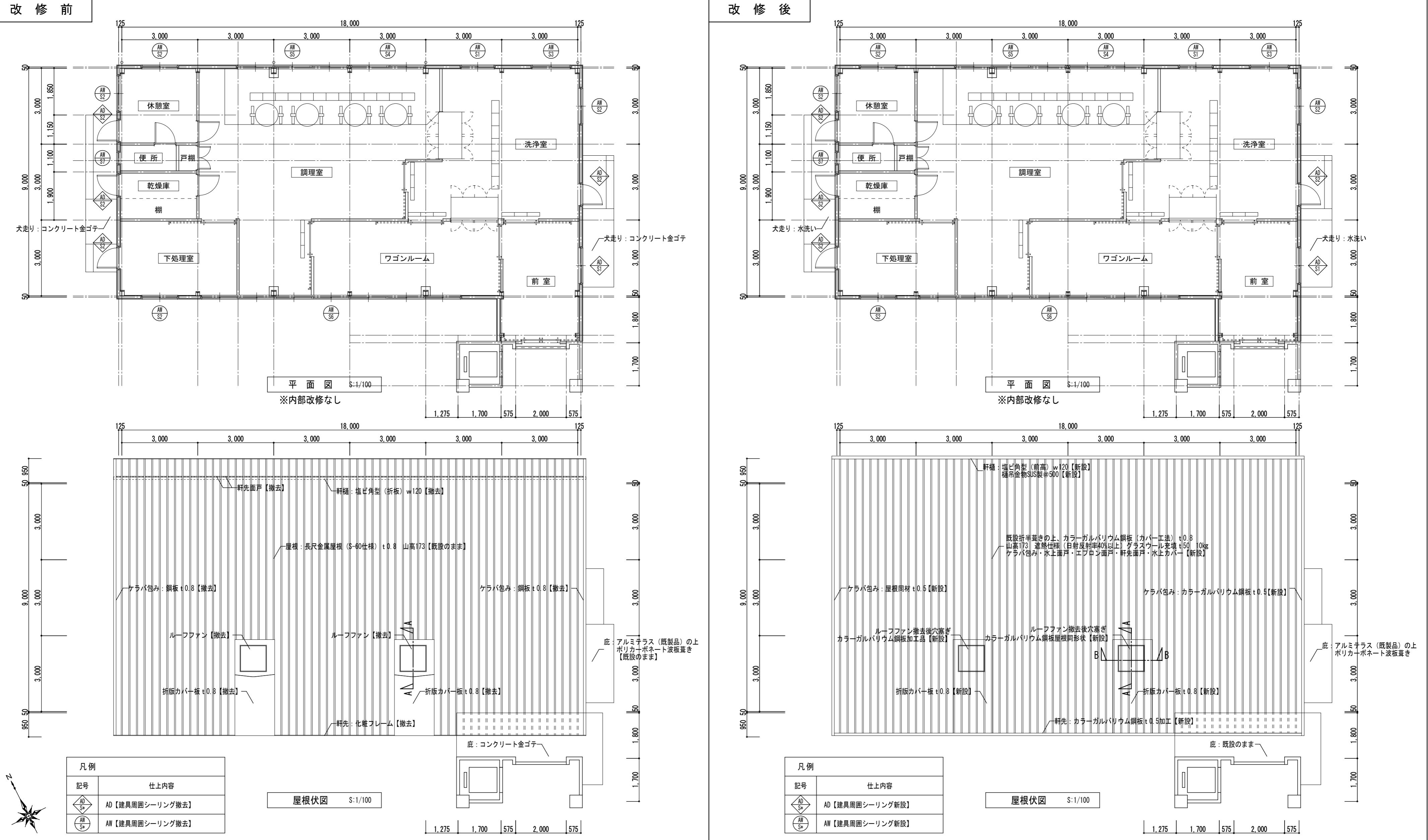
1/20

救助袋 固定環埋設図

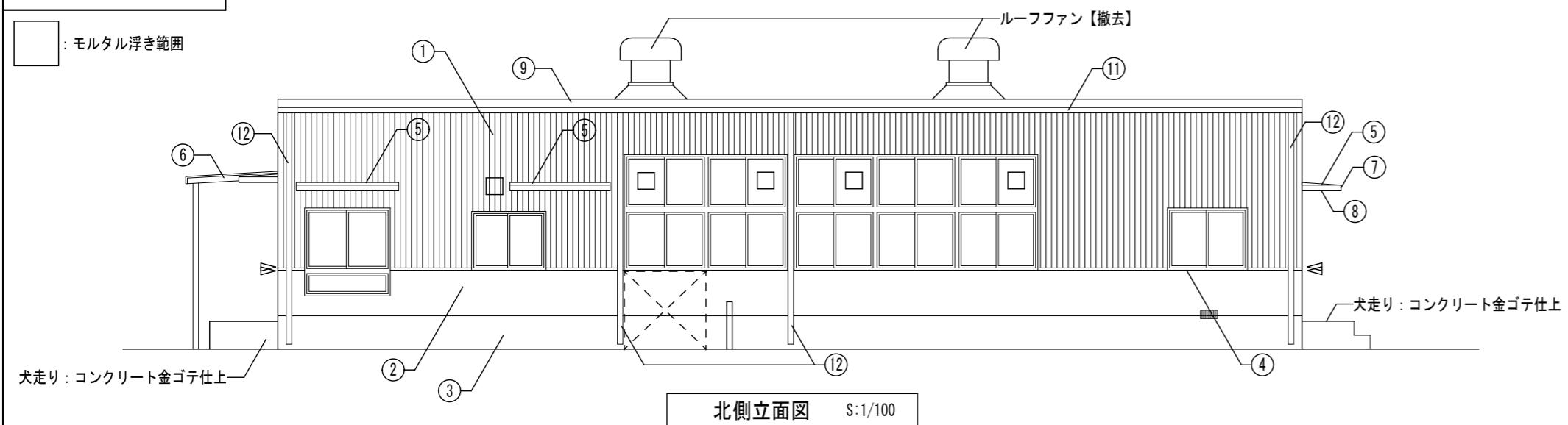
1/10 • 20



外部仕上表								
屋根	改修前	長尺金属屋根 (S-60仕様) t:0.8 山高173【既設のまま】	腰	改修前	腰壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	壁	改修前	軒樋: 塗ビ角型 (折板) w120【撤去】
	改修後	既設折半葺きの上、カラーガルバリウム鋼板 (カバー工法) t:0.8 山高173 進熱仕様 (日射反射率40%以上) グラスワール充填 t:100, 10kg ケラバ包み・水上面戸・エプロン面戸・軒先面戸・水上ガバー【新設】		改修後	腰壁: 水洗いの上、防水型外装薄塗材E塗替え		改修後	軒樋: 塗ビ角型 (前高) w120【新設】、樅吊金物SUS製@500 φ150【新設】、樅吊金物: SUS製 (バンドのみ交換) @1200以下【新設】
外壁	改修前	角波カラー鉄板 t:0.4 建具周囲: 角波サイディング貼り	庇	改修前	角波カラー鉄板 t:0.4	犬走り	改修前	コンクリート金ゴテ仕上
	改修後	下地調整+DP塗替え (建具周囲共)		改修後	下地調整+DP塗替え		改修後	既設のまま

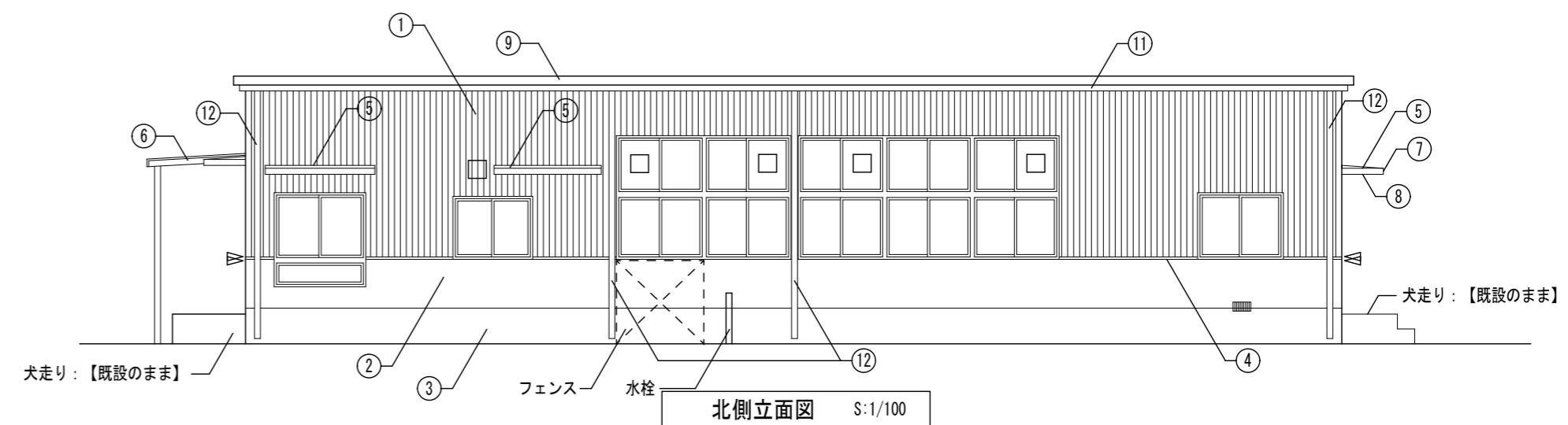


改修前

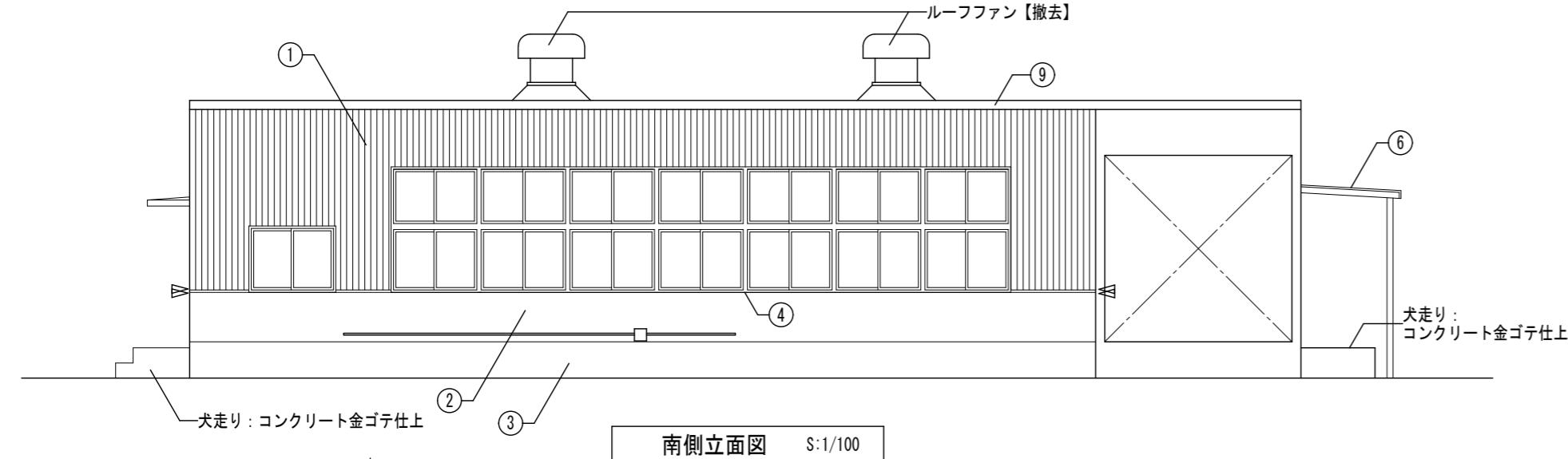


北側立面図 S:1/100

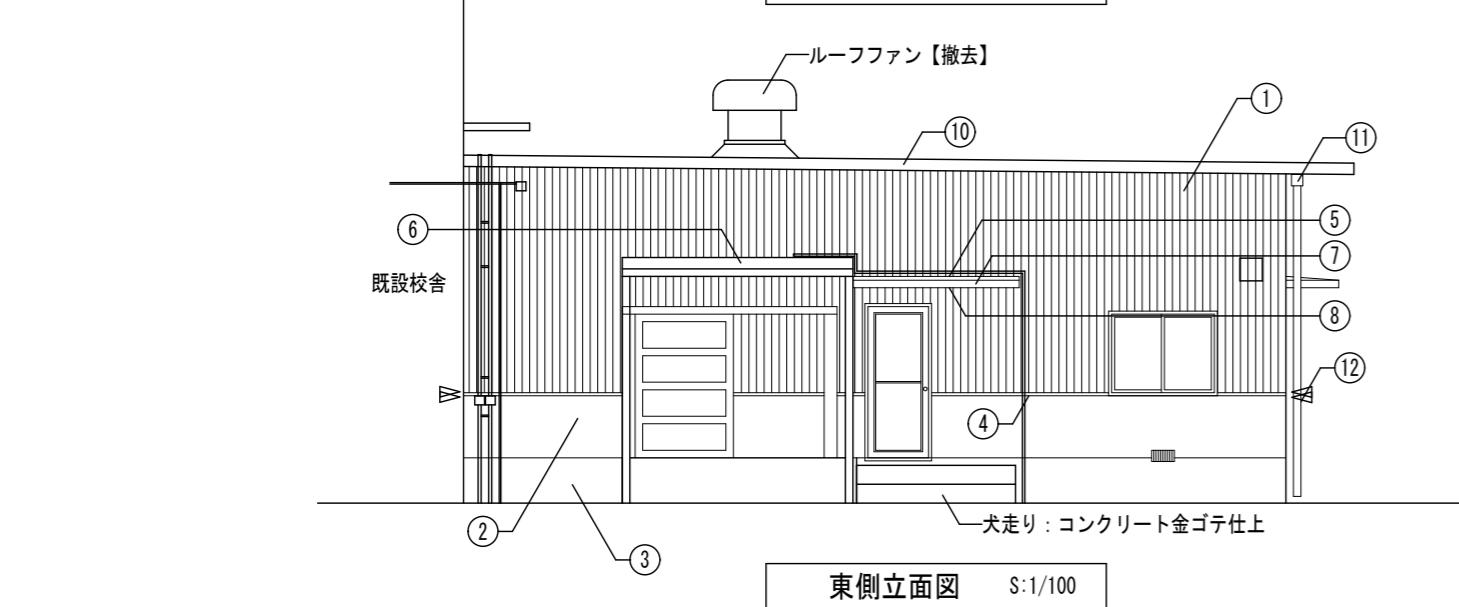
改修後



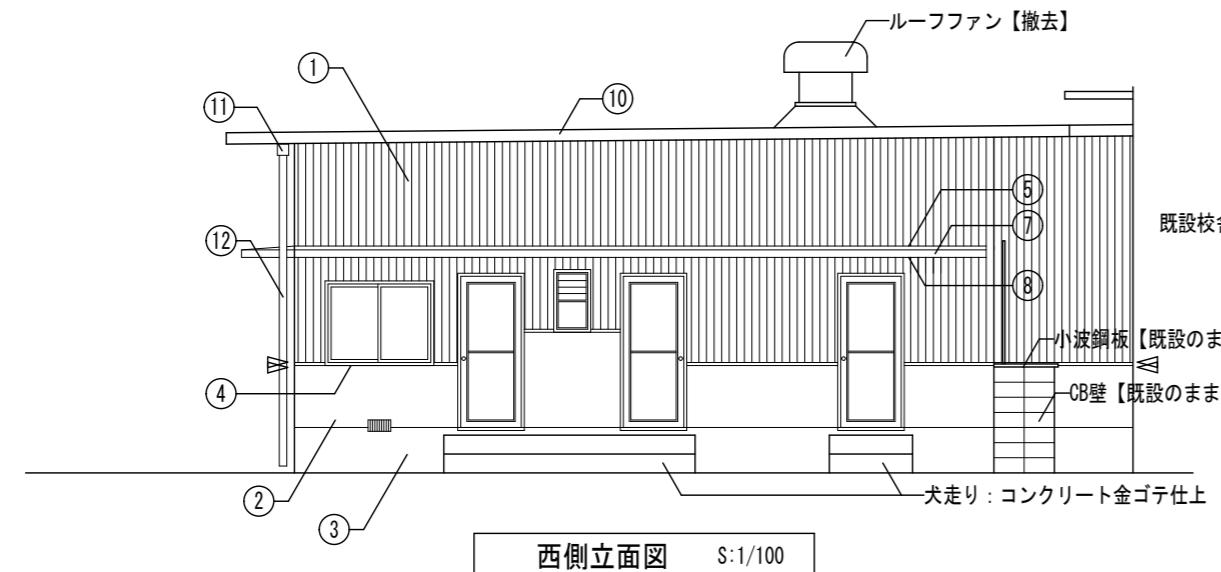
北側立面図 S:1/100



南側立面図 S:1/100



東側立面図 S:1/100



西側立面図 S:1/100

▷ シーリング PU-2 W15【撤去】

凡例

記号	仕上内容	記号	仕上内容	記号	仕上内容
①	外壁: 角波カラー鉄板 t 0.4	⑤	庇: 長尺折半屋根 t 0.8	⑨	軒先: 化粧フレーム・防鳥ネット ナイロン製【撤去】 ネット固定金具【既設のまま】
②	腰壁: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	⑥	庇: アルミテラス(既製品)の上、ポリカーボネート波板葺き	⑩	ケラバ包み: 鋼板 t 0.8【撤去】
③	根廻り: モルタル金ゴテ h 600	⑦	鼻隠し: カラー鉄板 t 0.4	⑪	軒檻: 塩ビ角型(折板) w120【撤去(吊金物共)】
④	腰見切り: 角波カラー鉄板加工 t 0.4	⑧	軒下: 石綿板 t 6 VP塗装	⑫	堅檻: カラーVP φ150【撤去(樫み金物共)】

▷ シーリング PU-2 W15【新設】

凡例

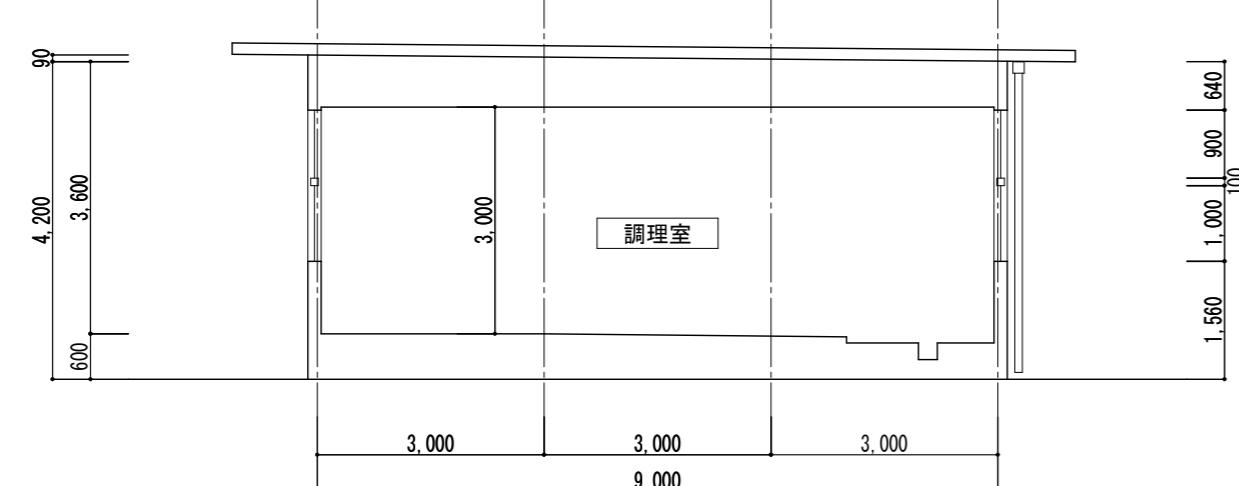
記号	仕上内容	記号	仕上内容	記号	仕上内容
①	外壁: 【下地調整+DP塗替え】	⑤	庇: 長尺折半屋根 t 0.8【水洗いの上、DP塗替え】	⑨	軒先: 防鳥ネット ナイロン製 W2000 L=18m程度【新設】
②	腰壁: 【水洗いの上、防水型外装薄塗材E塗替え】	⑥	庇: アルミテラス(既製品)の上、ポリカーボネート波板葺き【水洗い】	⑩	ケラバ包み: カラーガルバリウム鋼板鋼板 t 0.5【新設】
③	根廻り: モルタル金ゴテ h 600【水洗い】	⑦	鼻隠し: カラー鉄板 t 0.4【水洗いの上、DP塗替え】	⑪	軒檻: 塩ビ角型(前高) w120【新設(吊金物共)】
④	腰見切り: 角波カラー鉄板加工 t 0.4【水洗いの上、DP塗替え】	⑧	軒下: 石綿板 t 6 VP塗装【DP塗替え(下地調整無し)】	⑫	堅檻: カラーVP φ150【新設(樫み金物共)】

・☆印はアスベスト含有のため取扱いに注意すること

備考

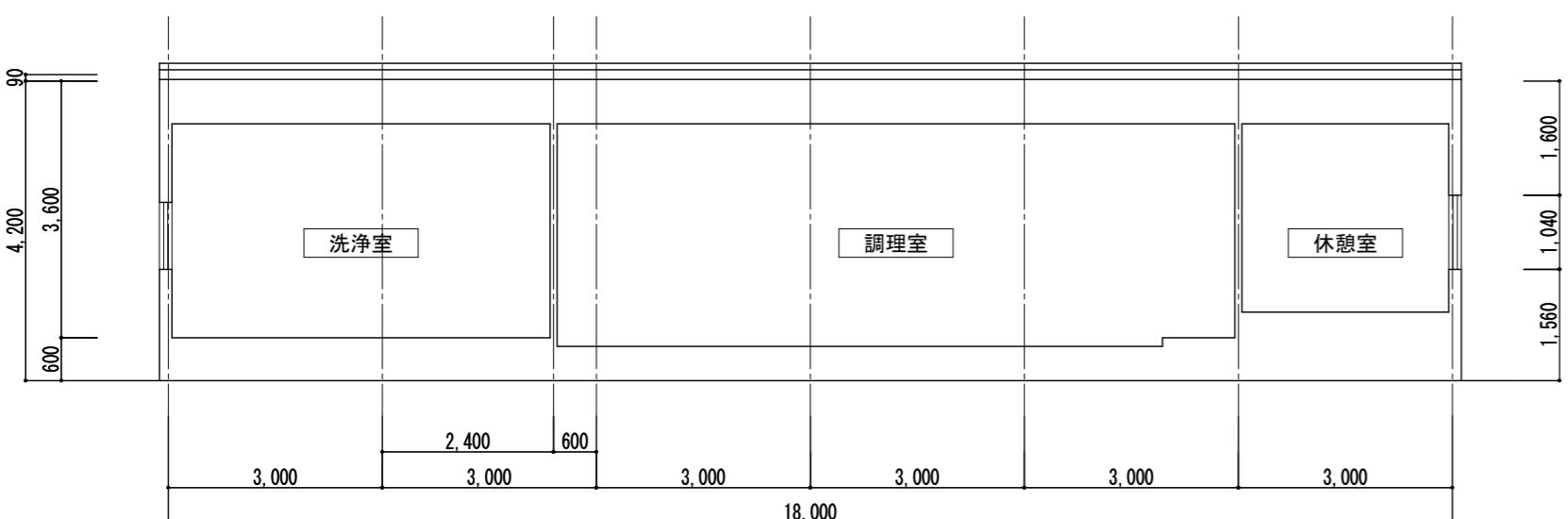
記号	数量	図	1ヶ所	図	4ヶ所	図	1ヶ所	図	4ヶ所	図	1ヶ所	図	1ヶ所
		MS-1		MS-2		MS-1		MS-2		MS-1		MS-2	
姿		建具取りシーリング打替え (MS-2) (三方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	100 1,200 1,900 2,500	建具取りシーリング打替え (MS-2) (三方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,000 800	建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	1,900 960 1,300	建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,000 960 1,400	建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	1,900 400 1,500	建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,000 360 1,400
場所	前室	洗浄室、乾燥庫、休憩室、下処理室		洗浄室		洗浄室		洗浄室、休憩室、下処理室		洗浄室		調理室	
形式	見込	片引きガラス戸	105	上げ下げ窓付片引きガラス戸	70	引違い窓	70	引違い窓	70	引違い窓	70	引違い窓	70
仕上	材質	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ
硝子	下端	透明ガラス t=5 アルミハネル t=3	FL±0	型ガラス t=4	FL±0	透明ガラス t=3	FL+960	透明ガラス t=3	FL+960	透明ガラス t=3	FL+400	透明ガラス t=3	FL+960
付属金物		船底手掛、SUS製戸車、埋込レール (SUS304)、シリnderー錠、内部側SUS可動網戸 アルミ製鎖線 (内外3方)、SUS製錠線 t=0.2 付属金物一式		ドアチェック、レバーハンドル、シリnderー錠、アルミ製鎖線 (内外3方)、SUS製錠線 t=0.2 付属金物一式		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式	
備考		3方シーリング改修+水切り		3方シーリング改修+水切り		4方シーリング改修		4方シーリング改修		4方シーリング改修		4方シーリング改修	
記号	数量	MS-3	1ヶ所	MS-36	1ヶ所	MS-36	1ヶ所	MS-36	1ヶ所	MS-36	1ヶ所	MS-36	1ヶ所
姿		建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,960 960 1,000 100 2,000 1,400 70 70 1,400 4,340	建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,960 960 1,000 100 2,000 1,400 70 70 1,400 10,220	ワゴンルーム ← 調理室 ← 下処理室		建具取りシーリング打替え (MS-2) (四方w10、水切w15) ガラス周囲両面シーリング打替え (SR-1)	2,150 1,400 450 260 750				
場所	調理室	ワゴンルーム・調理室・下処理室						便所					
形式	見込	引違い窓	70	引違い窓	70			アルミガラリ付外倒し窓	70				
仕上	材質	シルバー	アルミ	シルバー	アルミ			シルバー	アルミ				
硝子	下端	透明ガラス t=3	FL+960	透明ガラス t=3	FL+960			透明ガラス t=3	FL+1,400				
付属金物		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式		クレセント、SUS製網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式				トップラッチ、SUS製固定網戸、アルミ水切、アルミ製鎖線 (外3方、内4方)、付属金物一式					
備考		4方シーリング改修		4方シーリング改修				4方シーリング改修					

改修前・後



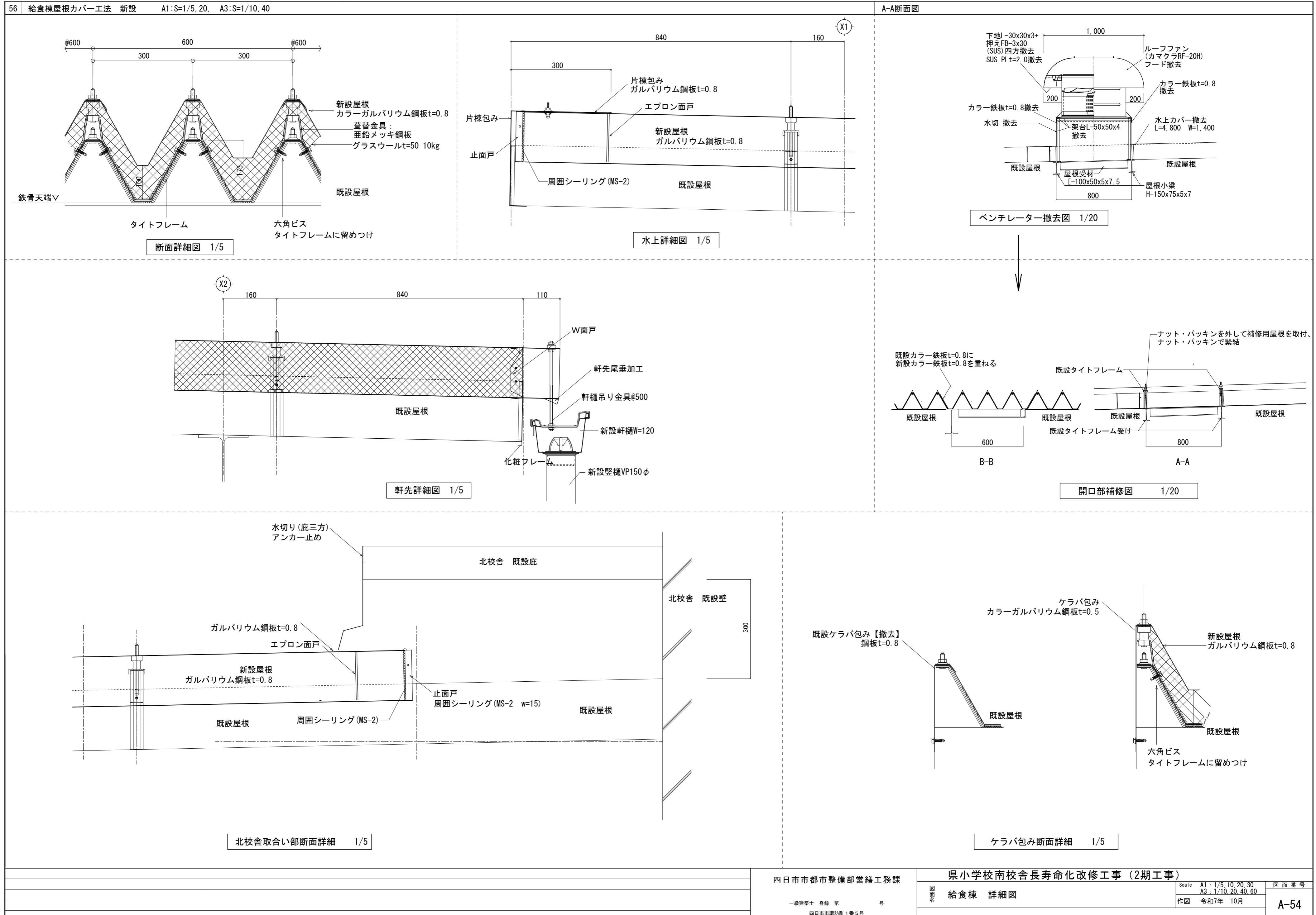
断面図 S:1/100

※内部改修なし



断面図 S:1/100

※内部改修なし



県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）						設計図	特記事項						特記事項					
仕様書			項目			特記事項	項目			項目			項目			項目		
1. 工事概要	1. 工事場所	四日市市赤水町地内	⑩ 施工調査	○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 ・既設埋設管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。	19 工事の保険	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）	⑭ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線等は、経路、電線太さ、電線本数、管径、開閉器のトリップ値は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 P管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 呼び綱として、長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2m以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 メタルモールは立ち下がり部分にコーナーボックスを利用すること。										
2. 建物概要	建物名	構造	階数	建築基準法による延べ面積（m ² ）	消防法施行令別表第一	備考	11 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。	20 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・法定外災災害補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済紙購入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済紙を購入する必要がない場合は理由の提出もって共済紙の購入を不要とする。 ※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。	⑮ ケーブル先行表示	本工事で施工するケーブル等については行先表示を取り付けのこと。 記載内容は電源（GC3φ200V等）、受注者名、施工者名等とし、詳細は監督職員の指示による。						
3. 工事種目（○印の付いたものを適用する）	建物別及び屋外工事種目	工事種別					12 既存躯体への穿孔	穿孔機等を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。	13 耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。・すべて・（）以外の100kg以上の機器を対象とする。	21 工事実績情報登録	工事実績金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンク）に登録すること。	⑯ 管	盤を改修した際には盤内の単結図も修正すること。				
	普通教室棟	RC造	3階建	840	7項		14 施工用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯蔵庫にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度	設計用標準水平震度	設置場所 機器種別	・特定の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器	22 施工体制台帳提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。	⑰ 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、P管（単層管）の波付管以上を使用する。				
	電灯設備	改修 一式					15 建設発生土の処理	上層階等は2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の上層階等は6~9階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の上層階等は6~9階建の場合は最上階とする。 中間階等は2階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	16 建設発生土の処理	重要機器は次による。 ・配電盤 送電装置 直流電源装置 交流無停電電源装置 ・交換機 災害知報受信機 中央監視制御装置 ・キーピング その他（）	23 資材調入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材調入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。	⑲ 金属製電線管の塗装・仕上げ	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。 ○屋内（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所：全て（塗装箇所を除く） ○屋外（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所 地盤、ビット階） ・塗装（屋内・屋外・屋外・全て・図示）				
	電気自動車用充電設備						17 墓地埋設管	上層階等は2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の上層階等は6~9階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の上層階等は6~9階建の場合は最上階とする。 中間階等は2階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	18 資材の品質等	重要機器は次による。 ・配電盤 送電装置 直流電源装置 交流無停電電源装置 ・交換機 災害知報受信機 中央監視制御装置 ・キーピング その他（）	24 工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真（埋設部、躯体部、施工、材料等）及び完成写真 A4用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官房長官部制定「営繕工事真写真撮影要領（令和5年版）」に従うこと。	⑳ フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、○金属製（ステンレス、新金属も含む）・樹脂製とする。				
	電熱設備						19 墓地埋設管	○工事日報、納品伝票、出荷証明	○工事記録	○工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真（埋設部、躯体部、施工、材料等）及び完成写真 A4用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官房長官部制定「営繕工事真写真撮影要領（令和5年版）」に従うこと。	㉑ タンプラスイッチ	タンプラスイッチはネーム付とする。						
	雷保護設備						20 建設共済等	○工事日報、納品伝票の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。	㉒ 配線器具等	配線器具（ケーブル、コンセント等）の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。	㉓ 位置ボックス	図面に特記なき場合は、○金属製・樹脂製とする。 位置ボックスで金属製を使用する場合、電力用には接地を施す。 ただし、耐火又は準耐火構造の壁等に用いる場合は、上記にならず金属製とする。						
	受変電設備						21 工事実績情報登録	○工事日報、納品伝票の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。	㉔ 二重床内器具	二重床に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。	㉕ 機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承認を受ければ可とする。						
	発電設備						22 施工体制台帳提出	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成図（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成図（A4版に複数したもの）・（）	㉖ 施工図等の取扱い	下のものを提出すること。 ○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成図（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成図（A4版に複数したもの）・（）	㉗ 照明設備の照度測定	一般照明及び非常照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。						
	構内情報通信網設備	改修 一式					23 完成時の提出図書	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成図（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉘ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	㉙ 二重床内器具	二重床に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。						
	構内交換設備						24 完成時の提出図書	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉚ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	㉛ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						
	情報表示設備						25 完成時の提出図書	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉕ 完成時の提出図書	下のものを提出すること。 ○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉖ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						
	映像・音響設備						26 地中埋設管等	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉗ 施工図等の取扱い	下のものを提出すること。 ○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉗ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						
	拡声設備	改修 一式					27 地中埋設管等	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉘ 施工図等の取扱い	下のものを提出すること。 ○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉙ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						
	防犯・入退室管理設備						28 既設との取扱い	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉚ 施工図等の取扱い	下のものを提出すること。 ○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉚ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に際する当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						
	火災報知設備	改修 一式					29 電源周波数	○工事完成図（実工図（修正正味の設計図）+施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成団 CADデータ（JW CAD）PDFデータ（DVD）1枚 ○盤団データ CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ（DVD）1枚 ○完成団（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り複数したもの）1部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成団データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの。・完成団（A4版に複数したもの）・（）	㉛ 電気工作物の種類と電気保安技術者	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。	㉕ 施工図等の取扱い	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。						
	中央監視制御設備						30 電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	○電気工事士	
	構内配線路						31 電気工事士	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	電気工作物の種類と電気保安技術者	
	テレビ電波障害除去工事						32											

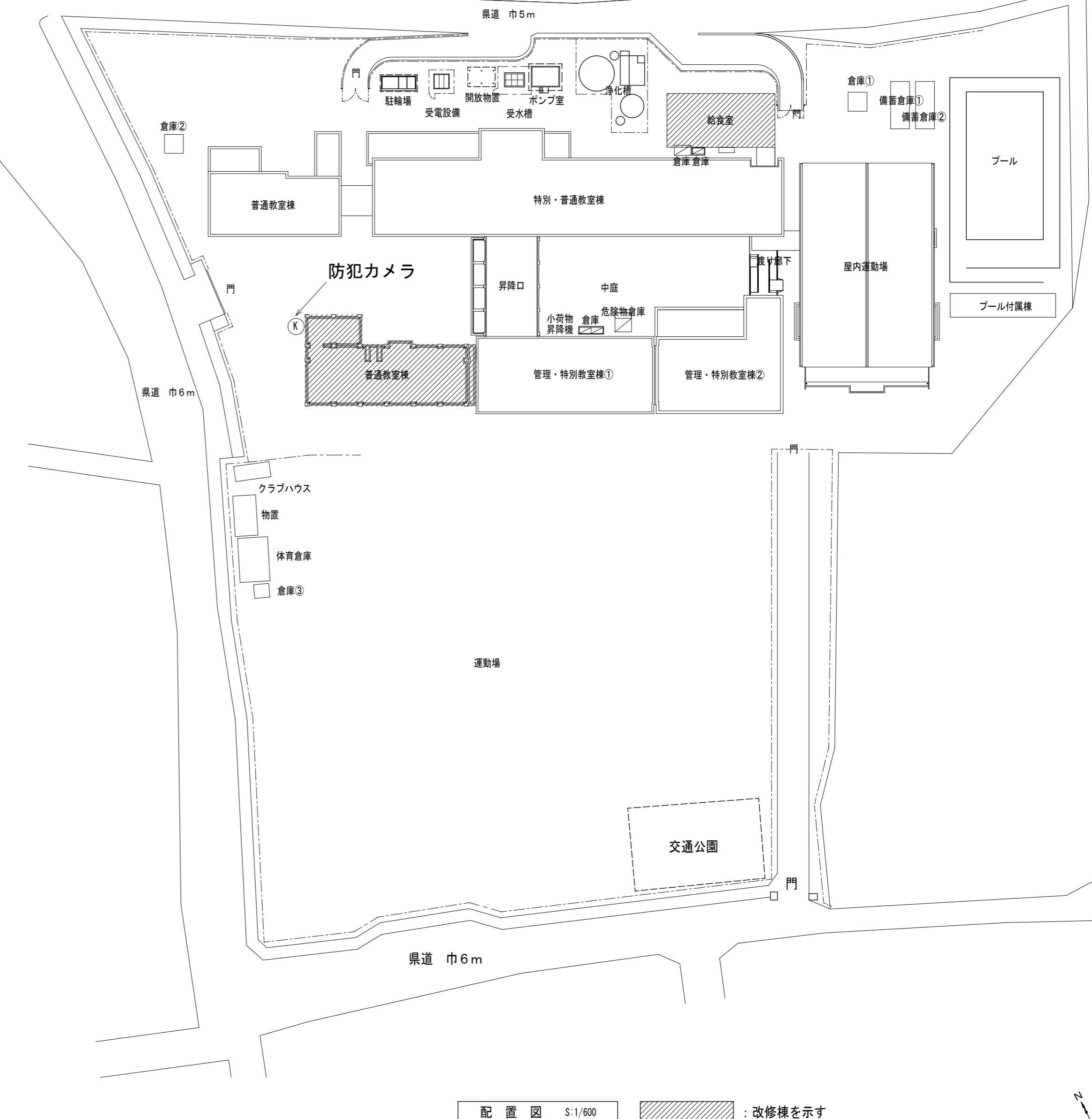
項目	特記事項	項目	特記事項	アスベスト含有物の取り扱い							
51 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。	53 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定	高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。 200V三相誘導電動機回路の器具容量等	図面及び特記事項に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修仕様」という。)による。 特記事項に記載の「[]」内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図示等が該当表示を示す。							
	名 称		測 点	取付高さ [mm]	① 一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針(建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針)を遵守すること。 石綿障害予防規則及び大気汚染防除法の各規定に基づく「官公署等への届出申請を行うこと。 石綿含有建築物事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。 アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。 アスベスト除去完了に伴う発注者への報告書面にて行うこと。					
名 称	測 点	取付高さ [mm]	電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線	② アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 行う 行わない [9.1.1] アスベスト含有吹付け材の固い込み処理 行う 行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ 行う 行わない					
ブラケット(一般)	床上 ~ 中心	2,100	定格 定格電流 [kW]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-△始動 MCCB	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線 [mm ²]	コンデンサ [μF]	第9章	施工箇所及び工法	設計金額 3000万円以上 の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。
” (端端)	”	2,500	0.2 1.8	15	—	15	3	2	50Hz 60Hz	個人情報の取り扱いに関する事項	
” (鏡上)	鏡上端 ~ 中心	150	0.4 3.2	15	—	15	5	2	20 15	第1この契約による工事の施工者(以下「乙」という。)は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。	
スイッチ(一般)	床上 ~ 中心	1,200	0.75 4.6	15	—	15	5	2	40 30	第2乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者(以下「乙の従事者」という。)は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号、以下「法」という。)第67条に規定する義務を負う。	
” (多機能使用可能)	”	1,200	1.5 8	30	—	15	10	2	75 40	第3乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。	
自動スイッチ(操作スイッチ) 照明、換気扇用等	”	1,800	2.2 11.1	40	—	20	15	2	100 50	第4乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。	
コンセント 電話用ケーブル、テレビ端子(一般)	”	300	3.7 16.8	60	—	30	20	2	150 75	第5乙は、この契約による工事に従事している者又は従事していた者(以下「乙の従事者」という。)は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するためには必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。	
” (和室)	”	150	5.5 24.6	75	60	50	30	2	200 100	第6乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。	
” (台所)	台所 ~ 中心	150	7.5 34	125	75	60	40	5.5	250 150	第7乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。	
コンセント(土間)	床上 ~ 中心	800 ~ 1,300	11 48	125	125	75	60	5.5	3.5/2 300 200	第8乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等(複写又は複製したもの)を含む、第1において同じ。)を契約書に指定された作業場所から持ち出さなければならぬ。	
コンセント(電動車いす充電用)	”	900	15 64	150	125	100	55	3.5	400 250	第9前項の場合は、乙が前項の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。	
引込閉鎖器箱(低圧)	床上 ~ 上端	1,500	18.5 79	150	175	125	100	8	5.5/3.5 500 300	第10乙は、前項の場合は、甲から提供された個人情報が記録された資料等(以下「資料等」という。)を複写し、又は複製してはならない。	
分電盤、制御盤、実験盤	床上 ~ 中心	1,500(上端1,900以下)	22 92	175	200	150	100	14	8/5.5 800 400	第11乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等(複写又は複製したもの)を含む、第1において同じ。)を契約書に指定された作業場所から持ち出さなければならぬ。	
開閉器箱	”	1,500	30 124	225	300	200	150	22	14/8 900 500	第12乙は、前項の場合は、甲から提供された個人情報が記録された資料等(以下「資料等」という。)を複写し、又は複製してはならない。	
電磁開閉器用押しボタン	”	1,200	37 152	300	350	225	200	22	22/14 1,200 700	第13乙は、前項の場合は、甲から提供された個人情報が記録された資料等(以下「資料等」という。)を複写し、又は複製してはならない。	
接地用端子箱	地上、床下 ~ 中心	500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。	図面及び特記事項に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修仕様」という。)による。 特記事項に記載の「[]」内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図示等が該当表示を示す。						
試験用端子箱	床上 ~ 下端	800	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
接地極埋設設置	地上 ~ 中心	600	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
給油ボックス	地上 ~ 給油口	1,000	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
室内端子盤(廊下・室内)	床上 ~ 下端	300	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
中間端子盤(EP S・電気室)	床上 ~ 中心	1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
壁付排気機	”	1,300	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
親時計	”	1,500(上端1,900以下)	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
子時計、スピーカー	”	(天井高) × 0.9	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
アラームセーナー	”	1,200	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
表示盤	”	(天井高) × 0.9	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
発信機(出退室用)	”	1,200	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
外部受付用インターホン(子機)	”	標準図による	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
壁付インターホン(上記以外)	”	1,100	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
呼出ボタン(多機能使用可能)	”	900	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
復帰ボタン(”)	”	1,300	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
廊下表示灯(”)	”	2,000	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
テレセラ機器収容箱	天井下 ~ 上端	200	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
火災報知機(複合型)	床上 ~ 操作部	800 ~ 1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
副受信機	床上 ~ 中心	1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
機器収容箱(火災報知設備)	”	800 ~ 1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
発信機	”	800 ~ 1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
警報ベル	”	(天井高) × 0.9	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
表示灯(火災報知設備)	”	(天井高) × 0.8	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
連動制御器(自動閉鎖)	”	1,500	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
ガス漏れ検知器(重ガス)	”	300	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
ガス漏れ検知器(軽ガス)	天井下 ~ 中心	(天井高) ~ 200	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
扇風機	天井下 ~ 上端	(天井高) ~ 200	400V三相誘導電動機回路の器具容量等	※分析調査は「基材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。							
(参考) 天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。 天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。											
52 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地端子B(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは										
	W=30 L=900mm 以上、14φは、W=40 L=1,200mm 以上としても差し支えない。										
	接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	接 地 極 (参 考)							
	共 同 接 地	E _{A,B,C,D}	Ω 以下	E B (14φ) × 3 道 一 組							
	共 同 接 地	E _{A,B,C,D}	10Ω 以下	E B (14φ) × 3 道 一 3 組							
	A 種	E _A	10Ω 以下	E B (1							



付近見取図 S:1/5000

I 工事概要	
工事名称	県小学校南校舎長寿命化改修工事(2期工事)
用 途	学校
地名地番	三重県四日市市赤水町 地内
都市計画区域	都市計画区域外(市街化調整区域)
用途地域	第1種住居地域
防火地域	22条地域
敷地面積	20,146 m ²
建べい率 / 容積率	60 % / 200 %
高さ制限	指定無し
道路	北側道路 幅員5.0m (法42条1項道路) 東側道路 幅員6.0m (法42条1項道路) 南側道路 幅員6.0m (法42条1項道路)
工事内容	建築改修工事 機械設備改修工事 電気設備改修工事

防犯カメラは足場設置時に一時移設すること
足場撤去後は、元の位置に戻すこと

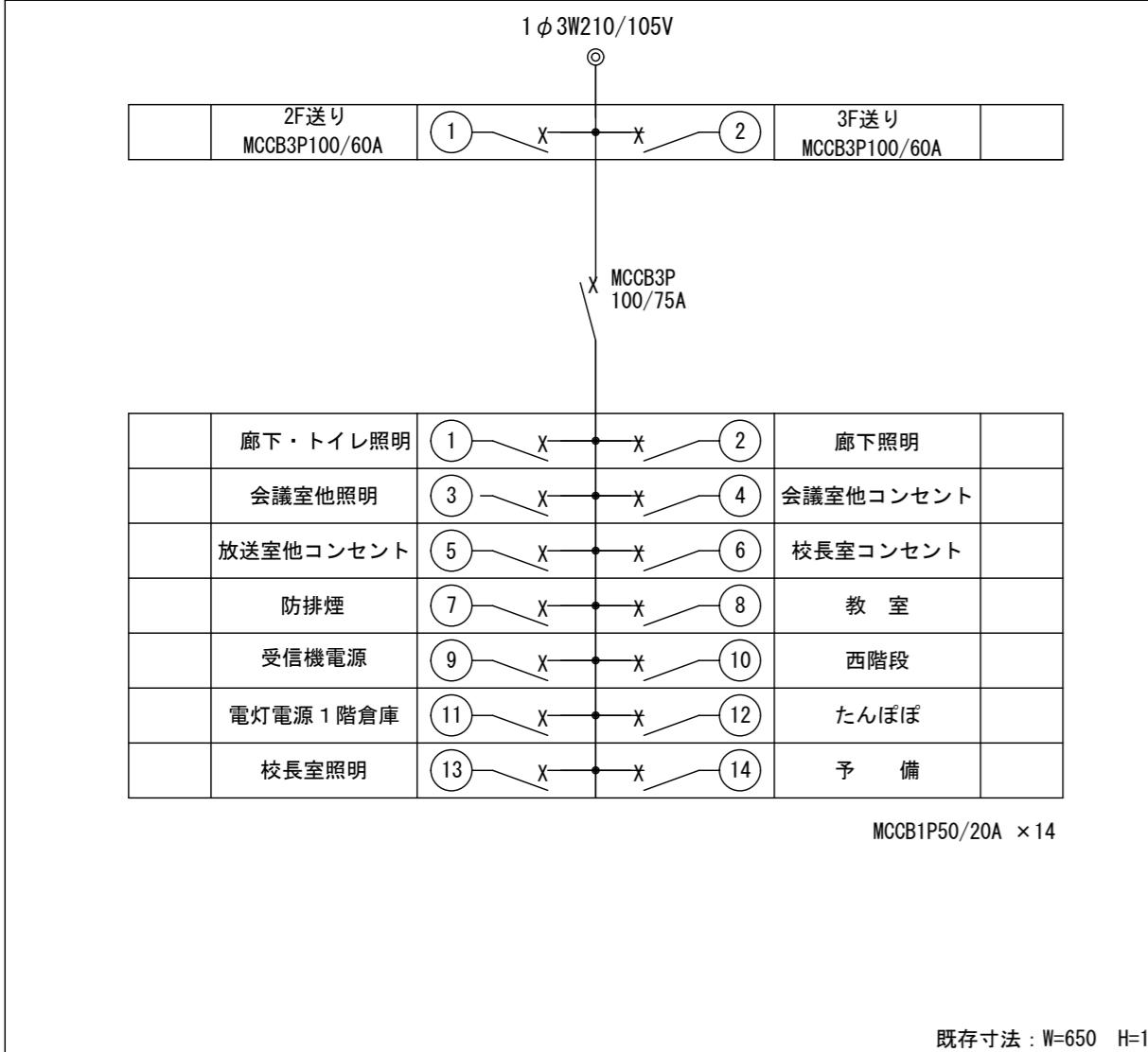


配置図 S:1/600

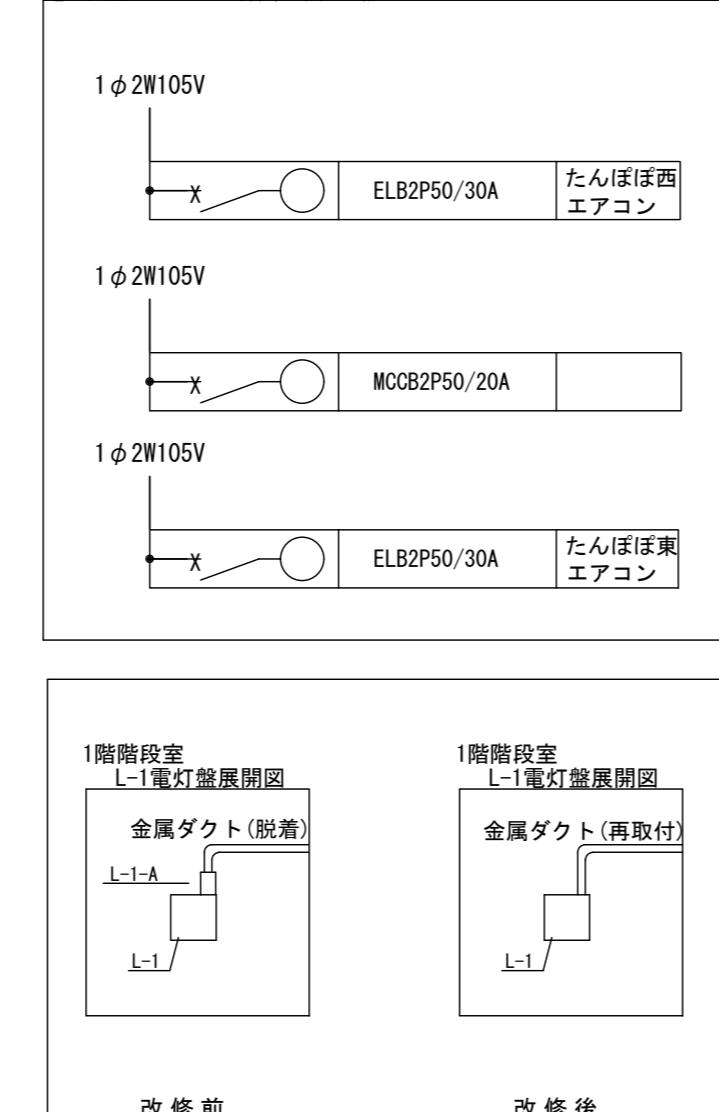
: 改修棟を示す

改修前

電灯盤 L-1 屋内埋込型鋼板製撤去



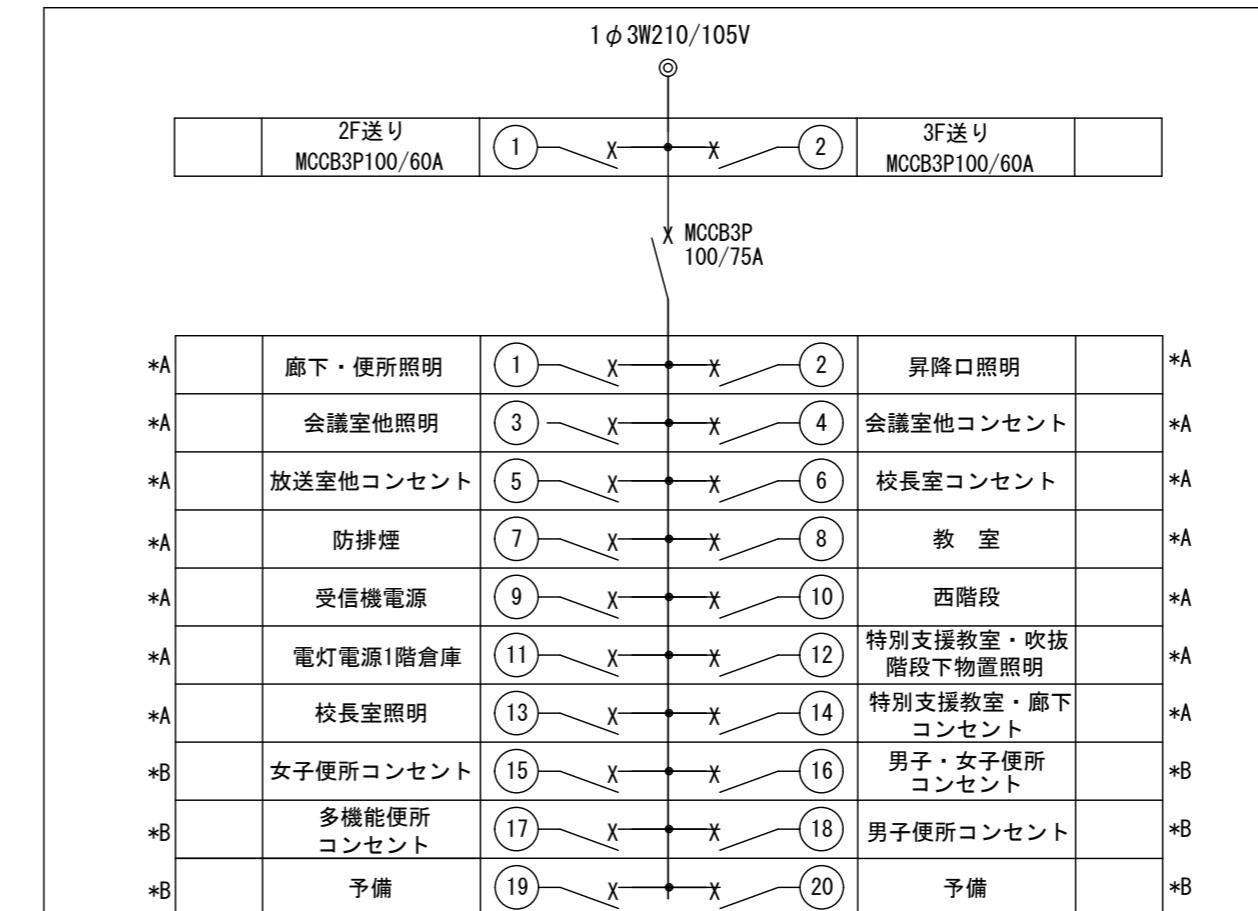
電灯盤 L-1-A 鋼板製撤去



※金属ダクトは、L-1-A撤去後足らない分だけ新設すること。

改修後

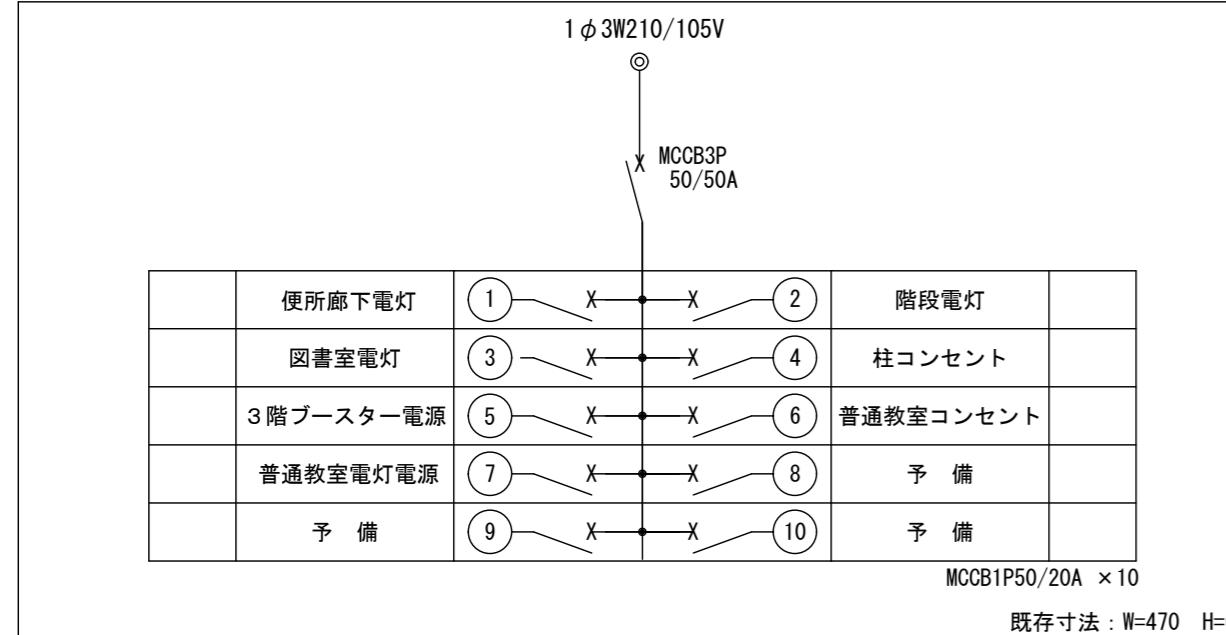
電灯盤 L-1 屋内埋込型鋼板製更新



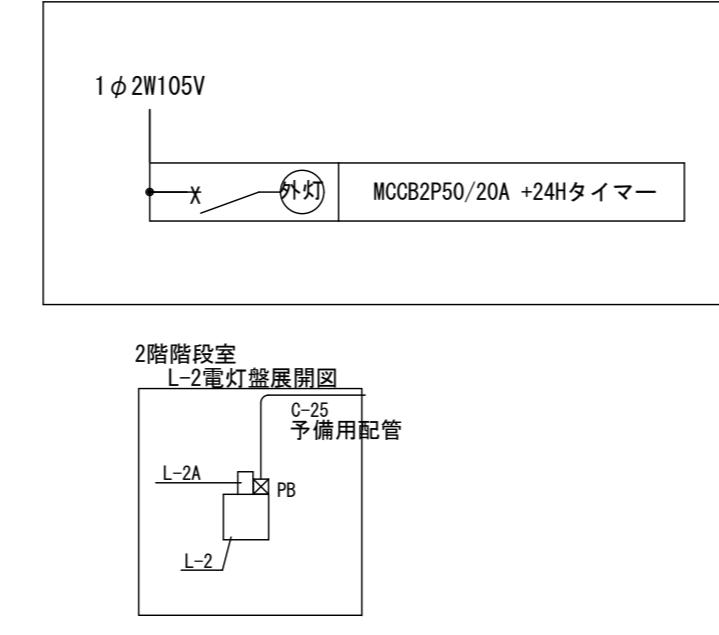
改修内容

- 埋込盤のため簡体は既設再利用とする。
- 分電盤の内機、外・内扉を撤去し、更新する。
- 枠・扉は金属加工を施し、壁面からの出幅を80mm以下とする。

電灯盤 L-2 屋内埋込型鋼板製撤去

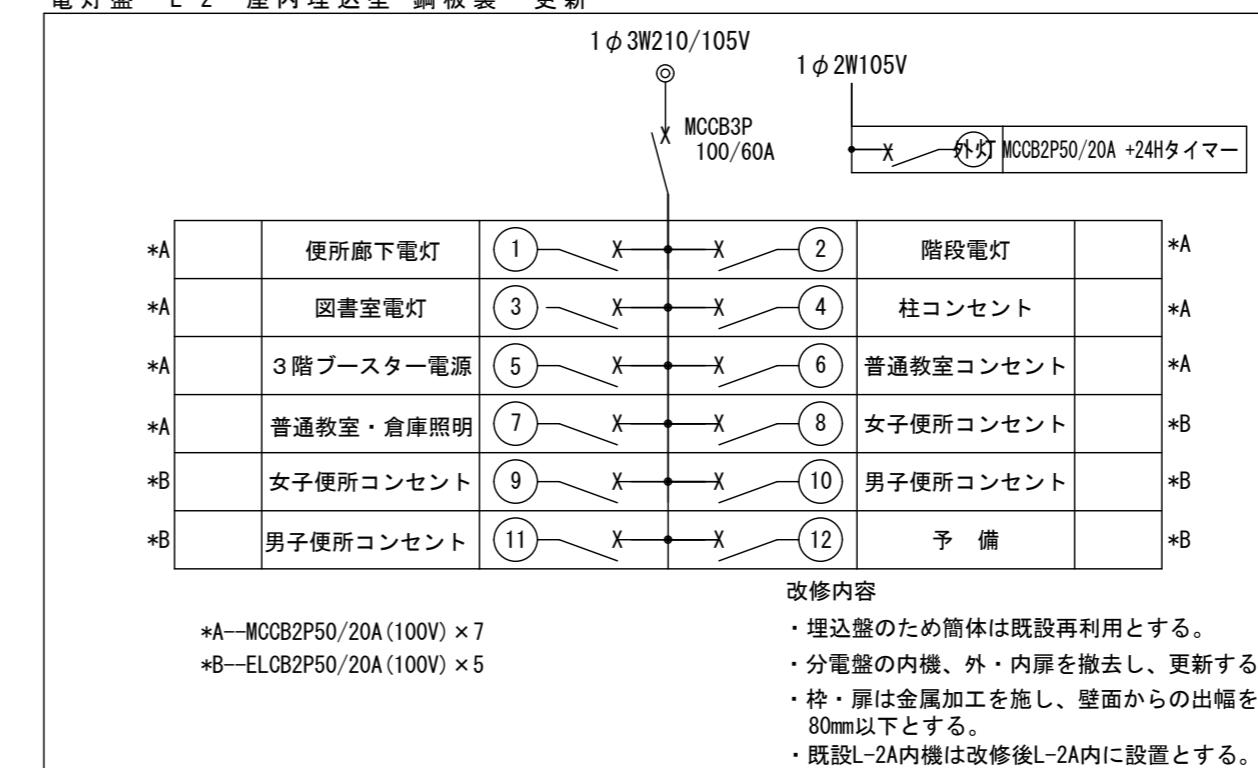


電灯盤 L-2A 鋼板製撤去



ブルボン150×150×100 鋼板製 更新

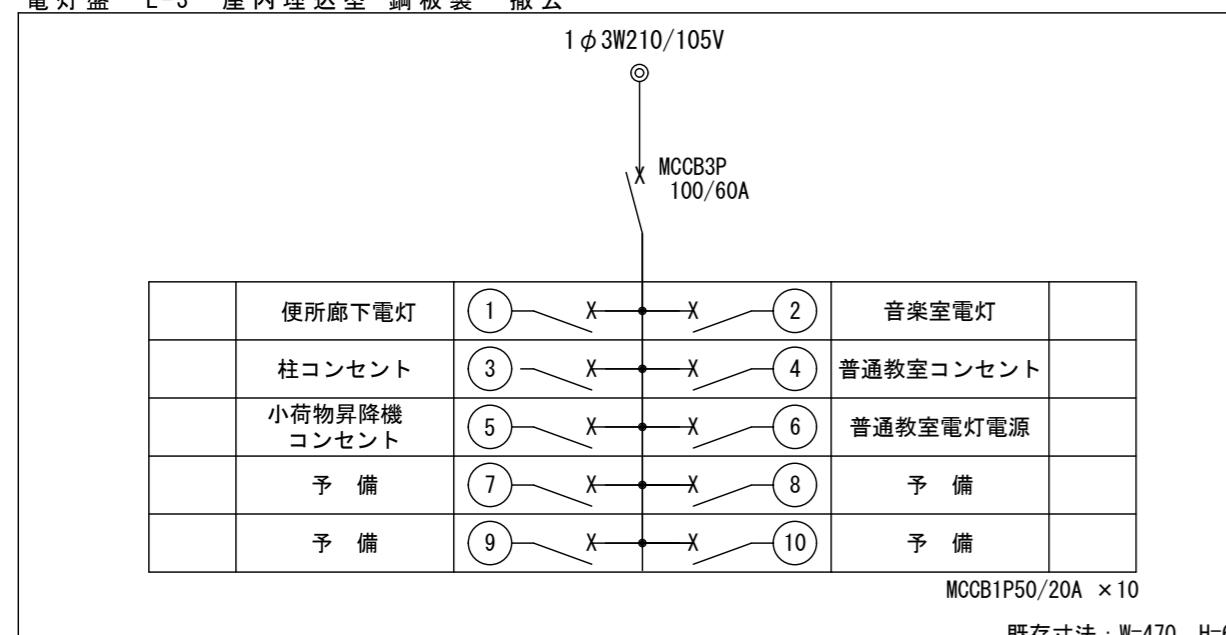
電灯盤 L-2 屋内埋込型鋼板製更新



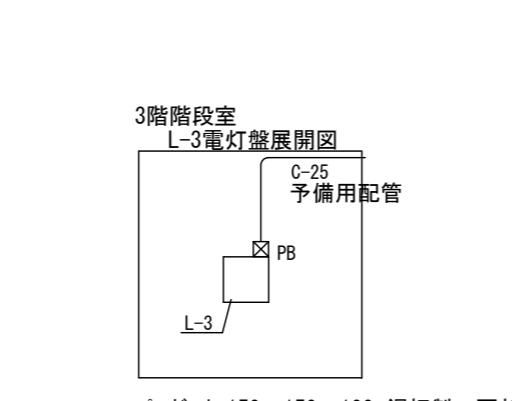
改修内容

- 埋込盤のため簡体は既設再利用とする。
- 分電盤の内機、外・内扉を撤去し、更新する。
- 枠・扉は金属加工を施し、壁面からの出幅を80mm以下とする。
- 既設L-2A内機は改修後L-2A内に設置とする。

電灯盤 L-3 屋内埋込型鋼板製撤去

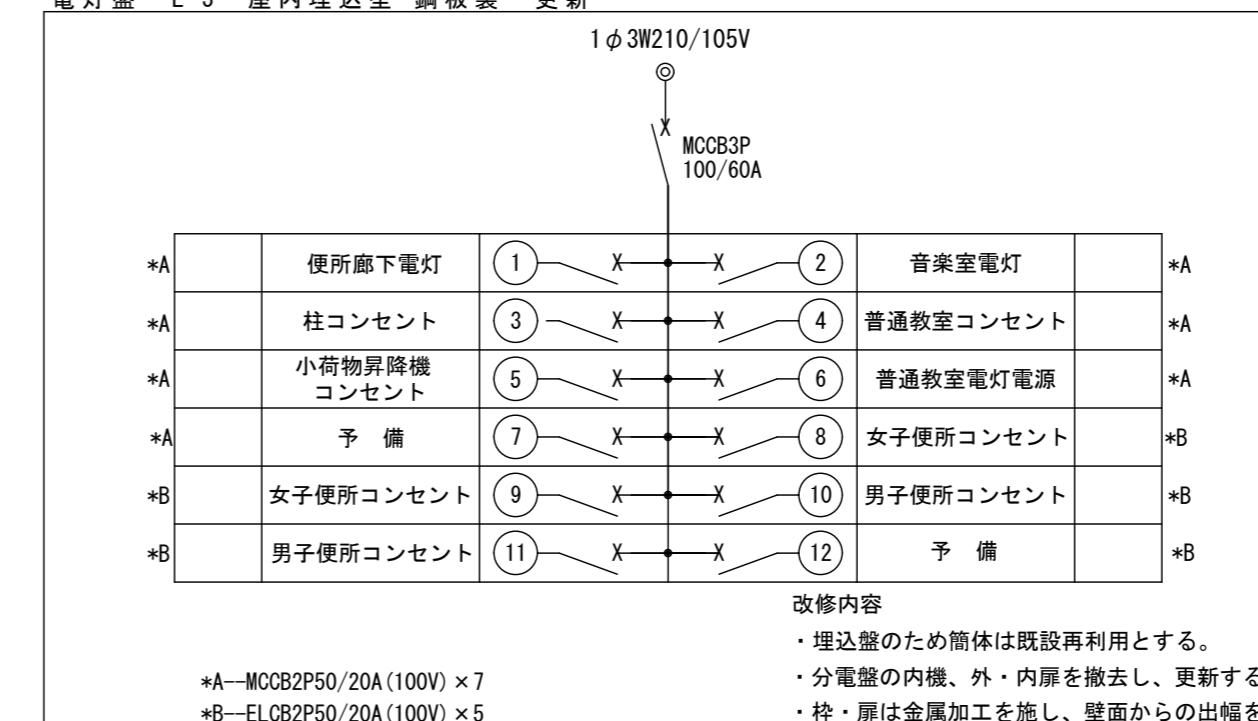


3階階段室 L-3電灯盤展開図



ブルボン150×150×100 鋼板製 更新

電灯盤 L-3 屋内埋込型鋼板製更新



改修内容

- 埋込盤のため簡体は既設再利用とする。
- 分電盤の内機、外・内扉を撤去し、更新する。
- 枠・扉は金属加工を施し、壁面からの出幅を80mm以下とする。

改修前

凡例

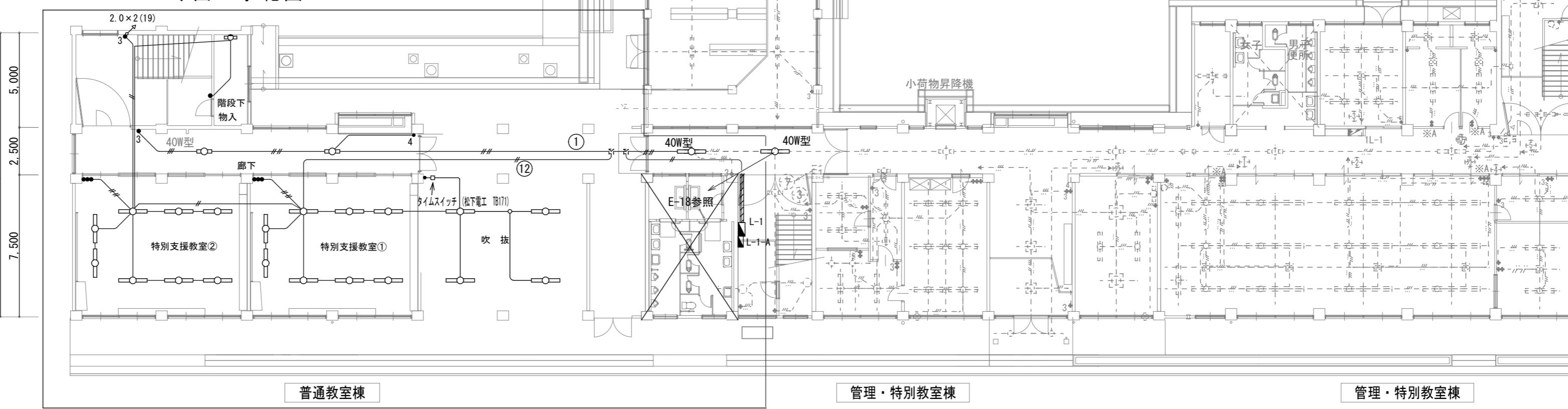
記号	名称	備考
□	LEDベースライト	
△	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
●4	タンプラスイッチ	4W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
①	壁付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
☒	250×250×200	

記号	品番
JJ202N	直付XLX210NENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP
I401	NNFW41800C

階段下物置	教室(障害児)	教室(障害児)	吹抜
JJ202N×1	一時取外し	R323×6 一時取外し	I401×4 一時取外し

廊下	M202H×1 一時取外し	B322H×2 (40W型) 一時取外し
C322H×2	一時取外し	

今回工事範囲

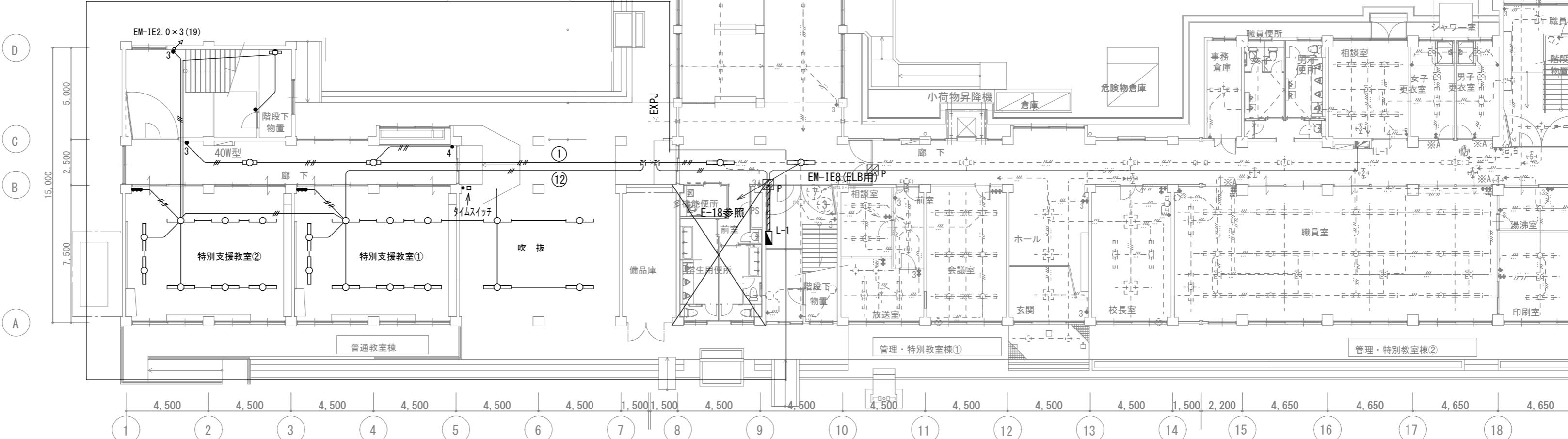


記号	品番
JJ202N	直付XLX210NENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP
I401	NNFW41800C

階段下物置	特別支援教室②	特別支援教室①	吹抜
JJ202N×1 再取付	R323×6 再取付	R323×6 再取付	I401×4 再取付

廊下	M202H×1 再取付	B322H×1 (40W型) 再取付
C322H×2 再取付		

今回工事範囲



記号	品番
JJ202N	直付XLX210NENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP
I401	NNFW41800C

階段下物置	特別支援教室②	特別支援教室①	吹抜
JJ202N×1 再取付	R323×6 再取付	R323×6 再取付	I401×4 再取付

廊下	M202H×1 再取付	B322H×1 (40W型) 再取付
C322H×2 再取付		

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.35251 田端 達也

設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称
一級建築士 No.35251 田端達也	一級建築士 No.32320 篠原義典 内上昇也	1 - A2 : 1/200 1 - 9 : 1/280	県小学校南校舎長寿命化改修工事(2期工事)
		R 6. 9	図面名称 1階電灯設備平面図(改修前・改修後)

改修前

凡例		
記号	名 称	備 考
□	LEDベースライト	
△	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
●4	タンプラスイッチ	4W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
①	壁付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
☒	200×200×200	

階段

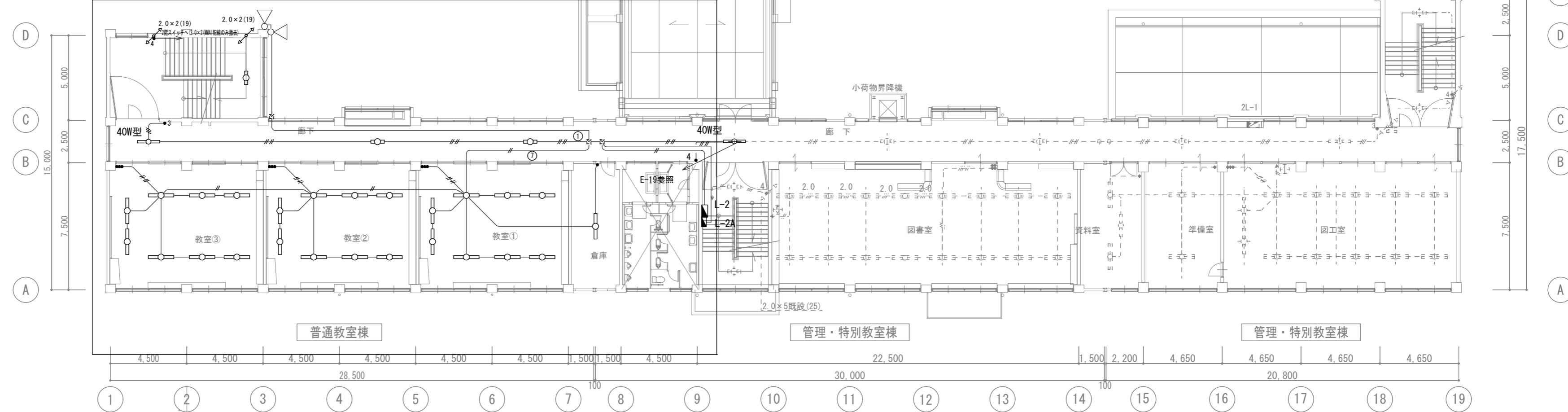
教室③	R323×6 一時取外し
C322H×2 一時取外し	黒板灯アダプタ×2

外壁	rm×2 一時取外し
倉庫	R322H×1 一時取外し
廊下	M202H×2 一時取外し
	B322H×2 一時取外し (40W型)

記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP
rm	YYY31222

昇降口

今回工事範囲



改修後

凡例		
記号	名 称	備 考
□	LEDベースライト	
△	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+L×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
●4	タンプラスイッチ	4W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
①	壁付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
☒	200×200×200	

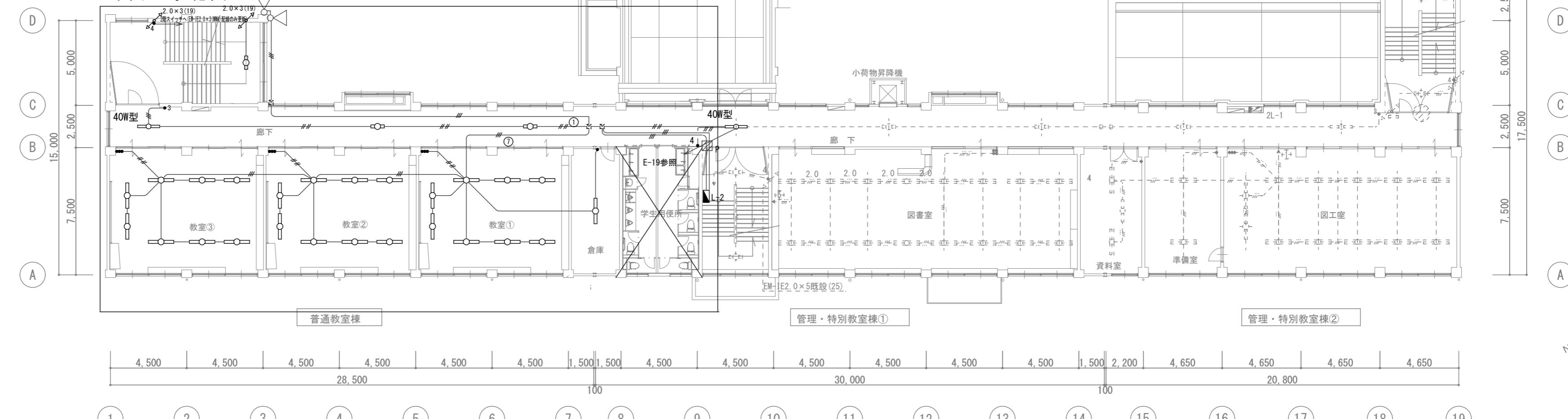
階段

教室③	R323×6 再取付
C322H×2 再取付	黒板灯アダプタ×2

外壁	rm×2 再取付
倉庫	R322H×1 再取付
廊下	M202H×2 再取付
	B322H×2 再取付 (40W型)

記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP
rm	YYY31222

今回工事範囲



改修前

階段	M202H×1 一時取外し
教室⑥	R323×6 一時取外し
C322H×2 一時取外し	

教室⑤	R323×6 一時取外し
C322H×2 一時取外し	

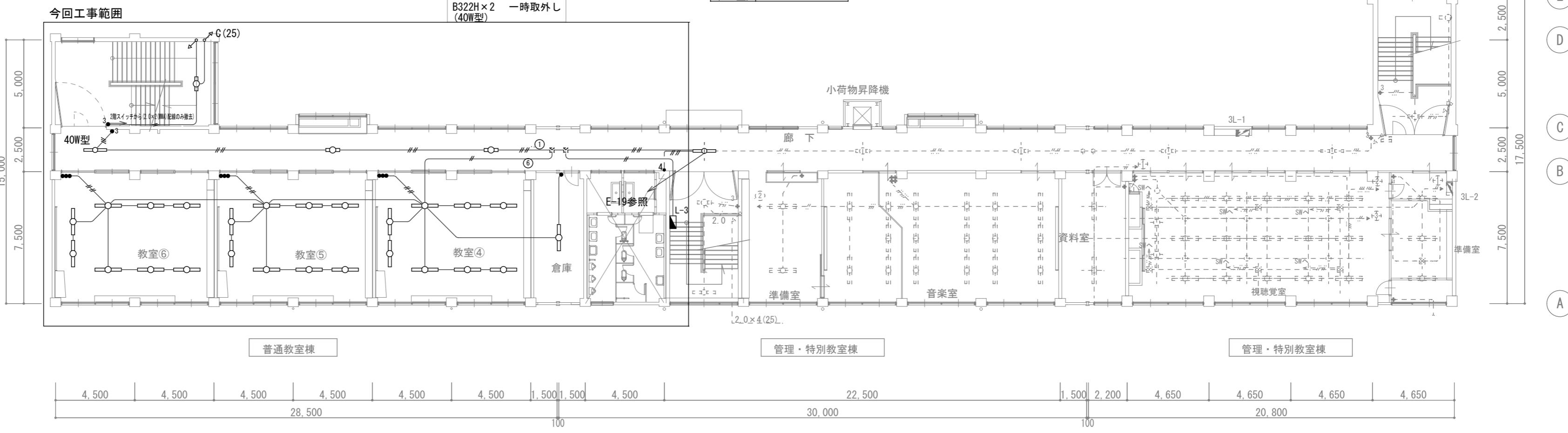
教室④	R323×6 一時取外し
C322H×2 一時取外し	

倉庫	R322H×1 一時取外し
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP

記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP

凡例

記号	名称	備考
□	LEDベースライト	
△	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●	タンプラスイッチ	3W15A×1
●	タンプラスイッチ	4W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
①	壁付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
☒	200×200×200	



記入なき配線は下記による。

- //— IV 2.0×2 (19) 配線のみ撤去
- //— IV 1.6×2 (19) 配線のみ撤去
- ///— IV 1.6×3 (19) 配線のみ撤去
- ///— IV 1.6×4 (25) 配線のみ撤去

タンプラスイッチは撤去とする。
破線は既設を示す。

改修後

階段	M202H×1 再取付
教室⑥	R323×6 再取付
C322H×2 再取付	

教室⑤	R323×6 再取付
C322H×2 再取付	

教室④	R323×6 再取付
C322H×2 再取付	

倉庫	R322H×1 再取付
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP

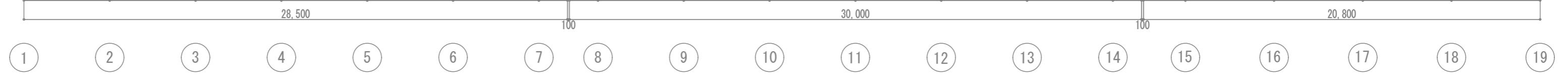
記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R323	直付XLX409DENJ
C322H	直付XLX460BSNT
M202H	直付XLX230AENC
B322H (40W型)	直付XLX460AENP

凡例

記号	名称	備考
□	LEDベースライト	
△	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●	タンプラスイッチ	3W15A×1
●	タンプラスイッチ	4W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
①	壁付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
☒	200×200×200	

記入なき配線は下記による。

- //— EM-IE 2.0×2 (既設管19) 配線のみ更新
- //— EM-IE 1.6×3 (既設管19) 配線のみ更新
- ///— EM-IE 2.0×3 (既設管19) 配線のみ更新
- ///— EM-IE 2.0×4 (既設管25) 配線のみ更新

タンプラスイッチは更新とする。
破線は既設を示す。

☒p: 防火区画貫通処理

3階平面図 S:1/200

備考
・
・
・
・

（株）田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 達也

設計代表者
一級建築士
No.352551
田端 達也

設計担当者
一級建築士
No.352551
田端 達也

SCALE
A2 : 1/200
B2 : 1/280
DATE
R 6. 9

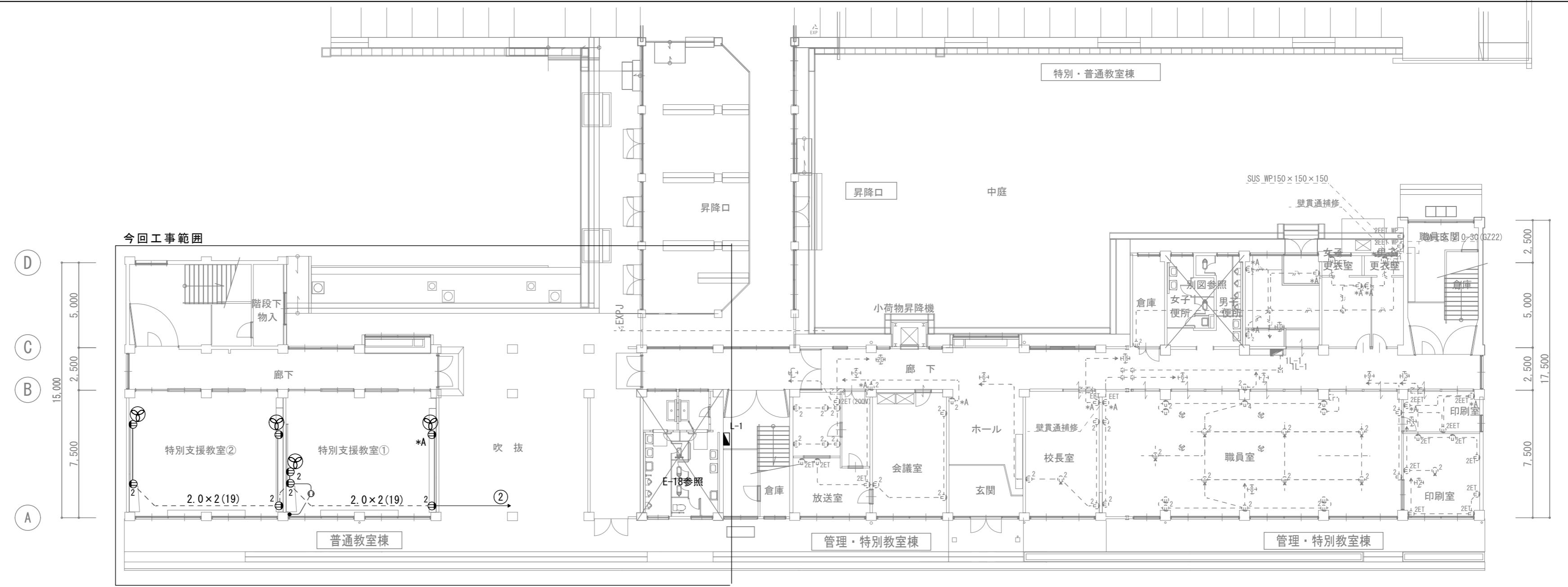
工事名称 県小学校南校舎長寿命化改修工事 (2期工事)
図面名称 3階電灯平面図 (改修前・改修後)

E-07
原図: A2
A2

改修前

凡例

記号	名称	備考
①	壁付けコンセント	2P15A×1
①2	壁付けコンセント	2P15A×2
○	天井付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
◎	壁付扇風機	羽根径 ϕ 300



コンセント、扇風機、配線は撤去とする。

*A--メタルモールA型撤去

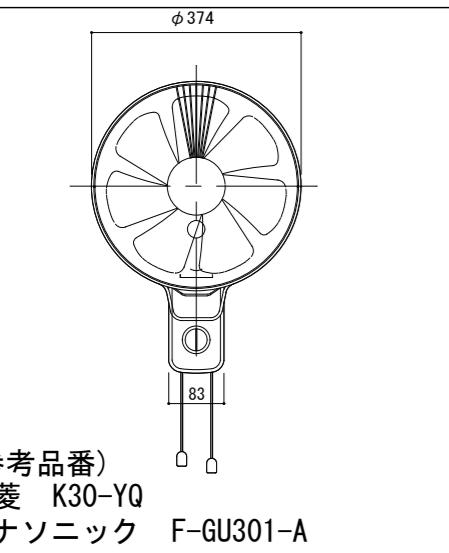
1階平面図 S:1/200

改修後

凡例

記号	名称	備考
①	壁付けコンセント	2P15A×1
①2	壁付けコンセント	2P15A×2
①LK	抜止コンセント	2P15A×1+LK
■	電灯分電盤	
◎	壁付扇風機	
□ MC	メタルモールコーナーボックス	
□ P	防火区画貫通処理	

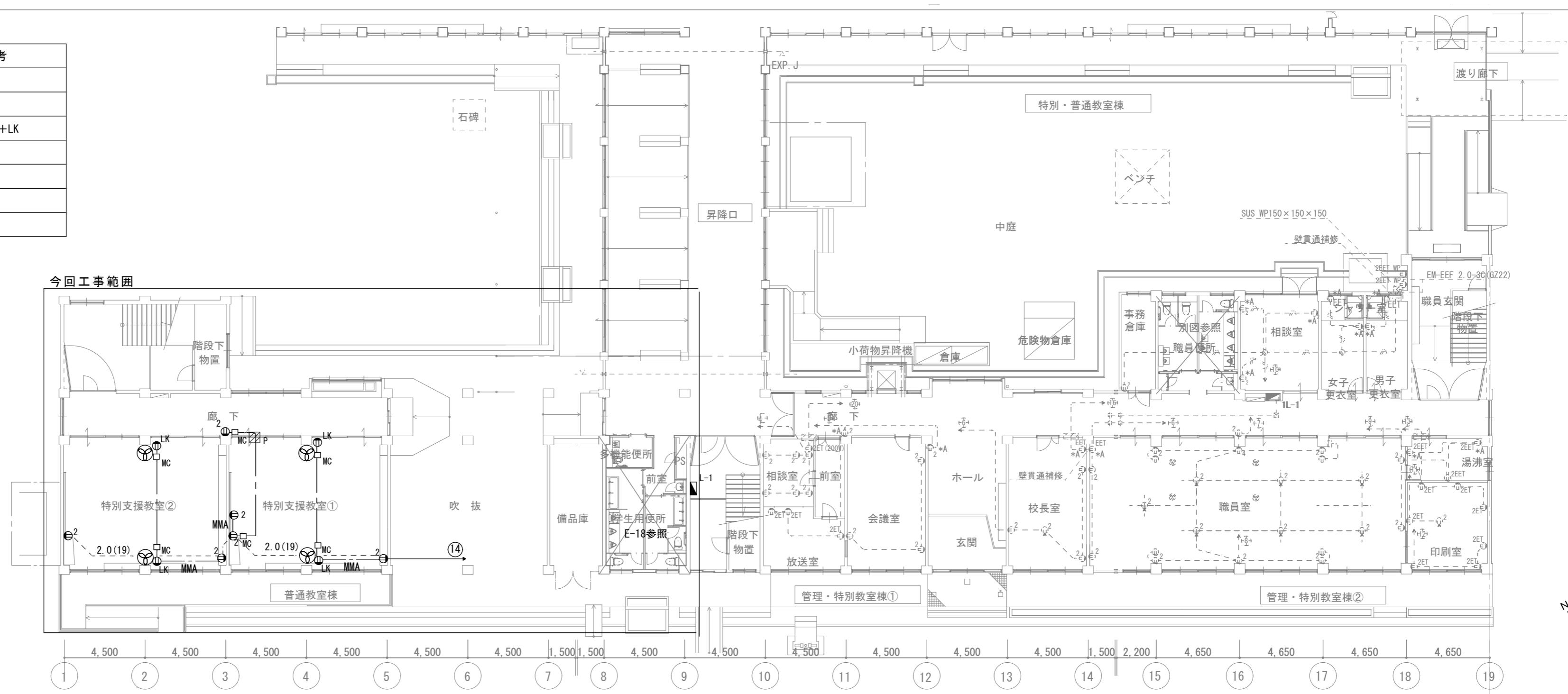
壁付扇風機 30cm羽根 引きひもタイプ 落下防止ワイヤ

(参考品番)
三菱 K30-YQ
パナソニック F-GU301-A

記入なき配線は下記による。
EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
2.0(19) EM-IE 2.0×2 E1.6(19)床埋設 既設管に入線
EM-IE 2.0×2 E1.6(19)天井内配管 既設管に入線
MMA EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
コンセント、扇風機、配線は更新とする。

1階平面図 S:1/200



(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計代 表者
一級建築士
No.352551
田端道也設計担当者
一級建築士
構造設計一級建築士
日本工房SCALE
A2 - 1/200
A3 - 1/250
DATE
R 6. 9工事名 称 県小学校南校舎長寿命化改修工事 (2期工事)
図面名 称 1階コンセント設備平面図 (改修前・改修後)

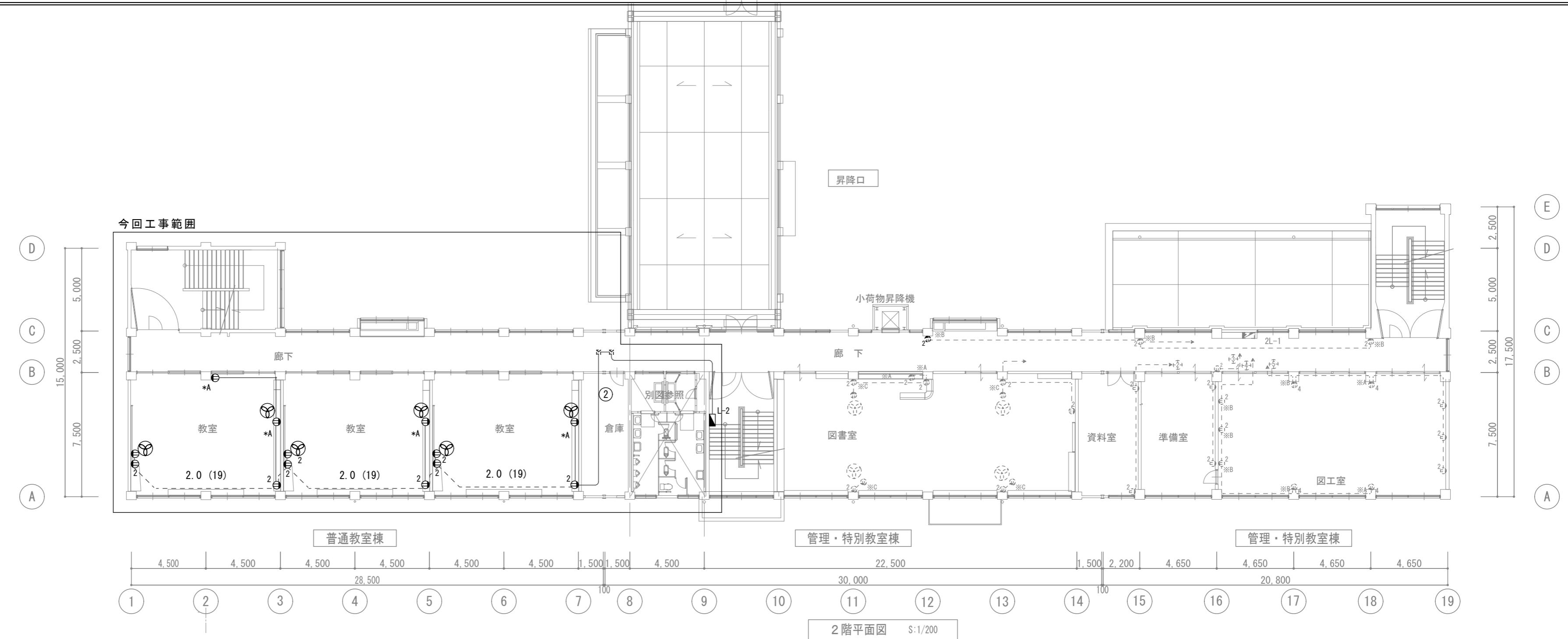
改修前

凡例

記号	名称	備考
①	壁付けコンセント	2P15A×1
①2	壁付けコンセント	2P15A×2
②	天井付けコンセント	2P15A×1
■	電灯分電盤	
◎	壁付扇風機	羽根径 φ300
☒	200×200×200	残置

記入なき配線は下記による。
— IV 2.0×2 (19)

コンセント、扇風機、配線は撤去とする。
*A—メタルモール A型 撤去



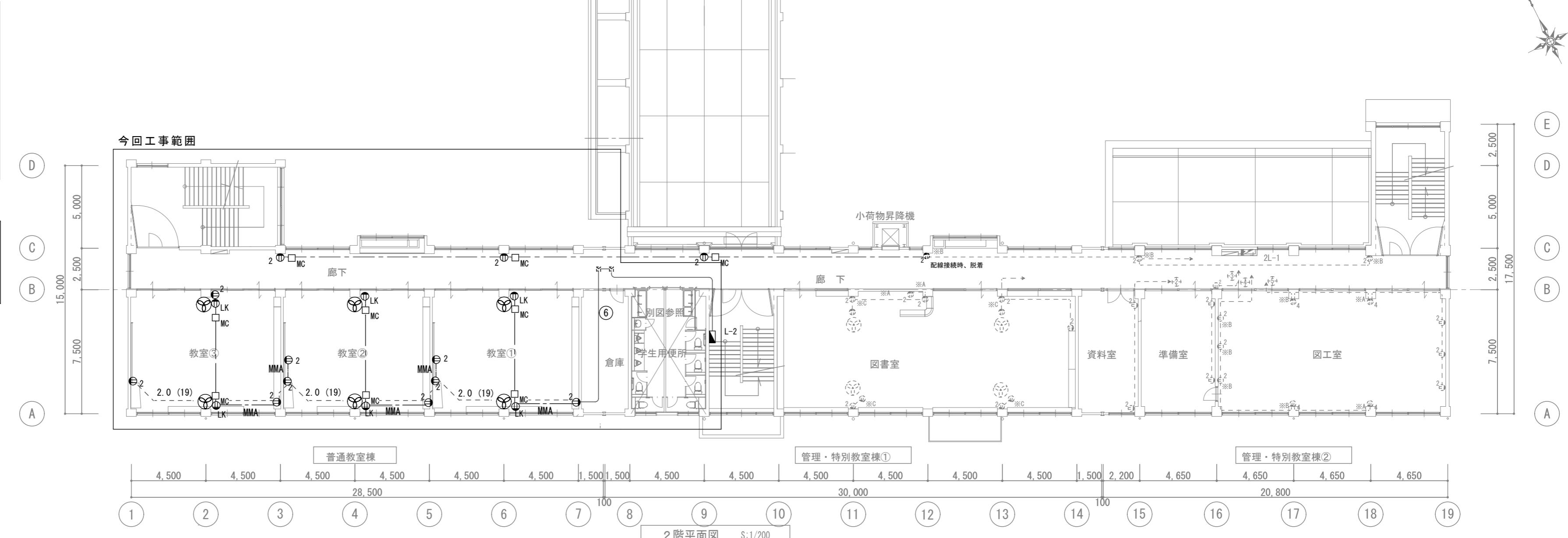
改修後

凡例

記号	名称	備考
①	壁付けコンセント	2P15A×1
①2	壁付けコンセント	2P15A×2
①LK	抜止コンセント	2P15A×1+LK
■	電灯分電盤	
◎	壁付扇風機	羽根径 φ300
☒	200×200×200	残置
□MC	メタルモールコーナーボックス	

記入なき配線は下記による。
— EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
2.0 (19) EM-IE 2.0×2 E1.6 (19) 床埋設 既設管に入線
— EM-IE 2.0×2 E1.6 (19) 天井内配管 既設管に入線
MMA
EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)

露出下り部はメタルモールにて保護する。
コンセント、扇風機、配線は更新とする。

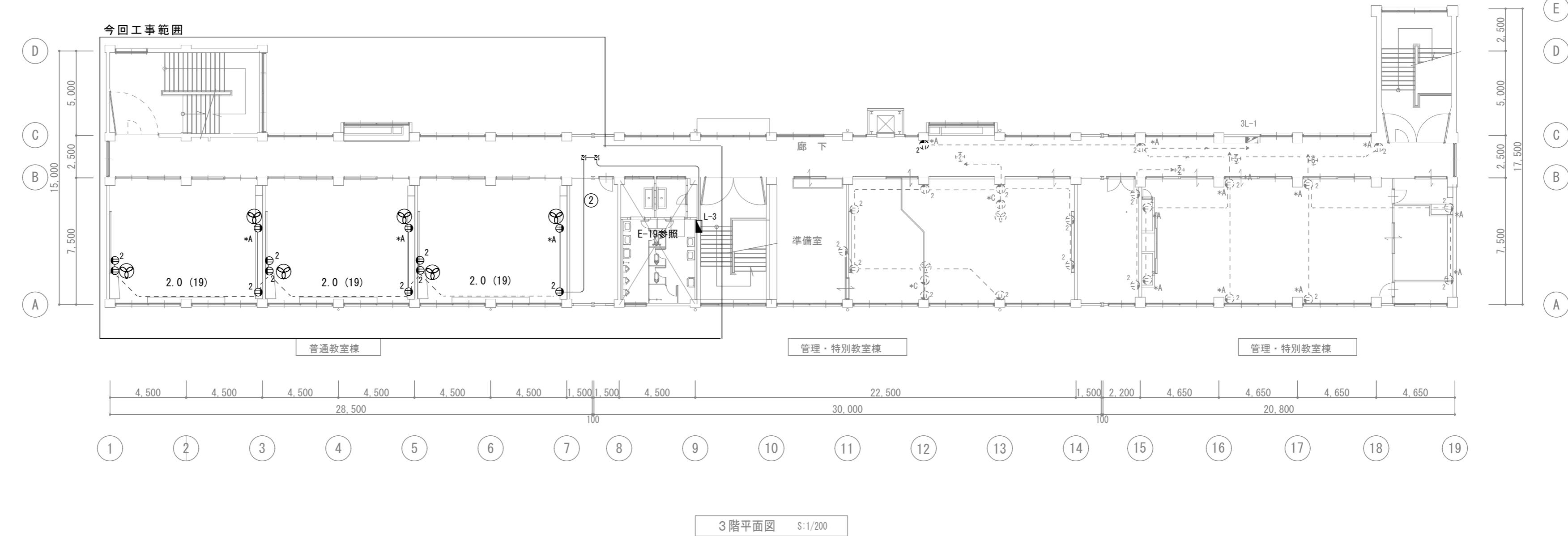


改修前

凡例	記号	名 称	備 考
①	壁付けコンセント	2P15A×1	
②	壁付けコンセント	2P15A×2	
③	天井付けコンセント	2P15A×1	
■	電灯分電盤		
◎	壁付扇風機	羽根径 φ300	
■	200×200×200	残置	

記入なき配線は下記による。

IV 2.0×2 (19)
コンセント、扇風機、配線は撤去とする。
*A--メタルモールA型撤去

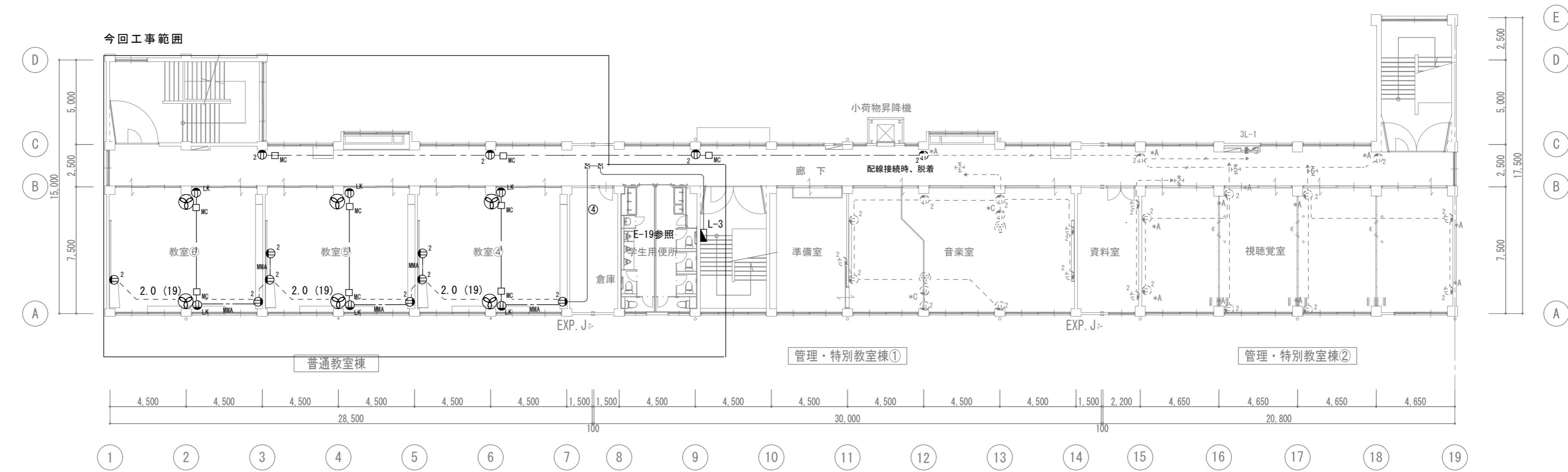


改修後

凡例	記号	名 称	備 考
①	壁付けコンセント	2P15A×1	
②	壁付けコンセント	2P15A×2	
③LK	抜止コンセント	2P15A×1+LK	
■	電灯分電盤		
◎	壁付扇風機	羽根径 φ300	
■	200×200×200	残置	
□MC	メタルモールコーナーボックス		

記入なき配線は下記による。
2.0 (19) EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
EM-IE 2.0×2 E1.6(19) 床埋設 既設管に入線
EM-IE 2.0×2 E1.6(19) 天井内配管 既設管に入線
MMA EM-EEF 2.0-3C (MMI-A)

露出立下部はメタルモールにて保護とする。
コンセント、扇風機、配線は更新とする。



拡声設備機器姿図(参考)	
	壁掛型スピーカー (SW2Hi-3V0)
	ワイヤレスアンテナ (壁取付型)
	参考品番: YW-550
	L級
定格入力 出力音圧レベル 周波数特性 スピーカー 仕上げ その他	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ) 95 dB (1 W, 1 m) 160 Hz~17 kHz 16 cmコーン型 木製 ライトグレー ネット: ジャージ ライトグレー 差込型コネクターによるワンタッチ接続
受信周波数範囲 ダイポール相対利得 推奨同軸ケーブル 防水性 アッテネーター 電源 質量	806 MHz~810 MHz 10 dB (ブースターアンプ含む) 50-FB (BS用) JIS保護等級4級 3段階切換 (広、中、狭) DC8 V~15 V (同軸ケーブルに重畠)、10 mA 145 g
	天井埋込型スピーカー ATT付 (SC6Hi-1V3-M)
	アッテネーター (0.5W~6W)
	φ230
定格入力 出力音圧レベル 周波数特性 スピーカー 仕上げ その他	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ) 95 dB (1 W, 1 m) 90 Hz~15 kHz 16 cmコーン型 アルミ オフホワイト アルミニバンディング オフホワイト 防塵カバー一体型、音量調整5段切換
入力容量 入力インピーダンス 音量調整 パネル 適合ボックス	0.5W~6W 20kΩ~1.67kΩ 5段階 新金属 JIS1個口用スイッチボックス

改修前

T-1 埋込型端子盤 既存寸法 W:450 H:600
端子台 10P×1
端子台 20P×1
2分配器×1

改修後

T-1 埋込型端子盤 鋼板製 新設
端子台 10P×1
端子台 20P×1
2分配器×1

T-2 埋込型端子盤 既存寸法 W:450 H:500
端子台 10P×2
1分岐器×1

T-2 埋込型端子盤 鋼板製 新設
端子台 10P×2
1分岐器×1

T-3 埋込型端子盤 既存寸法 W:550 H:600
端子台 10P×2
U/V増幅器×1(品番WP35E)
CATV増幅器用電源部×1
4分配器×1
露出コンセント2P15A×1

T-3 埋込型端子盤 鋼板製 新設
端子台 10P×2
CATV-1E(電源部含む)×1
4分配器×1
露出コンセント2P15A×2

トイレ呼出設備機器姿図(参考)	
	3窓用呼出表示器
	トイレ呼出ボタン(引きひも付)
電源電圧 形状 材質 窓数 表示方式 備考	DC12V (電源アダプタから供給) 埋込形 (JIS3個用スイッチボックス) SPCC 3窓 断続ブザー音と表示窓点灯 電源アダプター共
形 状 プレート/裏 確認灯 呼出ボタン	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)/樹脂 抗菌樹脂 LED (赤) ノンロック式
	アラーム付廊下灯
	復旧ボタン
形 状 表示灯 アラーム音	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックス) LED (赤) 65dB (距離1m)、背面ボリュームで可変
形 状 材 質 プレート	埋込形 (JIS1個用スイッチボックス) 樹脂 新金プレート

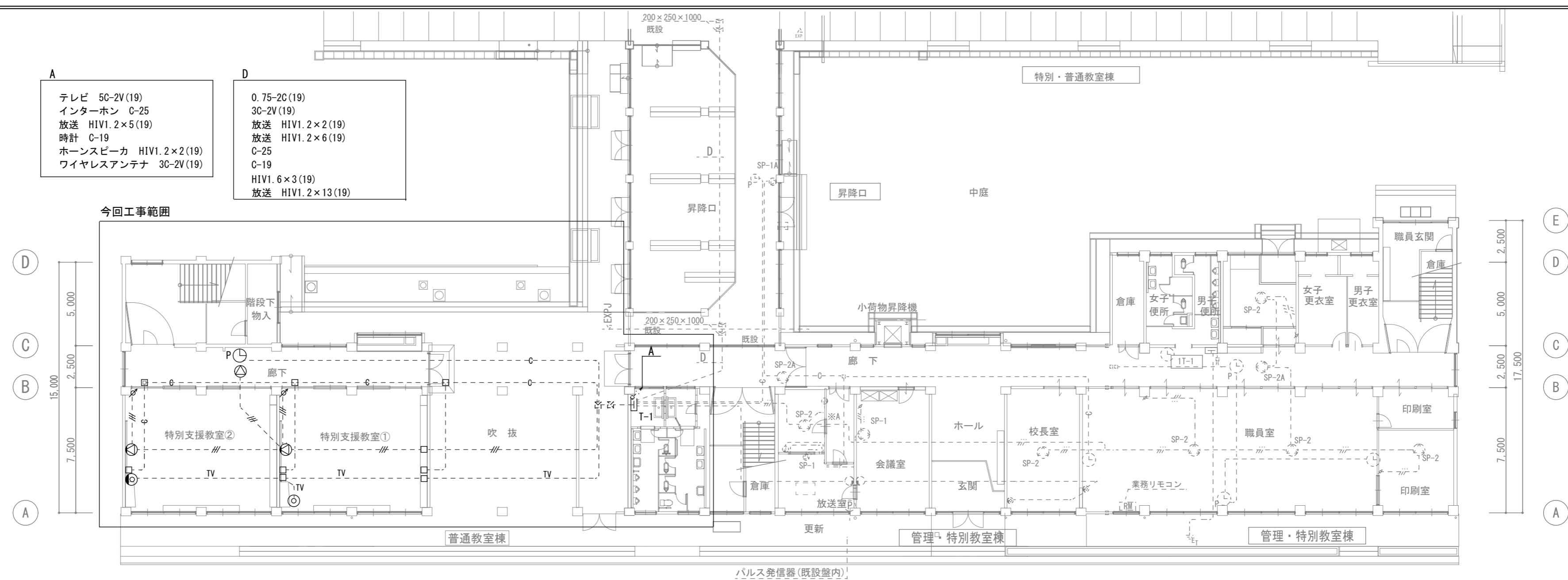
○端子盤に関して(改修後)
 建築で壁を作るため、埋込型にすること。
 設置高さが変わったため、配線については過不足なく調整すること。
 校長室や職員室でテレビを使用出来るようにすること。

改修前

凡例		
記号	名 称	備 考
AMP	1元デスクアンプ	残置
RM	壁掛非常リモコン	残置
○	天井埋込スピーカー	撤去
○	壁掛けスピーカー	撤去
○	アッテネーター	撤去
○	ホーンスピーカー	残置
○P	時計用カバーブレート	残置
□	端子盤	撤去
○	直列ユニット	撤去
□	250×250×200	残置

記入なき配線は下記による。
 HIV 1.2×3(19)
 C25
 5C-2V(19)

配線、配管は既設流用とする。
 テレビ端子の機器及び配線に関しては撤去とする。



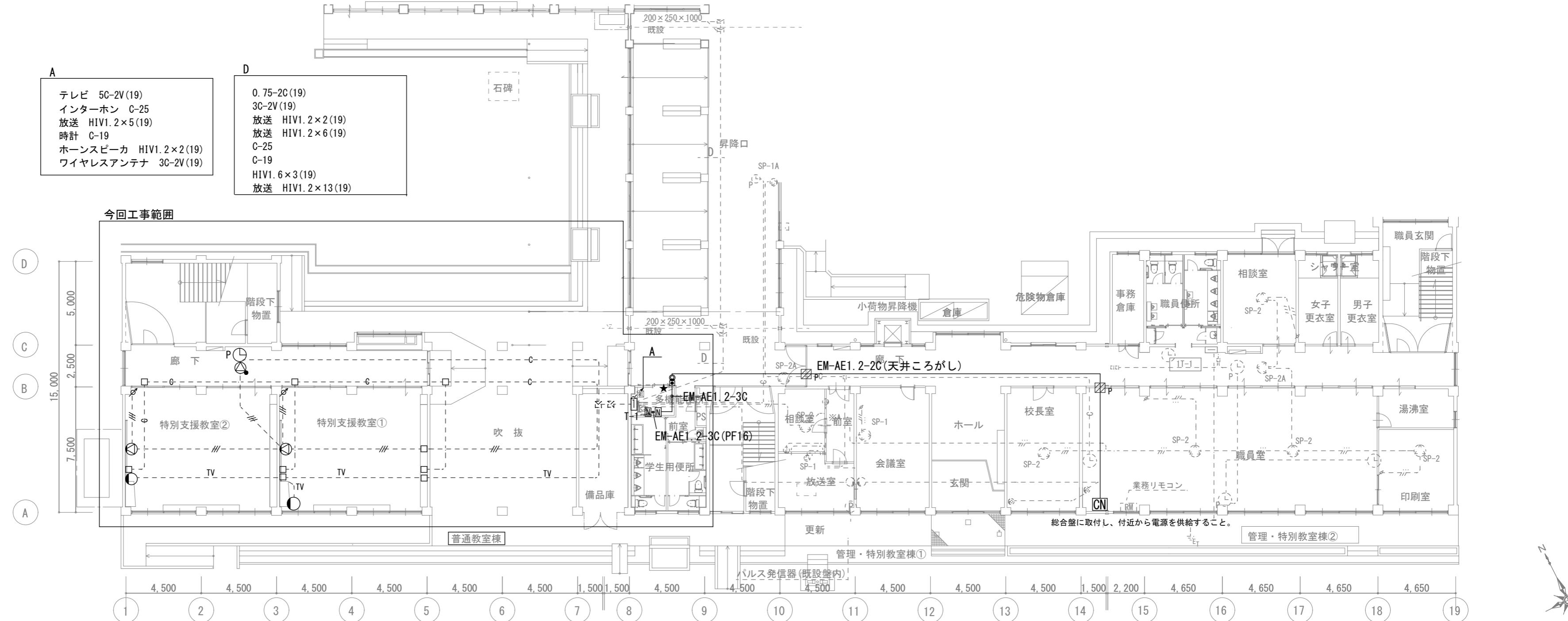
1階平面図 S:1/200

改修後

凡例		
記号	名 称	備 考
AMP	1元デスクアンプ	残置
RM	壁掛非常リモコン	残置
○	天井埋込スピーカー ATT付	更新
○	壁掛けスピーカー	更新
N	トイレ呼出ボタン	新設
○	アラーム付廊下灯	新設
□	復旧ボタン	新設
CN	3窓用呼出表示器	新設
○	アッテネーター	更新
○	ホーンスピーカー	残置
○P	時計用カバーブレート	残置
□	端子盤	新設
○	カバーブレート	新設
□	250×250×200	残置

記入なき配線は下記による。
 HIV 1.2×3(19)
 C25
 5C-2V(19)

配線、配管は既設流用とする。
 テレビ端子の機器及び配線に関しては撤去とする。
 ★は壁貫通修を示す。
 □p: 防火区画貫通



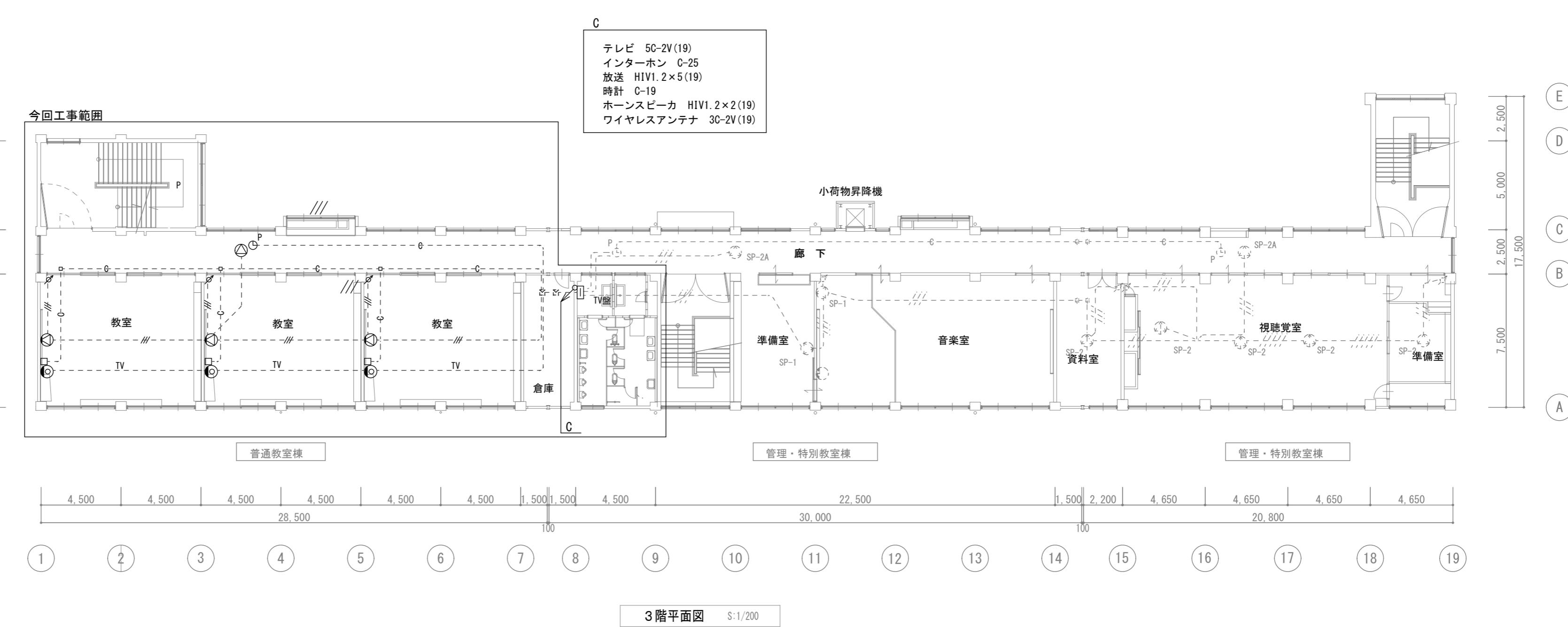
1階平面図 S:1/200

改修前

凡例		
記号	名 称	備 考
AMP	1元デスクアンプ	残置
RM	壁掛非常リモコン	残置
Ⓐ	天井埋込スピーカー	撤去
Ⓑ	壁掛けスピーカー	撤去
⦿	アッテネーター	撤去
⦿	ホーンスピーカー	残置
Ⓐ P	時計用カバーブレート	残置
⦿	端子盤	撤去
Ⓐ	直列ユニット	撤去
☒ 250×250×200		残置

記入なき配線は下記による。
 └ HIV 1.2×3(19)
 └ C25
 └ 5C-2V(19)

配線、配管は既設流用とする。
 テレビ端子の機器及び配線に関しては撤去とする。

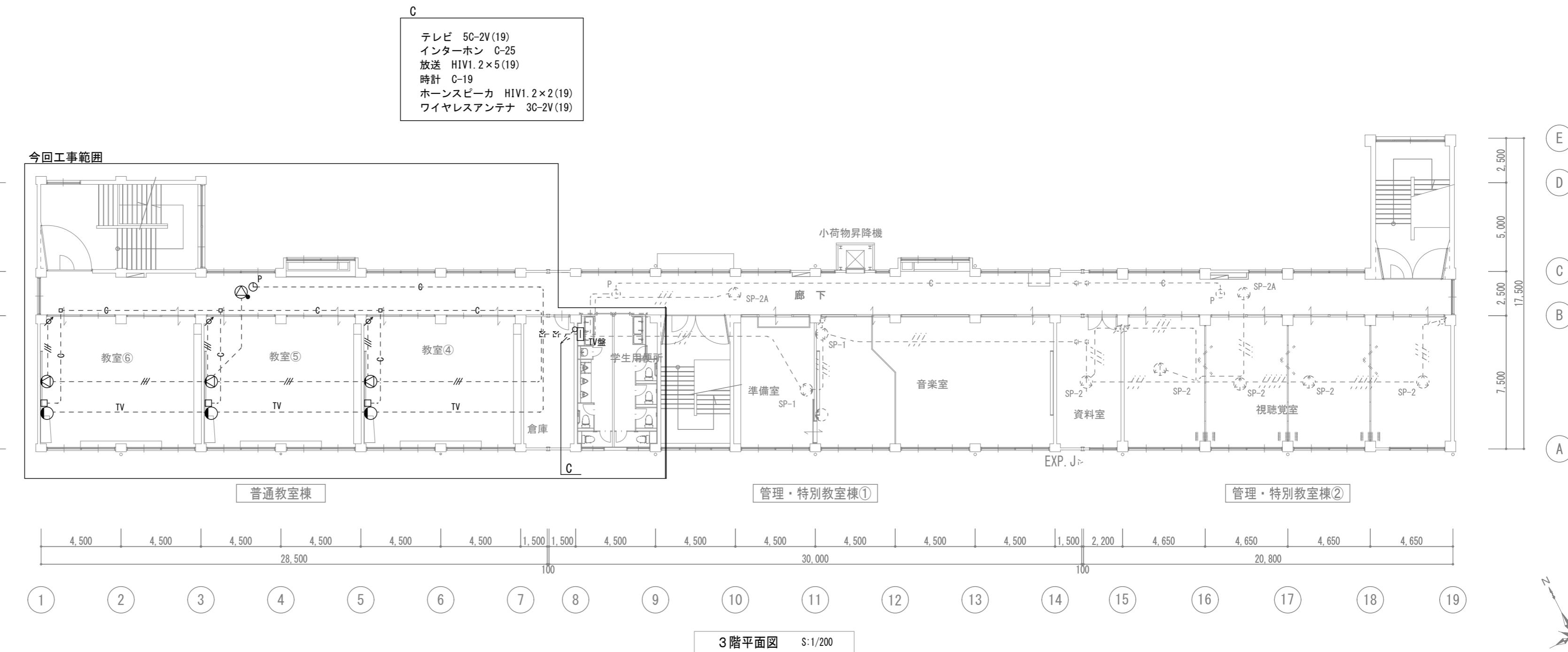


改修後

凡例		
記号	名 称	備 考
AMP	1元デスクアンプ	残置
RM	壁掛非常リモコン	残置
Ⓐ	天井埋込スピーカー ATT付	更新
Ⓑ	壁掛けスピーカー	更新
⦿	アッテネーター	更新
⦿	ホーンスピーカー	残置
Ⓐ P	時計用カバーブレート	残置
⦿	端子盤	更新
Ⓐ	カバーブレート	更新
☒ 250×250×200		残置

記入なき配線は下記による。
 └ HIV 1.2×3(19)
 └ C25
 └ 5C-2V(19)

配線、配管は既設流用とする。
 テレビ端子の機器及び配線に関しては撤去とする。



改修前

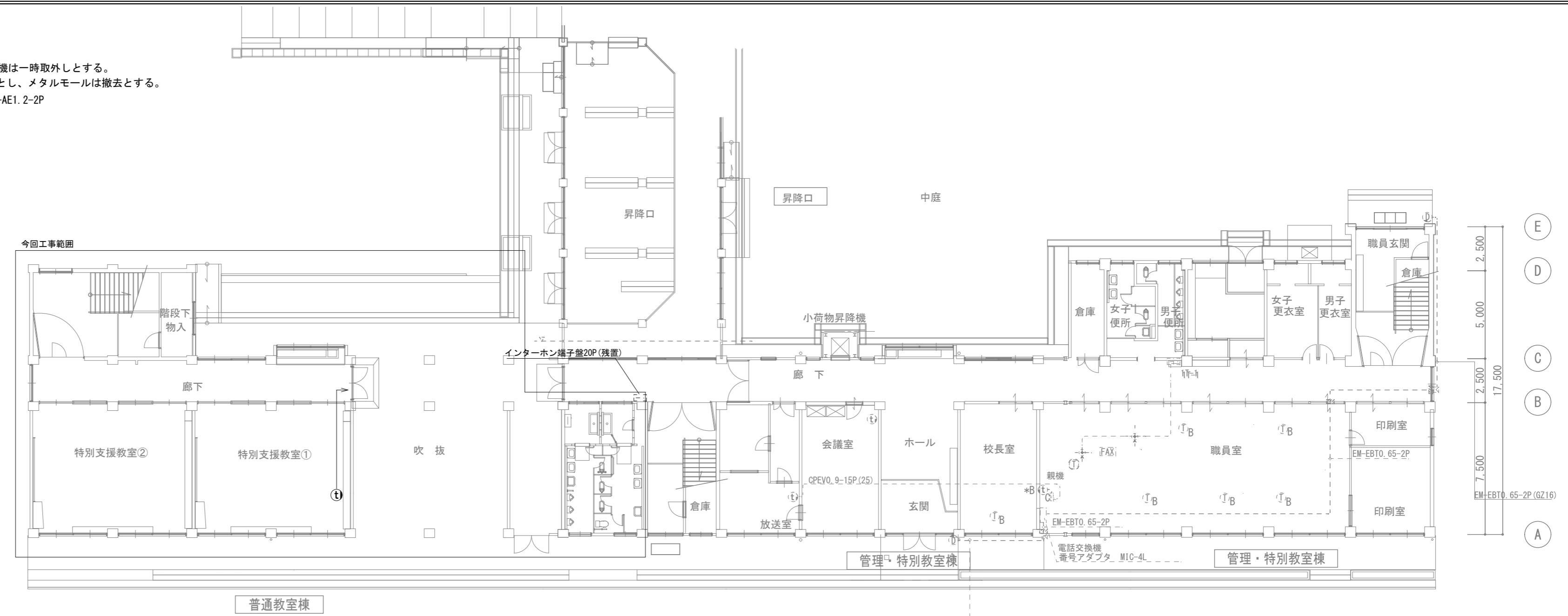
インター^{ホン}親機(工事対象外(参考))

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
1	ワークたんぽぼ	11	ワーク2	21	ワーク4
2	たんぽぼ1	12	2-2	22	4-2
3	放送室	13	2-1	23	4-1
4	南会議室	14	音楽室	24	パソコン室
5	ワーク1	15	視聴覚	25	北2階廊下西
6	1-2	16	多目的	26	小人数2
7	1-1	17	家庭科	27	3-1
8	図書室	18	学習室	28	3-2
9	相談室	19	保健室	29	北2階廊下東
10	図工室	20	理科室	30	ワーク3

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
31	ワーク5	41	体育館	51	予備
32	5-2	42	プール	52	予備
33	5-1	43	予備	53	予備
34	サポートルーム	44	予備	54	予備
35	北3階廊下西	45	予備	55	予備
36	小人数1	46	予備	56	予備
37	6-1	47	予備	57	予備
38	6-2	48	予備	58	予備
39	北3階廊下東	49	予備	59	予備
40	ワーク6	50	予備	60	予備

インター^{ホン}親機は一時取外しとする。
配線は既設流用とし、メタルモールは撤去とする。

EM-AE1.2-2P

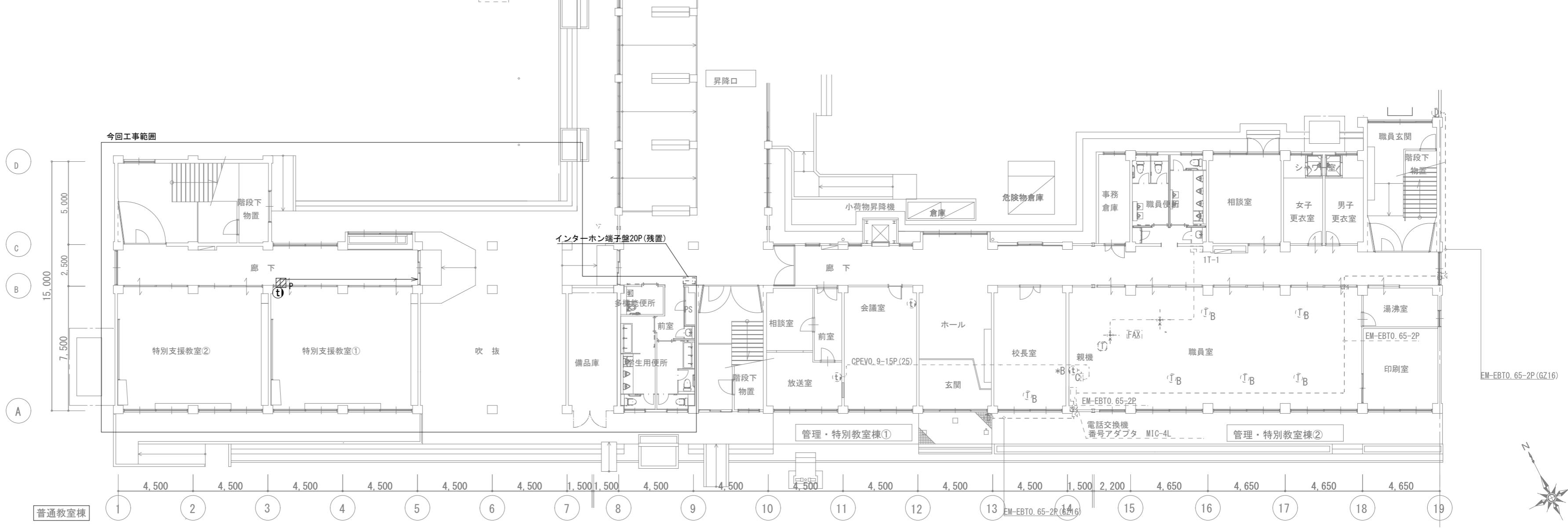


1階平面図 S:1/200

改修後

インター^{ホン}親機は移設し再取付とする。
配線は既設流用とし、露出配線をメタルモールA型で保護すること。
移設に伴い配線が足りない場合は、追加すること。

EM-AE1.2-2P

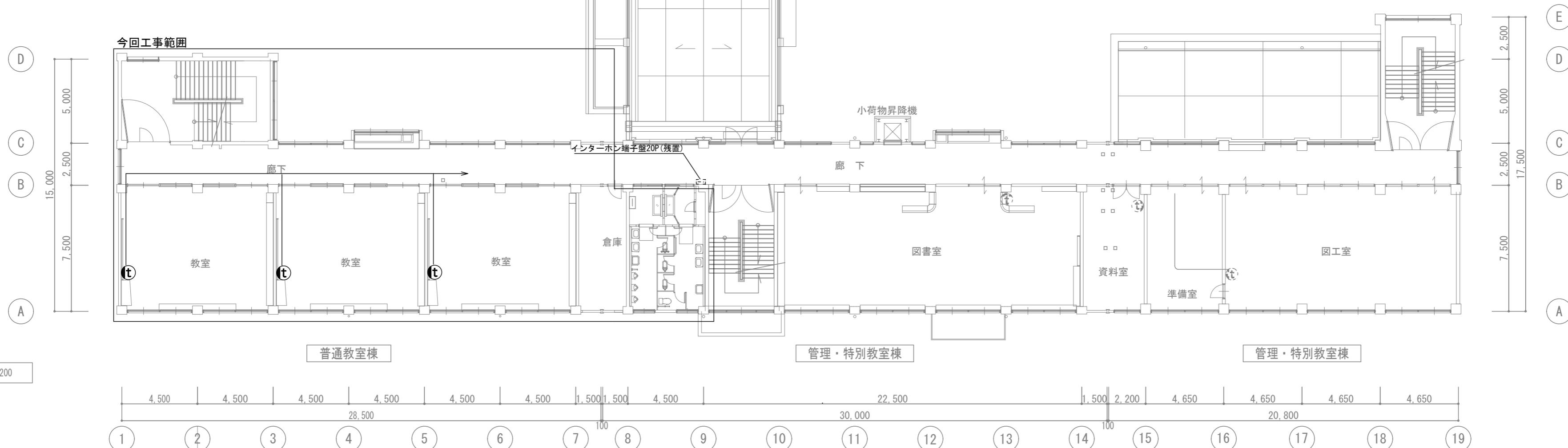


1階平面図 S:1/200

改修前

インターホン子機は一時取外しとする。
配線は既設流用とし、メタルモールは撤去とする

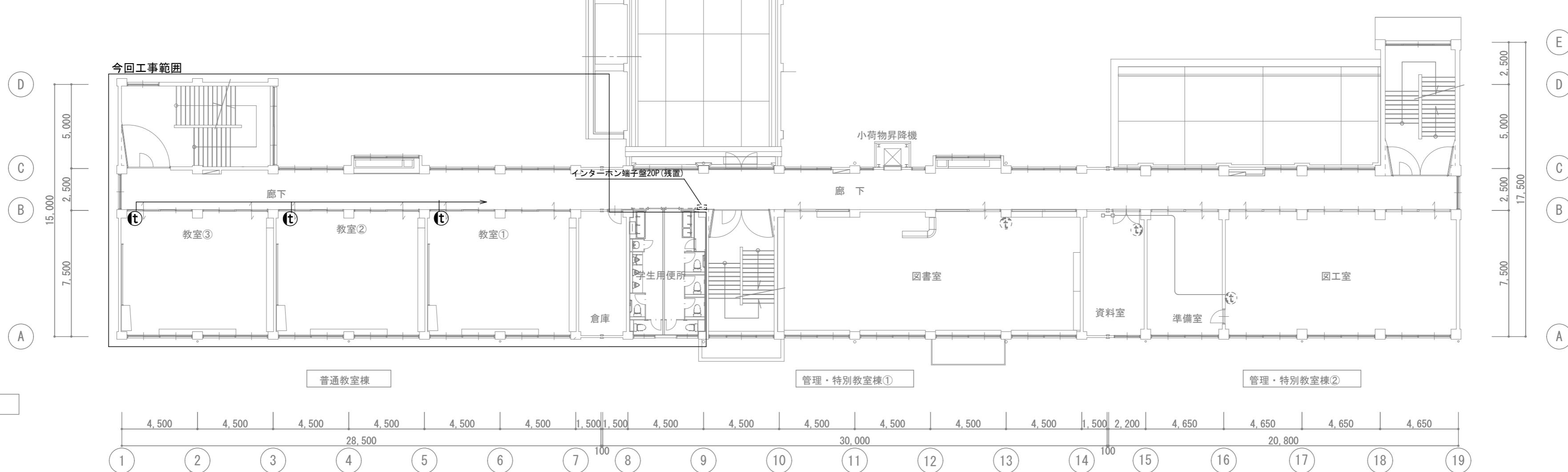
EM-AE1. 2-



改修後

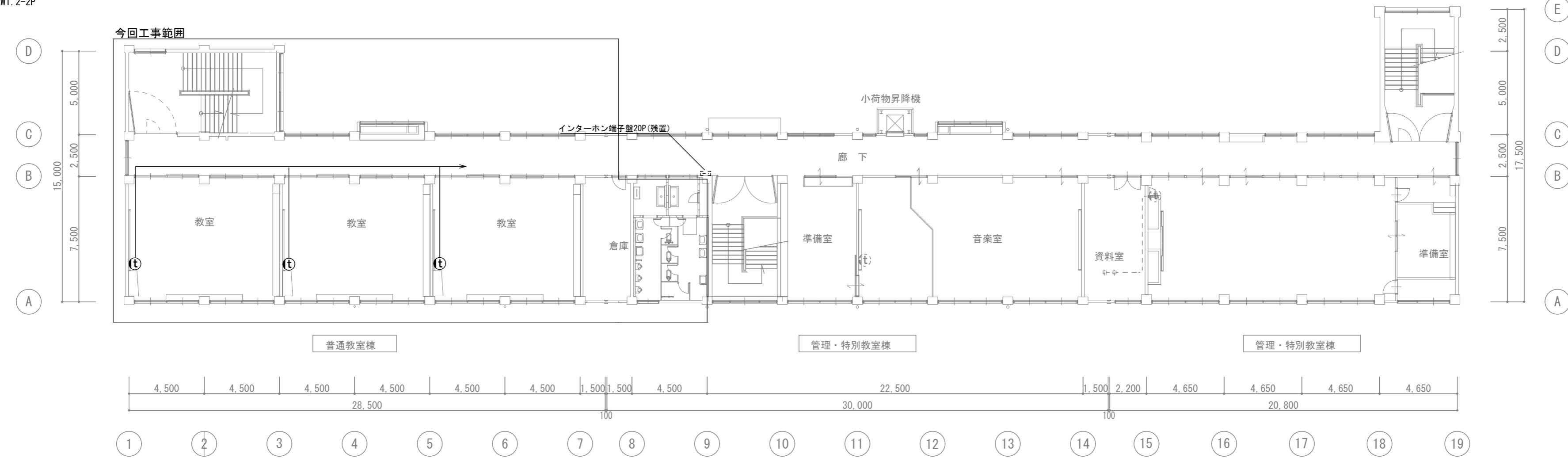
インターホン子機は移設し再取付とする。
配線は既設流用とし、露出配線をメタルモールA型で保護すること
移設に伴い配線が足りない場合は、追加すること。

EM AE1 2 2



改修前

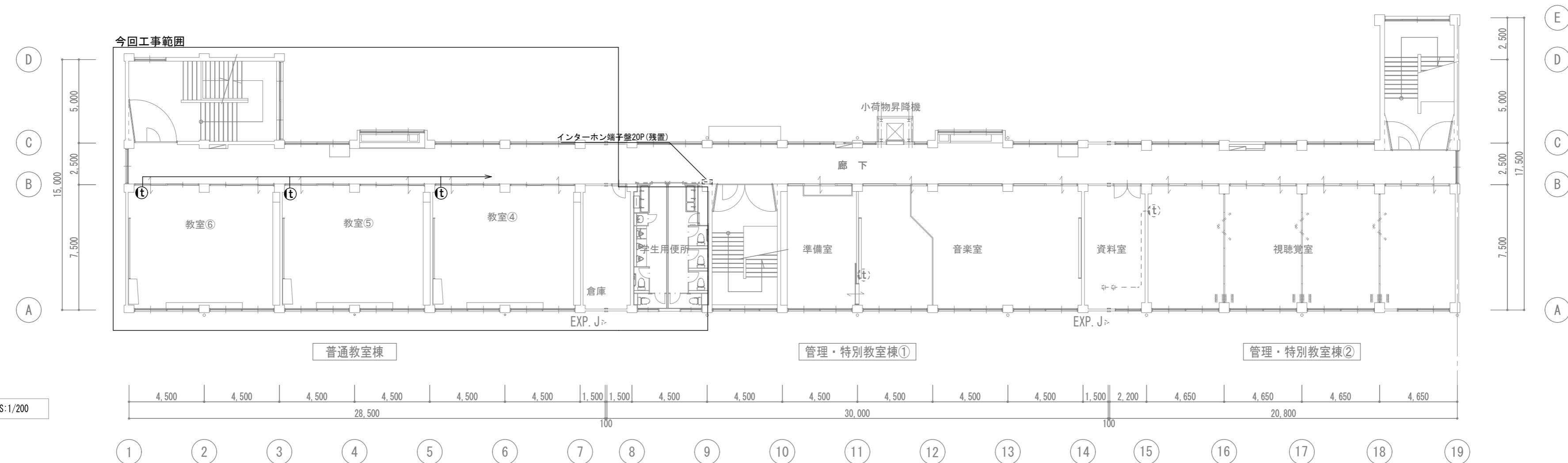
インターホン子機は一時取外しとする。
配線は既設流用とし、メタルモールは撤去とする。
EM-AW1.2-2P



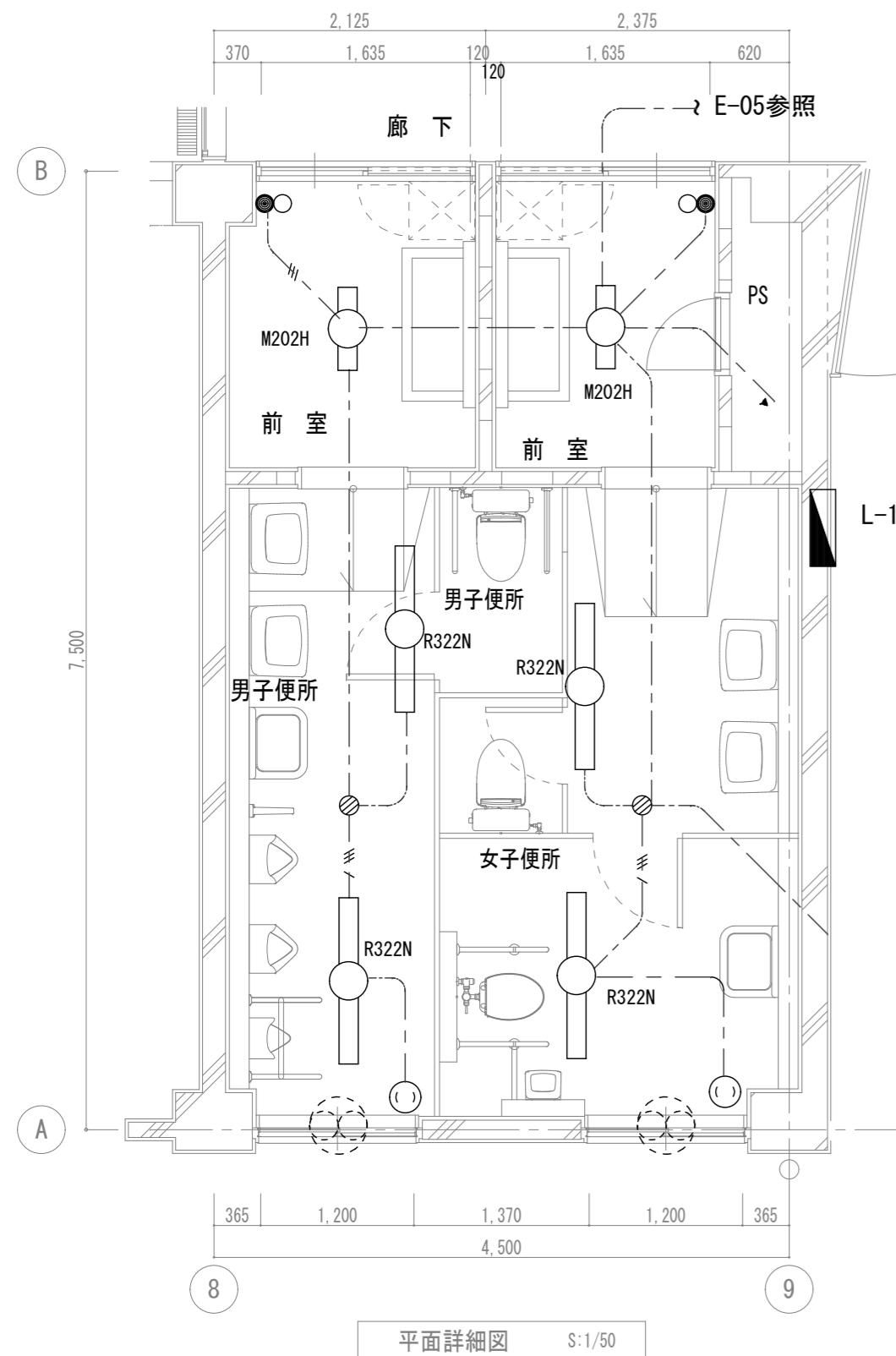
改修後

インターホン子機は移設し再取付とする。
配線は既設流用とし、露出配線をメタルモールA型で保護すること。
移設に伴い配線が足りない場合は、追加すること。

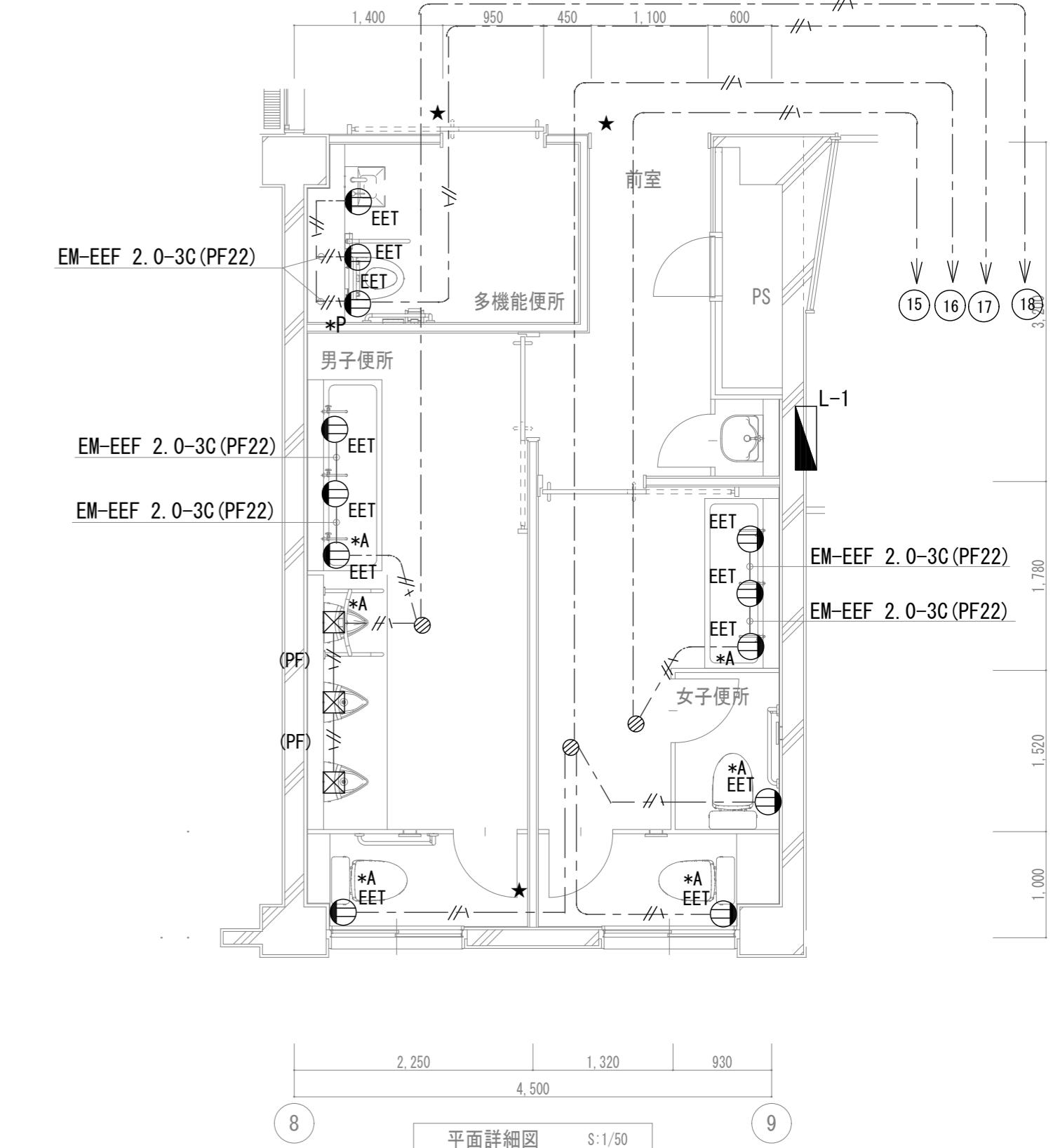
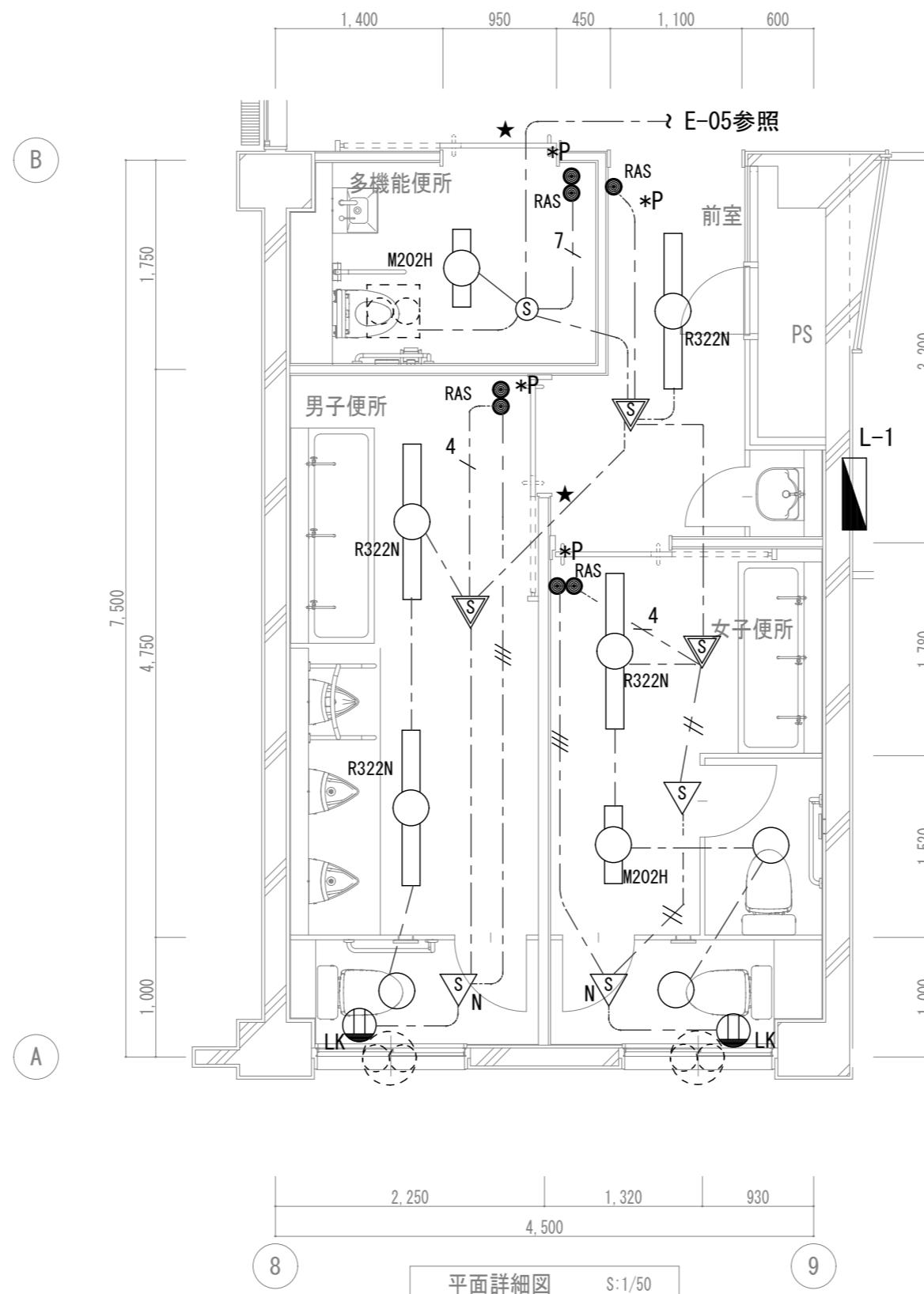
EM-AE1.2-2P



1階学生便所（改修前）



1階学生便所（改修後）



凡例表

記号	名 称	備 考
□○	LED照明器具	一時取外し
●○	タンプラスイッチ	1P15A×1+L×1 撤去
○○	天井付抜け止めコンセント	2P15A×1 撤去
○○	ジョイントボックス	撤去

記入なき配線は下記による。

— — — VVF 1. 6-2C
— / — VVF 1. 6-3C
— / \ — VVF 1. 6-2C×2

記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R322N	直付XLX459DEN

凡例表

記号	名 称	備 考
□○	LED照明器具	再取付
○	LEDダウンライト	新設(LRS1-08)
△S	人感センサー 親機	広角
△S	人感センサー 子機	広角
△SN	人感センサー 子機	換気扇連動用
○S	人感センサー 親機	
●RAS	操作ユニット	1回路用
●●RAS	操作ユニット	2回路用
○LK	埋込コンセント	2P15A×1・LK
○EET	壁付コンセント	2P15A1E+ET
○○	ジョイントボックス	
□	小便器電源用ボックス	
△	天井付換気扇	
△	壁付換気扇	
★	壁貫通補修	

記入なき配線は下記による。

— / \ —	EM-EEF 2. 0-3C(1C接地)
— / —	EM-EEF 1. 6-2C
— — —	EM-EEF 1. 6-3C(1C接地)
— / —	EM-EEF 1. 6-3C
— / 4 —	EM-EEF 1. 6-2C×2(1C接地)
— / 7 —	EM-EEF 1. 6-2C×2+1. 6-3C(1C接地)
— / (PF) —	EM-EEF 2. 0-3C(1C接地) (PF22) 壁内配管

△ 既設配線と接続

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。

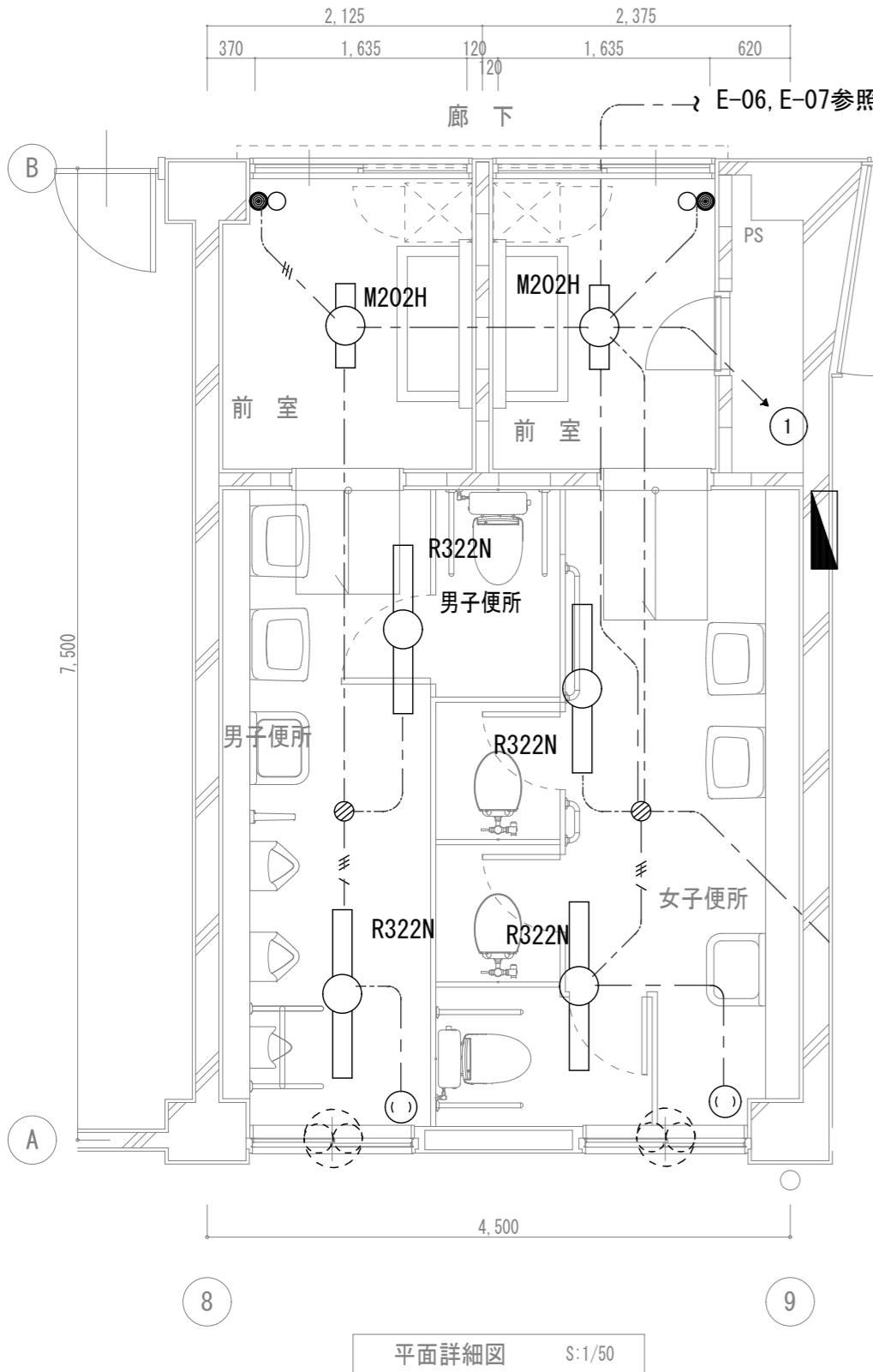
*A--メタルモールA型使用。

*P--壁内はPF22使用。

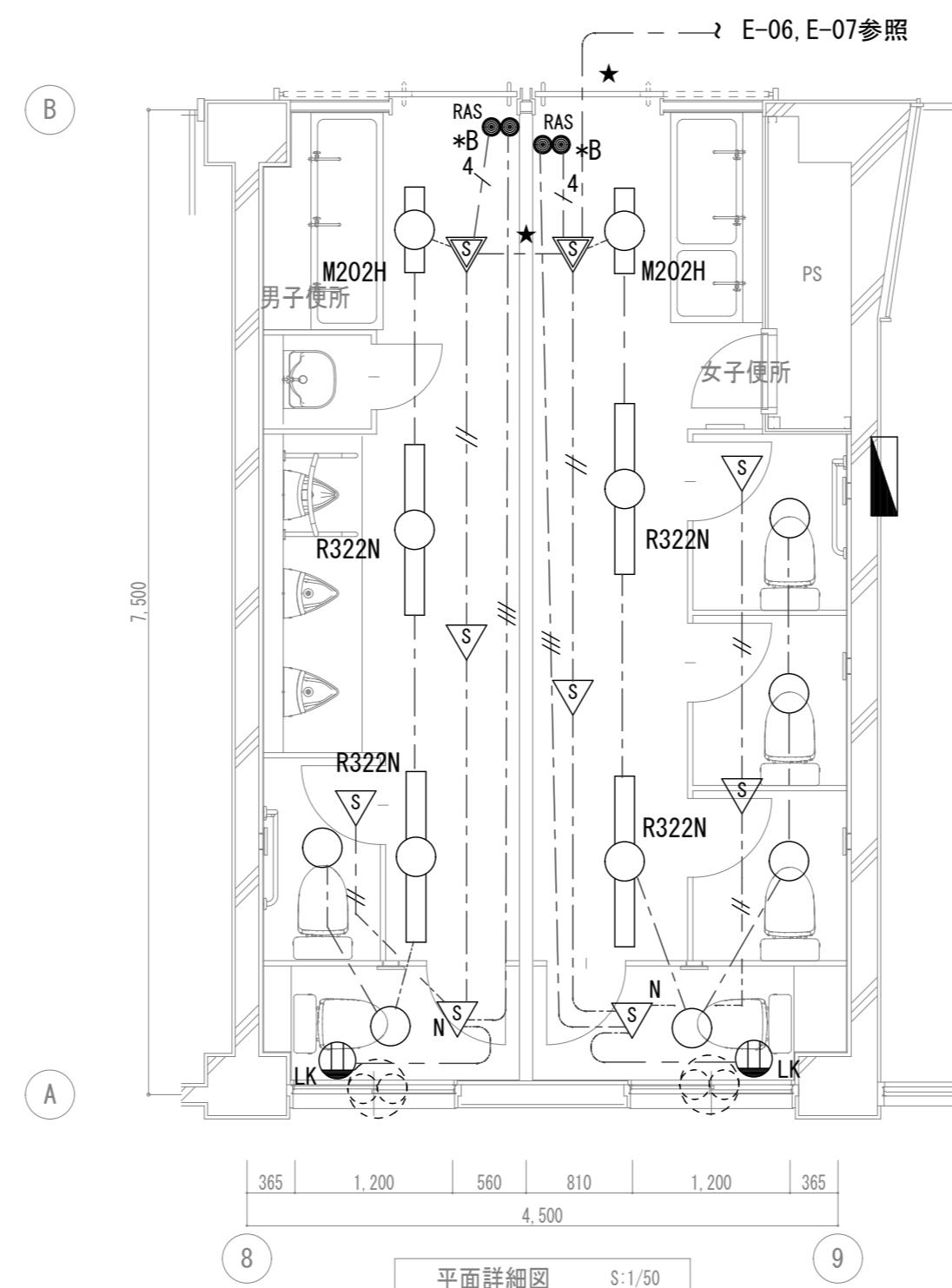
記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R322N	直付XLX459DEN

LRS1-08	LED ダウンライト

2階・3階学生便所（改修前）



2階・3階学生便所（改修後）



7,500

男子便所

(PF)

(PF)

*A EET

*A EET

*A EET

女子便所

*A EET

*A EET

*A EET

365 1,200 560 810 1,200 365

4,500

8 9 10 11

EM-EEF2.0-3C(PF22)

EM-EEF2.0-3C(PF22)

2F L-2

3F L-2

A

B

★

★

8

9

10

11

平面詳細図 S:1/50

凡例表

記号	名 称	備 考
	LED照明器具	一時取外し
	タンプラスイッチ	1P15A×1+L×1 撤去
	天井付抜け止めコンセント	2P15A×1 撤去
	ジョイントボックス	撤去

記入なき配線は下記による。

— — — VVF 1.6-2C
— //— VVF 1.6-3C
— //\— VVF 1.6-2C×2

記号	品番
M202H	直付XLX230AEND
R322N	直付XLX459DEN

凡例表

記号	名 称	備 考
	LED照明器具	再取付
	LEDダウンライト	新設 (LRS1-08)
	人感センサー 親機	広角
	人感センサー 子機	広角
	人感センサー 子機	換気扇連動用
	人感センサー 親機	
	操作ユニット	1回路用
	操作ユニット	2回路用
	埋込コンセント	2P15A×1・LK
	壁付コンセント	2P15A1E+ET
	ジョイントボックス	
	小便器電源用ボックス	
	天井付換気扇	
	壁付換気扇	
	壁貫通補修	

記入なき配線は下記による。

- // — EM-EEF 2.0-3C(1C接地)
- // — EM-EEF 1.6-2C
- — — EM-EEF 1.6-3C(1C接地)
- // — EM-EEF 1.6-3C
- /⁴ — EM-EEF 1.6-2C×2(1C接地)
- /⁷ — EM-EEF 1.6-2C×2+1.6-3C(1C接地)
- //^(PF) — EM-EEF 2.0-3C(1C接地) (PF22) 壁内配管

△ 既設配線と接続

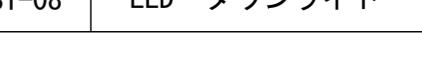
露出立下り部はメタルモールにて保護とする。

*A--メタルモールA型使用。
*B--メタルモールB型使用

*B--メタルモールB型使用。
*P--壁内はPE22使用。

記号	品番
M202H	直付XLX230AENC
R322N	直付XLX459DEN

LRS1-08	LED ダウンライト
---------	------------



凡例表

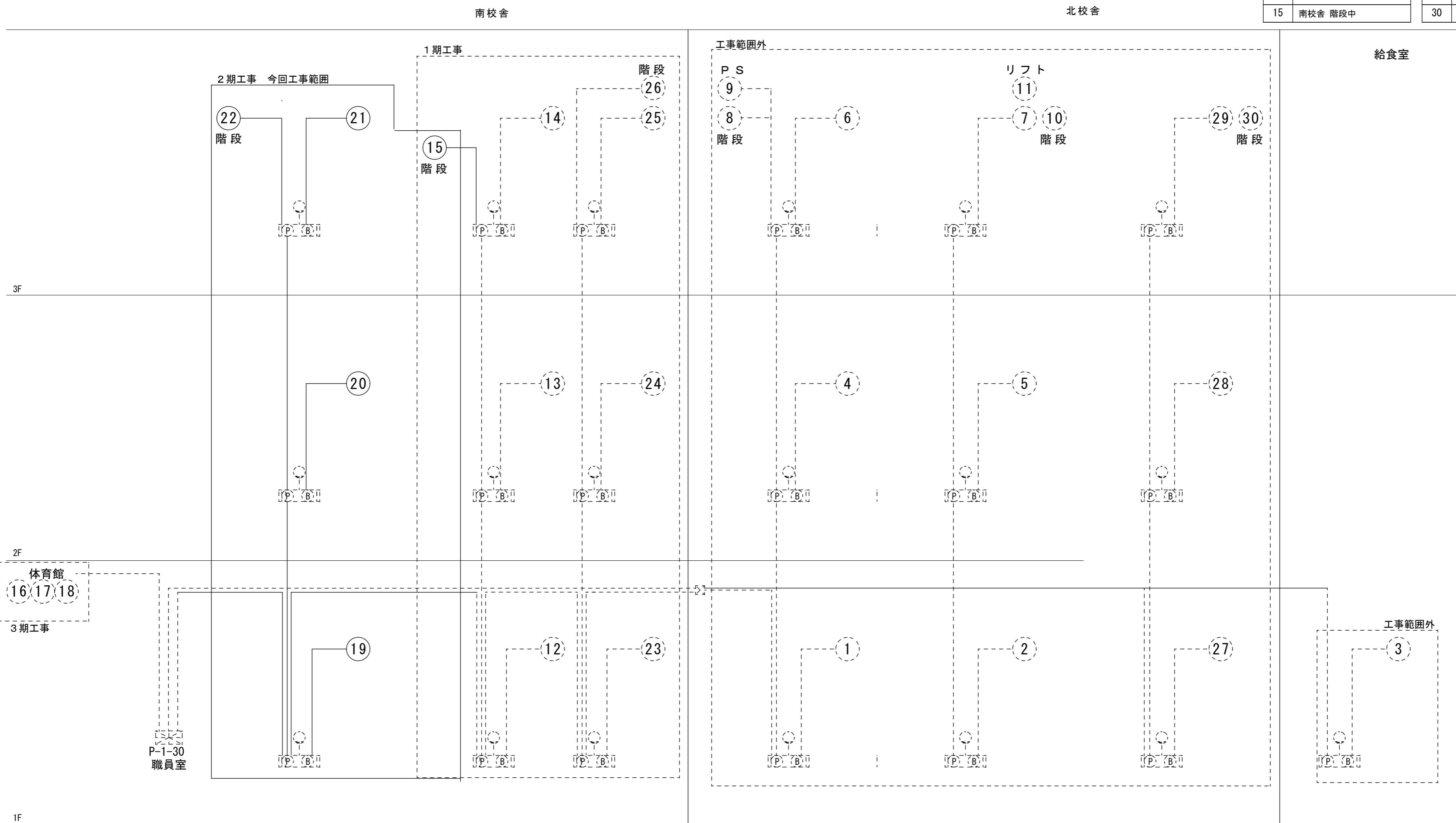
記号	名称	備考
■	受信機 P型 1級 30窓	壁掛型
□○□	消火栓組込	
○	P型1級発信機	
●	表示灯	
○	ベル	
●	消火栓起動ボタン	
□	煙感知器 2種	
○	差動式スポット型感知器 2種	

○	定温式スポット型感知器 1種防水	
□	防火戸連動制御盤	
○	煙感知器 3種	
○	自動閉鎖装置	防火戸(建築工事)
○	終端抵抗器	
□	中継ボックス	
○	立ち上がり、立ち下がり	
○	警戒区域番号	

2期工事内容

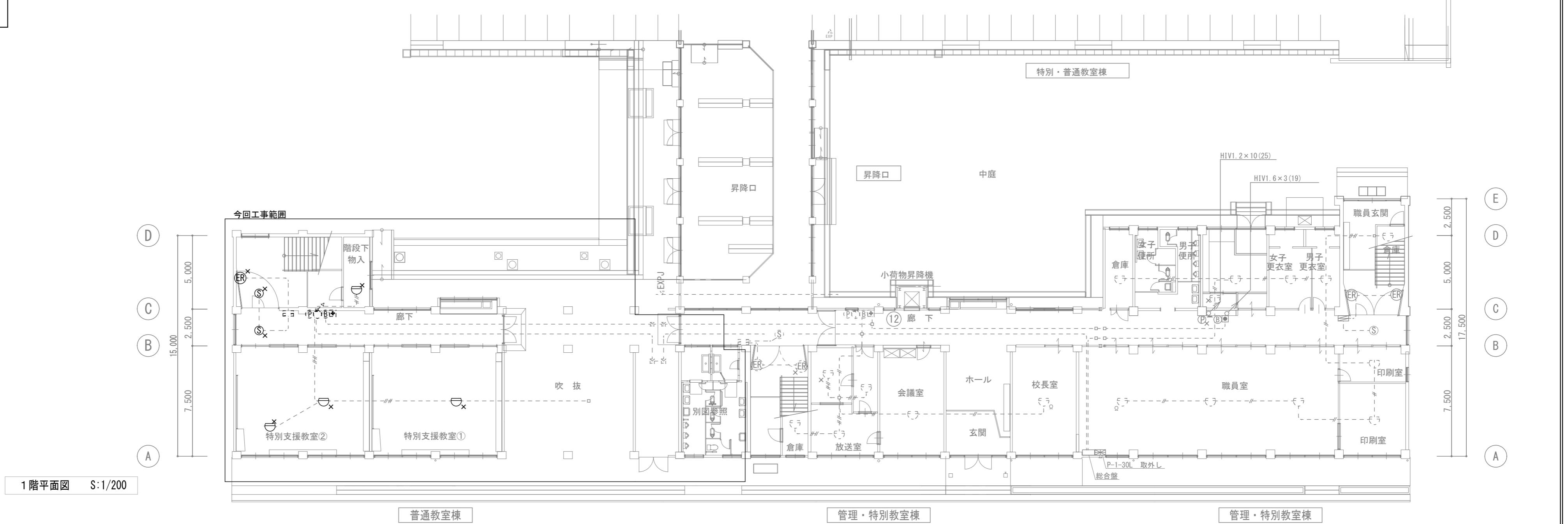
職員室受信機は現状維持
各階便所に感知器を増設(配管配線共)
各室の感知器を更新増設(配管配線は既設流用)
発信機、ベル、表示灯、消火栓起動ボタンは残置

番号	名称
1	北校舎 1階西
16	体育館 西
2	北校舎 1階東
17	体育館 東
3	給食室
4	北校舎 2階西
5	北校舎 2階東
6	北校舎 3階西
7	北校舎 3階東
8	北校舎 階段西
9	北校舎 PS
10	北校舎 階段東
11	北校舎 リフト
12	南校舎 1階中
13	南校舎 2階中
14	南校舎 3階中
15	南校舎 階段中
19	南校舎 1階西
20	南校舎 2階
25	南校舎 3階
26	南校舎 階段東
27	北校舎 1階
28	北校舎 2階
29	北校舎 3階
30	北校舎 階段



改修前

×印は撤去を示す。



改修後

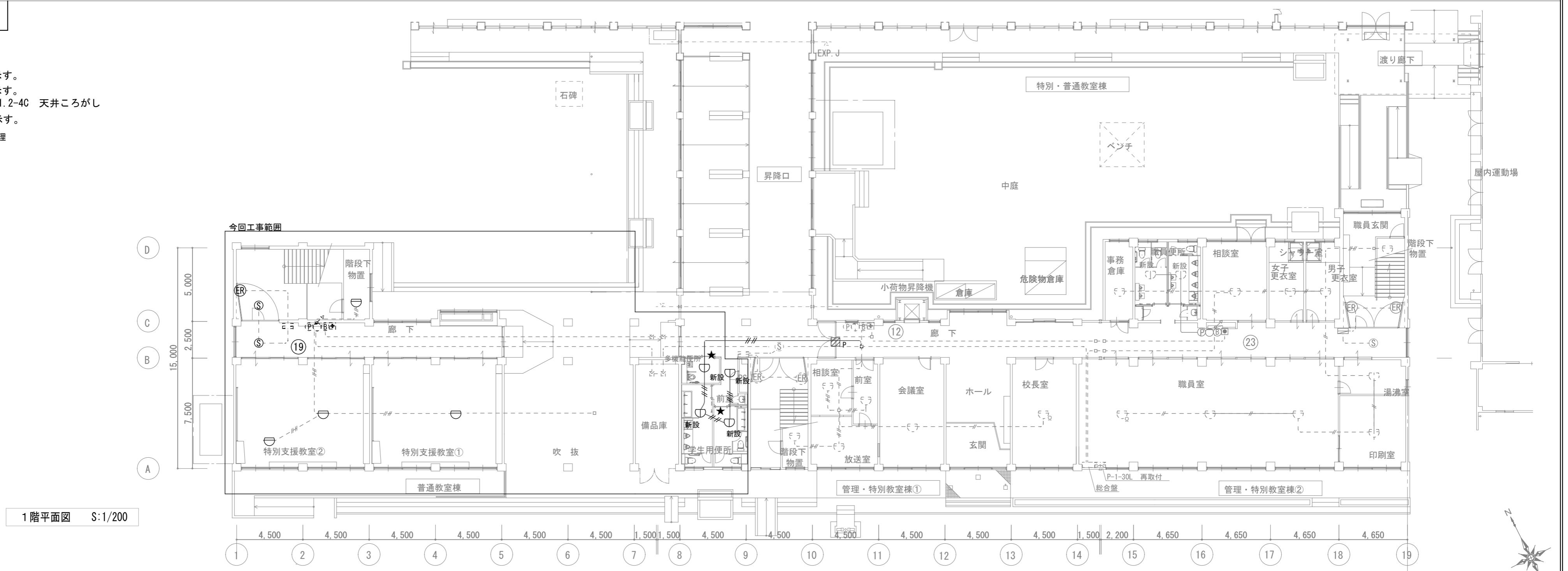
破線は既設配線を示す。

実線は新設配線を示す。

—//— EM-AE 1.2-4C 天井ころがし

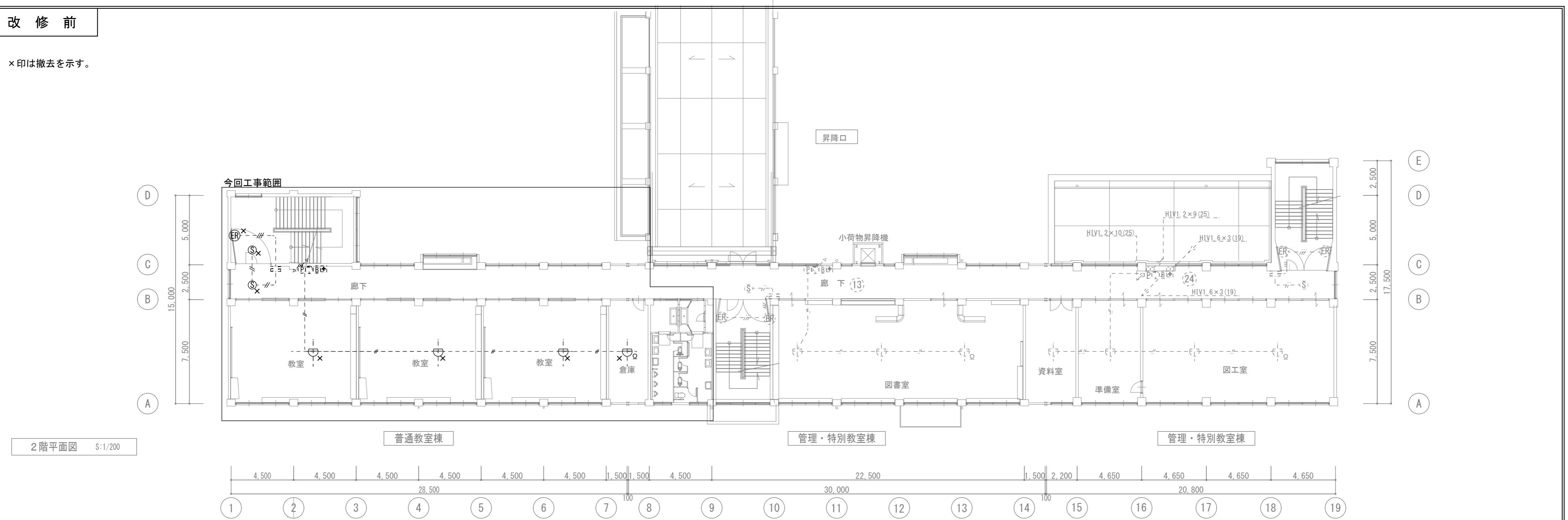
★は壁貫通補修を示す。

□p :防火区画貫通処理



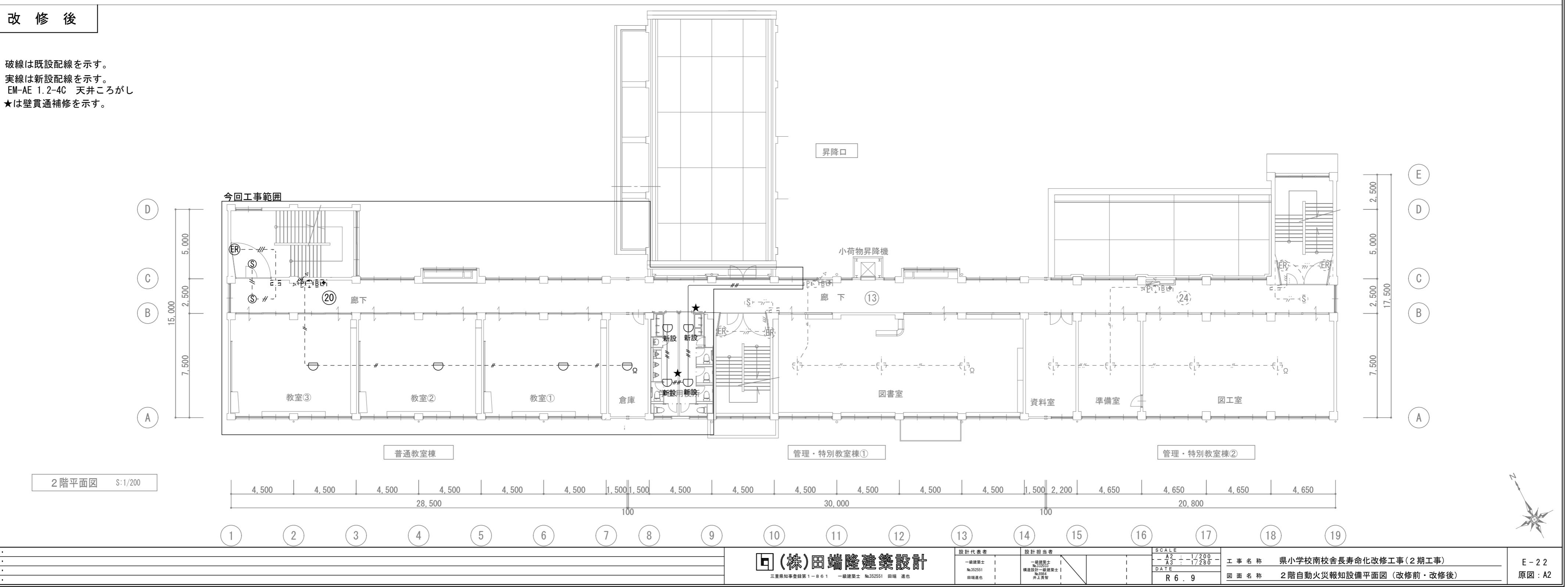
改修前

×印は撤去を示す。



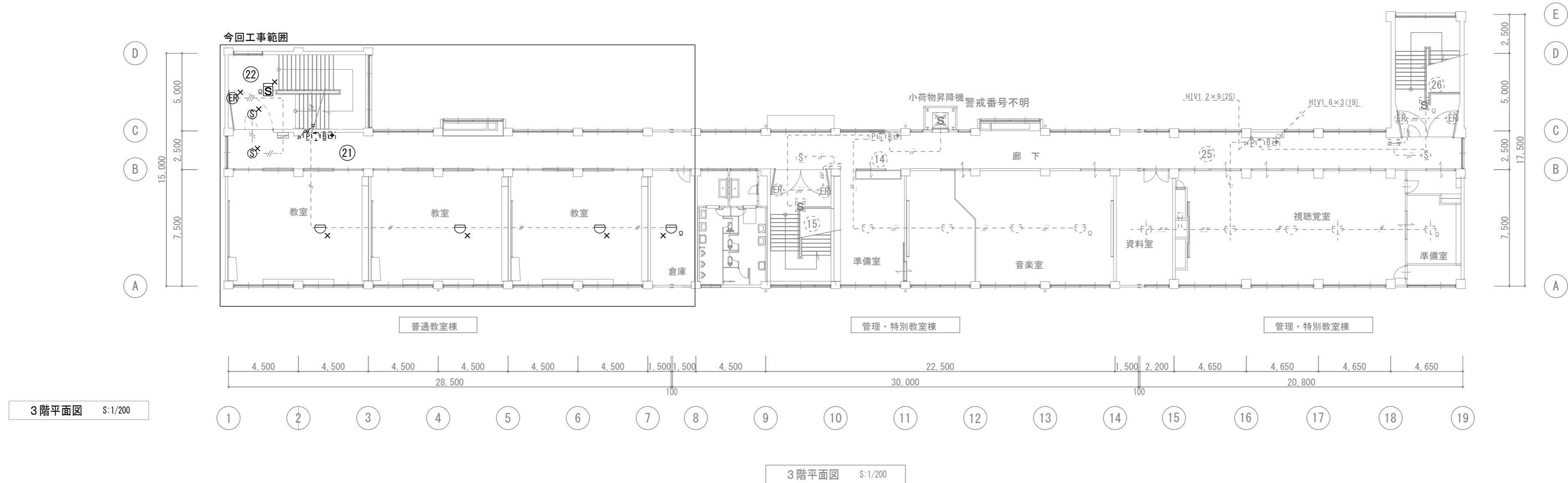
改修後

破線は既設配線を示す。
実線は新設配線を示す。
EM-AE 1.2-4C 天井ころがし
★は壁貫通修を示す。



改修前

×印は撤去を示す。

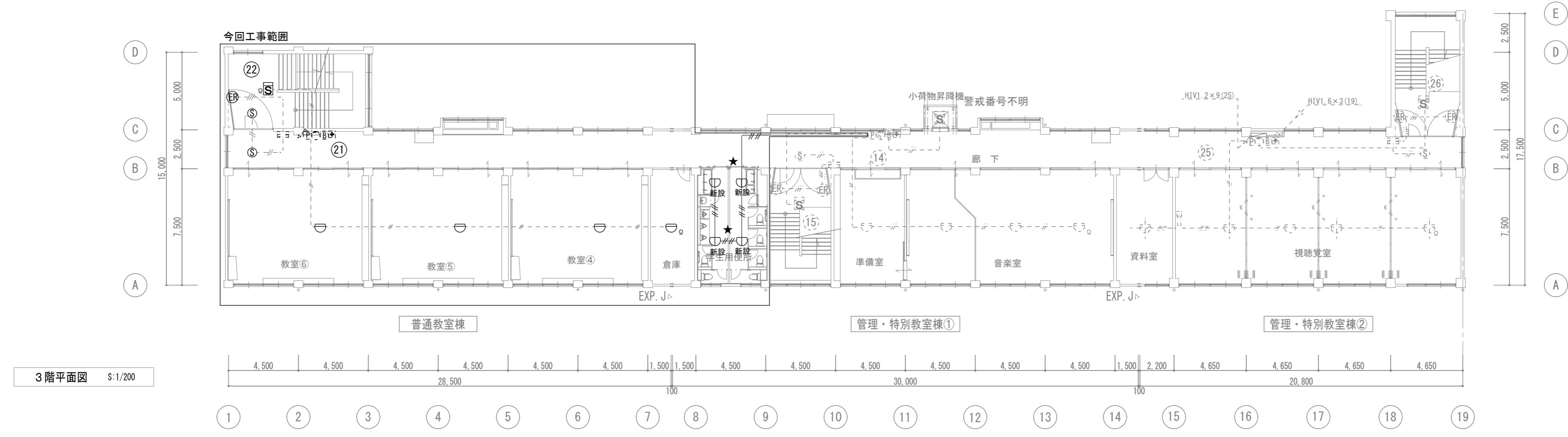


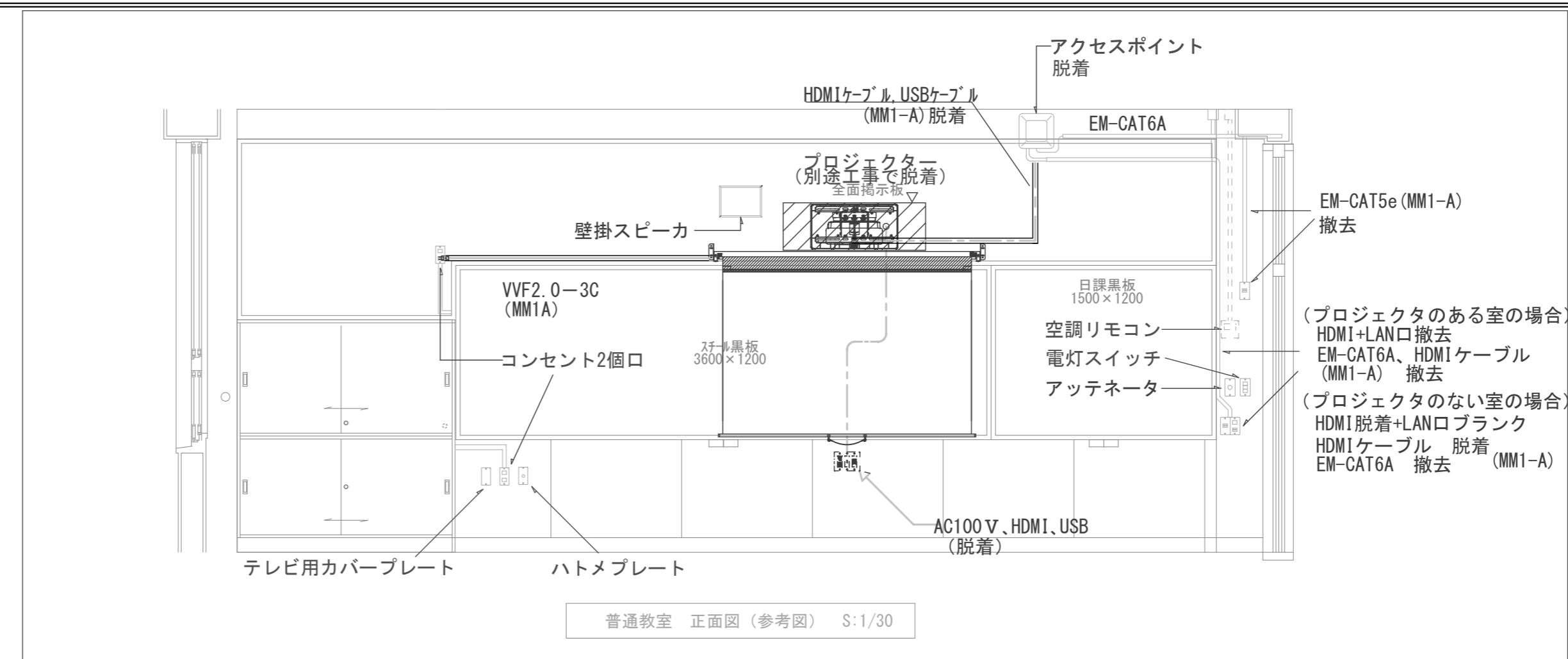
破線は既設配線を示す。

実線は新設配線を示す。

EM-AE 1.2-4C 天井ころがし

★は壁貫通補修を示す。

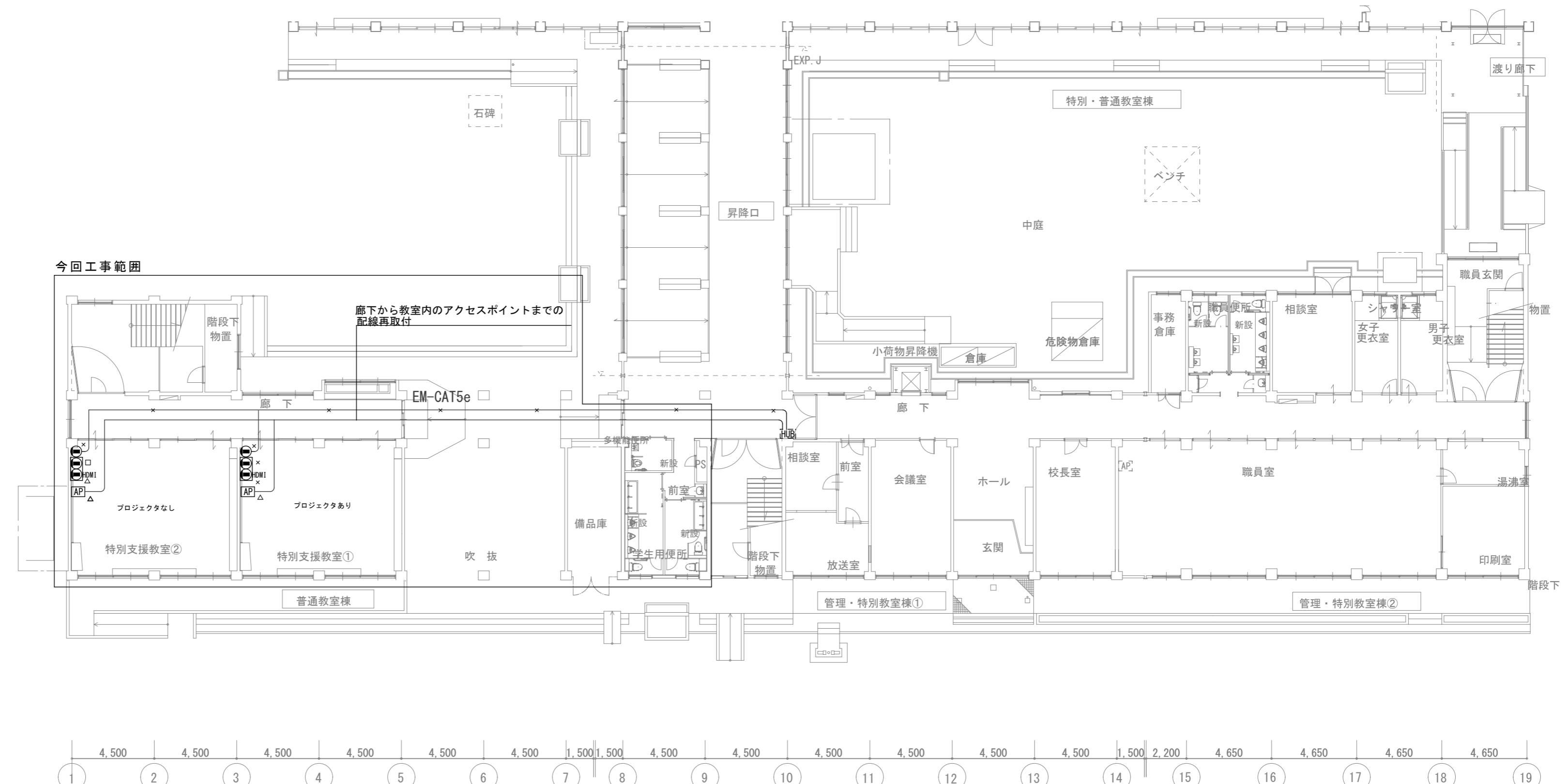




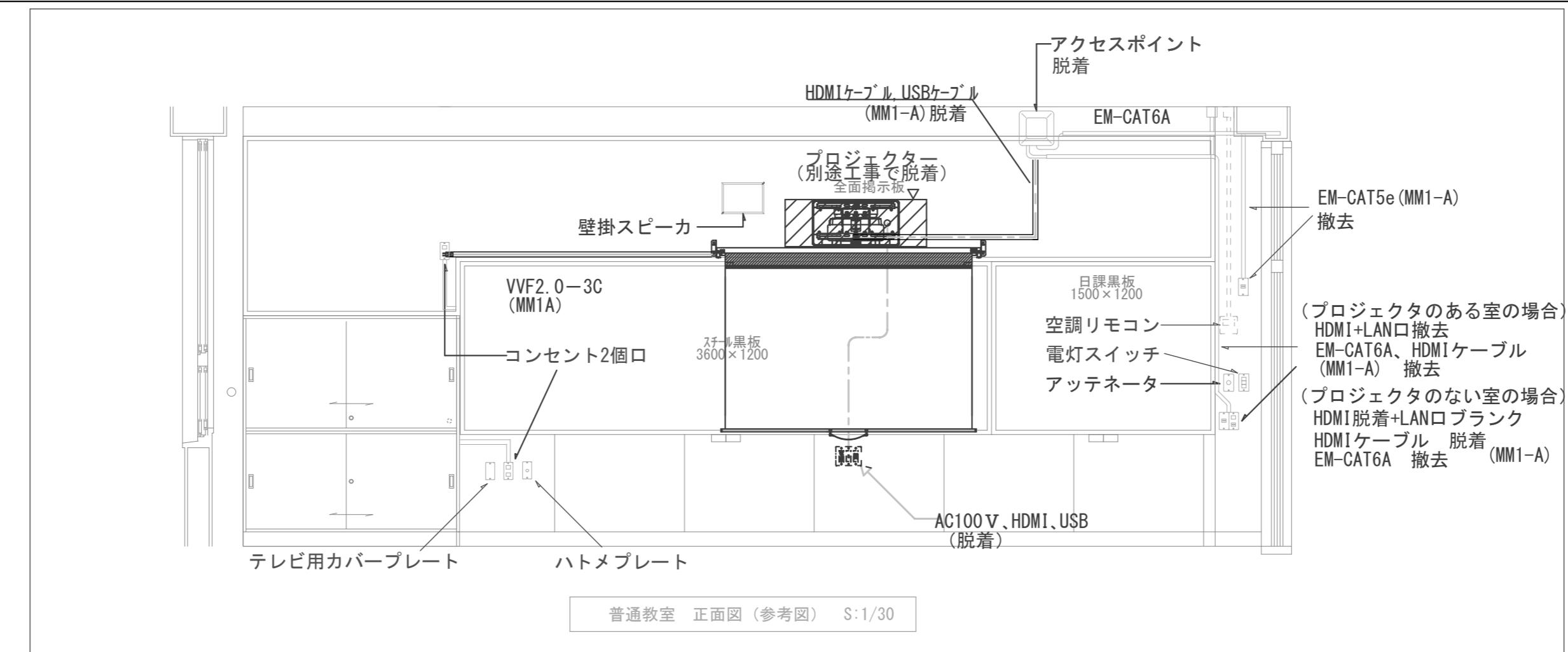
凡例表		
記号	名 称	備 考
AP	無線アクセスポイント	
HDMI	HDMIコンセント	
LAN	LANケーブル情報コンセント	
HUB	HUB	

— LANケーブル

×は撤去、□はブランク、△は脱着とする。



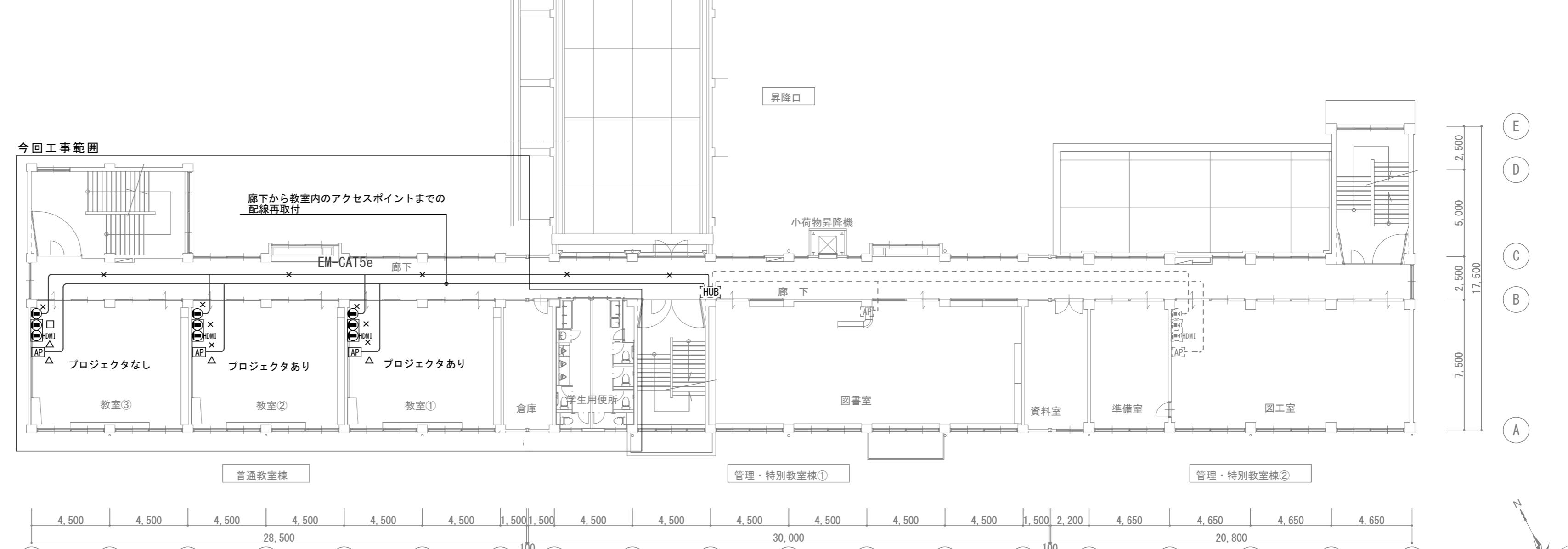
1階平面図 S:1/200



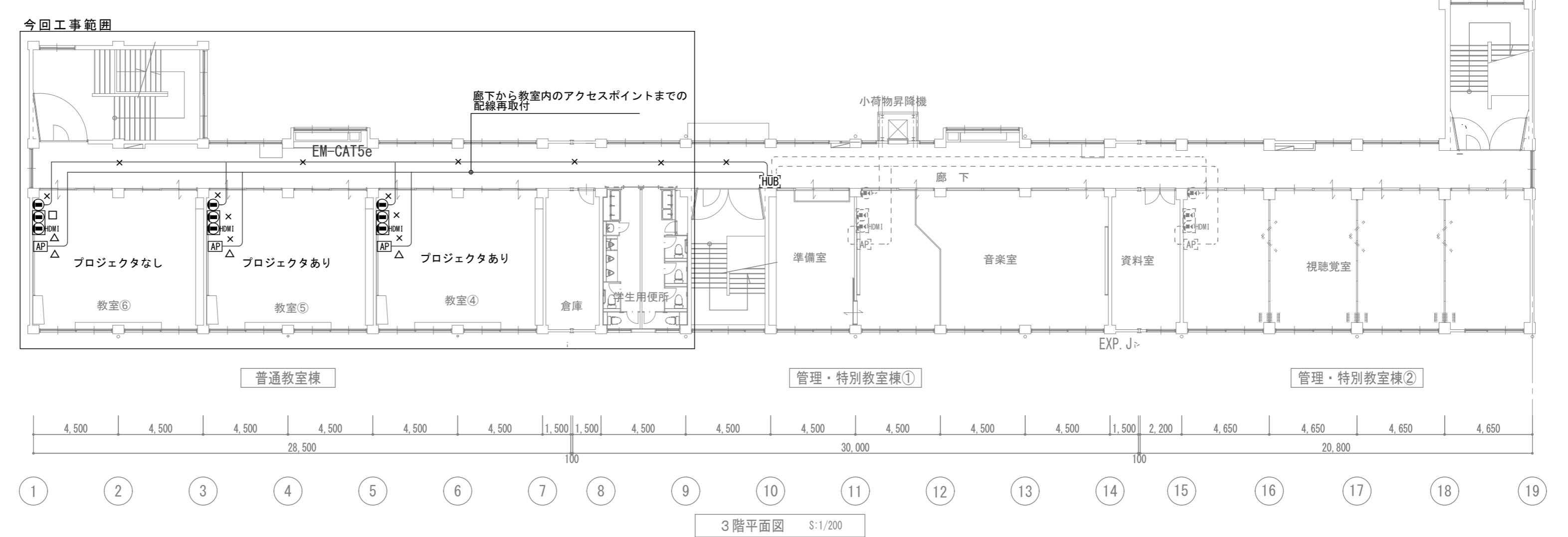
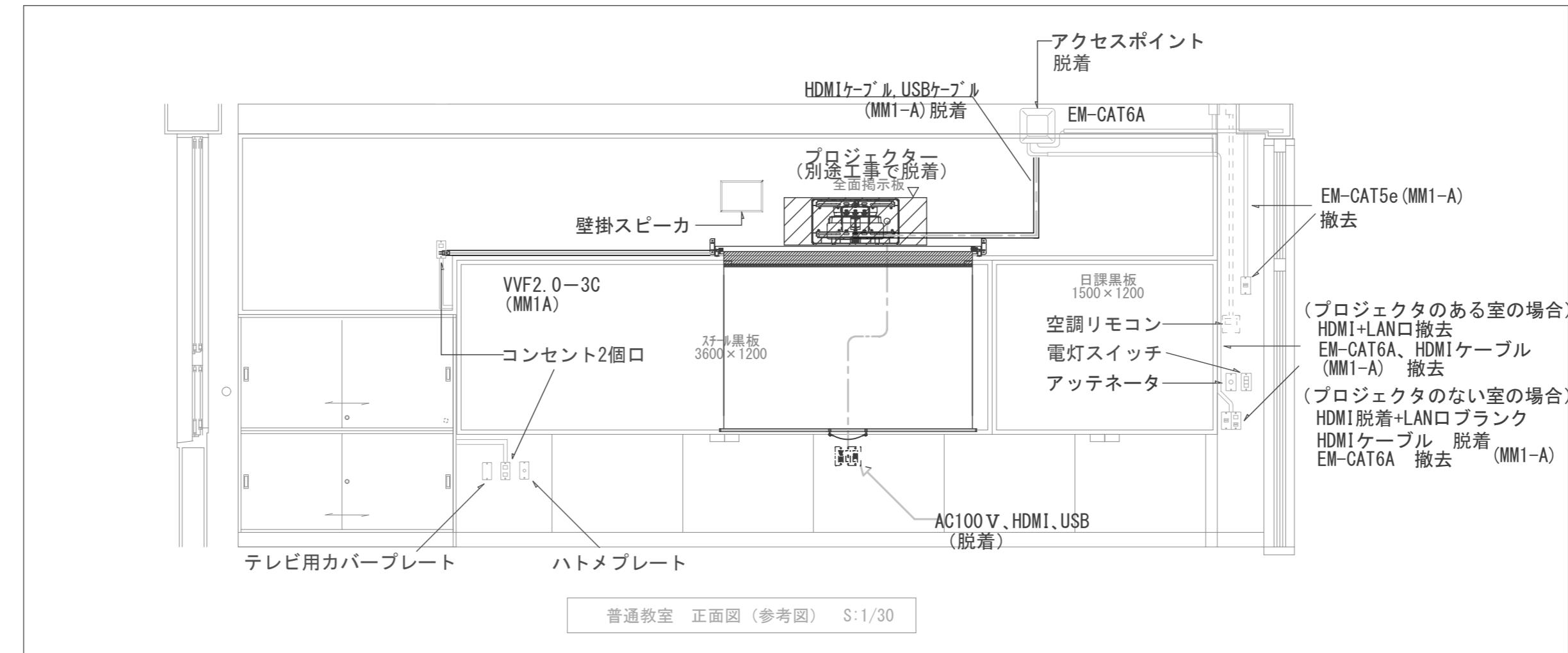
凡例表

記号	名称	備考
AP	無線アクセスポイント	
HDMI	HDMIコンセント	
①	LANケーブル情報コンセント	
HUB	HUB	
—— LANケーブル		

×は撤去、□はブランク、△は脱着とする。



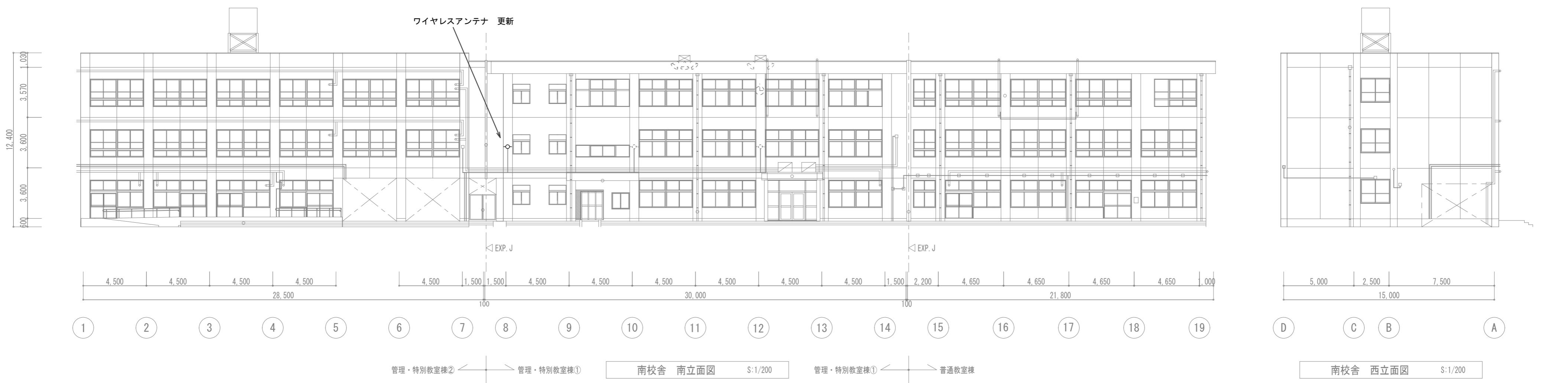
2階平面図 S=1/200



改修前



改修後



県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）		設計図		特記事項		特記事項		特記事項		特記事項		
一般 共通事項	項目	特記事項		一般 共通事項	特記事項	空気調 和設備	特記事項	外気 (地区名: 津)	屋内			
		11 非破壊検査等			24) 工事記録				12) 外気			
仕様書	1. 工事概要	四日市市 赤水町 地内	1. 工事場所	1. 既存躯体への穿孔	構造部等の機械は既存躯体等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。	2. 耐震安全性の分類	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。	25) 完成時の提出図書	工事記録は以下のように行うこと。	1 設計用温湿度	外気 (地区名: 津)	
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	消防法施行令別表第一	備考	設置機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。・すべて・（）以外の 100kg 以上の機器を対象とする。	26) 施工図等の取扱い	○工事写真 工程写真（埋設部、暗い部、施工、材料等）及び完成写真 A4 用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真タイプは国土交通省大臣官房官営施設部制定「営繕工事写真撮影要領（令和 5 年版）」に従うこと。 ○工事日報、納品伝票、出荷証明 工事日報、納品伝票、出荷証明の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。	2 装置用温湿度	一般系 0A 系统	
普通教室棟	RC 造	3 階建	840	7 項	（1）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯水槽にあっては有効質量）に、地域係数 1.0 及び次に示す設計用標準水平震度に乗じたものとする。	27) 地中埋設管等	設置機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。・すべて・（）以外の 100kg 以上の機器を対象とする。	28) 既設との取扱い	○工事写真 工程写真（修正済みの設計図）+施工図）※PDF データを課内確認までに提出すること。 ○完成図（JW-CAD データ及び PDF データ）DVD、（1）枚 ○完成図（AI または A2 サイズで電気設備図と併せて二つ折り収納したもの）（1）部 ○工事写真（紙、DVD）※DVD は原則として、完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの・完成図（A4 版に収納したもの）・（）	3 装置用温湿度	一般系 0A 系统	
2. 建物概要	建物名	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	備考	設計用標準水平震度	施工図等の著作権にわたる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	29) 電源周波数	施工図等の著作権にわたる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	4 装置用温湿度	一般系 0A 系统
3. 工事種目（○印の付いたものを適用する）	建物別及び屋外	工事種別	工事種目	普通教室棟	機器種別	・特定の施設 重要機器 一般機器	・一般の施設 重要機器 一般機器	30) 電気工作物の種類と電気保安技術者	施工図等の著作権にわたる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	5 チャンバー等	低圧ダクトの工法は記述する。 （）コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500mm 以下の部分）・アングルフランジ工法	
4. 指定部分	○無	有（ 部位： 指定部分工期 令和 年 月 日）	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	2.0 2.0 2.0	1.5 2.0 1.5	1.5 2.0 1.0	1.0 1.5 1.0	伸縮手、掃除口及びばいん量測定口の位置は図示による。	
5. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	中間階 機 器 水槽類	1.5 1.5 1.5	1.0 1.0 1.0	1.0 1.5 1.0	0.6 1.0 0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
6. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	中間階 機 器 水槽類	地階・1 階 機 器 水槽類	1.0 1.0 1.5	0.6 1.0 1.0	0.6 1.0 0.6	0.4 0.6 0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
7. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	地階・1 階 機 器 水槽類	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
8. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
9. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
10. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
11. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
12. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
13. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
14. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
15. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
16. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
17. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
18. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
19. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
20. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
21. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
22. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
23. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
24. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
25. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
26. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
27. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
28. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
29. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
30. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
31. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45% 28℃ (参考) 50% (参考)		
32. 建設発生土の処理	工事種目	普通教室棟	機器種別	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	上層階 機 器 上屋及び 防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	冬期 1.9℃ 53.6% 19℃ 40% 24℃ 45%		



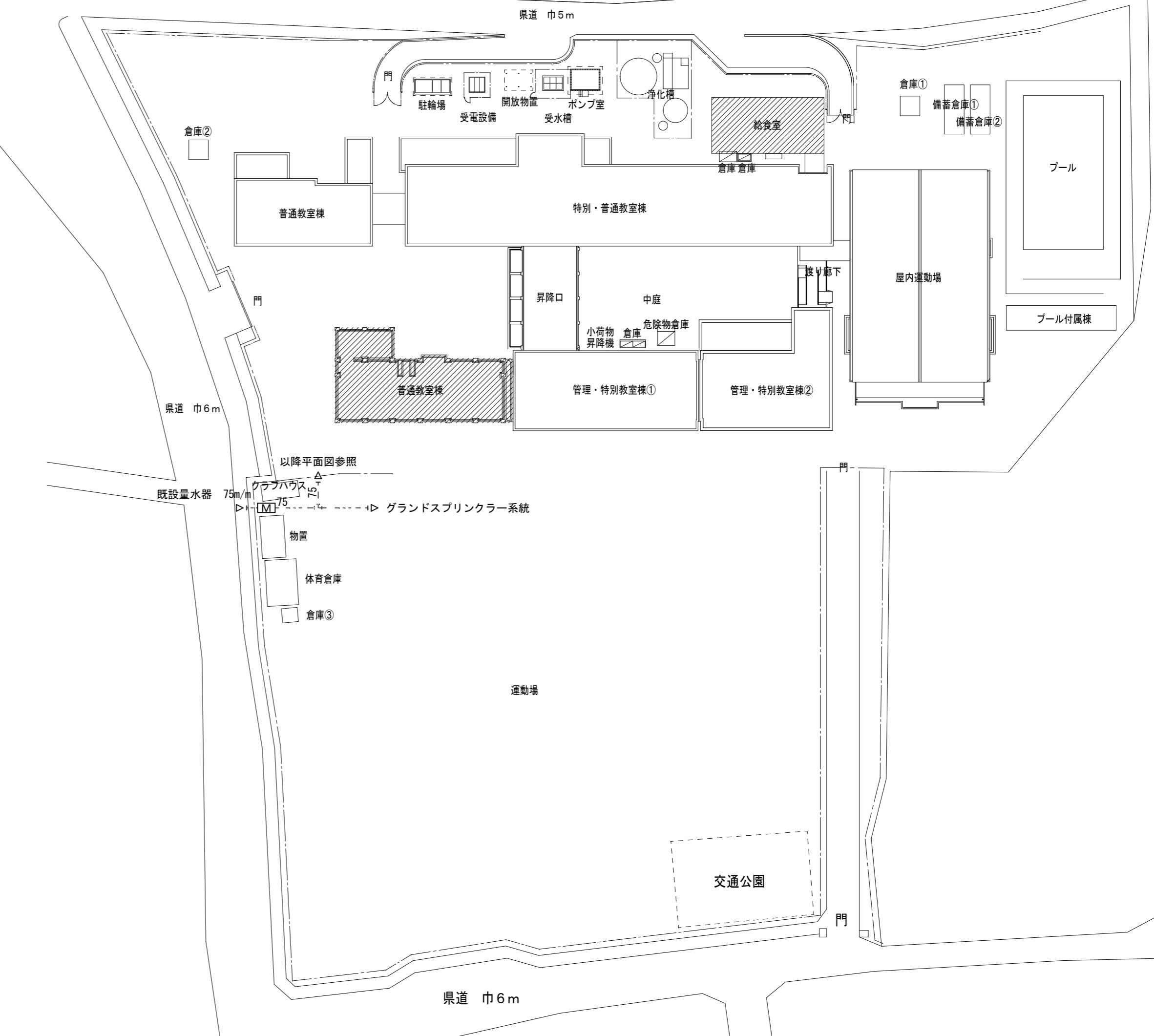
付近見取図 S:1/5000

I 工事概要

工事名称	県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）
用 途	学校
地名地番	三重県四日市市赤水町 地内
都市計画区域	都市計画区域外（市街化調整区域）
用途地域	第1種住居地域
防火地域	22条地域
敷地面積	20,146 m ²
建べい率 / 容積率	60 % / 200 %
高さ制限	指定無し
道路	北側道路 幅員5.0m（法42条1項道路） 東側道路 幅員6.0m（法42条1項道路） 南側道路 幅員6.0m（法42条1項道路）
工事内容	-

建物概要

建 築 面 積	- m ²
延 ベ 面 積	- m ²
容積対象延べ面積	- m ²
容積率	- %
建べい率	- %

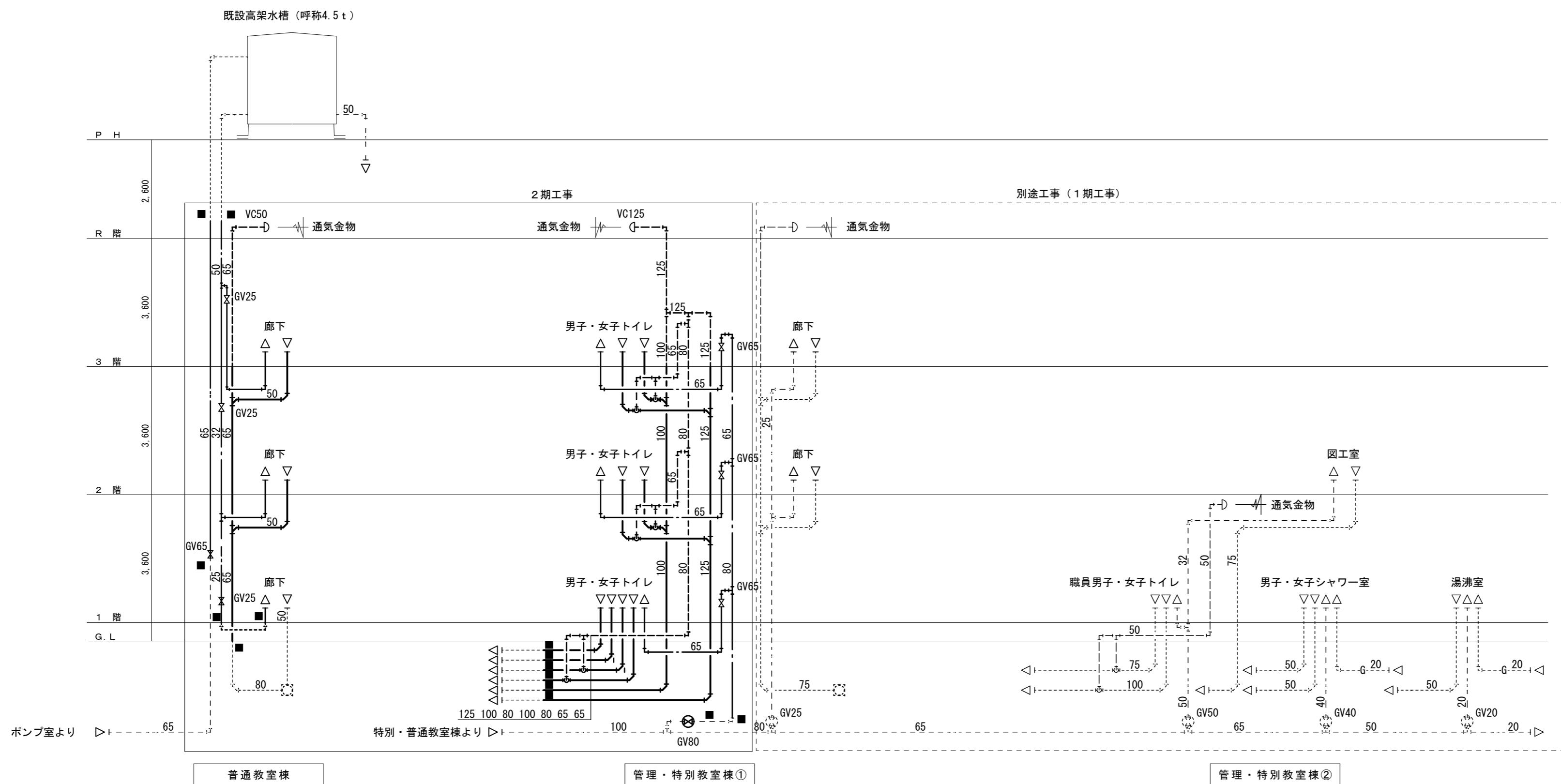


配 置 図 S:1/600

: 改修棟を示す

衛生器具表

名 称	参 考 型 名 (TOTO)	参 考 型 名 (LIXIL)	仕様・能力	1階			2階			3階			合 計
				男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	廊下	男子トイレ	女子トイレ	廊下	男子トイレ	女子トイレ	
洋風大便器	CS597BS、SH596BAYR、TC301	BC-P20SU、DT-PA250UCHTK、CF-49AT	床置床排水、防露シク(フタ固定、陶器製)、普通便座(前丸、ソフト閉止)	1	2			2	4		2	4	15
洋風大便器	CS597BS、SH596BAYR、TC301V13、HE37	BC-P110S、DQ-PA150CH、CF-49CT、CWA-280	床置床排水、防露シク(フタ固定、陶器製)、普通便座(ソフト閉止、フタ無)、センサースイッチ(100V)			1							1
壁掛小便器	UFS900R	U-A51AP	自動水栓(AC100V)	3				3			3		9
洗面器	L270CM、TLE32SS3A、TL220D、TLDP2105JA	L-275AN、AM-311VI、LF-105PA、SF-10E、KF-30DN	自動水栓(AC100V)			1							1
掃除流し	SK500、T200BSQ13C、T6PMR、TL220D	S-17、LF-7KRZ-13-U、SF-25PA、SF-10E、KF-30DN	レバ式横水栓		1			1			1		3
L形手すり	T112CL10、固定金具	KF-920AE70D12J、固定金具	SUS製樹脂被覆タイプ、700W×700H×120D	1	1	1		1	1		1	1	7
跳ね上げ手すり	T112HK7R、固定金具	KF-471EH70JU、固定金具	SUS製樹脂被覆タイプ			1							1
小便器用手すり	T112CU22、固定金具	KF-701AEJ、固定金具	SUS製樹脂被覆タイプ、600W×470H×550D	1				1			1		3
背もたれ	EWG285CS#NW1、固定金具	KFC-277T1、固定金具	ハードタイプ			1							1
紙巻器	YH117	CF-32H	生徒用ステンレス製	1	2	1		2	4		2	4	16
化粧鏡	YM3545FE	KF-3545A、A-669-1	盗難防止型、耐食鏡 350×450程度	3	3			3	3		3	3	18
化粧鏡	YM4560FE(特注)	KF-6090A、*A-669-3	盗難防止型、耐食鏡 600×900程度			1							1
自動水栓	TLE26SP1A、TN154、TL4CU	AM-230CV1、A-4386	自動水栓(AC100V)	3	3			3	2		3	2	16
横水栓	T200SNR13C	LF-7R-13-U	吐水口回転式					1			1		2
横水栓	T123BQ13C	LF-7KRZF-13	レバ式、泡沫、カムメキ化粧管共					1			1		3
胴長横水栓	T23B13V109	LF-7KF-13-U	ハンドル式、泡沫					5			5		15

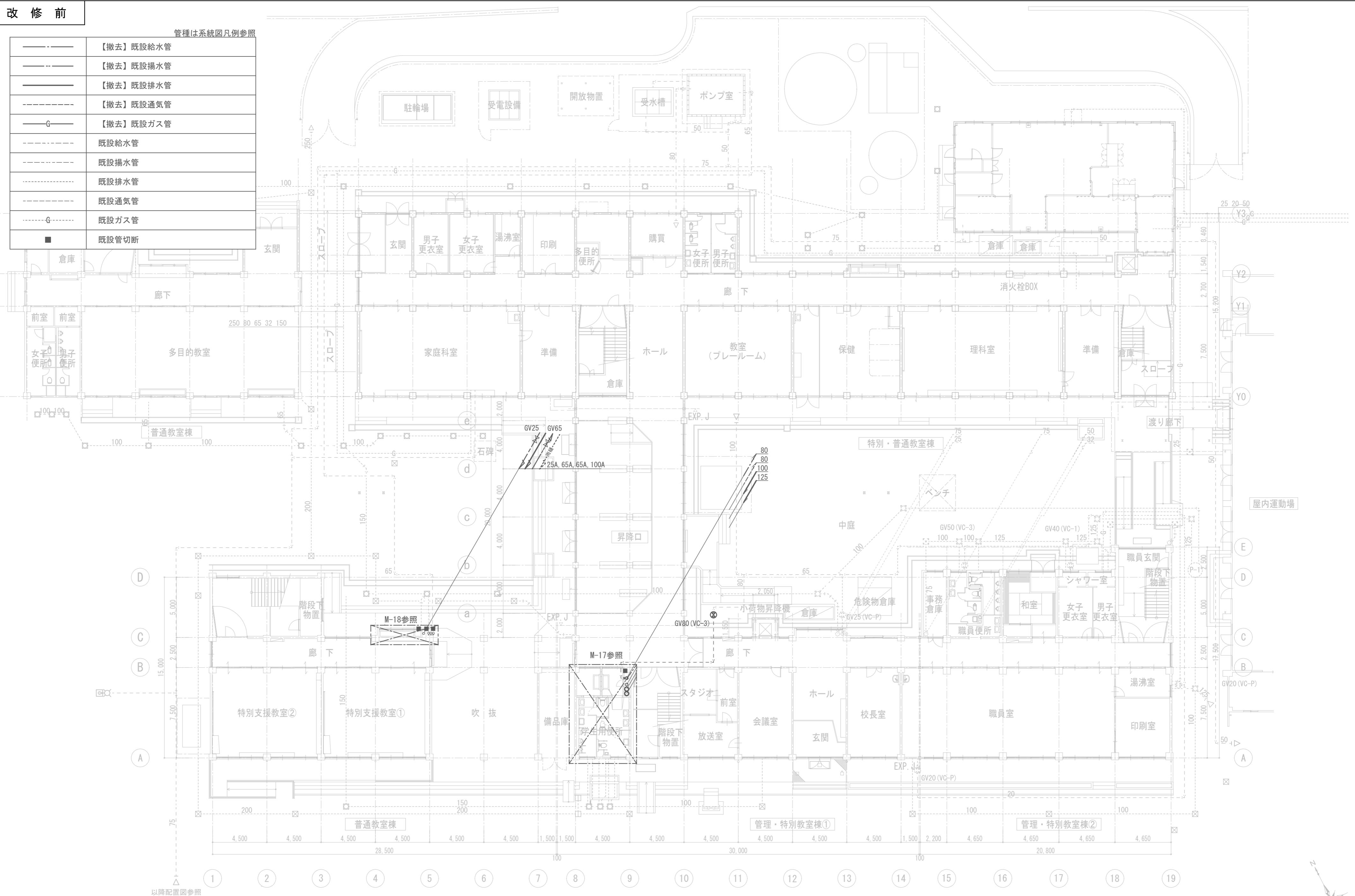


凡例 配管リスト (太線：撤去、細破線：既設)		
— — —	【撤去】既設給水管	屋内一般：硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA)
		埋設配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD)
— - —	【撤去】既設揚水管	屋内一般：硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA)
		埋設配管：硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD)
— — —	【撤去】既設排水管	屋内一般：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
		埋設配管：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
-----	【撤去】既設通気管	屋内一般：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
		埋設配管：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
▲	配管周り手はつり、貫通穴無収縮モルタル埋め	
■	既設管切断	



改修前

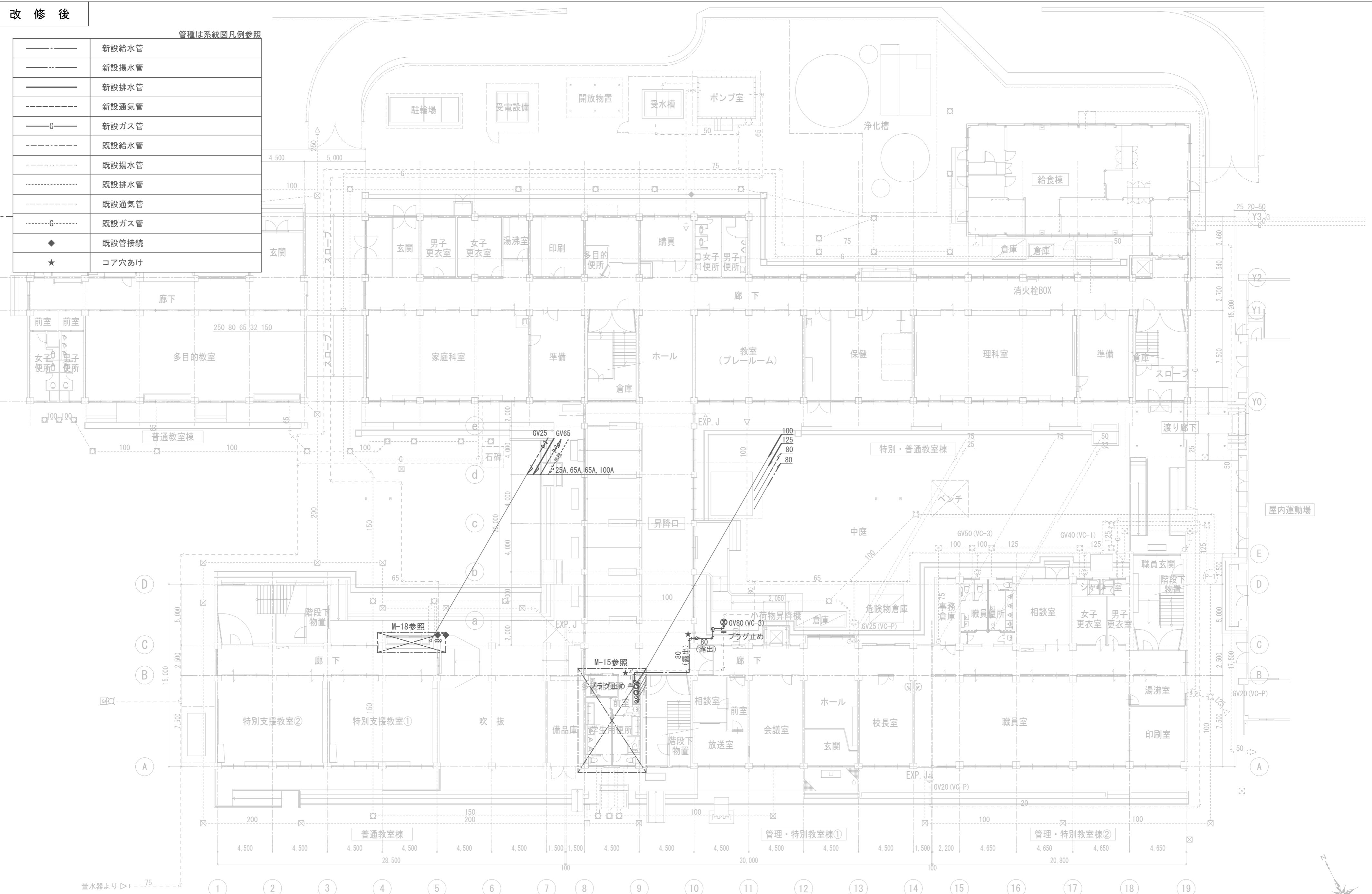
	管種は系統図凡例参照
-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設揚水管
-----	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
G-----	【撤去】既設ガス管
-----	既設給水管
-----	既設揚水管
-----	既設排水管
-----	既設通気管
G-----	既設ガス管
-----	既設管切断



改修後

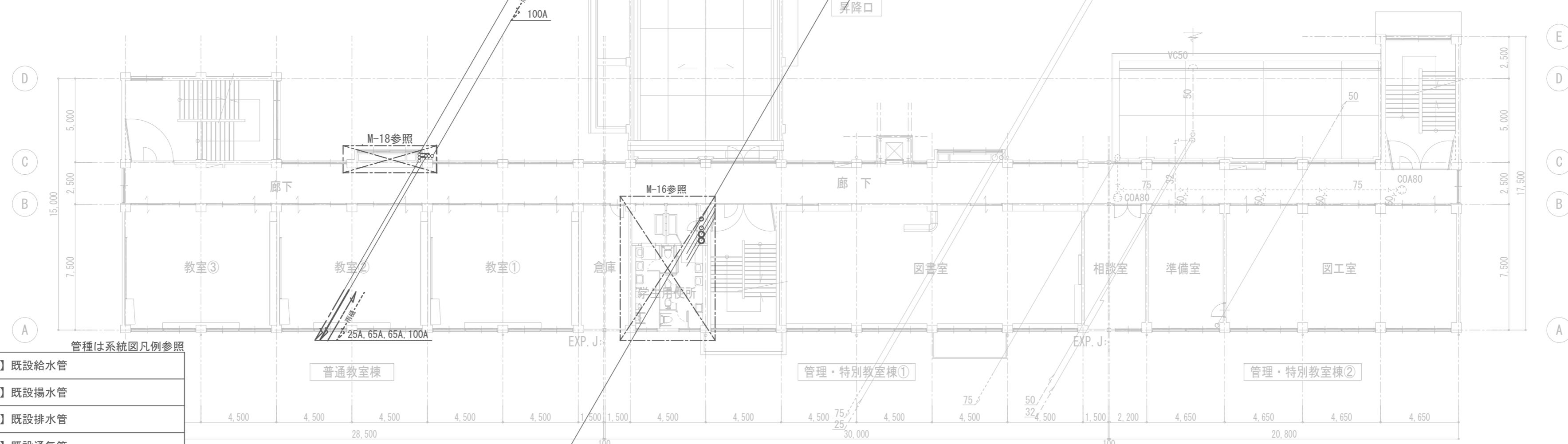
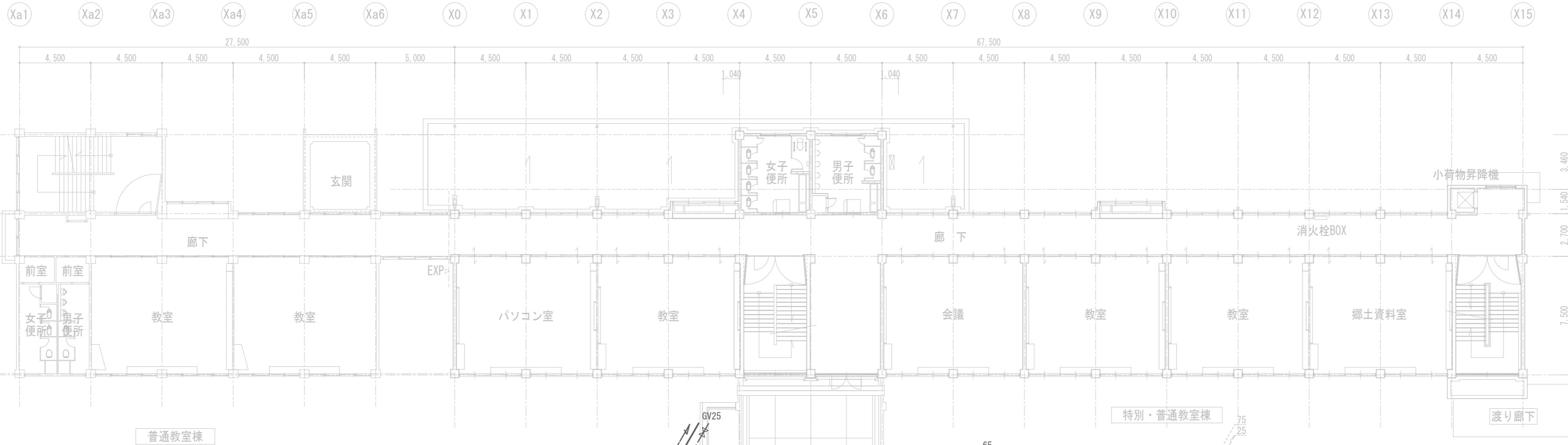
管種は系統図凡例参照

新設給水管
新設揚水管
新設排水管
新設通気管
G 新設ガス管
既設給水管
既設揚水管
既設排水管
既設通気管
G 既設ガス管
◆ 既設管接続
★ コア穴あけ



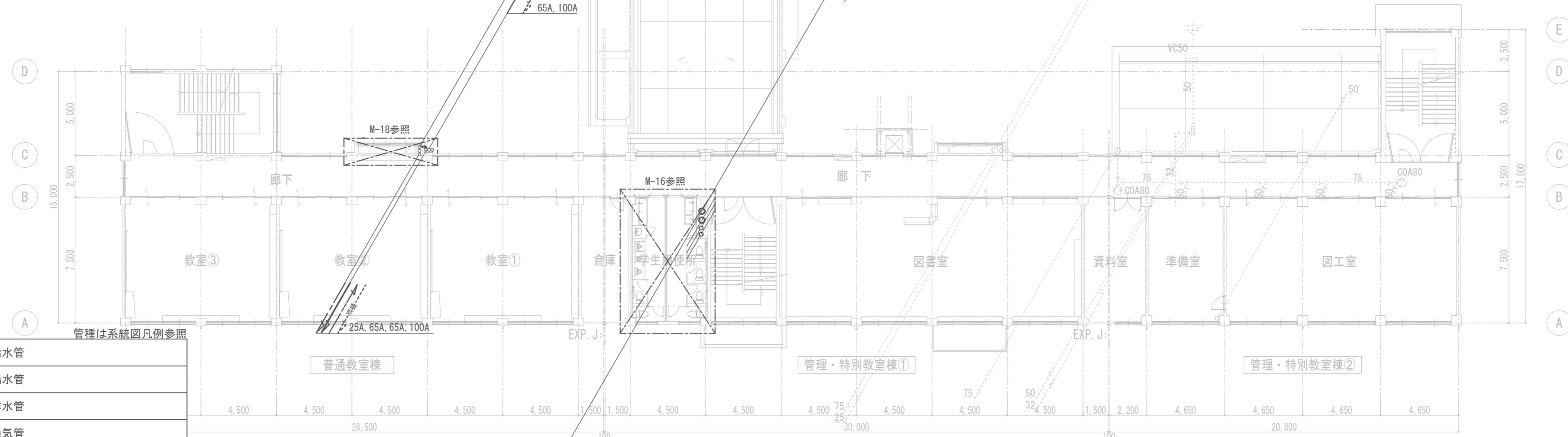
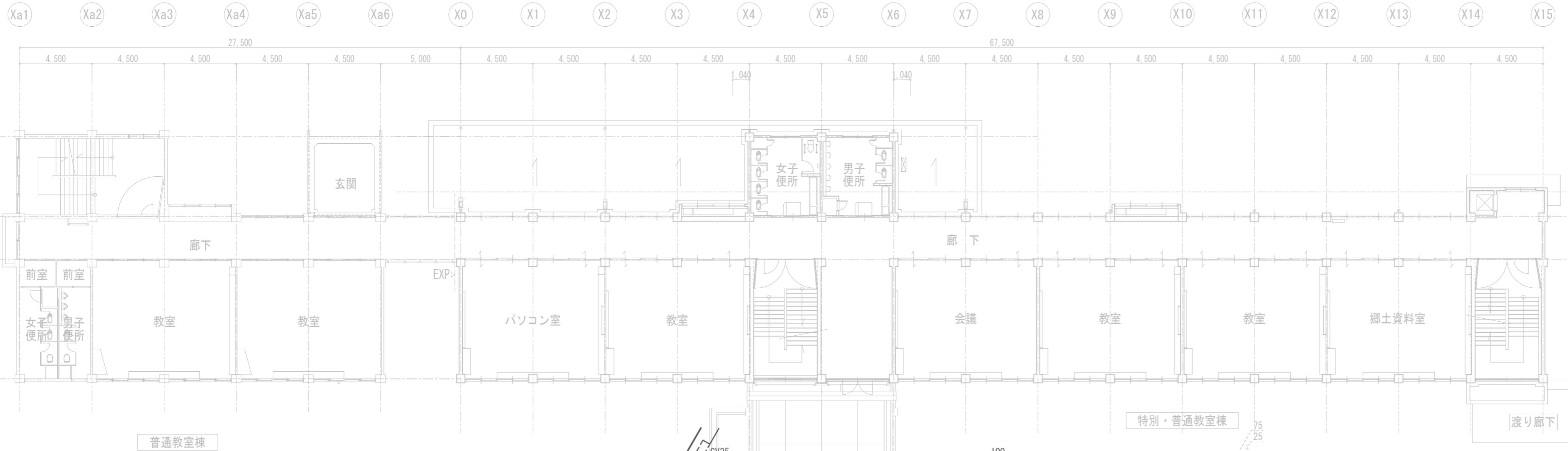
1階平面図 S:1/200

改修前



管種は系統図凡例参照	
-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設揚水管
-----	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
G-----	【撤去】既設ガス管
-----	既設給水管
-----	既設揚水管
-----	既設排水管
-----	既設通気管
G-----	既設ガス管
■	既設管切断

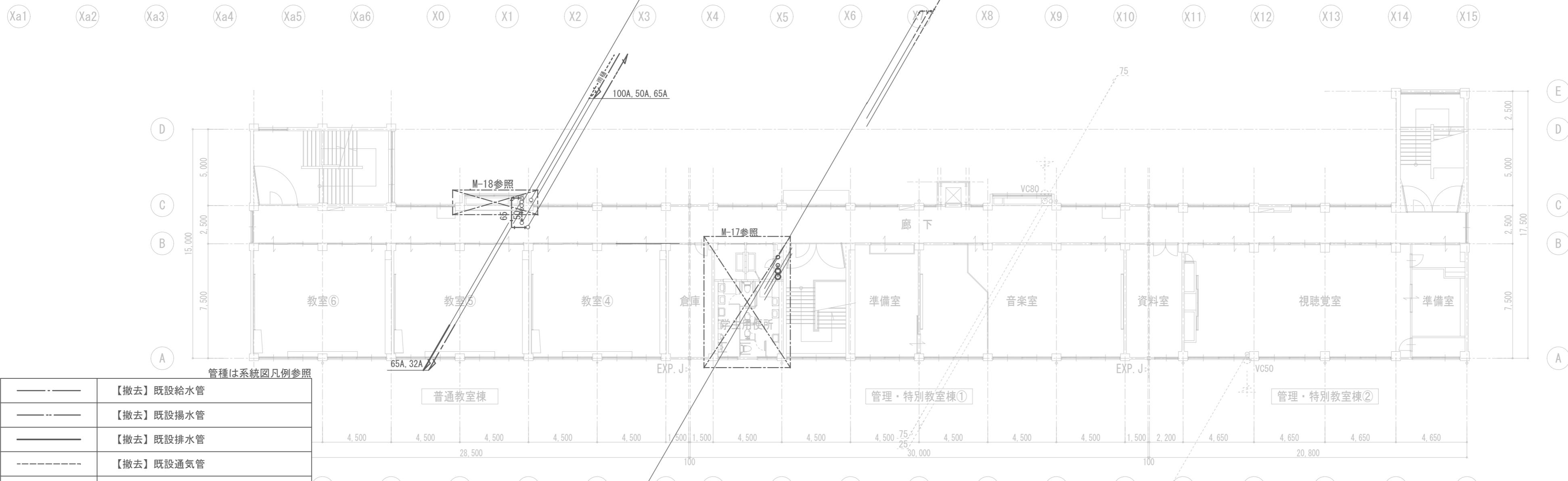
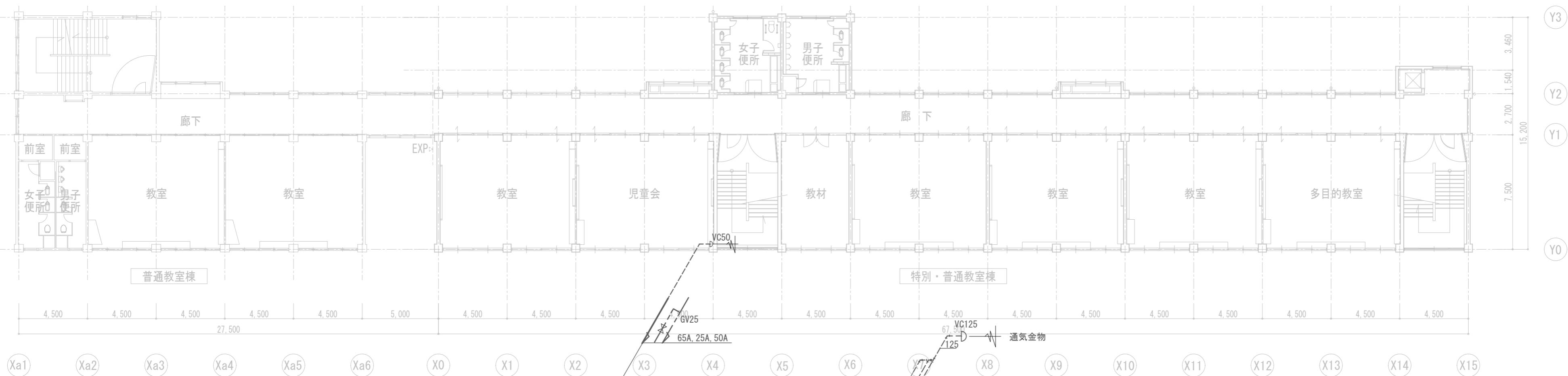
2階平面図 S:1/200



管種は系統図凡例参照	
新設給水管	
新設揚水管	
新設排水管	
新設通気管	
新設ガス管	
既設給水管	
既設揚水管	
既設排水管	
既設通気管	
既設ガス管	
既設管接続	

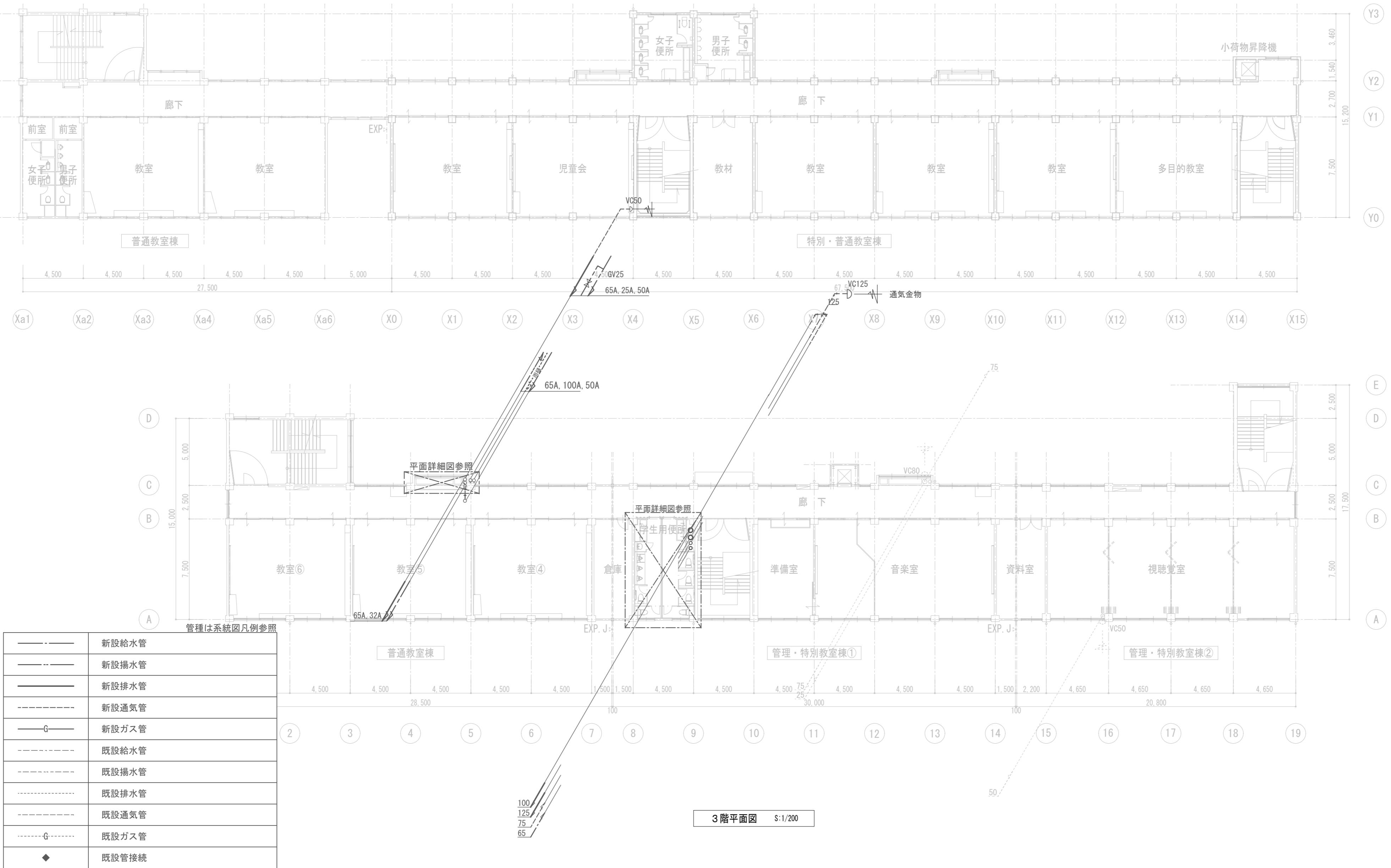
2階平面図 S:1/200

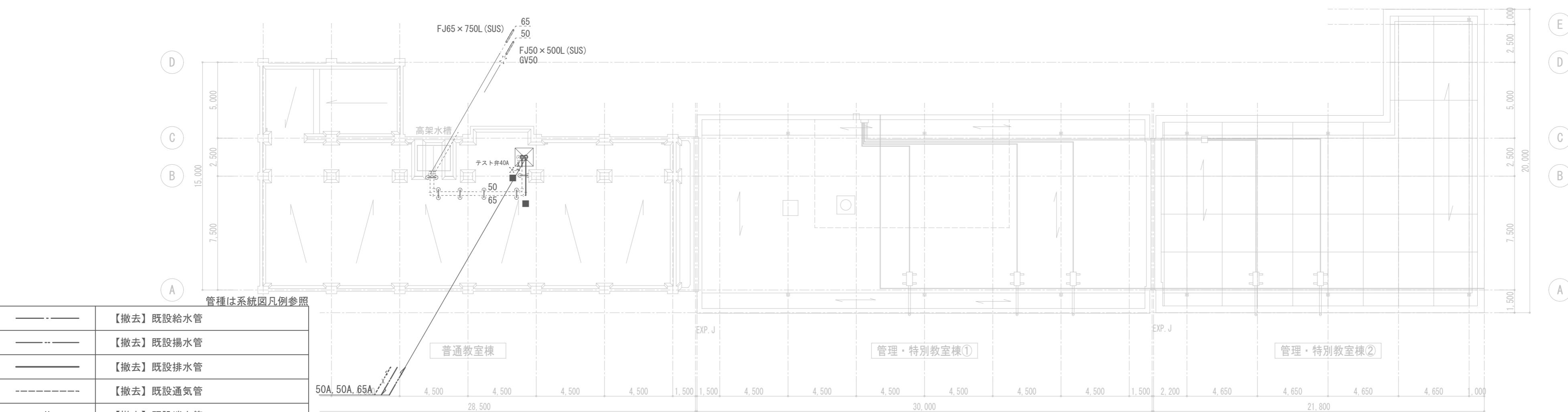
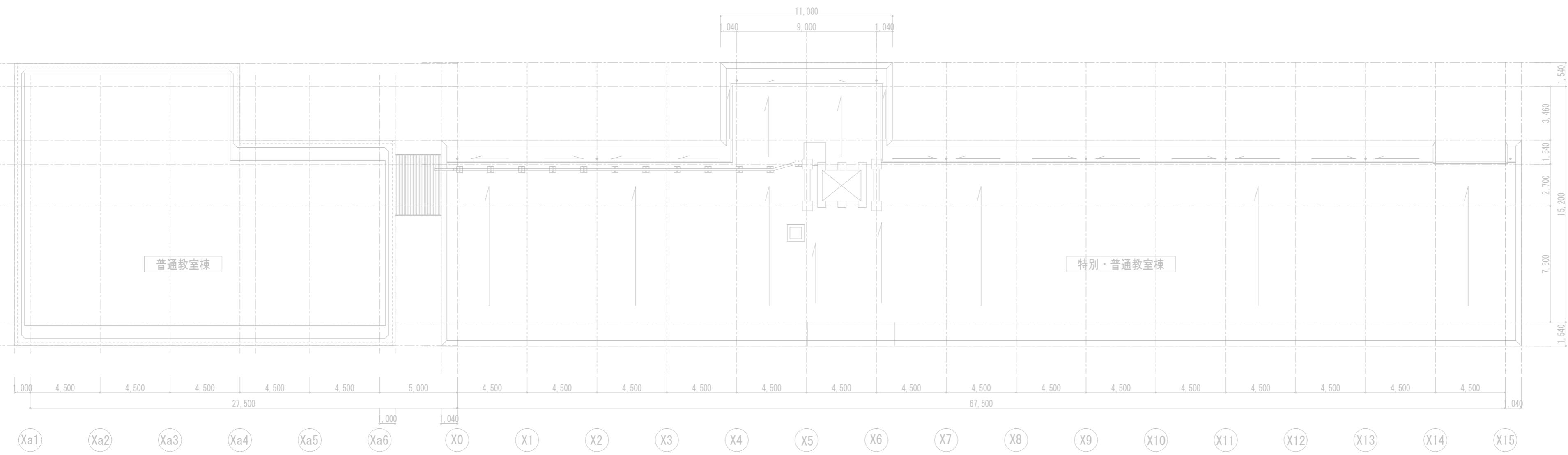




3階平面図 S:1/200

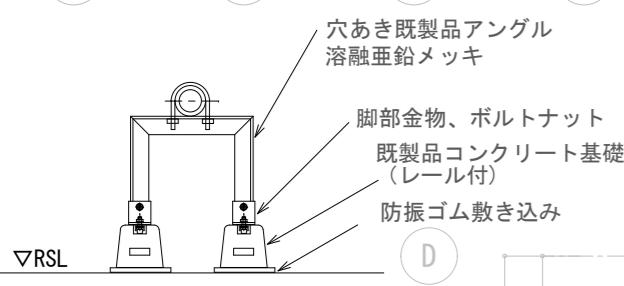






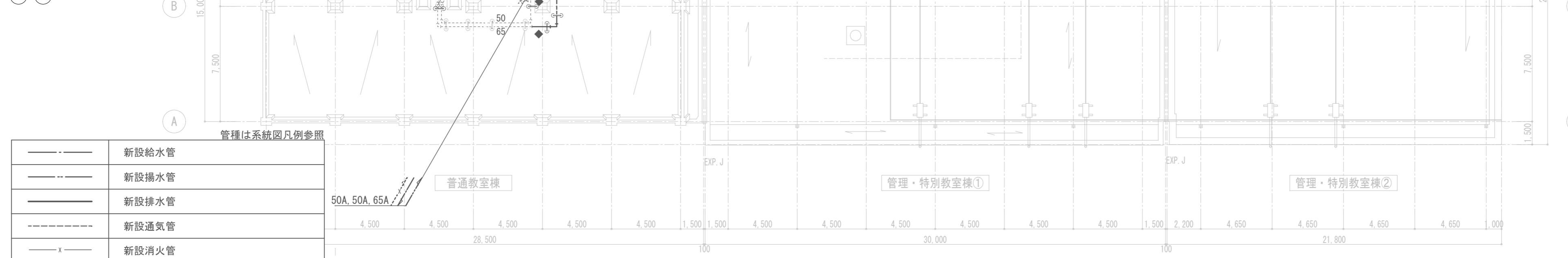
管種は系統図凡例参照	
-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設揚水管
-----	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
—X—	【撤去】既設消火管
-----	既設給水管
-----	既設揚水管
-----	既設排水管
-----	既設通気管
—X—	既設消火管
■	既設管切断

R階平面図 S:1/200



屋上新設配管架台参考図

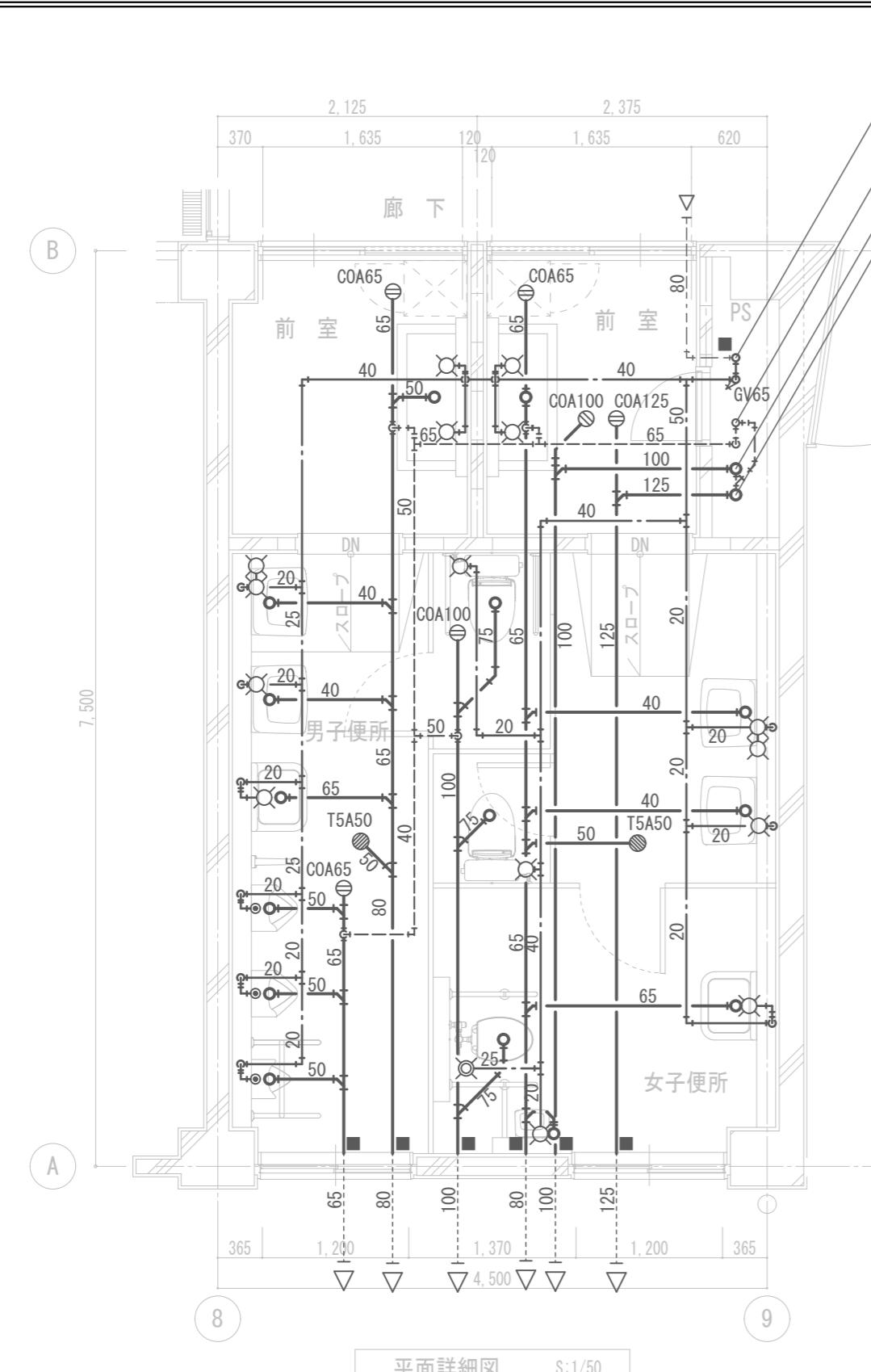
新設配管架台を示す



※配管架台は参考とし、適切な位置に配置すること

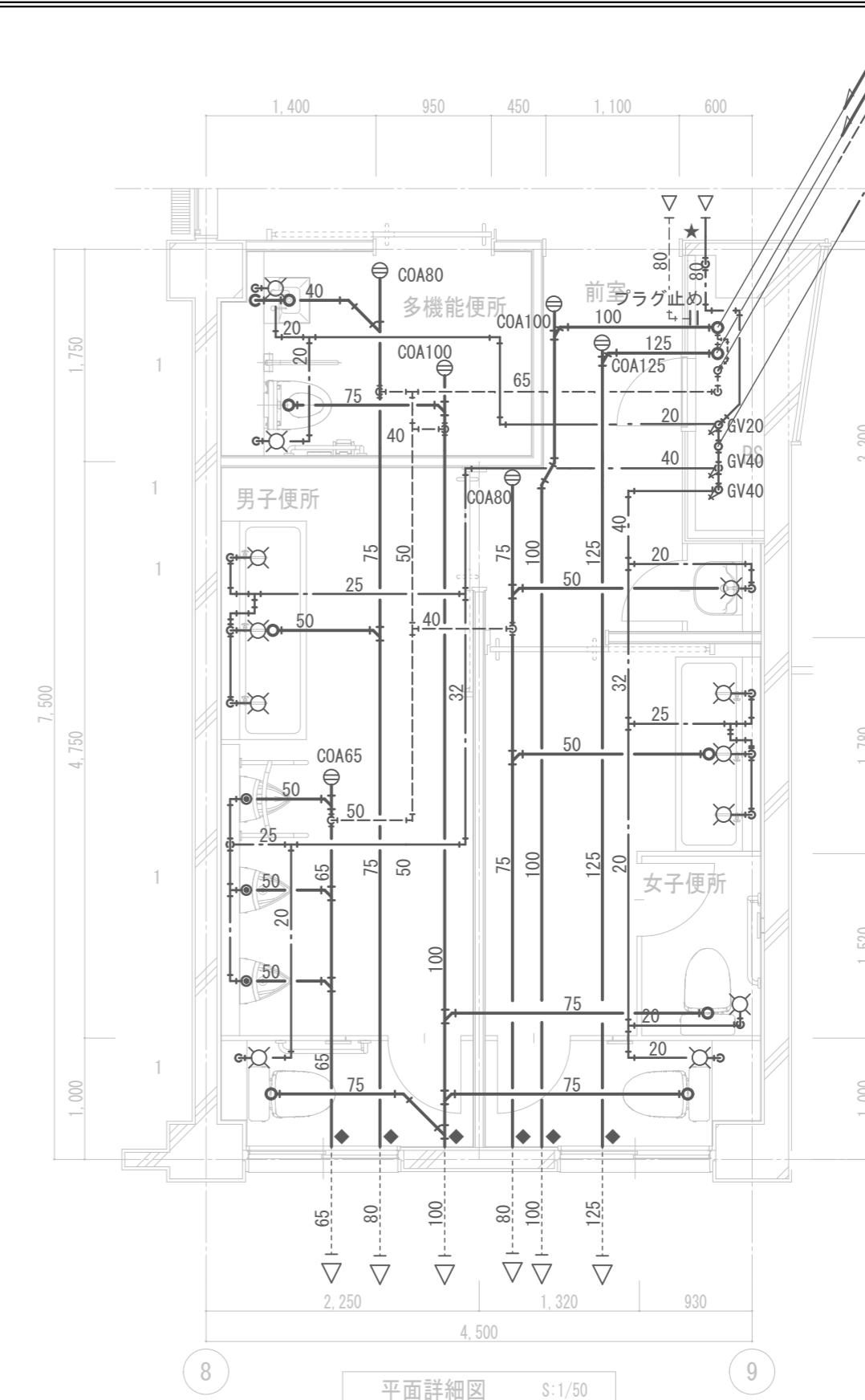
R階平面図 S:1/200

1階学生便所（改修前）



平面詳細図 S:1/50

1階学生便所（改修後）



平面詳細図 S:1/50

【撤去】既設衛生器具表

名 称	前室	男子便所	前室	女子便所
洋風便器（洗浄弁）				1
洋風便器（タンク式）		1		1
小便器		3		
手洗器				1
洗面器		2		2
掃除流し		1		1
紙巻器		1		2
手すり		3		2
横水栓	2	1	2	1
鏡	2	2	2	2

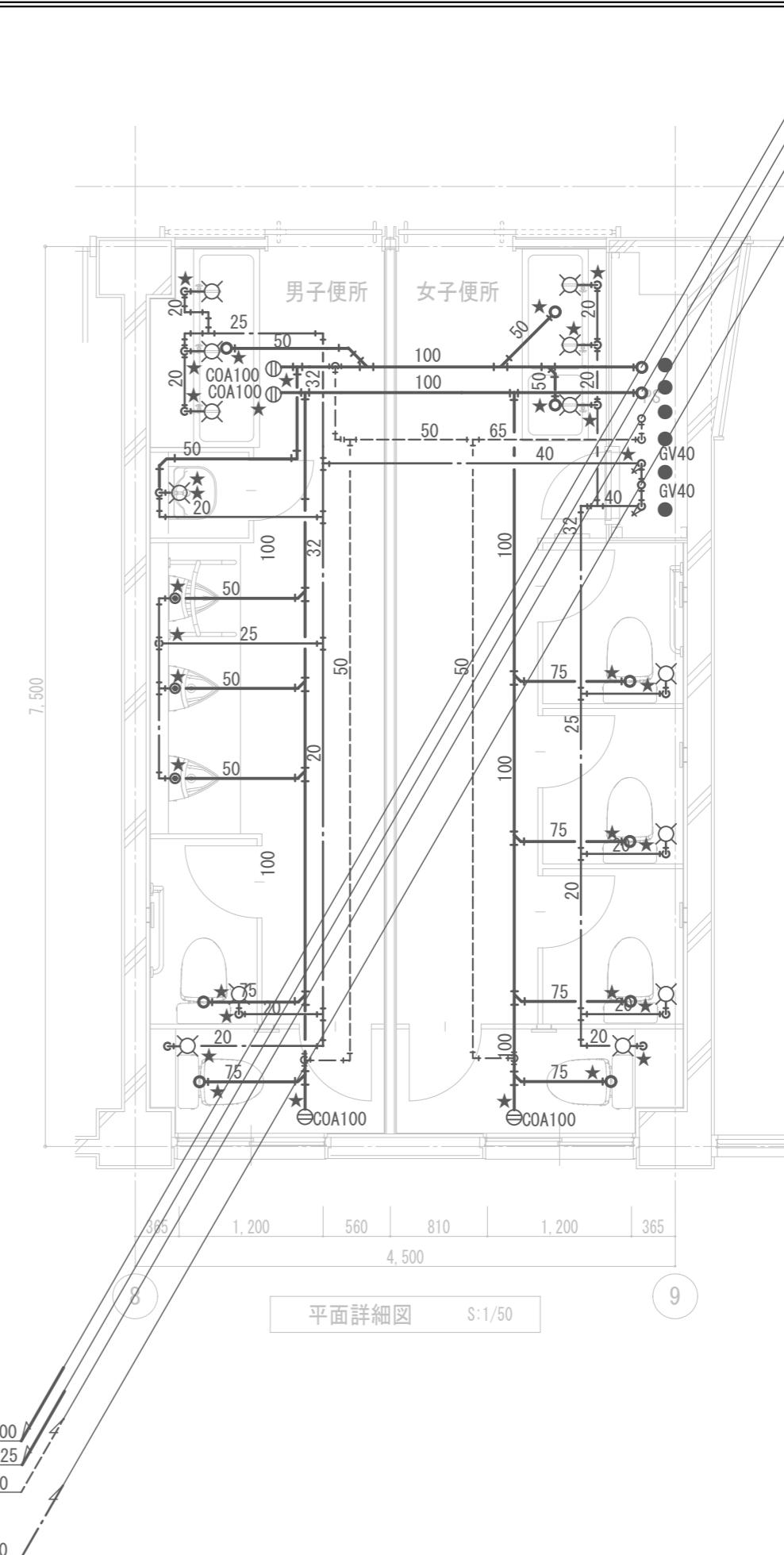
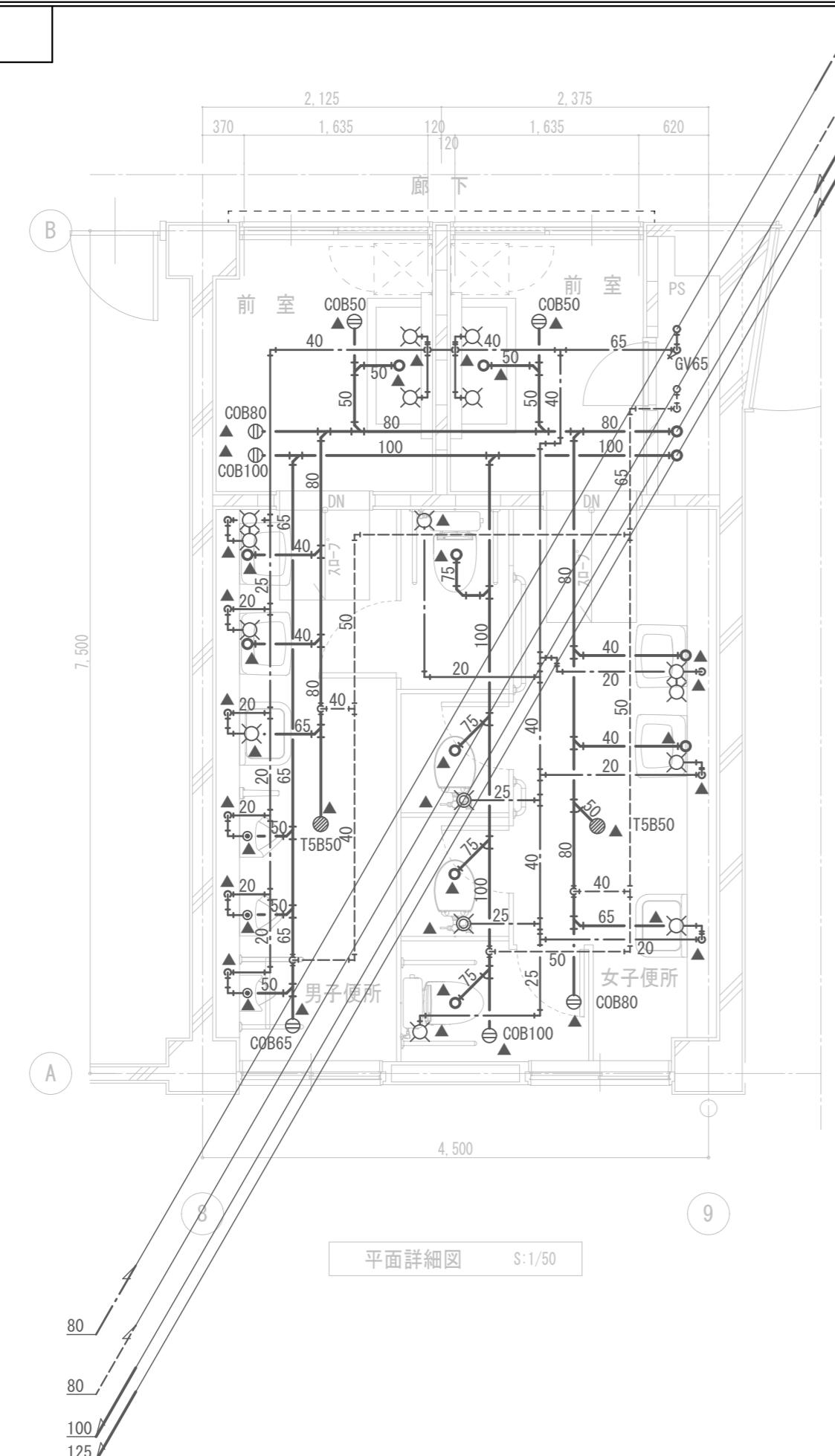
管種は系統図凡例参照

-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
-----	既設給水管
-----	既設排水管
-----	既設通気管
■	既設管切断

管種は系統図凡例参照

-----	新設給水管
-----	新設排水管
-----	新設通気管
-----	既設給水管
-----	既設排水管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続
●	既設貫通穴再利用

※ 配管撤去新設後の開口部は補修により塞ぐこと
 ※ 水平区画の為スラブ貫通部、区画貫通処理を行うこと
 ※ PS内からの横引き貫通部分の穴は不燃材で埋めること



2階学生便所（改修前）

2階学生便所（改修後）

【撤去】既設衛生器具表

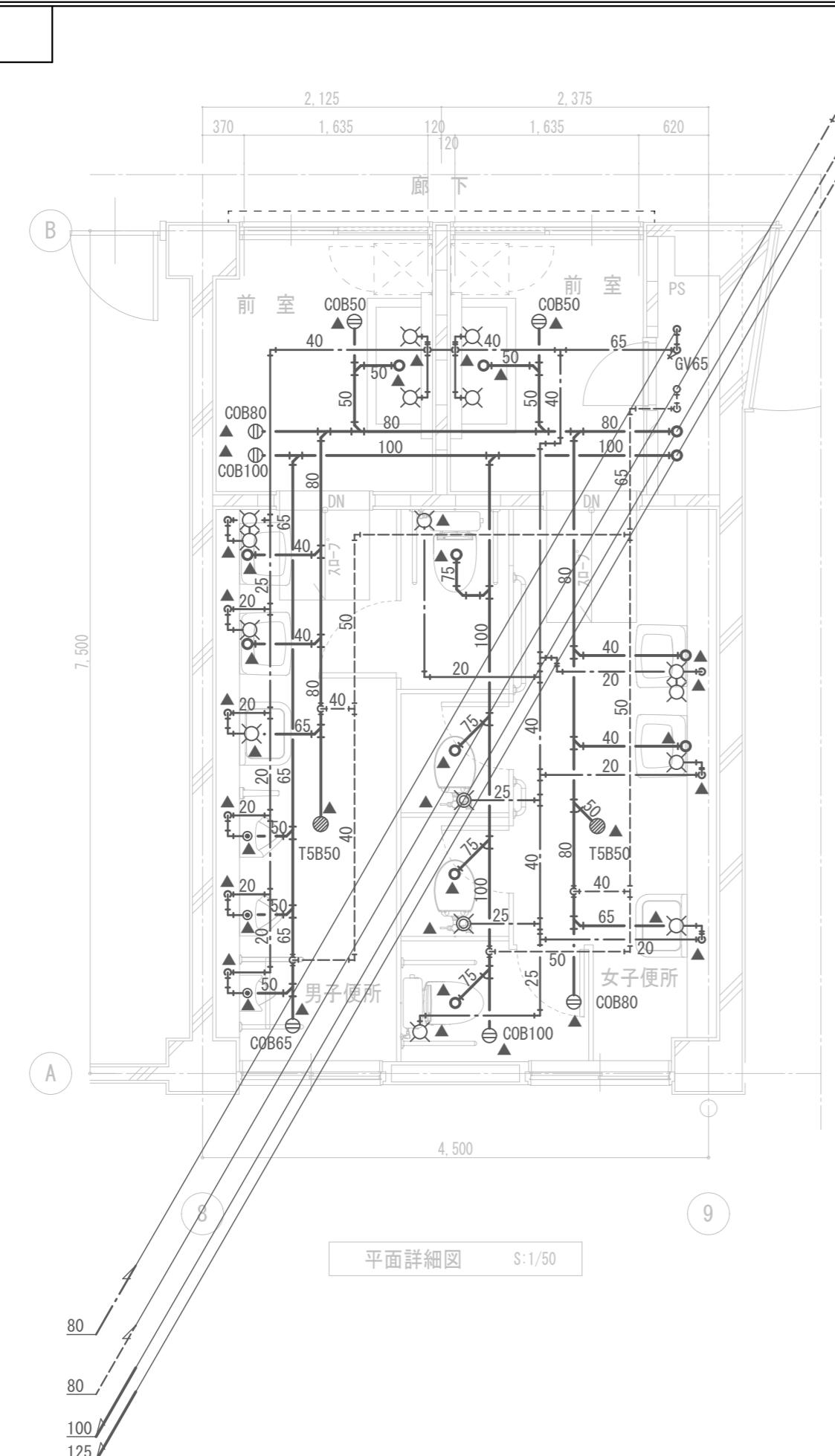
名 称	前室	男子便所	前室	女子便所
洋風便器（洗浄弁）				2
洋風便器（タンク式）		1		1
小便器		3		
洗面器		2		2
掃除流し		1		1
紙巻器		1		3
手すり		3		2
横水栓	2	1	2	1
鏡	2	2	2	2

管種は系統図凡例参照	
---	【撤去】既設給水管
---	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
- - - - -	既設給水管
- - - - -	既設排水管
- - - - -	既設通気管
■	既設管切断
▲	配管周り手はつり、貫通穴無収縮モルタル埋め

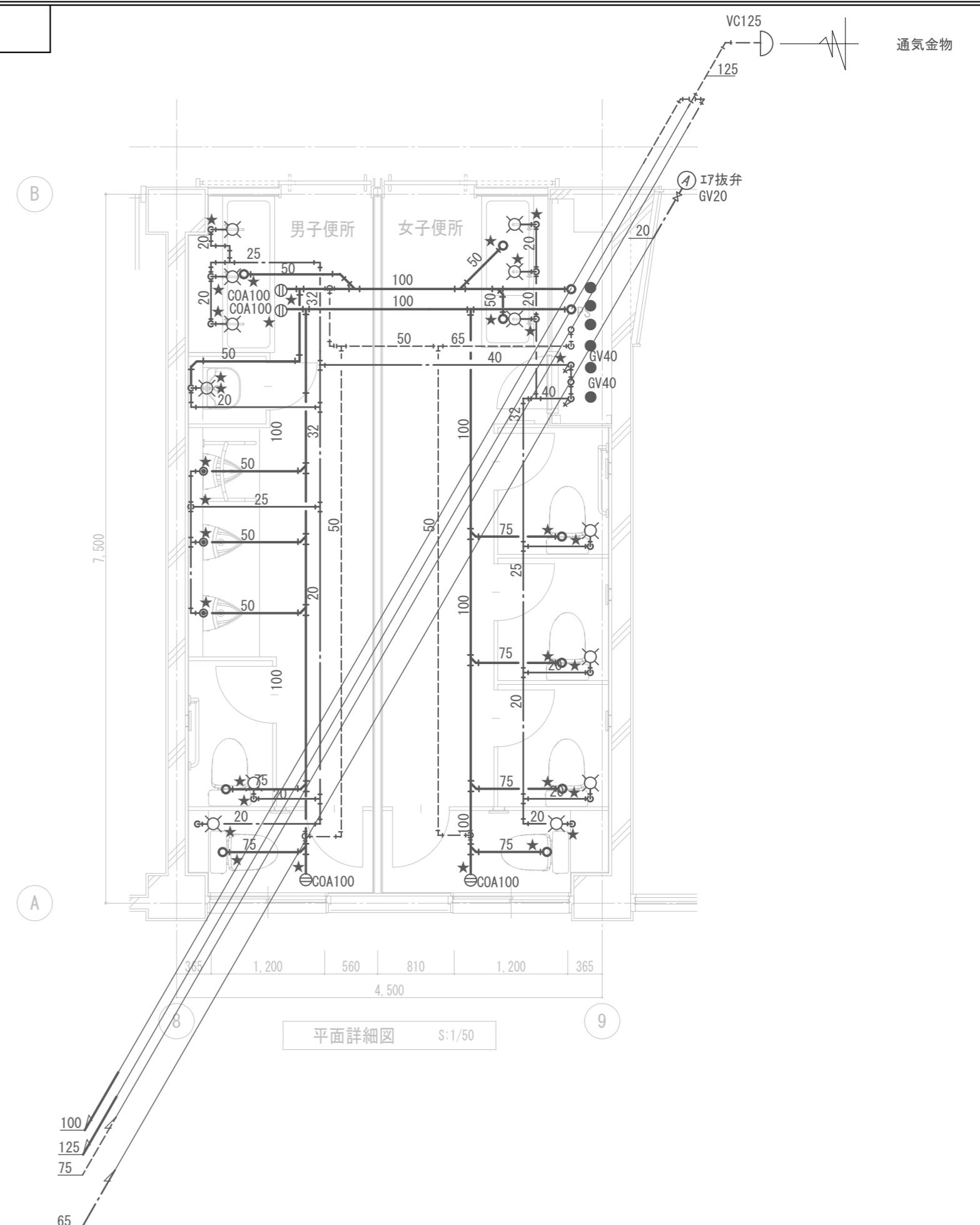
- ※ 配管撤去新設後の開口部は補修により塞ぐこと
- ※ 水平区画の為スラブ貫通部、区画貫通処理を行うこと
- ※ PS内からの横引き貫通部分の穴は不燃材で埋めること

管種は系統図凡例参照	
---	新設水管
—	新設排水管
- - - - -	新設通気管
- - - - - -	既設水管
- - - - - -	既設排水管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続
●	既設貫通穴再利用

3階学生便所（改修前）



3階学生便所（改修後）



【撤去】既設衛生器具表

名称	前室	男子便所	前室	女子便所
洋風便器（洗浄弁）				2
洋風便器（タンク式）		1		1
小便器		3		
洗面器		2		2
掃除流し		1		1
紙巻器		1		3
手すり		3		2
横水栓	2	1	2	1
鏡	2	2	2	2

管種は系統図凡例参照

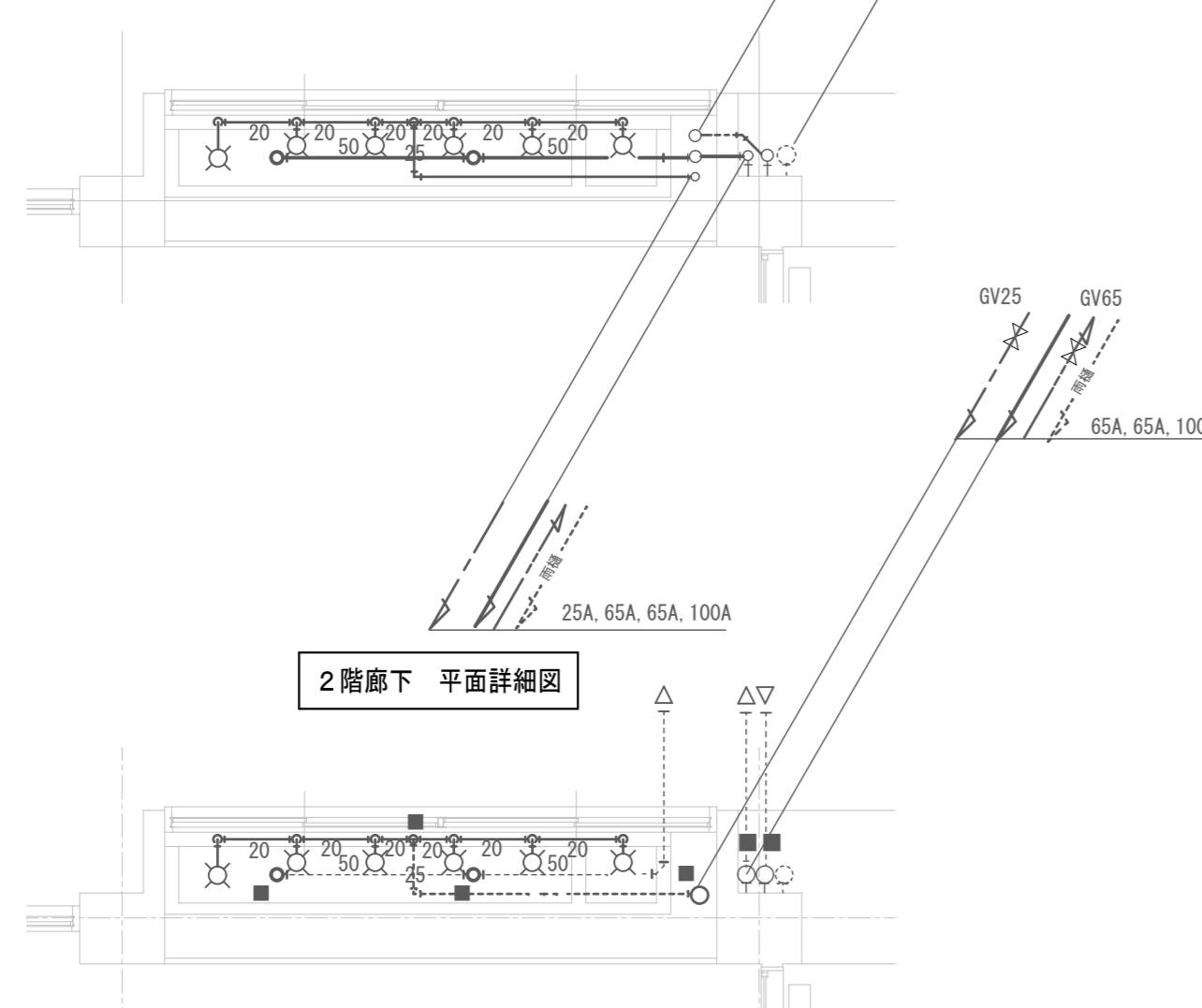
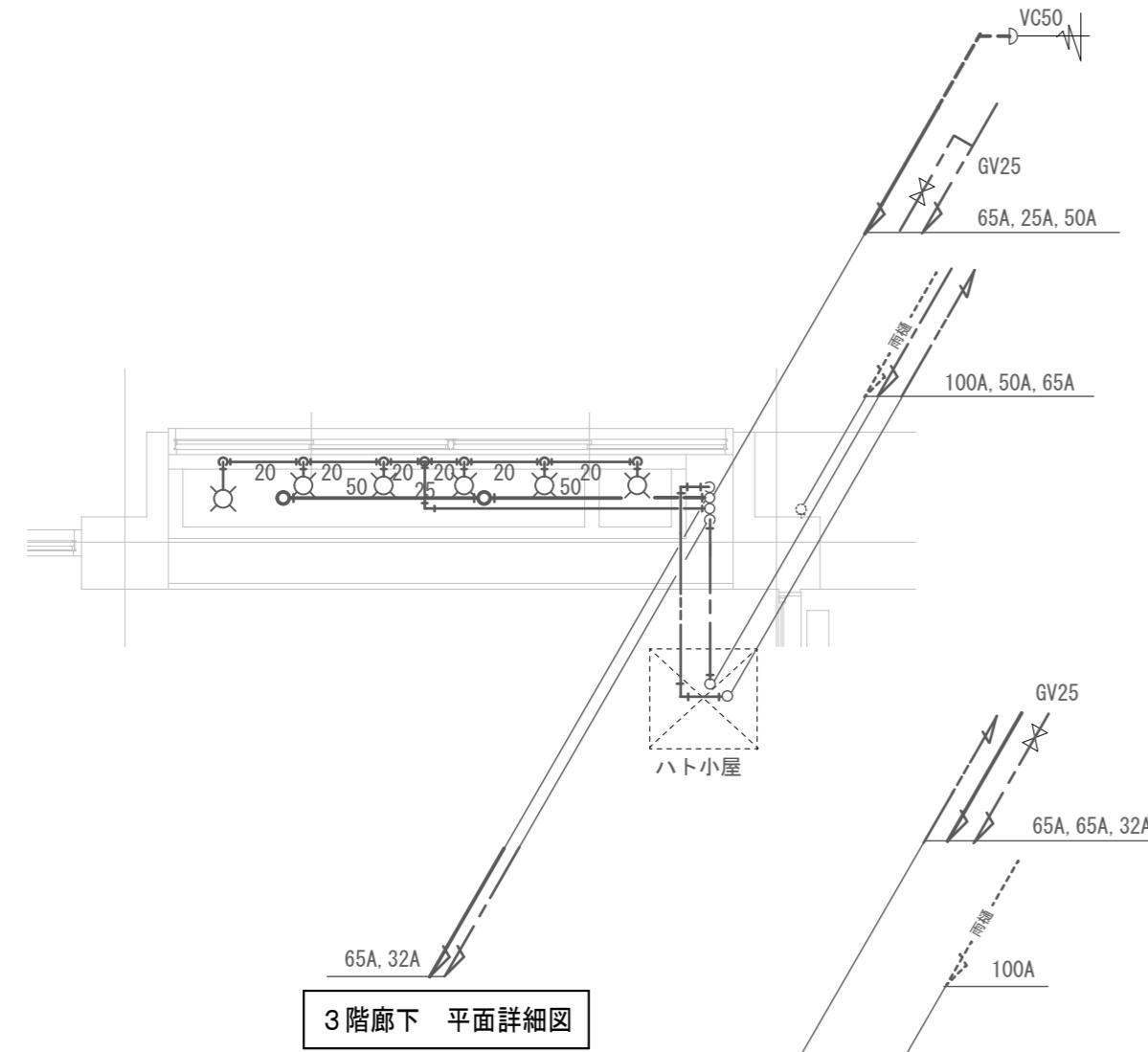
— — — —	【撤去】既設給水管
— — — —	【撤去】既設排水管
— — — —	【撤去】既設通気管
- - - - -	既設給水管
- - - - -	既設排水管
- - - - -	既設通気管
■	既設管切断
▲	配管周り手はり、貫通穴無收縮モルタル埋め

管種は系統図凡例参照

— — — —	新設給水管
— — — —	新設排水管
— — — —	新設通気管
- - - - -	既設給水管
- - - - -	既設排水管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続
●	既設貫通穴再利用

※ 配管撤去新設後の開口部は補修により塞ぐこと
 ※ 水平区画の為スラブ貫通部、区画貫通処理を行うこと
 ※ PS内からの横引き貫通部分の穴は不燃材で埋めること

改修前

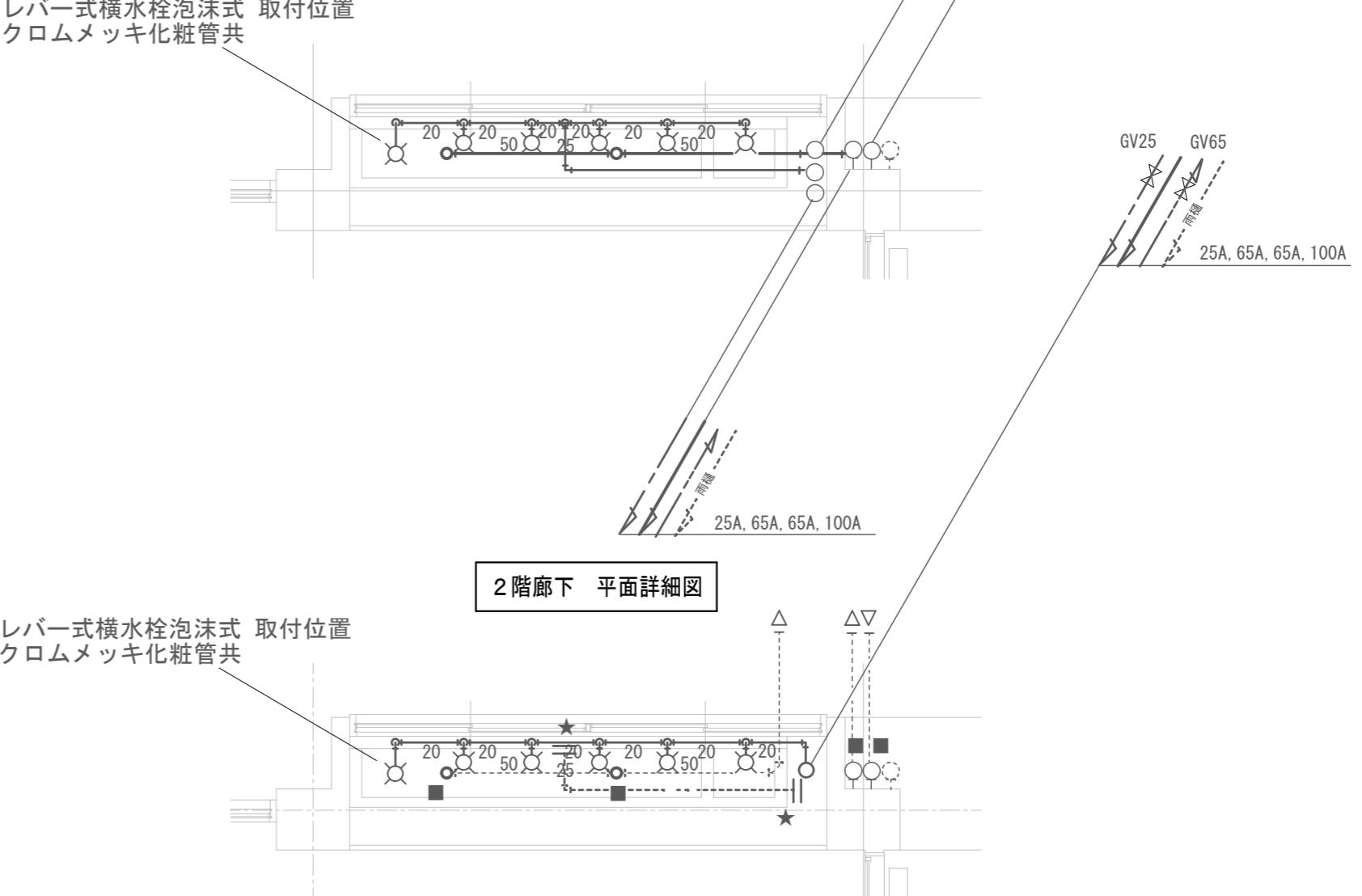
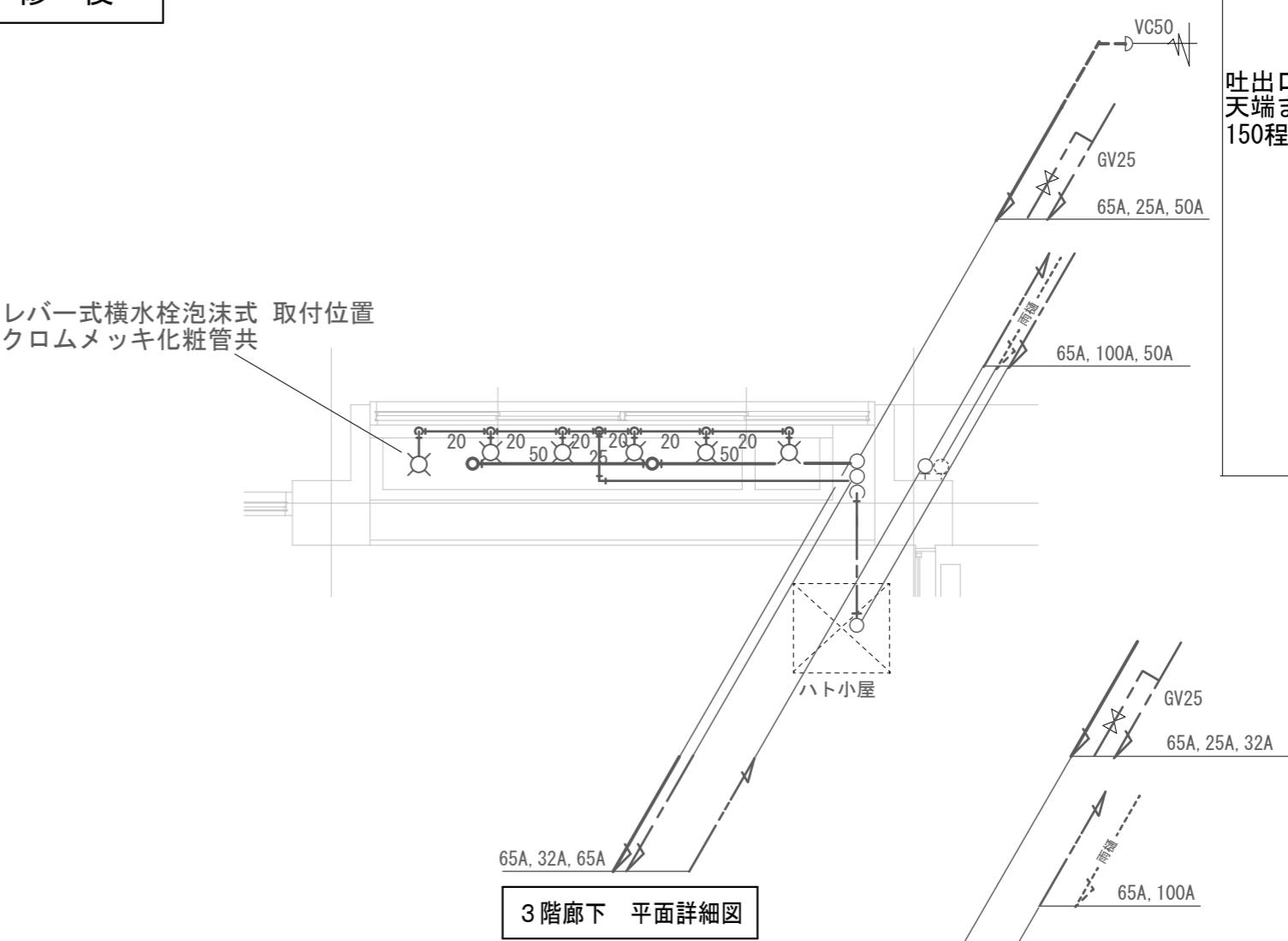


1階廊下 平面詳細図

管種は系統図凡例参照	
-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設揚水管
-----	【撤去】既設排水管
-----	【撤去】既設通気管
■	既設管切斷

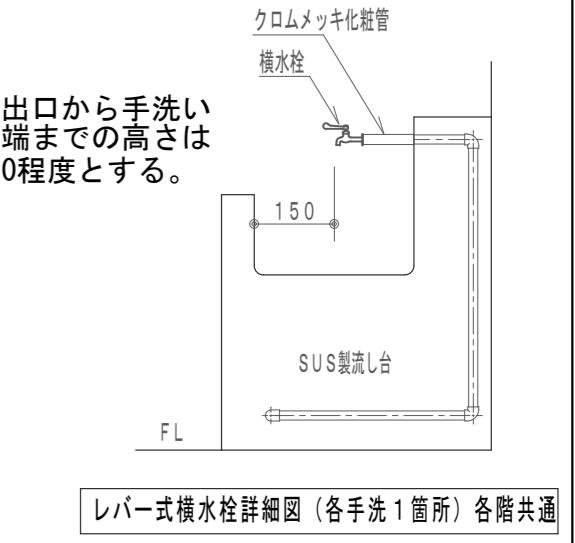
※点線は既設を示す。

改修後



1階廊下 平面詳細図

- ※ 天井下地、仕上撤去・復旧は建築工事、天井スラブ、床、壁の開口補強は設備工事とする。
- ※ 屋内露出配管は、合成樹脂製かバーにて保温とし、用途標示を行うこと。
- ※ 既設配管サイズ、配管ルートは参考とする。
- ※ SUS流しは、目皿、排水トラップ共建築工事とする。
- ※ 撤去新設後の壁、床、天井スラブに開いた開口は閉塞すること。
- ※ 床打ち込み配管については撤去せず、そのままモルタル充填よい。



※点線は既設を示す。

管種は系統図凡例参照	
-----	【新設】既設給水管
-----	【新設】既設揚水管
-----	【新設】既設排水管
-----	【新設】既設通気管
●	コア穴あけ
■	既設管接続
◆	既設貫通穴再利用
★	ブレグ止め

新設機器表

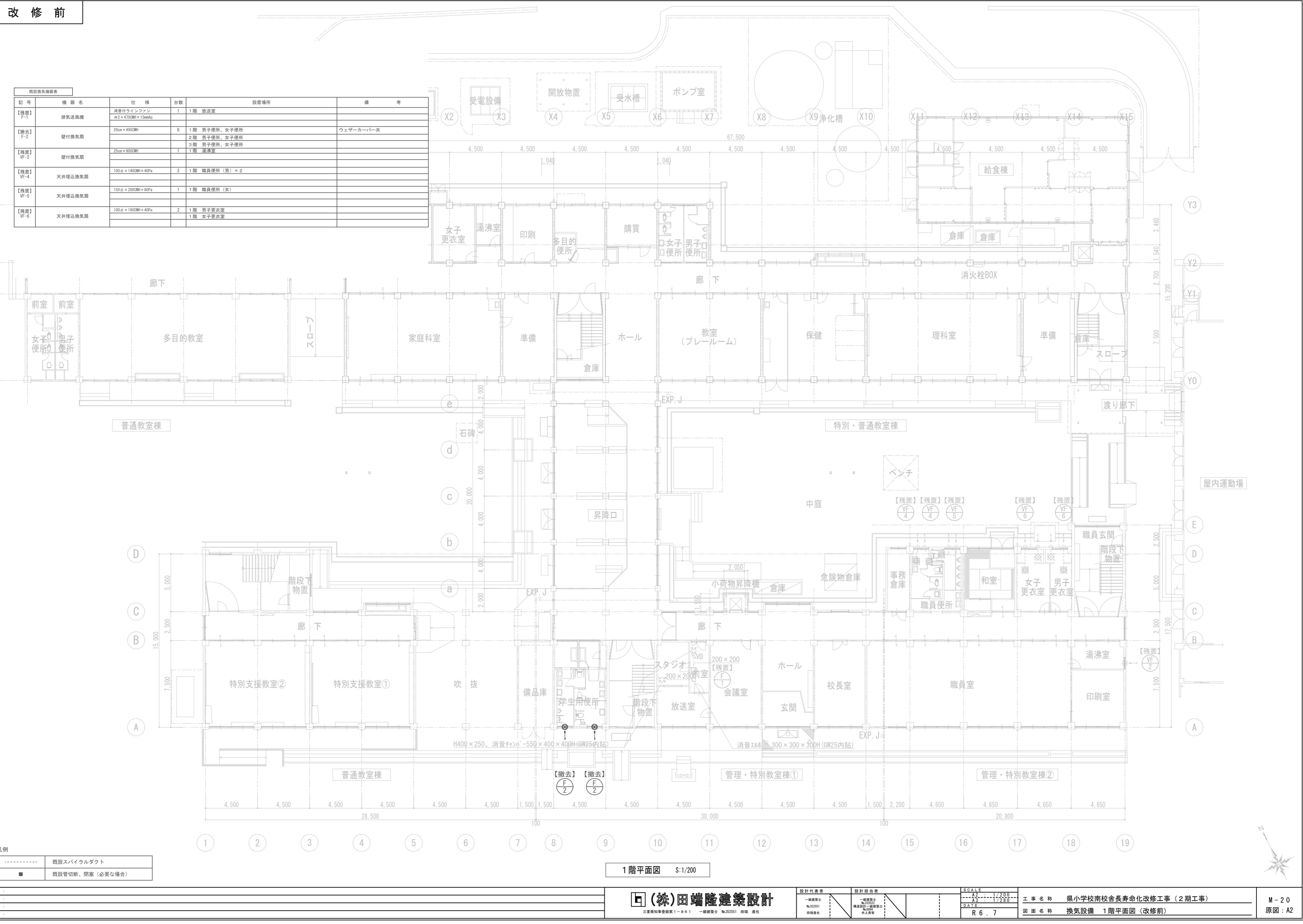
記号	機器名称	仕様	消費電力	台数	設置場所	付属品他
VF-1	換気扇	型式：窓枠据付けタイプ	1φ100V	6	1階 学生便所(男)(女)	SUS製ウェザーカバー
		能力：20cm×480CMH	18.0 W		2階 学生便所(男)(女)	(防鳥網付)
					3階 学生便所(男)(女)	
VF-2	天井換気扇	型式：低騒音型 サニタリー用	1φ100V	1	1階 多機能便所	SUS製深形パイプフード
		能力：100φ × 130m ³ /h × 54Pa	15.5W			(ガード付)

注記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。

換気風量計算書

階	部屋名	シックハウス対策			換気回数による			設計風量	換気機器番号	判定	
		面積	天井高	室容積	換気回数	必要換気量	人数	必要換気量			
		m ²	m	m ³	(回)	m ³ /h	(人)	m ³ /h	(回)	m ³ /h	m ³ /h
1	学生便所(男)	12.94	2.40	31.06					10	311	480 VF-1 OK
1	学生便所(女)	10.54	2.40	25.30					10	253	480 VF-1 OK
1	多機能便所	4.86	2.40	11.66					10	117	120 VF-2 OK
2	学生便所(男)	15.99	2.40	38.38					10	384	480 VF-1 OK
2	学生便所(女)	19.37	2.40	46.49					10	465	480 VF-1 OK
3	学生便所(男)	15.99	2.40	38.38					10	384	480 VF-1 OK
3	学生便所(女)	19.37	2.40	46.49					10	465	480 VF-1 OK

改修前



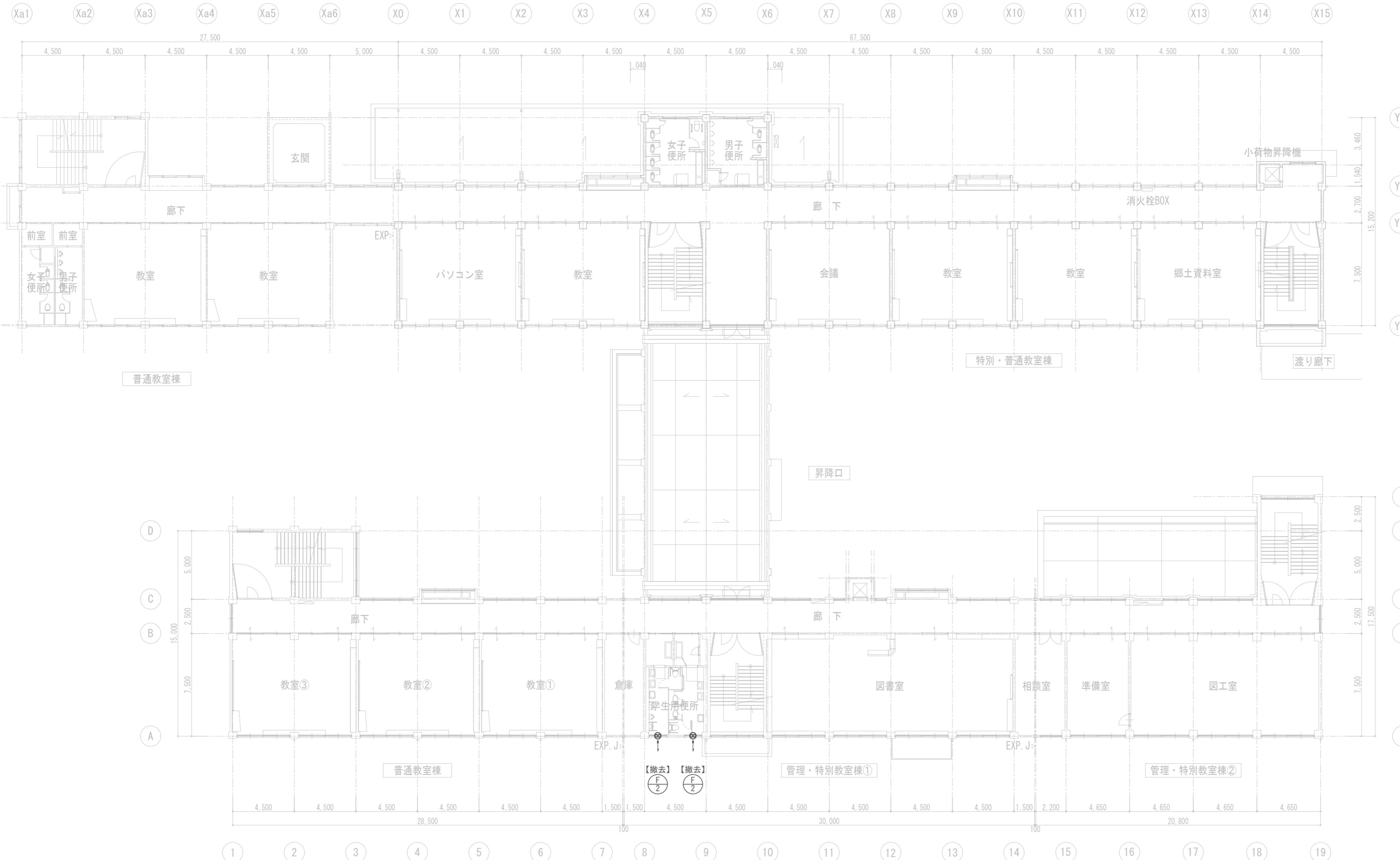
改修後

凡例

-----	既設スパイラルダクト
★	コア穴あけ

1階平面図 S:1/200

改修前



備考
・
・
・
・

・
・
・
・

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 道也

設計代表者

一級建築士
No.352551
田端道也

設計担当者

一級建築士
No.322023
構造工事監理建築士
No.8984
片上貴智

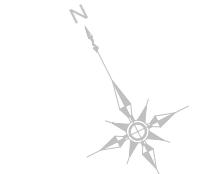
SCALE

A2 : 1/200
A2 : 1/280

DATE

R 6. 7

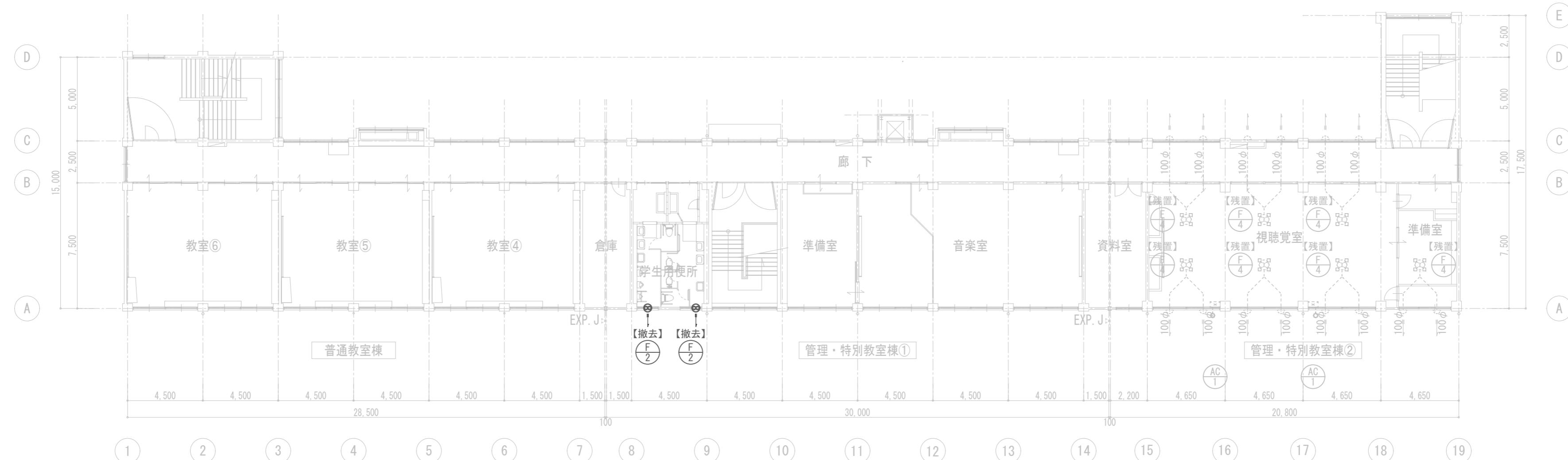
工事名称 県小学校南校舎長寿命化改修工事（2期工事）
図面名称 換気設備 2階平面図（改修前）



M-22
原図: A2

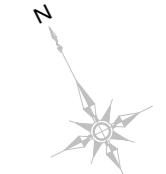


(Xa1) (Xa2) (Xa3) (Xa4) (Xa5) (Xa6) (X0) (X1) (X2) (X3) (X4) (X5) (X6) (X7) (X8) (X9) (X10) (X11) (X12) (X13) (X14) (X15)



3階平面図 S:1/200

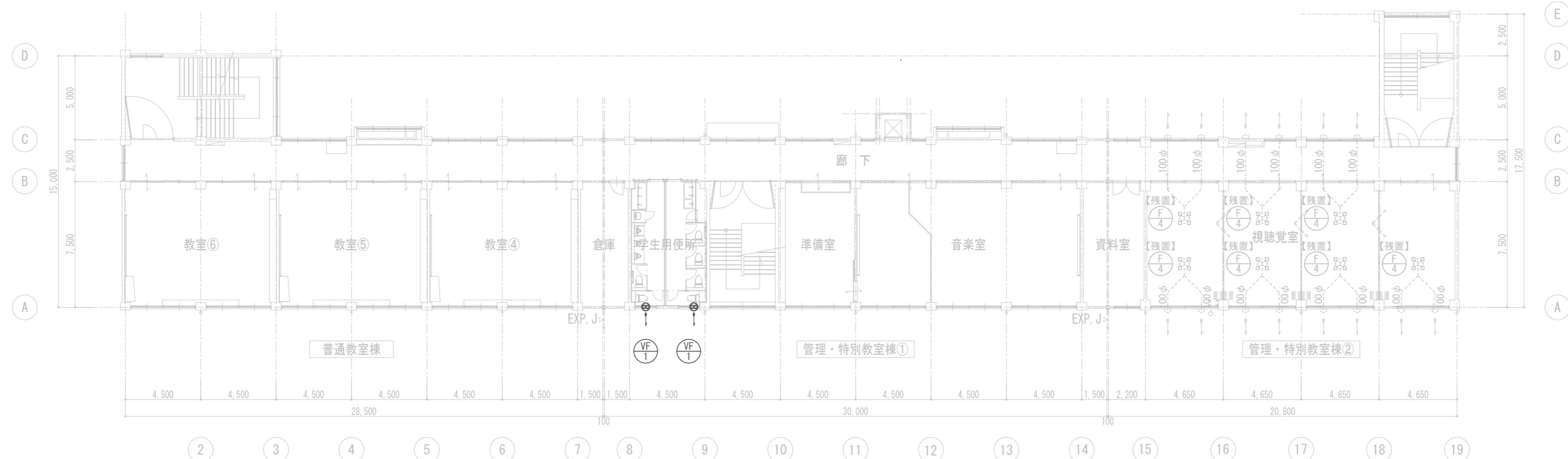
凡例	既設スパイラルダクト
	既設管切断、閉塞(必要な場合)





(Xa1) (Xa2) (Xa3) (Xa4) (Xa5) (Xa6) (X0) (X1) (X2) (X3) (X4) (X5) (X6) (X7) (X8) (X9) (X10) (X11) (X12) (X13) (X14) (X15)

(Y0) (Y1) (Y2) (Y3)



(2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19)

(A) (B) (C) (D) (E)

凡例

-----	既設スパイラルダクト
★	コア穴あけ

3階平面図 S:1/200

